

第2期鳴門市地域福祉計画市民アンケート等調査業務

アンケート調査報告書

令和4年3月

鳴門市

目次

第1章 調査概要	1
1 調査実施概要	1
第2章 市民調査	2
1 属性	
問 1 性別	2
問 2 年齢	2
問 3 職業	3
問 4 世帯構成	4
問 5 同居家族	8
問 6 居住地区	9
問 7 居住年数	10
2 調査結果	
問 8 感じている不安や悩み（コロナ禍前後の変化）	12
問 9 コロナ禍で困ったこと	17
問10 コロナ禍における暮らし方の工夫や変化	17
問11 相談相手	18
問12 近所付き合いの程度	36
付問 近所付き合いがない理由	40
問13 近所に手助けできることと手助けしてほしいこと	43
問14 地区で最近「気になるな」と感じる事	58
問15 地区の暮らしやすさ	62
問16 地区での世代間交流の実施状況	64
問17 世代間交流の場に参加したいか	66
付問 世代間交流の場に参加したいと思わない理由	67
問18 地区に住み続けたいか	68
付問 地区に住み続けたくない理由	71
問19 地域活動への参加状況	75
付問 参加している地域活動の内容	78
付問 地域活動に参加しなかった理由	79
問20 ボランティア活動への参加状況	83
付問 参加しているボランティア活動の内容	86
問21 地域活動やボランティア活動に関する情報の入手先	91
問22 地域の中で必要となるボランティア活動	95
問23 地域活動やボランティア活動の輪を広げるために必要なこと	100
問24 福祉サービスの利用状況	105
問25 福祉サービスに関する情報の入手先	108
問26 民生委員・児童委員の認知度	113

問27	鳴門市社会福祉協議会の認知度	115
付問	鳴門市社会福祉協議会の活動の認知度	117
問28	鳴門市社会福祉協議会に期待する活動や支援	122
問29	子どもたちやその家族が安心して暮らすために必要なこと	126
問30	高齢者が安心して暮らすために必要なこと	131
問31	障がい者が安心して暮らすために必要なこと	137
問32	生活困窮者や困窮状態にある世帯への支援として必要なこと	143
問33	成年後見制度の認知度	148
問34	成年後見制度を利用したいか	150
付問	成年後見制度の利用目的	152
問35	災害時の避難場所の認知度	156
問36	避難時に困ること	158
問37	市民が住み慣れた地域で安心して暮らしていくために必要なこと	163
問38	福祉的課題に対する重要度	168
問39	市民のひとりとしてできること	193
問40	地域福祉に対するご意見等	198

第3章	調査票	200
------------	------------	------------

第1章 調査概要

I 調査実施概要

■調査実施内容

調査先	市民
調査実施期間	令和4年1月19日 ~2月7日
配布数	2,000
配布方法	郵送
回収数	713
回収率	35.7%

■報告書の見方

- 回答結果の割合「%」は、回答者数（n）に対して、それぞれの回答数の割合を小数点以下第2位で四捨五入しています。そのため、単数回答（複数の選択肢から1つの選択肢を選ぶ方式）であっても合計値が100%にならない場合があります。
- 複数回答（複数の選択肢から2つ以上の選択肢を選ぶ方式）の設問の場合、回答は選択肢ごとの回答者数（n）に対して、それぞれの割合を示しています。そのため、「%」合計が100%を超える場合があります。
- グラフ及び表中のn（number of case）は、集計対象者総数です。

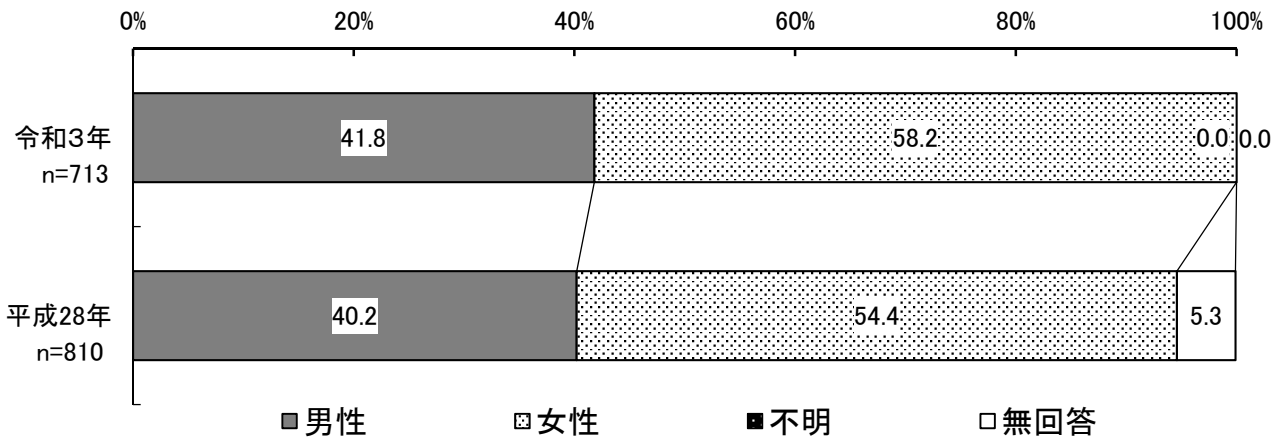
第2章 市民調査

1 属性

問1 性別

性別についてみると、「男性」41.8%、「女性」58.2%となっており、女性の方が16.4ポイント多くなっている。

平成28年調査（以降、前回調査という。）と比較して、男女比率の差はほとんどない。



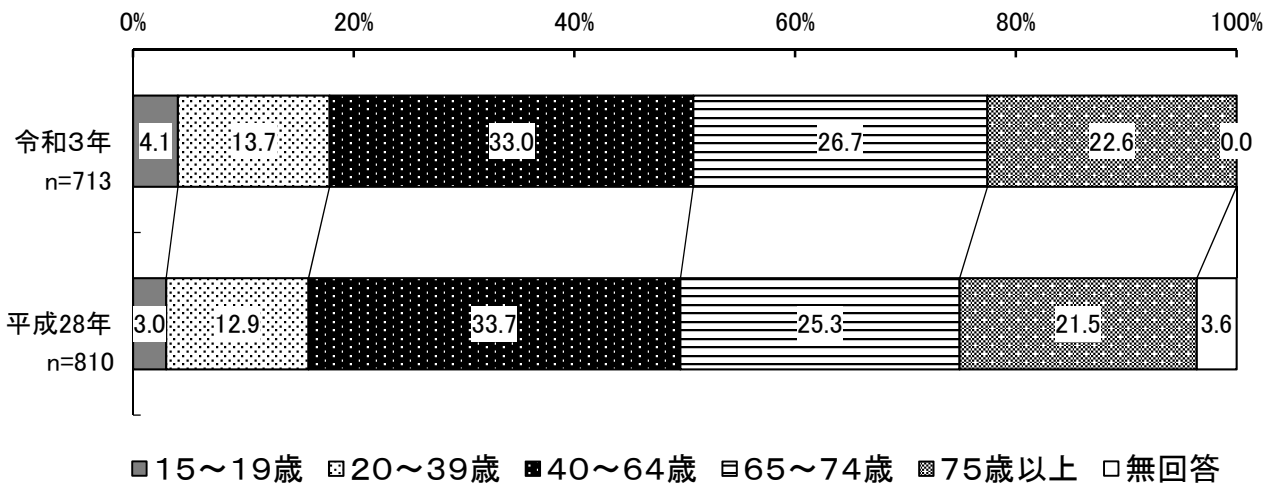
※前回調査では、「不明」の選択肢はありません。

問2 年齢（令和4年1月1日時点）

年齢についてみると、「40～64歳」33.0%と最も多く、以下、「65～74歳」26.7%、「75歳以上」22.6%、「20～39歳」13.7%、「15～19歳」4.1%の順となっている。

介護保険サービス対象者は、全体の49.3%を占めている。

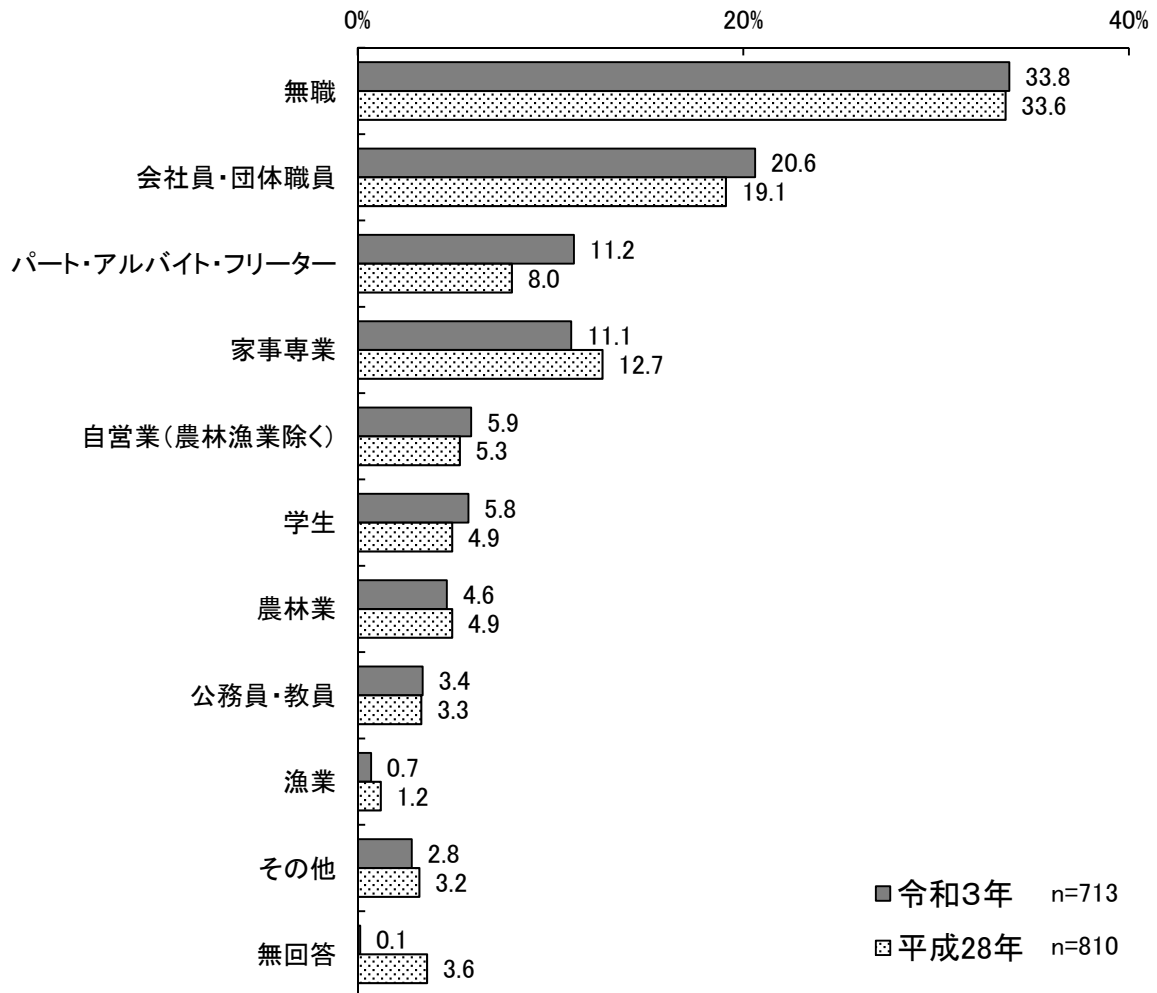
前回調査と比較して、年齢比率の差はほとんどない。



問3 職業

職業についてみると、「無職」33.8%と最も多く、以下、「会社員・団体職員」20.6%、「パート・アルバイト・フリーター」11.2%、「家事専業」11.1%などの順となっている。

前回調査と比較して、「パート・アルバイト・フリーター」が3.2ポイント増加し、「家事専業」が1.6ポイント減少している。



(その他の回答)

- ・警備員 ・歯科衛生士 ・専業主婦 ・農漁業 ・派遣社員 ・年金受給者(3件) ・事業所利用
- ・会社役員 ・医療従事者 ・住職 ・保育士(2件) ・書道教室 ・非常勤講師 ・サービス業

問4 世帯構成

世帯構成についてみると、「2世代の世帯（親と子、祖父母と孫など）」43.6%と最も多く、以下、「夫婦のみの世帯」28.8%、「ひとり世帯」15.0%、「3世代の世帯（親と子と孫など）」9.7%の順となっている。

前回調査と比較して、「ひとり世帯」が5.9ポイント増加、「夫婦のみの世帯」が1.9ポイント増加している。

世帯構成を居住年数別にみる。

「ひとり世帯」：「1年未満」38.5%と最も多く、「1年未満」では「2世代の世帯」と並び最多。

「夫婦のみの世帯」：「30年以上」33.8%と最も多い。

「2世代の世帯」：「10年以上20年未満」60.8%と最も多く、「10年以上20年未満」で最多。

「3世代の世帯」：「5年以上30年未満」の範囲で1割台。

世帯構成を年齢別にみる。

「ひとり世帯」：「75歳以上」28.0%と最も多い。

「夫婦のみの世帯」：「65～74歳」43.2%と最も多く、「65歳以上」で最多。

「2世代の世帯」：「15～39歳」の範囲で6割台、「15～64歳」の範囲で最多。

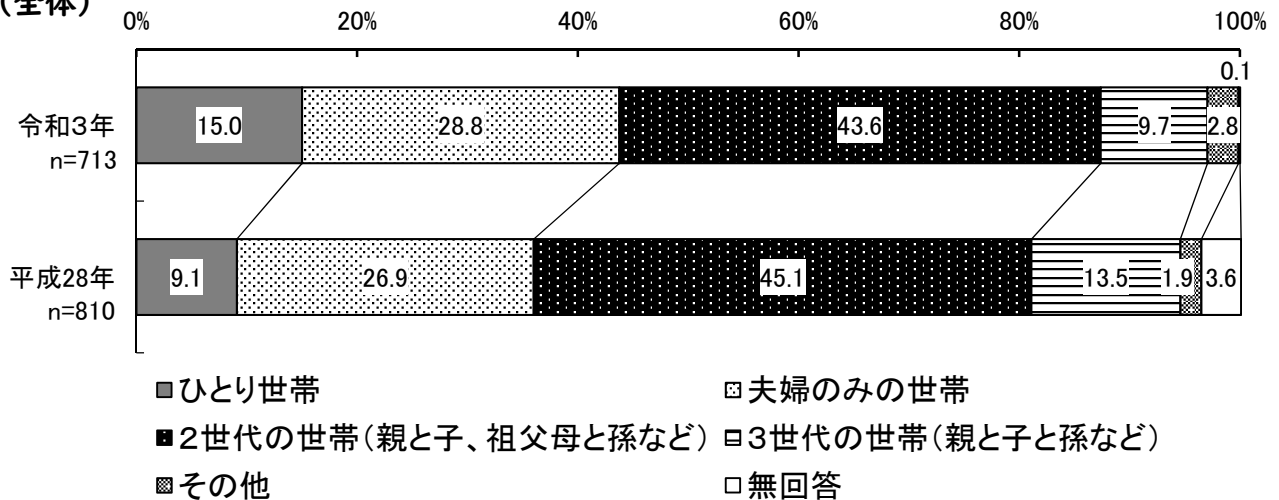
「3世代の世帯」：「15～19歳」24.1%と最も多く、年齢が高くなるほど減少している。

世帯構成を同居家族別にみる。

「ひとり世帯」：「在宅介護を必要とするかた」14.0%「障がいのあるかた」15.9%。

「夫婦のみの世帯」：「在宅介護を必要とするかた」18.6%「障がいのあるかた」29.0%。

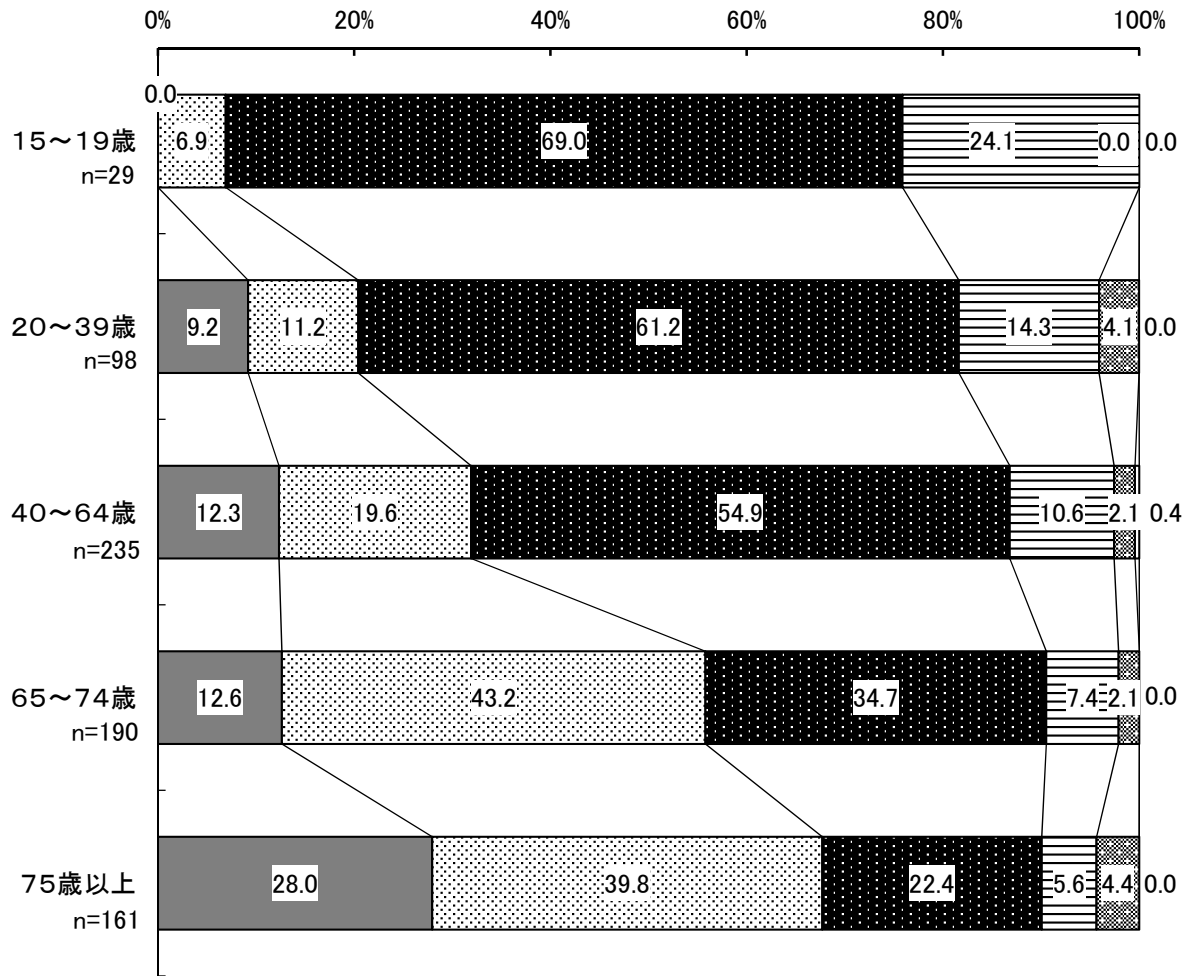
(全体)



(その他の回答)

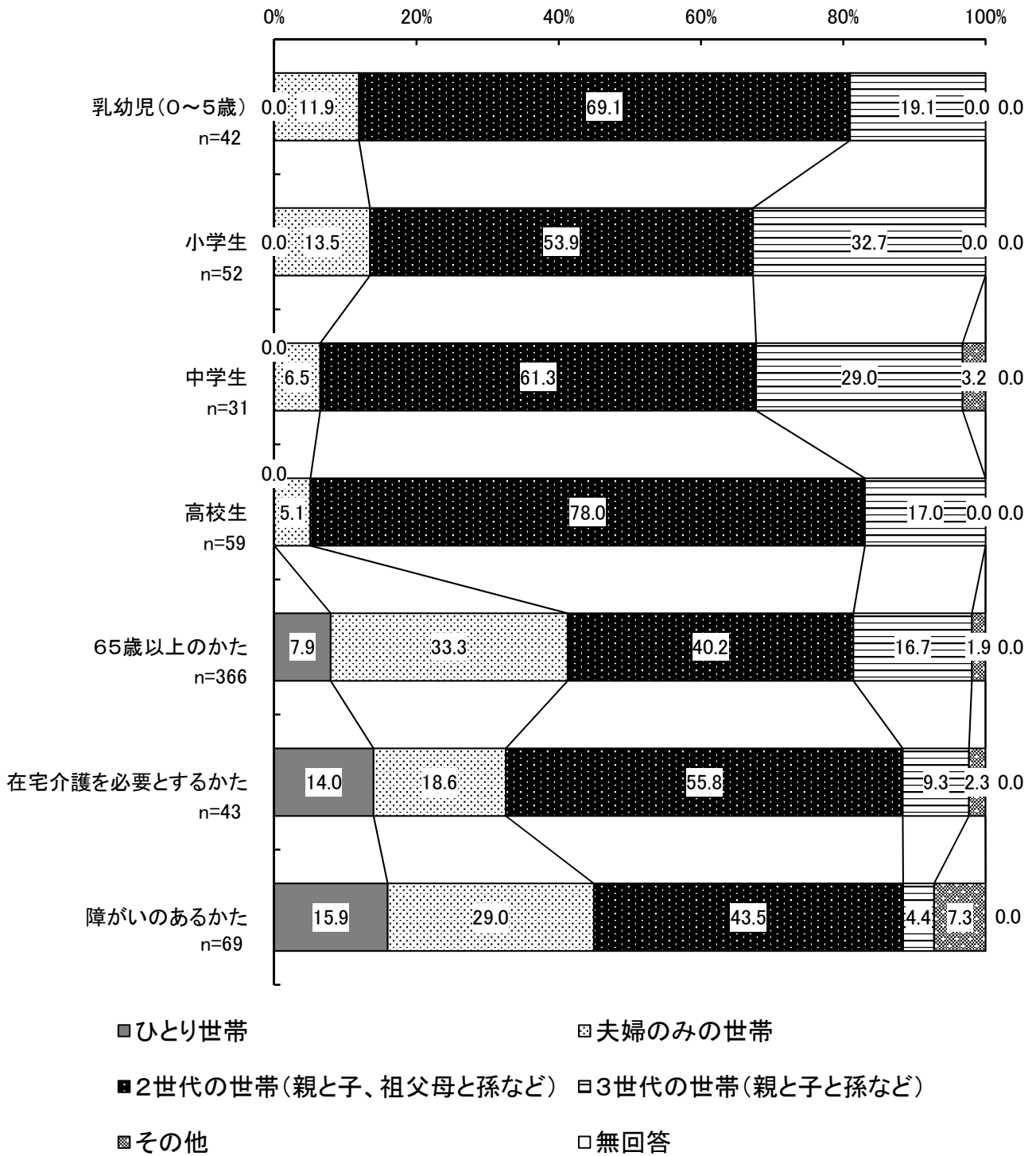
- ・夫婦と子2人 ・世帯主と姉 ・夫婦、娘 ・彼女と同居 ・親・妹 ・四世帯(親と子)
- ・自分、妹 ・二男と2人世帯 ・夫婦と母親 ・親、長男、夫婦、長女 ・親の家に同居

(年齢別)



- ひとり世帯
- 夫婦のみの世帯
- 2世代の世帯(親と子、祖父母と孫など)
- 3世代の世帯(親と子と孫など)
- その他
- 無回答

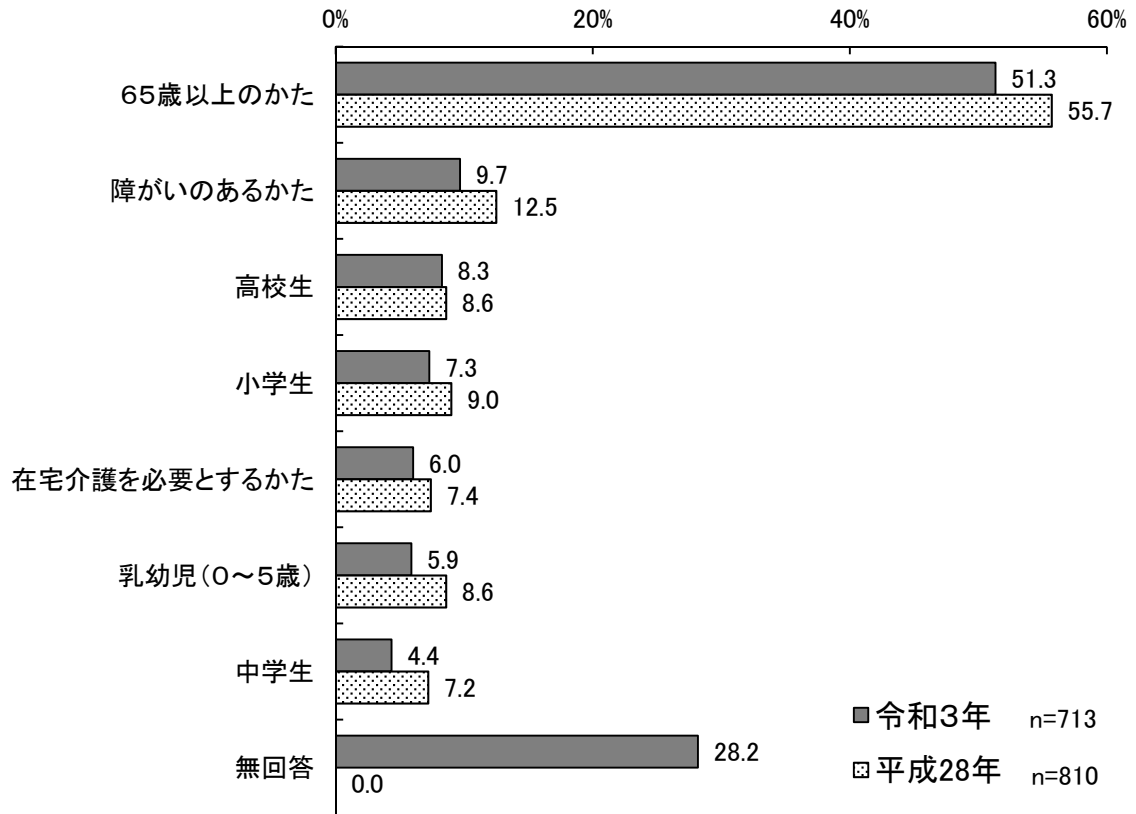
(同居家族別)



問5 同居家族（複数回答）

同居家族についてみると、「65歳以上のかた」51.3%と最も多く、以下、「障がいのあるかた」9.7%、「高校生」8.3%などの順となっている。
 前回調査と比較して、同居家族の比率の差はほとんどない。

（全体）

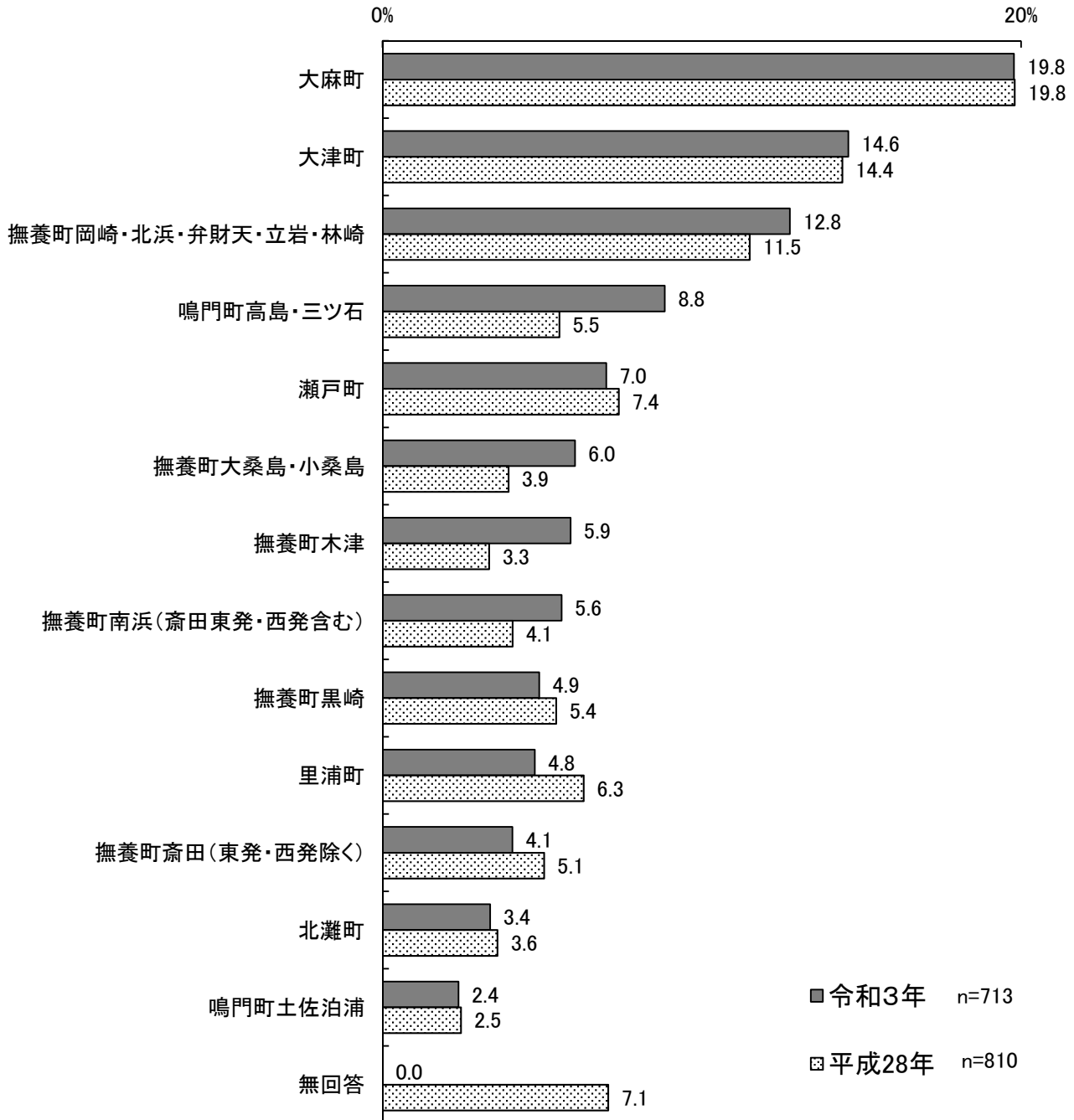


問6 居住地区

居住地区についてみると、「大麻町」19.8%と最も多く、以下、「大津町」14.6%、「撫養町岡崎・北浜・弁財天・立岩・林崎」12.8%などの順となっている。

前回調査と比較して、居住地区の比率の差はほとんどない。

(全体)



問7 居住年数

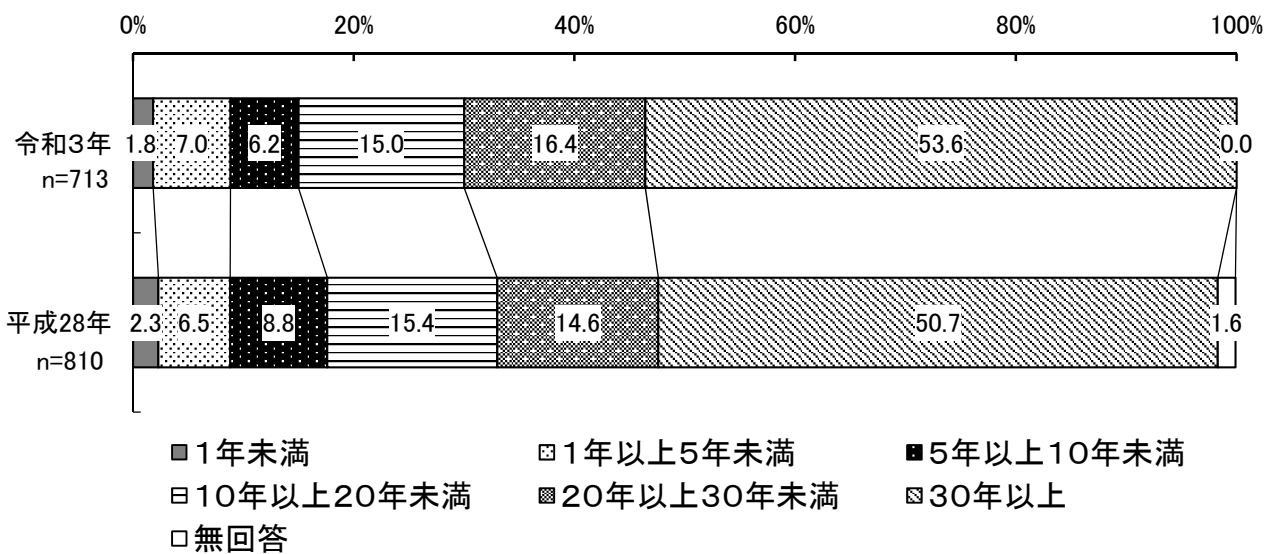
居住年数についてみると、「30年以上」53.6%と最も多く、以下、「20年以上30年未満」16.4%、「10年以上20年未満」15.0%などの順となっている。

20年以上の居住年数（「30年以上」と「20年以上30年未満」の合計。）は、全体の70.0%を占めている。

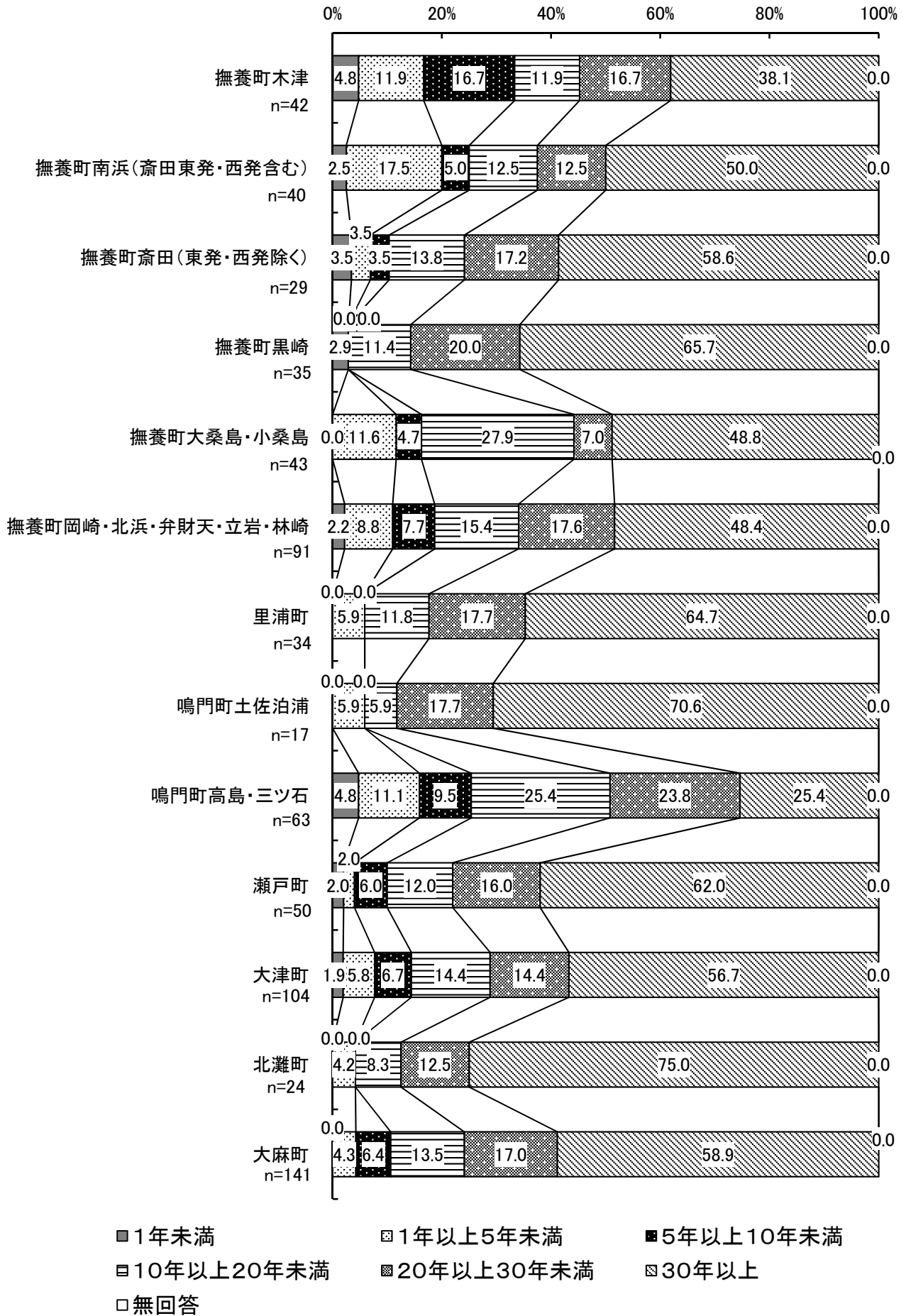
前回調査と比較して、20年以上の居住年数が4.7ポイント増加している。

居住年数を地区別にみると、鳴門町高島・三ツ石と撫養町木津は「30年以上」がそれぞれ25.4%、38.1%となっていて、他の地区に比べ大きく下回っている。

(全体)



(地区別)



2 調査結果

問8 あなたは、以下のようなことに不安や悩みを感じていますか。「コロナ禍以前」と「現在」でお答えください。（単数回答）

コロナ禍以前と現在での不安や悩みについてみると、コロナ禍以前に比べ全ての項目で現在の方が不安や悩みが多くなっており、「自分や家族の健康のこと」85.7%と最も多く、以下、「自分や家族の老後のこと」80.9%、「災害時の備えや避難に関すること」72.2%、「収入や家計に関すること」64.8%、「介護に関すること」64.4%などの順となっている。

前回調査と現在を比較し、全ての項目で現在の方が不安や悩みが多くなっているが、不安や悩みの上位項目は変わらない。

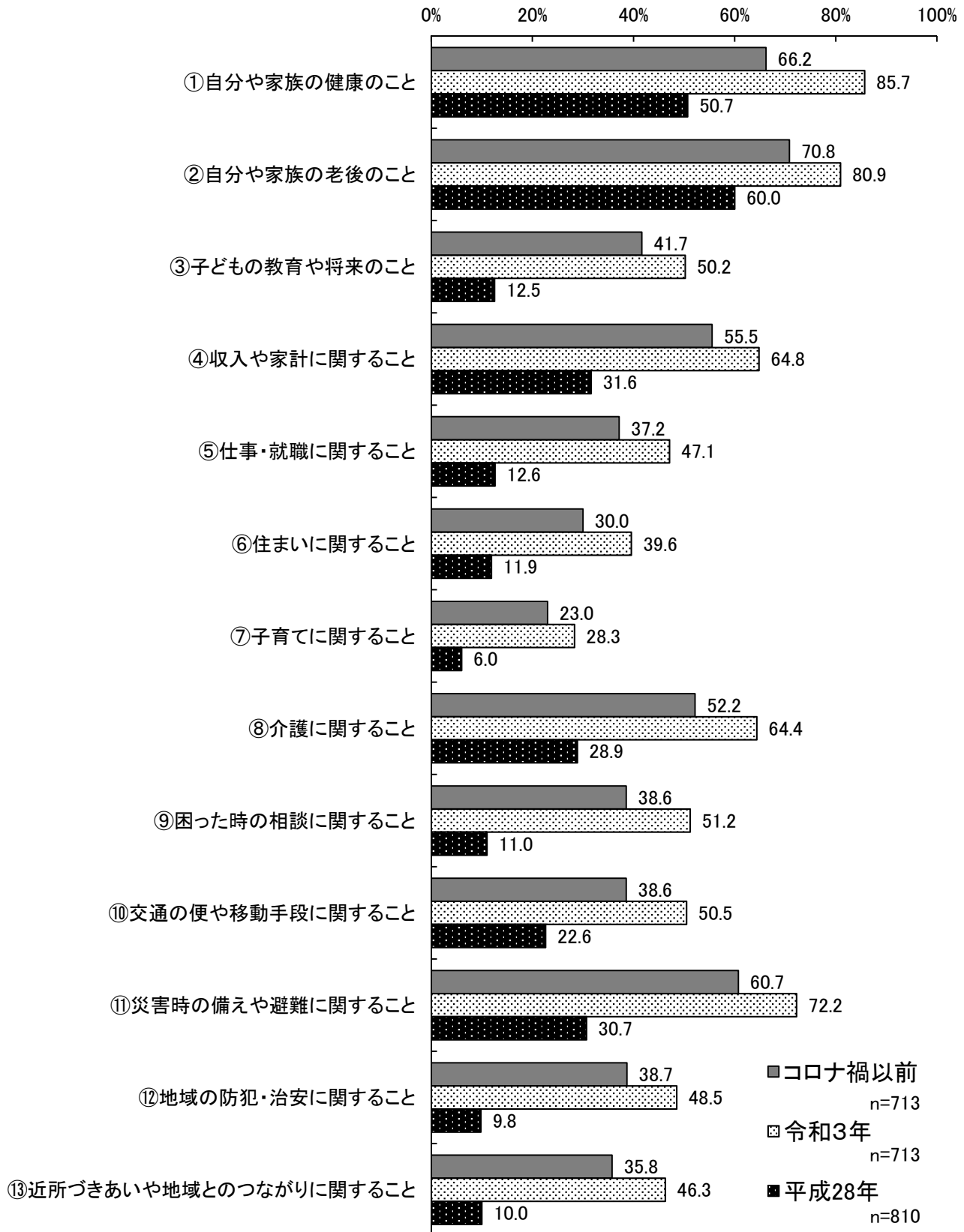
性別にみると、コロナ禍以前に比べ全ての項目で現在の方が不安や悩みが多くなっている。「介護に関すること」（男性56.7%、女性69.9%）は女性の方が13.2ポイント多く、「災害時の備えや避難に関すること」（男性64.8%、女性77.6%）は女性の方が12.8ポイント多くなっている。

年齢別にみると、全ての年代で「自分や家族の健康のこと」が最も多くなっている。15～19歳では、「自分や家族の健康のこと」と「災害時の備えや避難に関すること」が同率で最も多くなっている。

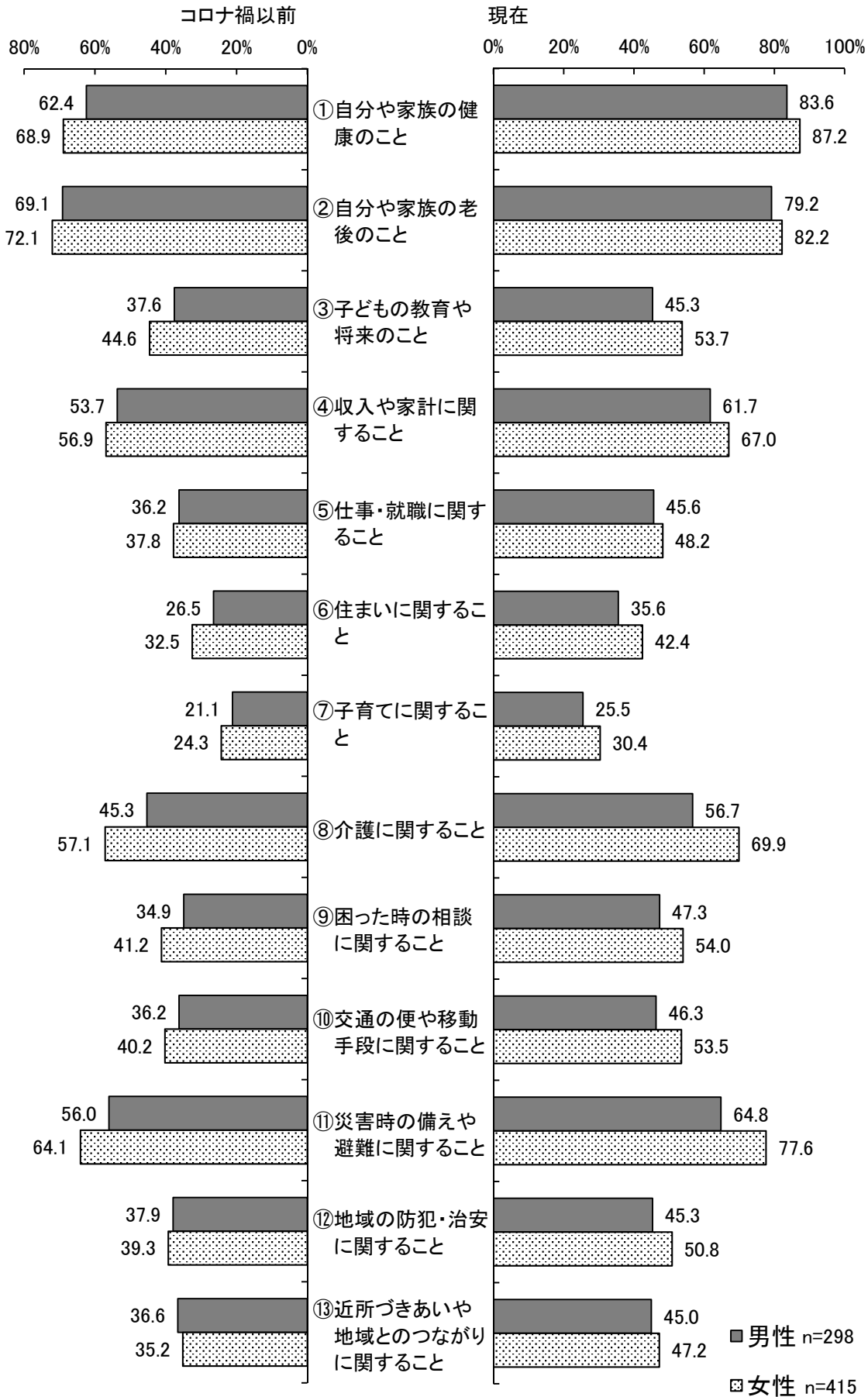
地区別にみると、里浦町を除く全ての地区で「自分や家族の健康のこと」が最も多くなっている。鳴門町土佐泊浦と北灘町では、「自分や家族の健康のこと」と「自分や家族の老後のこと」が同率で最も多く、里浦町では、「自分や家族の老後のこと」が最も多くなっている。

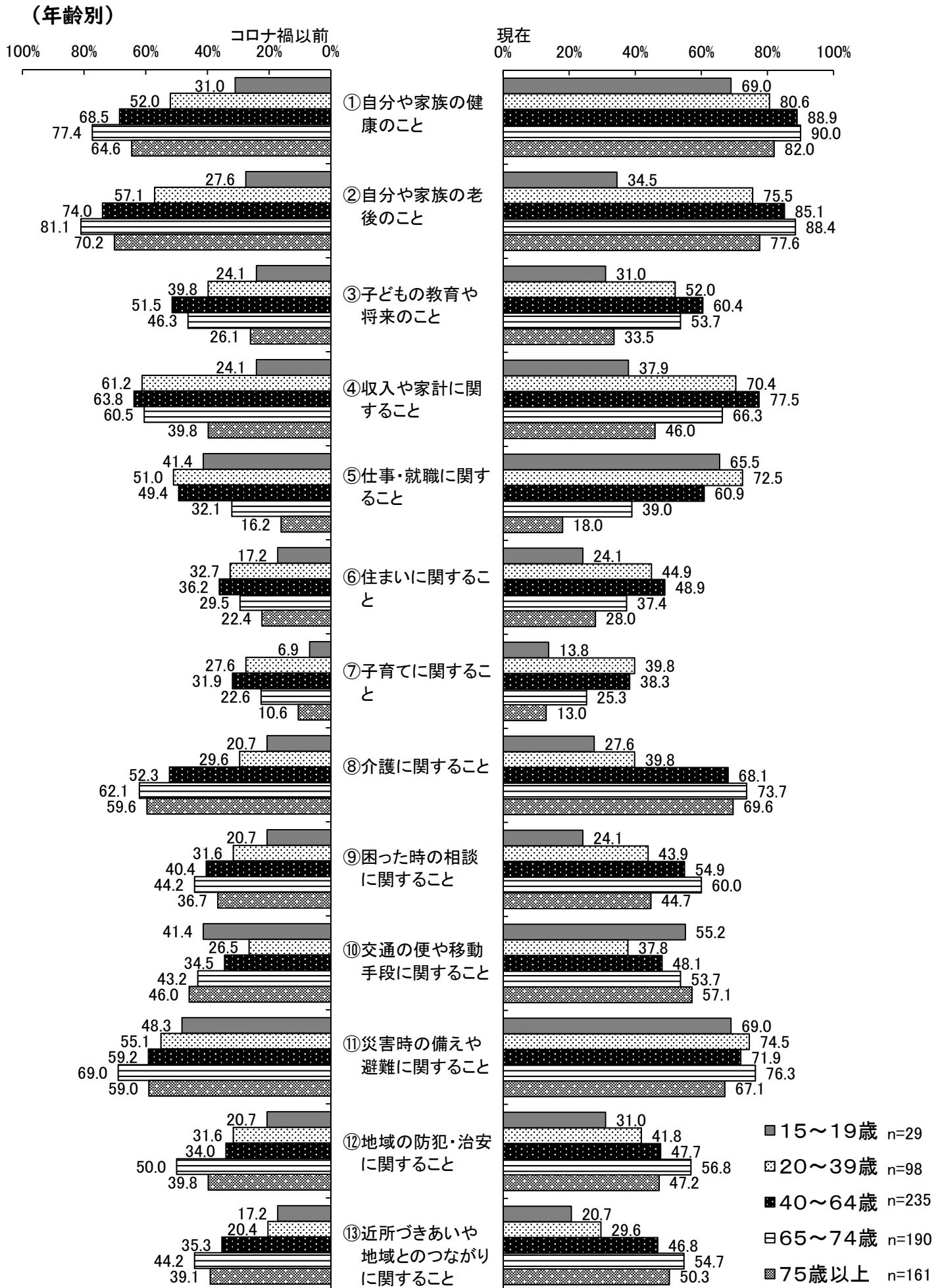
「介護に関すること」は、撫養町黒崎が80.0%となっている。「困った時の相談に関すること」は、撫養町南浜と大津町で6割を超えている。

(全体)



(性別)





(地区別)

単位：%

上段：コロナ禍以前 下段：現在	①自分や家族の健康のこと	②自分や家族の老後のこと	③子どもの教育や将来のこと	④収入や家計に関すること	⑤仕事・就職に関すること	⑥住まいに関すること	⑦子育てに関すること
撫養町木津	69.1	66.7	45.2	47.6	28.6	19.1	21.4
n=42	90.5	83.3	57.1	61.9	42.9	26.2	33.3
撫養町南浜	67.5	72.5	37.5	60.0	42.5	32.5	17.5
n=40	90.0	85.0	42.5	65.0	45.0	37.5	22.5
撫養町斎田	65.5	75.9	37.9	48.3	27.6	37.9	24.1
n=29	86.2	82.8	51.7	58.6	37.9	34.5	24.1
撫養町黒崎	65.7	80.0	51.4	68.6	48.6	37.1	25.7
n=35	94.3	82.9	60.0	71.4	60.0	42.9	34.3
撫養町大桑島・ 小桑島n=43	60.5	67.4	30.2	53.5	39.5	27.9	11.6
撫養町岡崎・北浜・ 弁財天・立岩・林崎n=91	79.1	76.7	46.5	62.8	44.2	44.2	16.3
里浦町	64.8	71.4	38.5	55.0	34.1	34.1	26.4
n=34	82.4	75.8	44.0	63.7	47.3	40.7	27.5
鳴門町土佐泊浦	52.9	70.6	38.2	50.0	29.4	23.5	11.8
n=17	79.4	85.3	47.1	58.8	41.2	38.2	17.7
鳴門町高島・三ツ石	64.7	82.4	58.8	52.9	41.2	29.4	35.3
n=63	82.4	82.4	58.8	70.6	52.9	58.8	47.1
瀬戸町	65.1	63.5	46.0	58.7	36.5	31.8	22.2
n=50	88.9	74.6	54.0	66.7	52.4	39.7	30.2
大津町	64.0	68.0	36.0	60.0	48.0	34.0	22.0
n=104	88.0	86.0	52.0	72.0	56.0	44.0	24.0
北灘町	72.1	79.8	45.2	61.5	39.4	36.5	34.6
n=24	87.5	84.6	53.9	68.3	51.0	47.1	41.4
大麻町	66.7	58.3	25.0	37.5	33.3	16.7	16.7
n=141	79.2	79.2	33.3	50.0	50.0	33.3	25.0
上段：コロナ禍以前 下段：現在	⑧介護に関すること	⑨困った時の相談に関すること	⑩交通の便や移動手段に関すること	⑪災害時の備えや避難に関すること	⑫地域の防犯・治安に関すること	⑬近所づきあいや地域とのつながりに関すること	
撫養町木津	45.2	19.1	31.0	61.9	31.0	21.4	
n=42	52.4	40.5	52.4	78.6	47.6	42.9	
撫養町南浜	55.0	45.0	40.0	67.5	42.5	37.5	
n=40	65.0	62.5	57.5	75.0	45.0	47.5	
撫養町斎田	58.6	44.8	37.9	69.0	48.3	37.9	
n=29	72.4	58.6	41.4	72.4	55.2	48.3	
撫養町黒崎	54.3	42.9	34.3	57.1	42.9	40.0	
n=35	80.0	51.4	42.9	71.4	51.4	51.4	
撫養町大桑島・ 小桑島n=43	39.5	34.9	34.9	51.2	34.9	30.2	
撫養町岡崎・北浜・ 弁財天・立岩・林崎n=91	48.8	39.5	41.9	60.5	39.5	37.2	
里浦町	56.0	38.5	38.5	65.9	37.4	35.2	
n=34	59.3	46.2	50.6	75.8	47.3	47.3	
鳴門町土佐泊浦	41.2	29.4	26.5	50.0	20.6	26.5	
n=17	67.7	47.1	41.2	70.6	35.3	38.2	
鳴門町高島・三ツ石	64.7	29.4	35.3	58.8	23.5	17.7	
n=63	76.5	47.1	58.8	70.6	41.2	41.2	
瀬戸町	44.4	39.7	38.1	55.6	47.6	34.9	
n=50	58.7	49.2	47.6	71.4	52.4	42.9	
大津町	56.0	42.0	38.0	56.0	36.0	40.0	
n=104	76.0	56.0	52.0	72.0	50.0	48.0	
北灘町	58.7	50.0	41.4	70.2	43.3	41.4	
n=24	72.1	61.5	52.9	79.8	56.7	54.8	
大麻町	50.0	33.3	54.2	54.2	41.7	33.3	
n=141	54.2	58.3	62.5	66.7	41.7	41.7	
	51.8	35.5	41.8	58.2	38.3	39.7	
	62.4	48.2	52.5	67.4	48.2	45.4	

問9 コロナ禍のなか、困ったことがあればご記入ください。（記述回答）

- 悩みの共有や相談する場がなくなった。
- 市外にいる子どもや親戚と会えない。
- 家族が濃厚接触者になり、子どもを預ける場所がない。
- 外出できないと、「人との交流が減る」、「通院できない」、「運動不足」、「入院している人と面会できない」、「旅行など楽しみが減った」等。
- コロナ禍で子どもがいる家庭が一緒にいる時間が多いと、「仕事ができない」、「ストレスがたまる」等。
- 仕事への影響が大きく、「収入が減る」、「売上げが減る」、「仕事が無くなった」等。
- 外出できないことで、治療や通院の不安や風邪等で気軽に受診できないこと。

問10 コロナ禍のなか、暮らし方で工夫したり変化したことがあればご記入ください。**（記述回答）**

- マスクの着用、三密を避ける、手洗いや消毒、換気等感染対策。
- 日常の不要不急の外出を控える。（買い物、外食等）
- 買い物はまとめて買い、外出回数を減らす。
- 混雑を避けた移動。

問11 あなたは、以下のことについて、どなたに（どこに）相談していますか（しますか）。（複数回答）

①自分や家族の健康のこと

自分や家族の健康のことをどなたに相談しているかについて、「身内（家族・親族）」72.2%と最も多く、以下、「友人」20.3%、「医療機関・福祉サービス事業所や職員」16.0%などの順となっている。

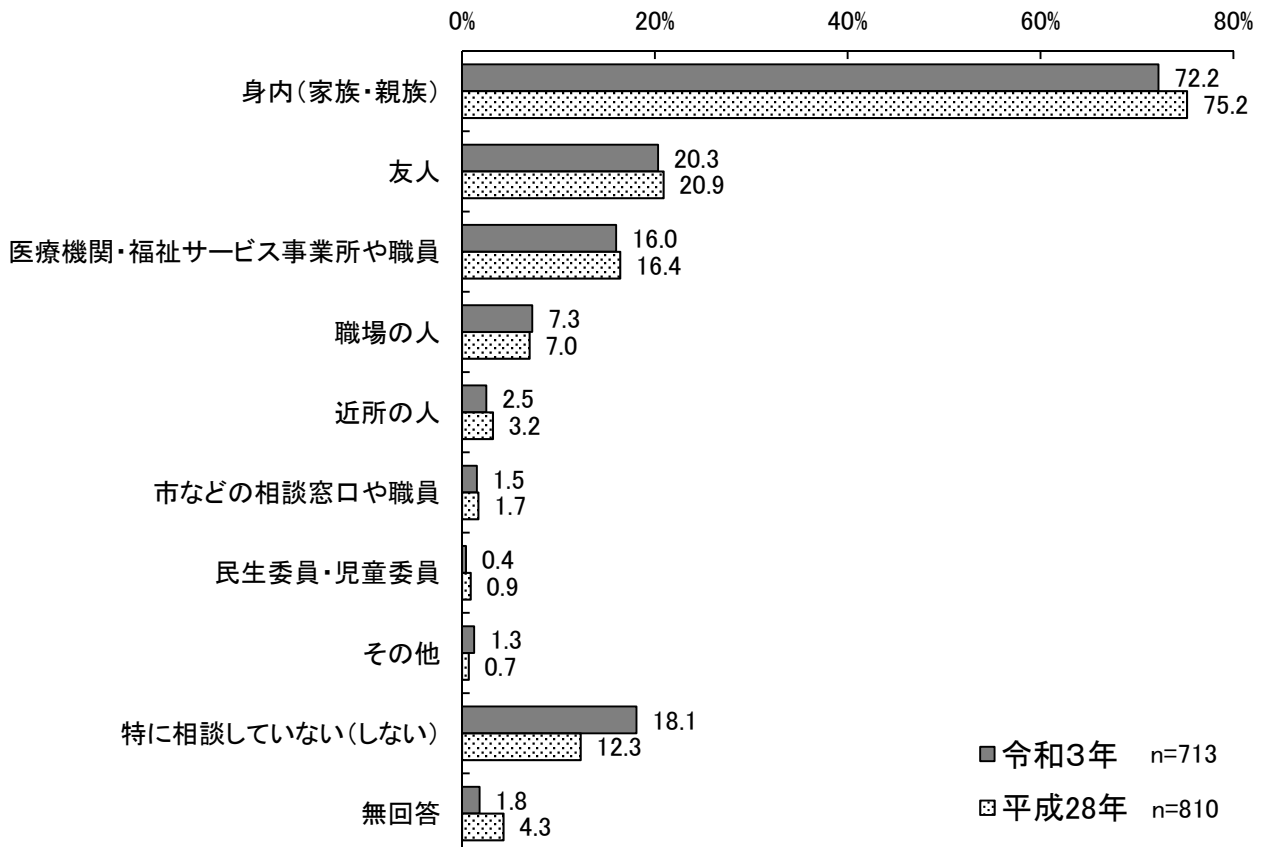
また、「特に相談していない（しない）」18.1%となっている。

前回調査と比較し、相談先の傾向に変化はほとんどない。

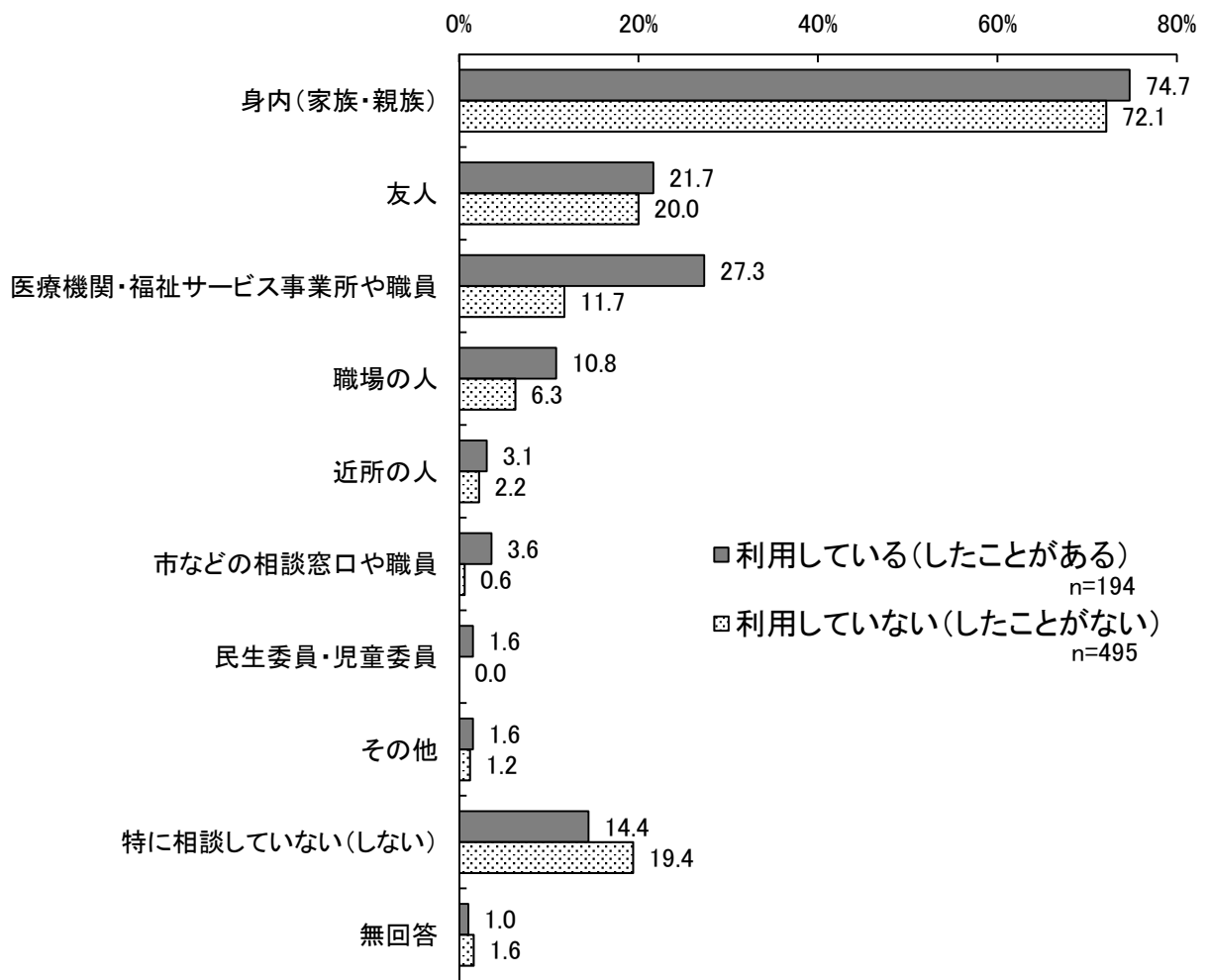
福祉サービスの利用有無別にみると、「身内（家族・親族）」と「友人」において差はなく、「医療機関・福祉サービス事業所や職員」で「利用している（したことがある）」が15.6ポイント多くなっている。

地区別にみると、全ての地区で「身内（家族・親族）」が最も多くなっている。北灘町を除く全ての地区で、「近所の人」は1割を超えている。

（全体）



(福祉サービスの利用)



(地区別)

単位：%

	身内 (家族・親族)	友人	近所の人	職場の人	医療機関・福祉サービス事業所や職員
撫養町木津 n=42	83.3	19.1	16.7	7.1	2.4
撫養町南浜 n=40	65.0	22.5	17.5	2.5	2.5
撫養町斎田 n=29	75.9	24.1	17.2	3.5	3.5
撫養町黒崎 n=35	77.1	11.4	20.0	2.9	0.0
撫養町大桑島・小桑島 n=43	67.4	18.6	11.6	11.6	2.3
撫養町岡崎・北浜・弁財天・立岩・林崎 n=91	72.5	19.8	19.8	13.2	0.0
里浦町 n=34	67.7	20.6	20.6	5.9	2.9
鳴門町土佐泊浦 n=17	58.8	17.7	17.7	0.0	5.9
鳴門町高島・三ツ石 n=63	65.1	20.6	19.1	3.2	1.6
瀬戸町 n=50	72.0	24.0	10.0	6.0	4.0
大津町 n=104	76.9	20.2	11.5	12.5	1.9
北灘町 n=24	79.2	25.0	8.3	4.2	0.0
大麻町 n=141	71.6	20.6	17.0	5.7	5.0
	民生委員・児童委員	市などの相談窓口や職員	その他	特に相談していない(しない)	無回答
撫養町木津 n=42	4.8	2.4	2.4	9.5	0.0
撫養町南浜 n=40	2.5	0.0	2.5	12.5	7.5
撫養町斎田 n=29	0.0	0.0	0.0	13.8	0.0
撫養町黒崎 n=35	5.7	2.9	5.7	11.4	2.9
撫養町大桑島・小桑島 n=43	0.0	0.0	0.0	16.3	4.7
撫養町岡崎・北浜・弁財天・立岩・林崎 n=91	1.1	0.0	2.2	16.5	3.3
里浦町 n=34	0.0	2.9	5.9	17.7	0.0
鳴門町土佐泊浦 n=17	0.0	0.0	0.0	29.4	0.0
鳴門町高島・三ツ石 n=63	0.0	0.0	1.6	23.8	3.2
瀬戸町 n=50	4.0	0.0	0.0	20.0	0.0
大津町 n=104	0.0	0.0	0.0	18.3	1.0
北灘町 n=24	0.0	0.0	0.0	12.5	4.2
大麻町 n=141	2.1	0.0	0.0	22.7	0.0

②自分や家族の生活や将来のこと

自分や家族の生活や将来のことをどなたに相談しているかについて、「身内（家族・親族）」67.9%と最も多く、以下、「友人」15.6%などの順となっている。

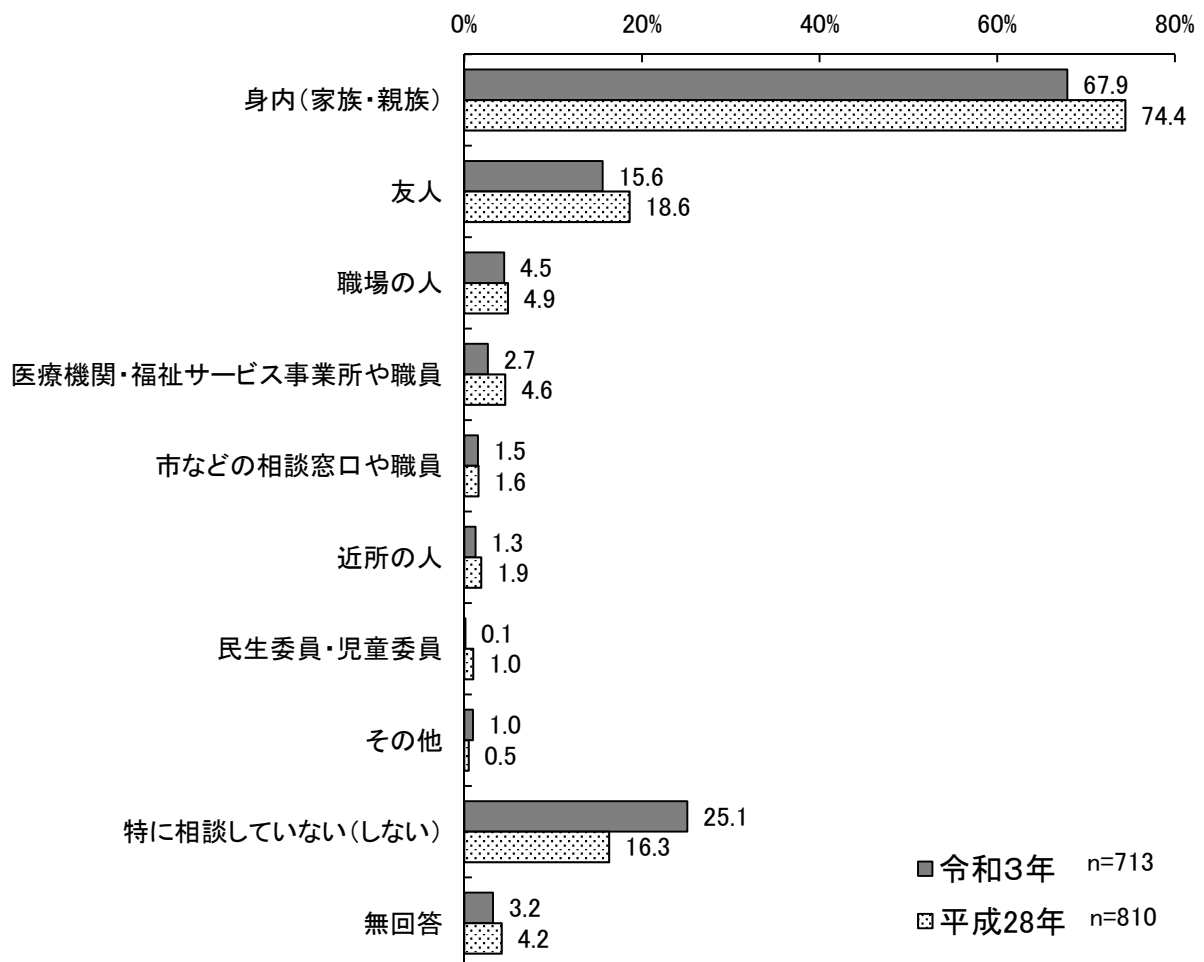
また、「特に相談していない（しない）」25.1%となっている。

前回調査と比較し、相談先の傾向に変化はほとんどない。

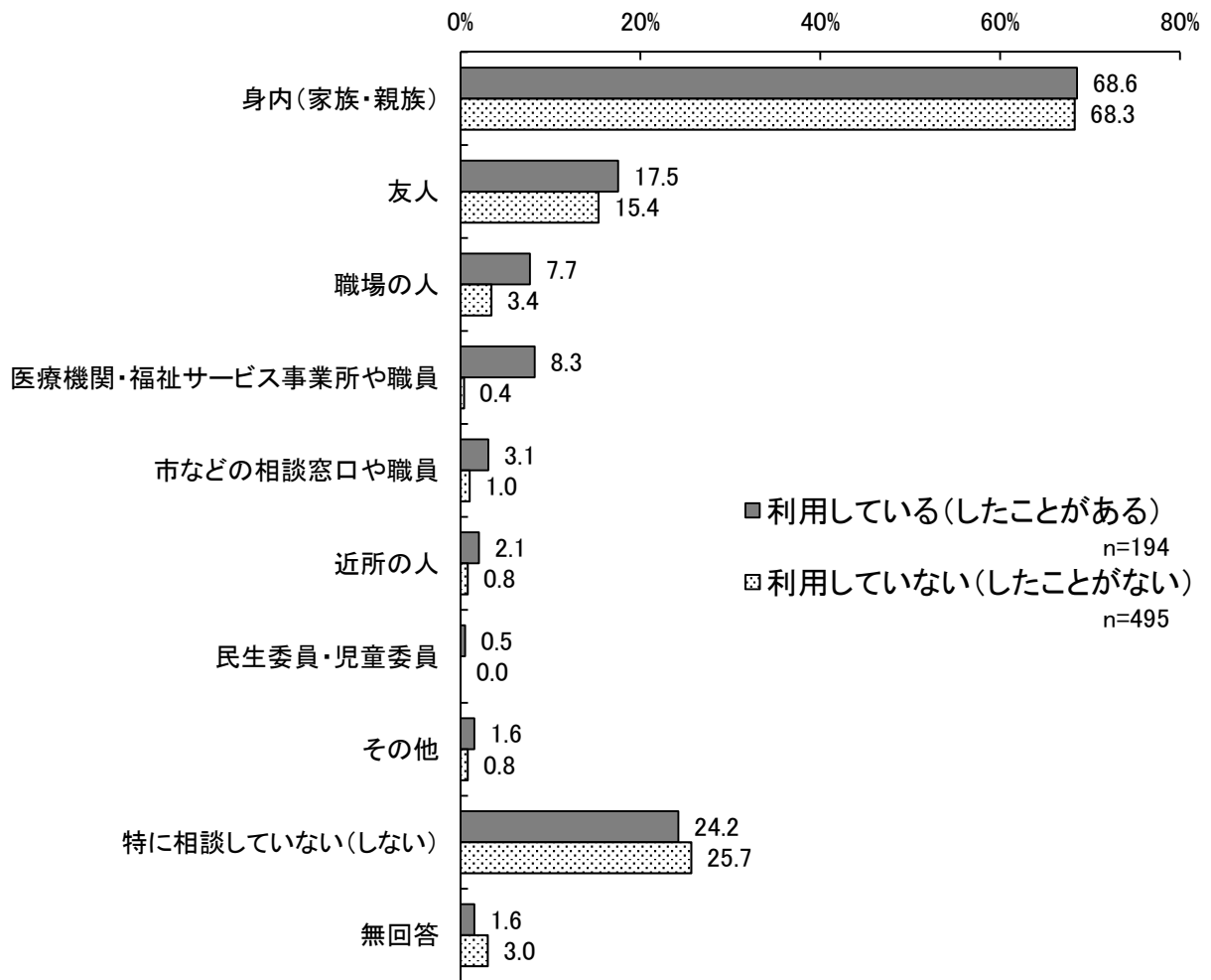
福祉サービスの利用有無別にみると、「身内（家族・親族）」と「友人」において差はなく、「職場の人」で「利用している（したことがある）」が4.3ポイント多く、「医療機関・福祉サービス事業所や職員」で「利用している（したことがある）」が7.9ポイント多くなっている。

地区別にみると、全ての地区で「身内（家族・親族）」が最も多くなっている。

(全体)



(福祉サービスの利用)



(地区別)

単位：%

	身内 (家族・親族)	友人	職場の人	医療機関・福 祉サービス事 業所や職員	市などの相談 窓口や職員
撫養町木津 n=42	81.0	16.7	4.8	0.0	2.4
撫養町南浜 n=40	60.0	7.5	0.0	7.5	7.5
撫養町斎田 n=29	69.0	10.3	0.0	3.5	0.0
撫養町黒崎 n=35	82.9	14.3	5.7	2.9	2.9
撫養町大桑島・ 小桑島 n=43	65.1	11.6	9.3	2.3	0.0
撫養町岡崎・北浜・ 弁財天・立岩・林崎 n=91	63.7	19.8	9.9	4.4	1.1
里浦町 n=34	64.7	11.8	2.9	5.9	2.9
鳴門町土佐泊浦 n=17	64.7	11.8	0.0	0.0	0.0
鳴門町高島・三ツ石 n=63	66.7	14.3	4.8	1.6	3.2
瀬戸町 n=50	72.0	26.0	2.0	2.0	0.0
大津町 n=104	67.3	16.4	5.8	1.9	0.0
北灘町 n=24	79.2	20.8	4.2	0.0	0.0
大麻町 n=141	64.5	14.2	2.1	2.1	1.4
	近所の人	民生委員・ 児童委員	その他	特に相談して いない(しな い)	無回答
撫養町木津 n=42	0.0	0.0	2.4	11.9	2.4
撫養町南浜 n=40	0.0	0.0	0.0	25.0	7.5
撫養町斎田 n=29	0.0	0.0	0.0	27.6	3.5
撫養町黒崎 n=35	0.0	0.0	2.9	11.4	2.9
撫養町大桑島・ 小桑島 n=43	2.3	0.0	0.0	23.3	7.0
撫養町岡崎・北浜・ 弁財天・立岩・林崎 n=91	2.2	0.0	2.2	24.2	6.6
里浦町 n=34	0.0	2.9	5.9	29.4	2.9
鳴門町土佐泊浦 n=17	5.9	0.0	0.0	35.3	0.0
鳴門町高島・三ツ石 n=63	0.0	0.0	0.0	27.0	3.2
瀬戸町 n=50	4.0	0.0	0.0	22.0	0.0
大津町 n=104	1.9	0.0	0.0	26.9	1.9
北灘町 n=24	0.0	0.0	4.2	16.7	4.2
大麻町 n=141	0.7	0.0	0.0	31.2	1.4

③介護に関すること

介護に関することをどなたに相談しているかについて、「身内（家族・親族）」44.7%と最も多く、以下、「医療機関・福祉サービス事業所や職員」13.3%などの順となっている。

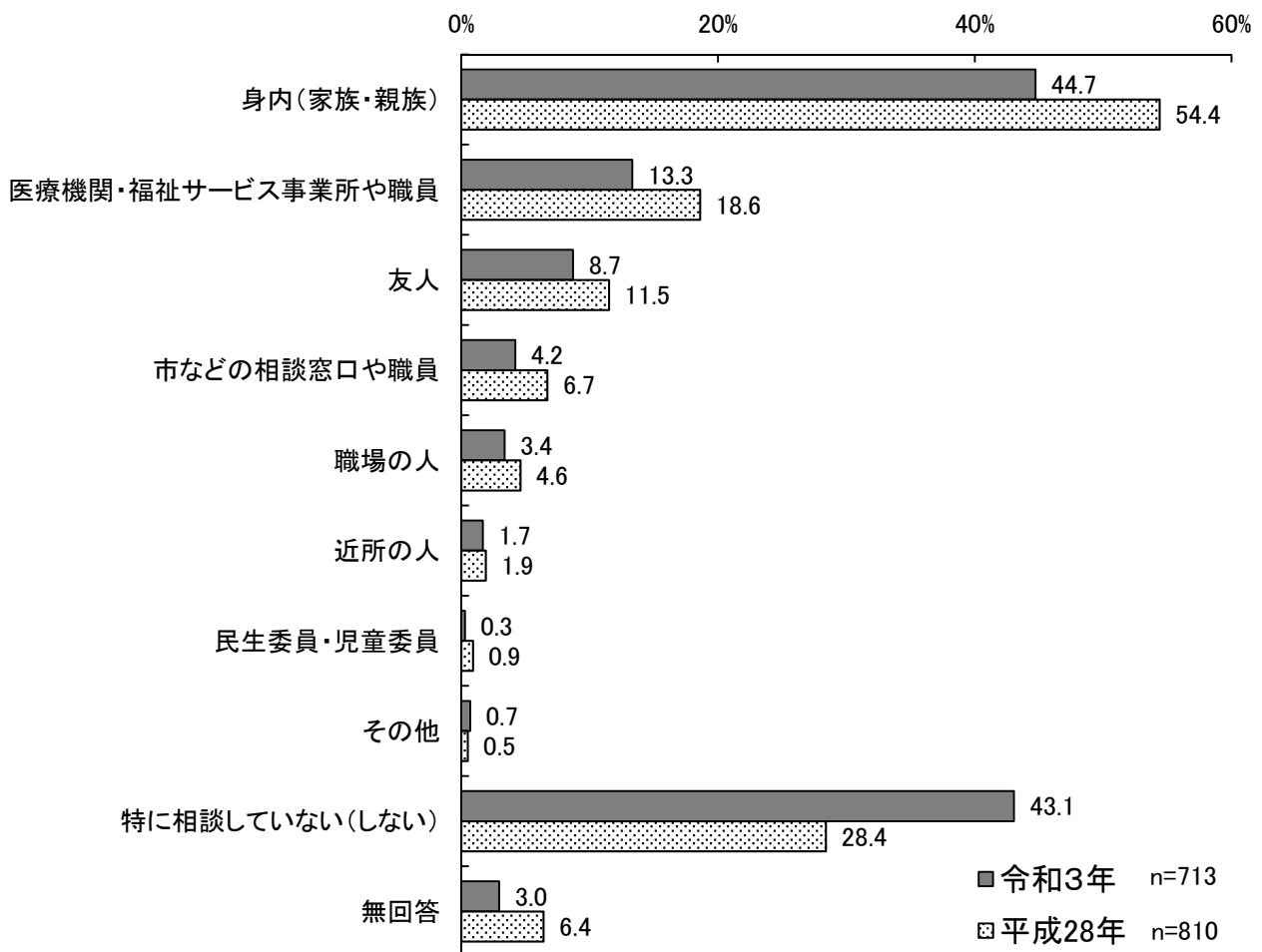
また、「特に相談していない（しない）」43.1%となっている。

前回調査と比較し、「身内（家族・親族）」で9.7ポイント減少し、「医療機関・福祉サービス事業所や職員」で5.3ポイント減少している。「特に相談していない（しない）」は14.7ポイント増加している。

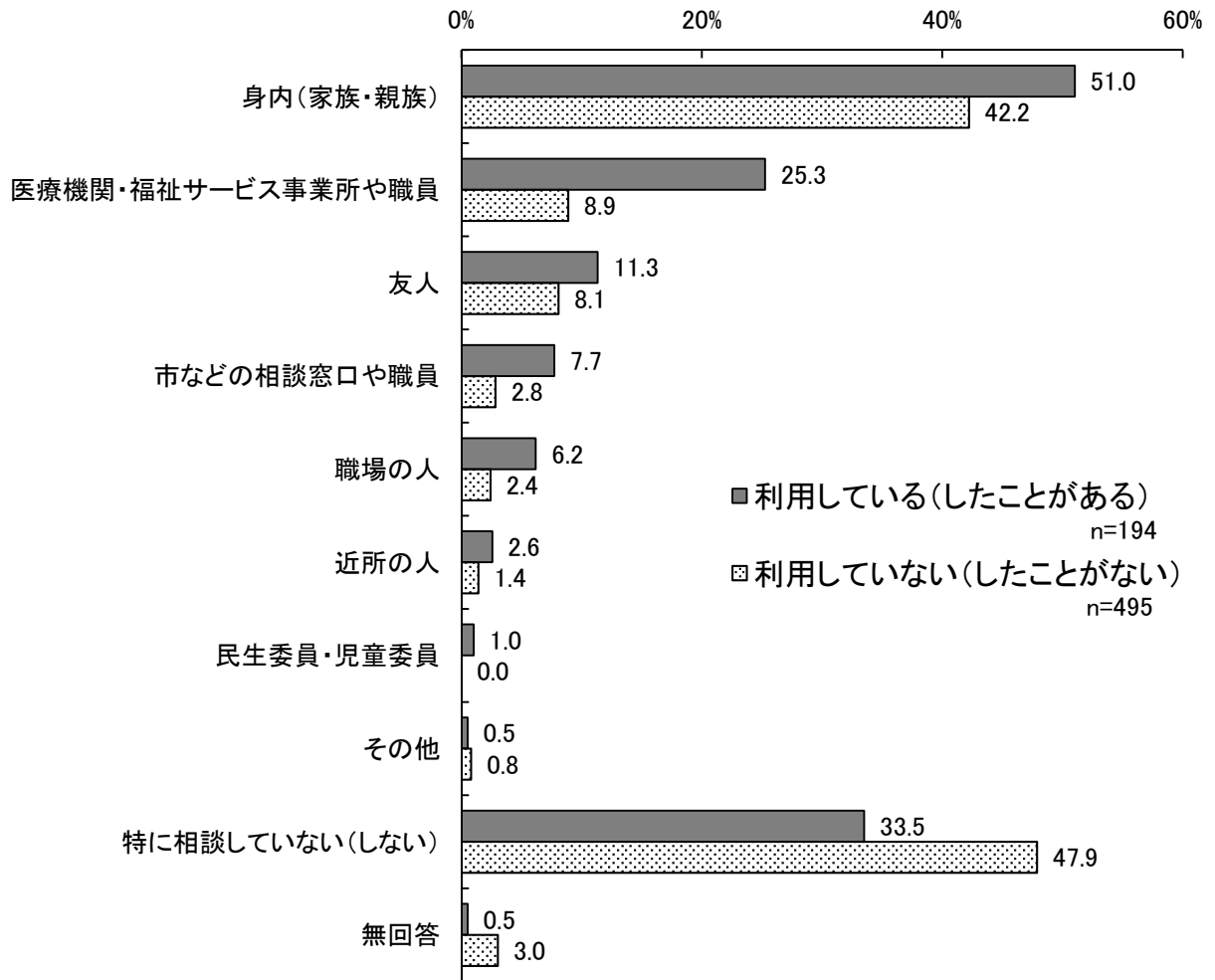
福祉サービスの利用有無別にみると、「身内（家族・親族）」で「利用している（したことがある）」が8.8ポイント多く、「医療機関・福祉サービス事業所や職員」で「利用している（したことがある）」が16.4ポイント多くなっている。

地区別にみると、里浦町と鳴門町土佐泊浦では、「医療機関・福祉サービス事業所や職員」が2割を超えている。

(全体)



(福祉サービスの利用)



(地区別)

単位：%

	身内 (家族・親族)	医療機関・福 祉サービス事 業所や職員	友人	市などの相談 窓口や職員	職場の人
撫養町木津 n=42	45.2	11.9	2.4	2.4	2.4
撫養町南浜 n=40	35.0	17.5	5.0	7.5	0.0
撫養町斎田 n=29	58.6	6.9	6.9	0.0	0.0
撫養町黒崎 n=35	60.0	14.3	8.6	17.1	2.9
撫養町大桑島・ 小桑島 n=43	39.5	4.7	4.7	0.0	7.0
撫養町岡崎・北浜・ 弁財天・立岩・林崎 n=91	46.2	15.4	15.4	3.3	11.0
里浦町 n=34	26.5	26.5	5.9	5.9	2.9
鳴門町土佐泊浦 n=17	52.9	23.5	23.5	0.0	0.0
鳴門町高島・三ツ石 n=63	42.9	12.7	7.9	4.8	3.2
瀬戸町 n=50	50.0	16.0	14.0	8.0	2.0
大津町 n=104	47.1	6.7	8.7	1.9	3.9
北灘町 n=24	62.5	16.7	12.5	4.2	0.0
大麻町 n=141	39.0	14.2	5.7	3.6	0.7
	近所の人	民生委員・ 児童委員	その他	特に相談して いない(しな い)	無回答
撫養町木津 n=42	0.0	0.0	2.4	45.2	2.4
撫養町南浜 n=40	2.5	0.0	2.5	35.0	10.0
撫養町斎田 n=29	0.0	0.0	0.0	34.5	0.0
撫養町黒崎 n=35	2.9	0.0	2.9	20.0	2.9
撫養町大桑島・ 小桑島 n=43	2.3	0.0	0.0	48.8	2.3
撫養町岡崎・北浜・ 弁財天・立岩・林崎 n=91	0.0	0.0	1.1	42.9	5.5
里浦町 n=34	5.9	2.9	0.0	52.9	2.9
鳴門町土佐泊浦 n=17	0.0	0.0	0.0	35.3	0.0
鳴門町高島・三ツ石 n=63	0.0	0.0	0.0	49.2	3.2
瀬戸町 n=50	4.0	0.0	2.0	34.0	0.0
大津町 n=104	0.0	0.0	0.0	43.3	0.0
北灘町 n=24	0.0	0.0	0.0	25.0	8.3
大麻町 n=141	3.6	0.7	0.0	52.5	2.8

④子育てに関すること

子育てに関することをどなたに相談しているかについて、「身内（家族・親族）」29.2%と最も多く、以下、1割未満となっている。

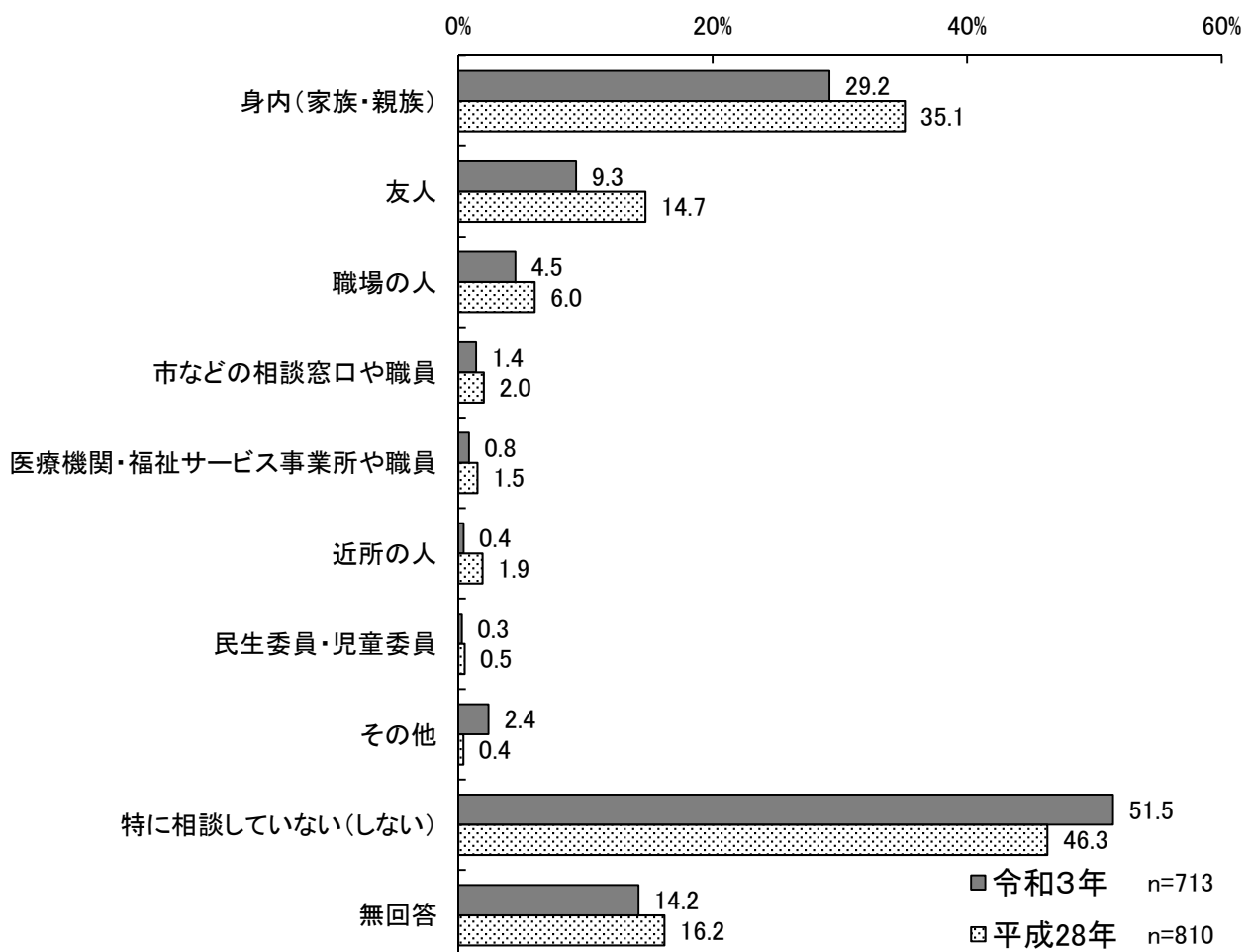
また、「特に相談していない（しない）」51.5%となっている。

前回調査と比較し、「身内（家族・親族）」で5.9ポイント減少し、「友人」で5.4ポイント減少している。「特に相談していない（しない）」は5.2ポイント増加している。

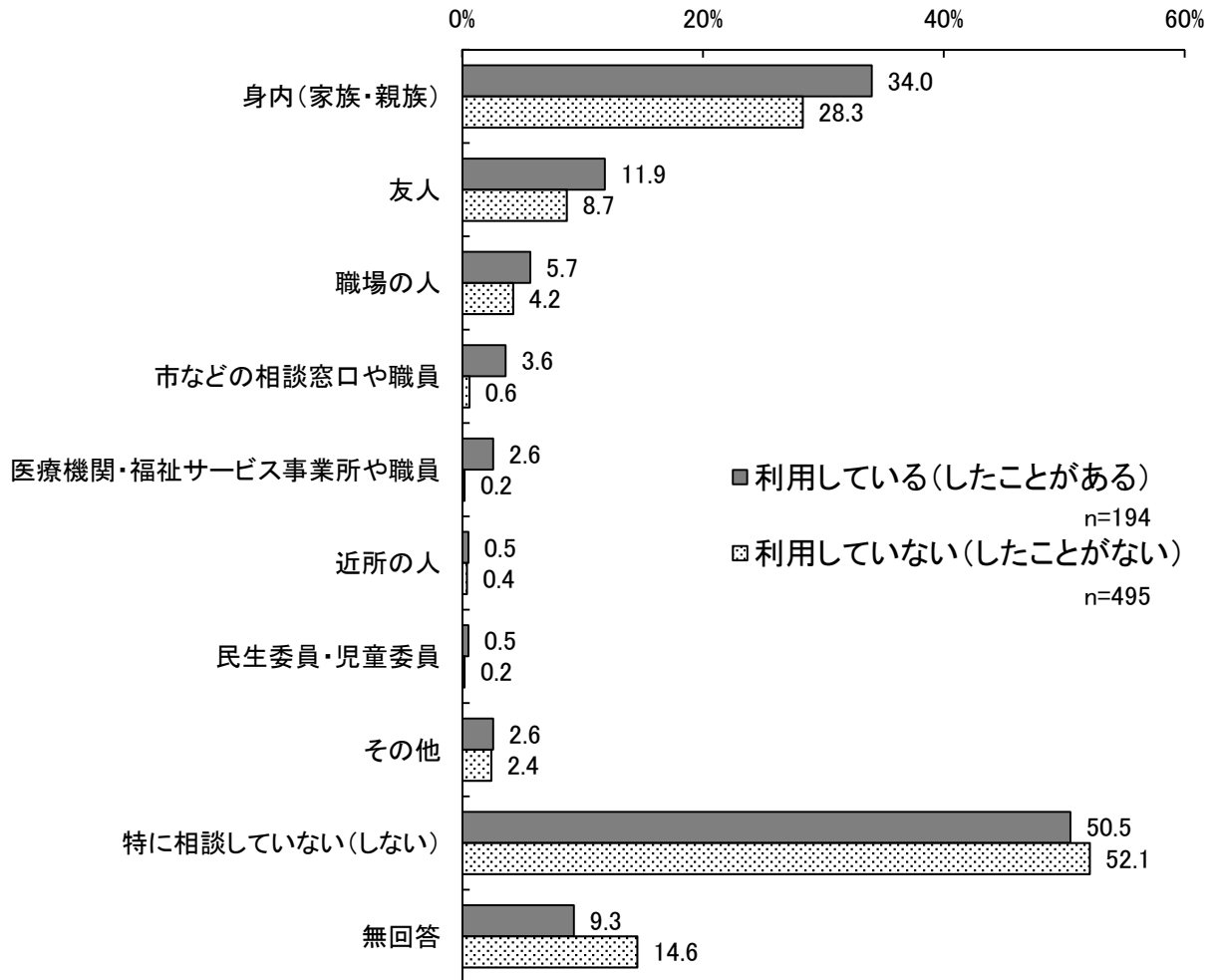
福祉サービスの利用有無別にみると、「身内（家族・親族）」で「利用している（したことがある）」が5.7ポイント多く、「友人」で「利用している（したことがある）」が3.2ポイント多くなっている。

地区別にみると、撫養町黒崎を除く全ての地区で、「特に相談していない（しない）」が最も多くなっている。

(全体)



(福祉サービスの利用)



(地区別)

単位：%

	身内 (家族・親族)	友人	職場の人	市などの相談 窓口や職員	医療機関・福 祉サービス事 業所や職員
撫養町木津 n=42	38.1	11.9	7.1	2.4	0.0
撫養町南浜 n=40	27.5	12.5	2.5	0.0	0.0
撫養町斎田 n=29	17.2	0.0	0.0	0.0	0.0
撫養町黒崎 n=35	37.1	5.7	2.9	5.7	0.0
撫養町大桑島・ 小桑島 n=43	23.3	9.3	4.7	0.0	0.0
撫養町岡崎・北浜・ 弁財天・立岩・林崎 n=91	31.9	11.0	8.8	2.2	3.3
里浦町 n=34	20.6	5.9	0.0	0.0	0.0
鳴門町土佐泊浦 n=17	23.5	17.7	0.0	0.0	0.0
鳴門町高島・三ツ石 n=63	33.3	11.1	6.4	1.6	0.0
瀬戸町 n=50	28.0	12.0	4.0	0.0	0.0
大津町 n=104	31.7	11.5	5.8	1.0	1.0
北灘町 n=24	25.0	8.3	0.0	0.0	0.0
大麻町 n=141	27.7	5.7	3.6	2.1	1.4
	近所の人	民生委員・ 児童委員	その他	特に相談して いない(しな い)	無回答
撫養町木津 n=42	0.0	0.0	4.8	47.6	4.8
撫養町南浜 n=40	0.0	0.0	2.5	50.0	20.0
撫養町斎田 n=29	0.0	0.0	3.5	48.3	31.0
撫養町黒崎 n=35	0.0	0.0	2.9	37.1	17.1
撫養町大桑島・ 小桑島 n=43	0.0	0.0	2.3	60.5	9.3
撫養町岡崎・北浜・ 弁財天・立岩・林崎 n=91	0.0	1.1	3.3	50.6	13.2
里浦町 n=34	0.0	0.0	2.9	58.8	17.7
鳴門町土佐泊浦 n=17	0.0	0.0	0.0	41.2	23.5
鳴門町高島・三ツ石 n=63	0.0	0.0	1.6	46.0	12.7
瀬戸町 n=50	0.0	0.0	0.0	48.0	18.0
大津町 n=104	1.0	0.0	1.9	55.8	7.7
北灘町 n=24	0.0	0.0	4.2	50.0	20.8
大麻町 n=141	1.4	0.7	2.1	55.3	14.2

⑤生活費など経済的問題

生活費など経済的問題をどなたに相談しているかについて、「身内（家族・親族）」43.2%と最も多く、以下、1割未満となっている。

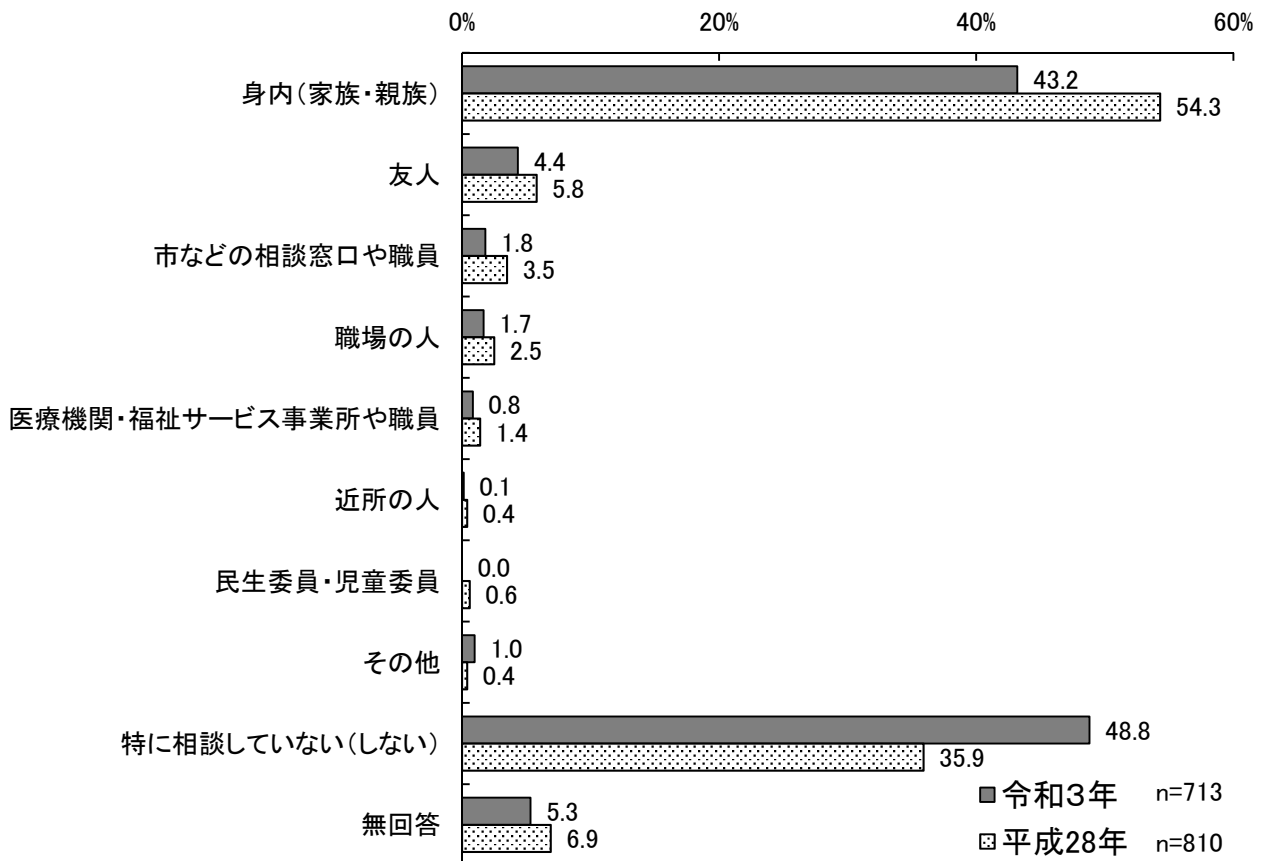
また、「特に相談していない（しない）」48.8%となっている。

前回調査と比較し、「身内（家族・親族）」で11.1ポイント減少している。「特に相談していない（しない）」は12.9ポイント増加している。

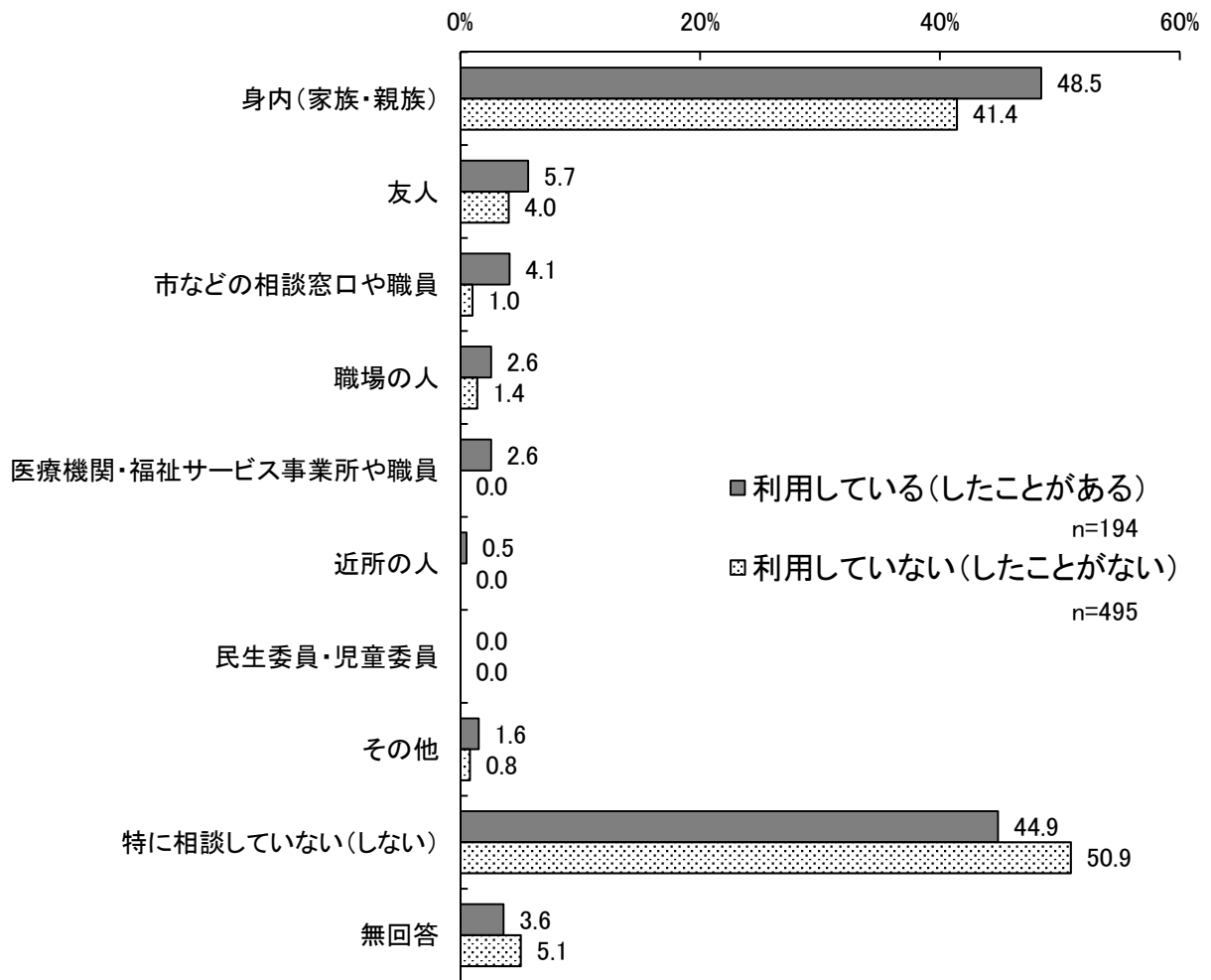
福祉サービスの利用有無別にみると、「身内（家族・親族）」で「利用している（したことがある）」が7.1ポイント多くなっている。

地区別にみると、撫養町斎田、撫養町黒崎、鳴門町高島・三ツ石、瀬戸町及び北灘町では「身内（家族・親族）」が最も多くなっている。

(全体)



(福祉サービスの利用)



(地区別)

単位：%

	身内 (家族・親族)	友人	市などの相談 窓口や職員	職場の人	医療機関・福 祉サービス事 業所や職員
撫養町木津 n=42	40.5	4.8	2.4	0.0	0.0
撫養町南浜 n=40	32.5	5.0	2.5	0.0	0.0
撫養町斎田 n=29	48.3	0.0	0.0	0.0	0.0
撫養町黒崎 n=35	57.1	2.9	5.7	2.9	2.9
撫養町大桑島・ 小桑島 n=43	44.2	7.0	0.0	4.7	0.0
撫養町岡崎・北浜・ 弁財天・立岩・林崎 n=91	41.8	5.5	1.1	4.4	2.2
里浦町 n=34	29.4	2.9	2.9	0.0	0.0
鳴門町土佐泊浦 n=17	35.3	0.0	0.0	0.0	0.0
鳴門町高島・三ツ石 n=63	52.4	6.4	3.2	0.0	0.0
瀬戸町 n=50	44.0	6.0	0.0	2.0	2.0
大津町 n=104	44.2	4.8	1.0	1.0	0.0
北灘町 n=24	62.5	4.2	0.0	0.0	0.0
大麻町 n=141	39.0	2.8	2.8	2.1	1.4
	近所の人	民生委員・ 児童委員	その他	特に相談して いない(しな い)	無回答
撫養町木津 n=42	0.0	0.0	4.8	45.2	4.8
撫養町南浜 n=40	0.0	0.0	0.0	52.5	10.0
撫養町斎田 n=29	0.0	0.0	0.0	44.8	6.9
撫養町黒崎 n=35	0.0	0.0	5.7	34.3	5.7
撫養町大桑島・ 小桑島 n=43	0.0	0.0	0.0	48.8	7.0
撫養町岡崎・北浜・ 弁財天・立岩・林崎 n=91	0.0	0.0	0.0	49.5	7.7
里浦町 n=34	0.0	0.0	0.0	55.9	14.7
鳴門町土佐泊浦 n=17	0.0	0.0	0.0	64.7	0.0
鳴門町高島・三ツ石 n=63	0.0	0.0	1.6	39.7	6.4
瀬戸町 n=50	0.0	0.0	0.0	44.0	6.0
大津町 n=104	1.0	0.0	0.0	51.0	1.9
北灘町 n=24	0.0	0.0	4.2	29.2	4.2
大麻町 n=141	0.0	0.0	0.7	56.7	2.1

⑥近所とのトラブル

近所とのトラブルをどなたに相談しているかについて、「身内（家族・親族）」28.2%と最も多く、以下、1割未満となっている。

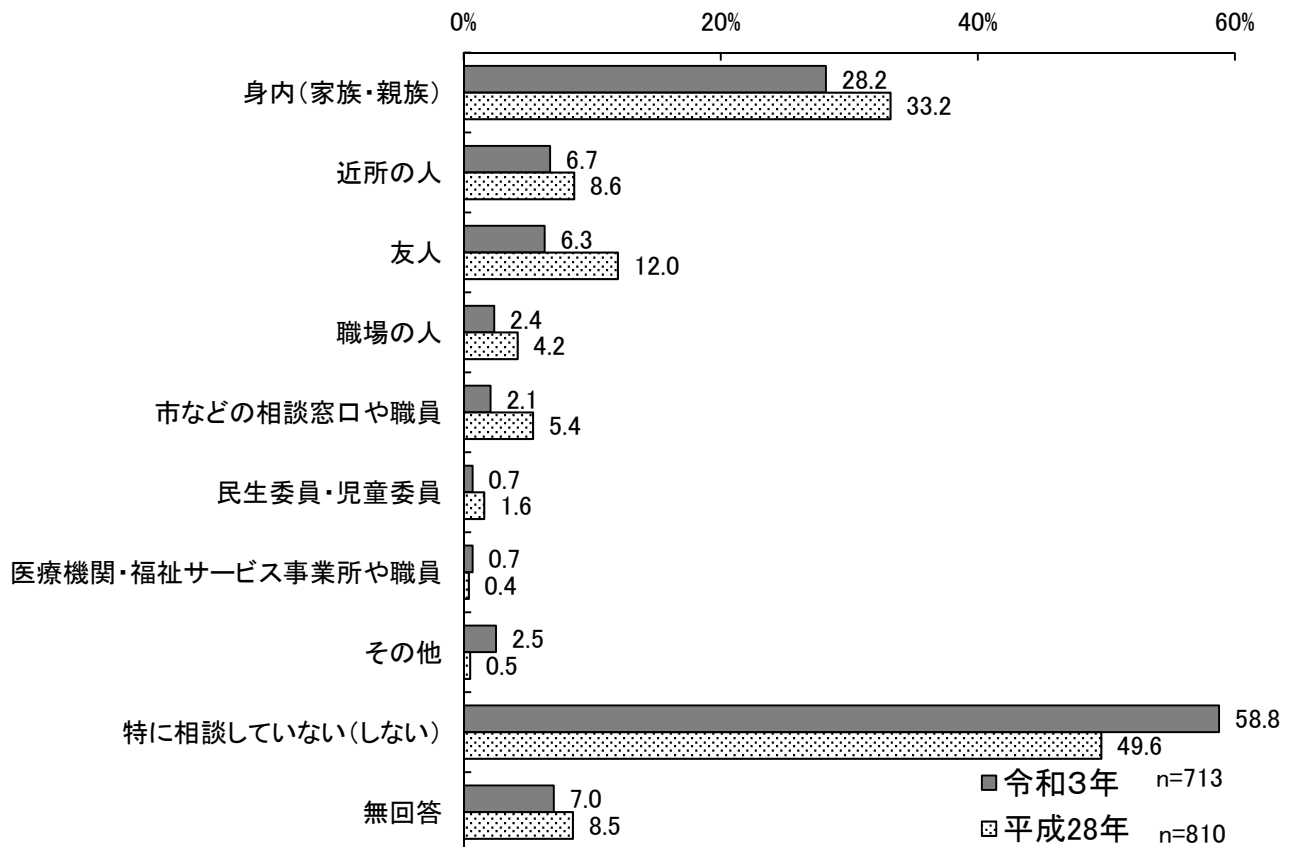
また、「特に相談していない（しない）」58.8%となっている。

前回調査と比較し、「身内（家族・親族）」で5.0ポイント減少している。「特に相談していない（しない）」は9.2ポイント増加している。

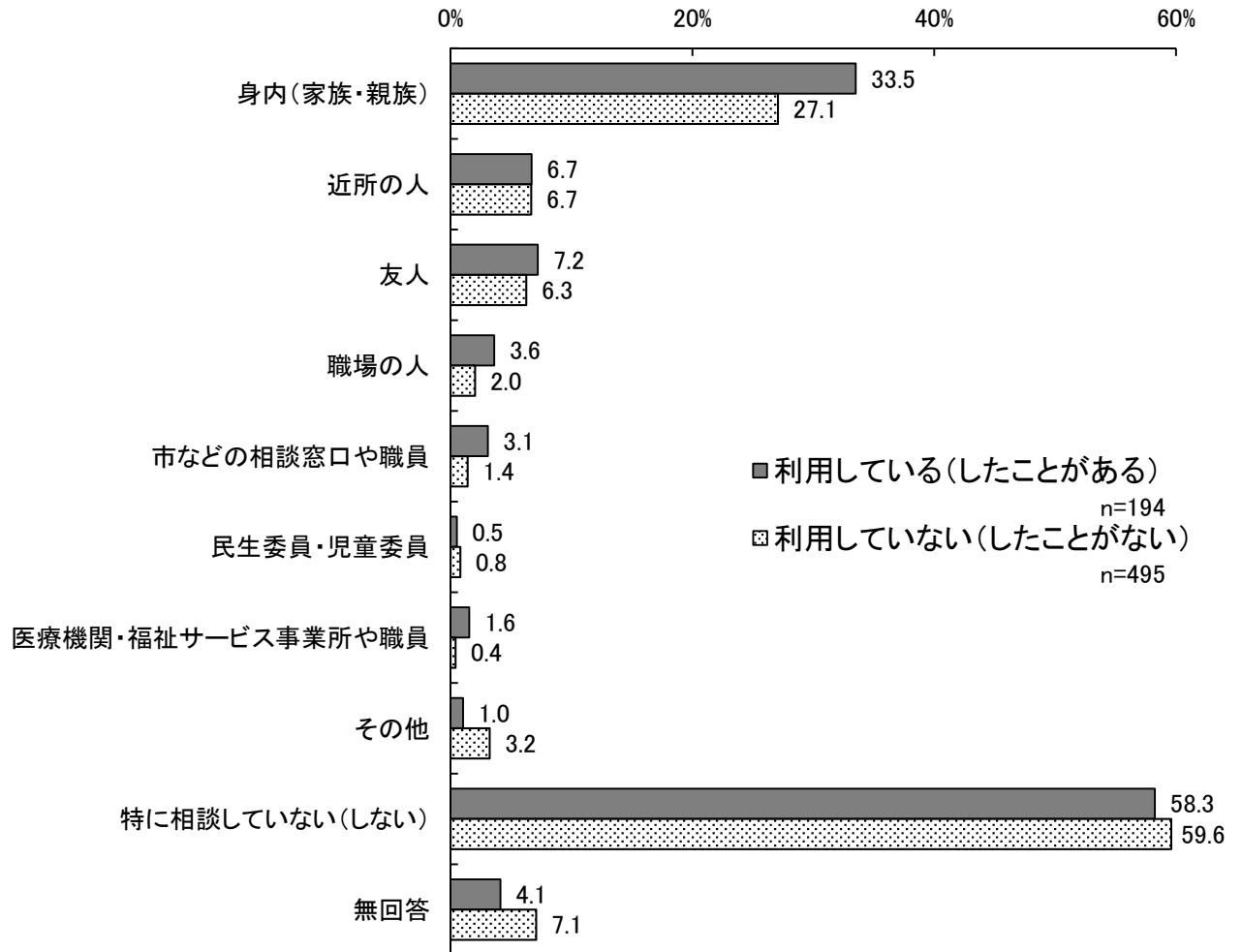
福祉サービスの利用有無別にみると、「身内（家族・親族）」で「利用している（したことがある）」が6.4ポイント多くなっている。

地区別にみると、撫養町黒崎及び北灘町を除く全ての地区で、「特に相談していない（しない）」が最も多くなっている。

(全体)



(福祉サービスの利用)



(地区別)

単位：%

	身内 (家族・親族)	近所の人	友人	職場の人	市などの相談 窓口や職員
撫養町木津 n=42	31.0	2.4	7.1	2.4	0.0
撫養町南浜 n=40	15.0	10.0	2.5	0.0	2.5
撫養町斎田 n=29	31.0	6.9	3.5	0.0	0.0
撫養町黒崎 n=35	42.9	2.9	2.9	0.0	2.9
撫養町大桑島・ 小桑島 n=43	11.6	2.3	2.3	2.3	2.3
撫養町岡崎・北浜・ 弁財天・立岩・林崎 n=91	29.7	9.9	6.6	6.6	2.2
里浦町 n=34	11.8	8.8	5.9	2.9	2.9
鳴門町土佐泊浦 n=17	23.5	5.9	11.8	0.0	0.0
鳴門町高島・三ツ石 n=63	28.6	4.8	3.2	1.6	3.2
瀬戸町 n=50	34.0	8.0	8.0	2.0	0.0
大津町 n=104	28.9	4.8	6.7	3.9	1.9
北灘町 n=24	41.7	8.3	12.5	0.0	0.0
大麻町 n=141	30.5	8.5	8.5	1.4	3.6
	民生委員・ 児童委員	医療機関・福 祉サービス事 業所や職員	その他	特に相談して いない(しな い)	無回答
撫養町木津 n=42	0.0	0.0	4.8	61.9	4.8
撫養町南浜 n=40	2.5	2.5	0.0	65.0	12.5
撫養町斎田 n=29	0.0	0.0	6.9	44.8	17.2
撫養町黒崎 n=35	0.0	0.0	2.9	40.0	8.6
撫養町大桑島・ 小桑島 n=43	0.0	2.3	4.7	69.8	7.0
撫養町岡崎・北浜・ 弁財天・立岩・林崎 n=91	1.1	0.0	0.0	58.2	8.8
里浦町 n=34	2.9	0.0	2.9	70.6	8.8
鳴門町土佐泊浦 n=17	0.0	5.9	11.8	64.7	0.0
鳴門町高島・三ツ石 n=63	1.6	0.0	1.6	58.7	9.5
瀬戸町 n=50	0.0	2.0	2.0	54.0	8.0
大津町 n=104	0.0	0.0	1.9	62.5	2.9
北灘町 n=24	0.0	0.0	8.3	37.5	12.5
大麻町 n=141	0.7	0.7	1.4	59.6	3.6

問12 あなたは、ふだん近所の人との程度の付き合いをされていますか。

(単数回答)

ふだん近所の人との程度の付き合いについて、「たまに立ち話する程度」33.0%と最も多く、以下、「会えばあいさつはするが、話したりすることはほとんどない」29.5%、「親しく付きあっている近隣者がいる」13.0%などの順となっている。

前回調査と比較し、「親しく付きあっている近隣者がいる」で6.0ポイント減少している。「付き合いがない」が3.0ポイント増加している。

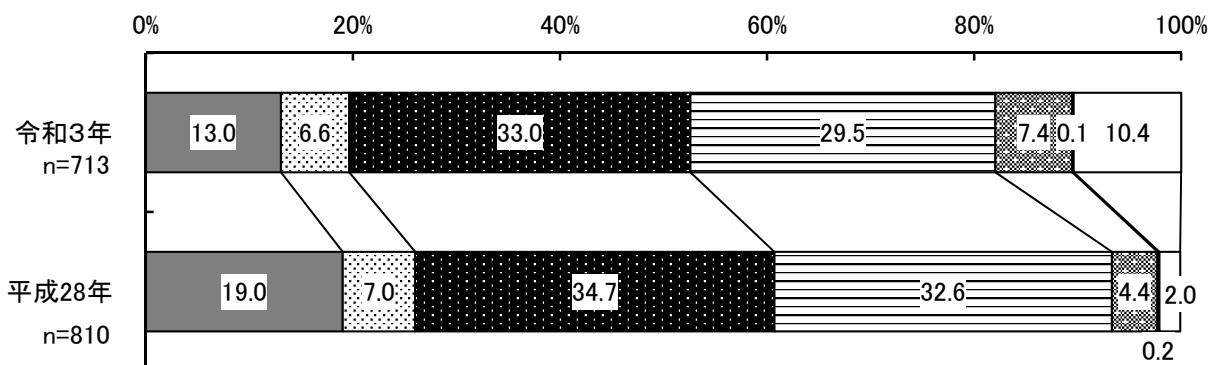
性別にみると、「親しく付きあっている近隣者がいる」(男性11.1%、女性14.5%)は女性の方が3.4ポイント多く、「付き合いがない」(男性9.1%、女性6.3%)は男性の方が2.8ポイント多くなっている。

年齢別にみると、40歳以上で「たまに立ち話する程度」が最も多くなっている。年齢が高いほど「親しく付きあっている近隣者がいる」の割合が多くなっている。

地区別にみると、鳴門町土佐泊浦、瀬戸町及び北灘町で「親しく付きあっている近隣者がいる」が2割を超えている。

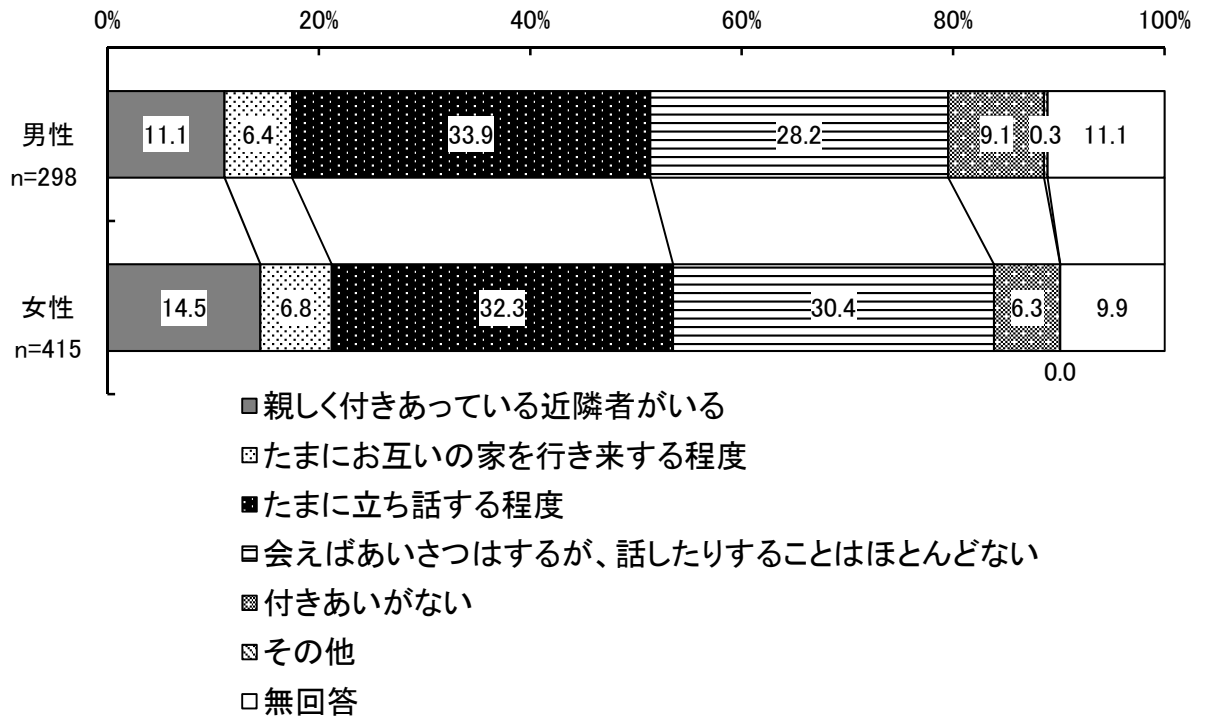
居住年数別にみると、1年未満と30年以上で「親しく付きあっている近隣者がいる」が1割台となっている。30年未満で「会えばあいさつはするが、話したりすることはほとんどない」が最も多くなっている。

(全体)

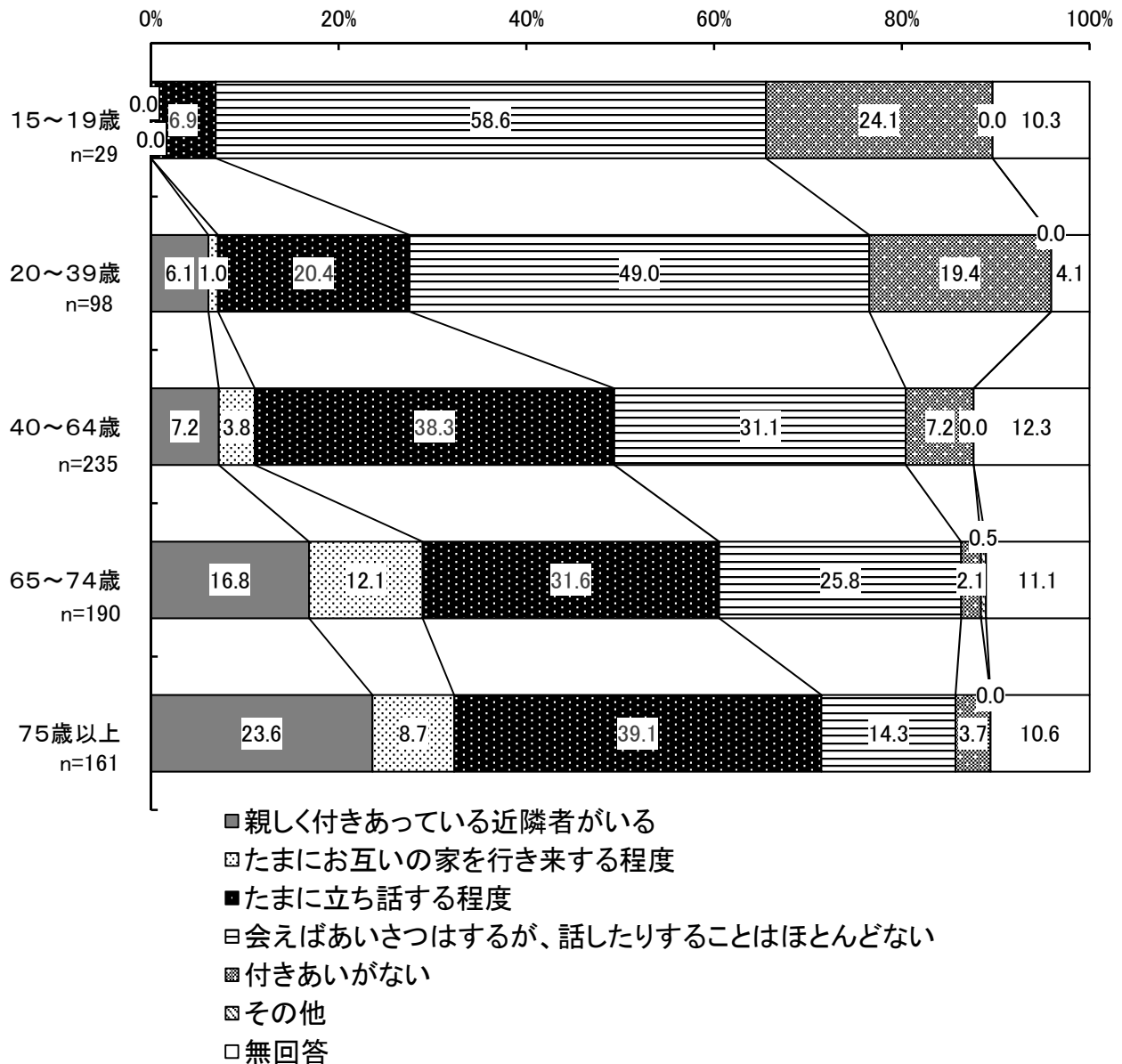


- 親しく付きあっている近隣者がいる
- ▨ たまにお互いの家を行き来する程度
- たまに立ち話する程度
- ▨ 会えばあいさつはするが、話したりすることはほとんどない
- ▨ 付き合いがない
- ▨ その他
- 無回答

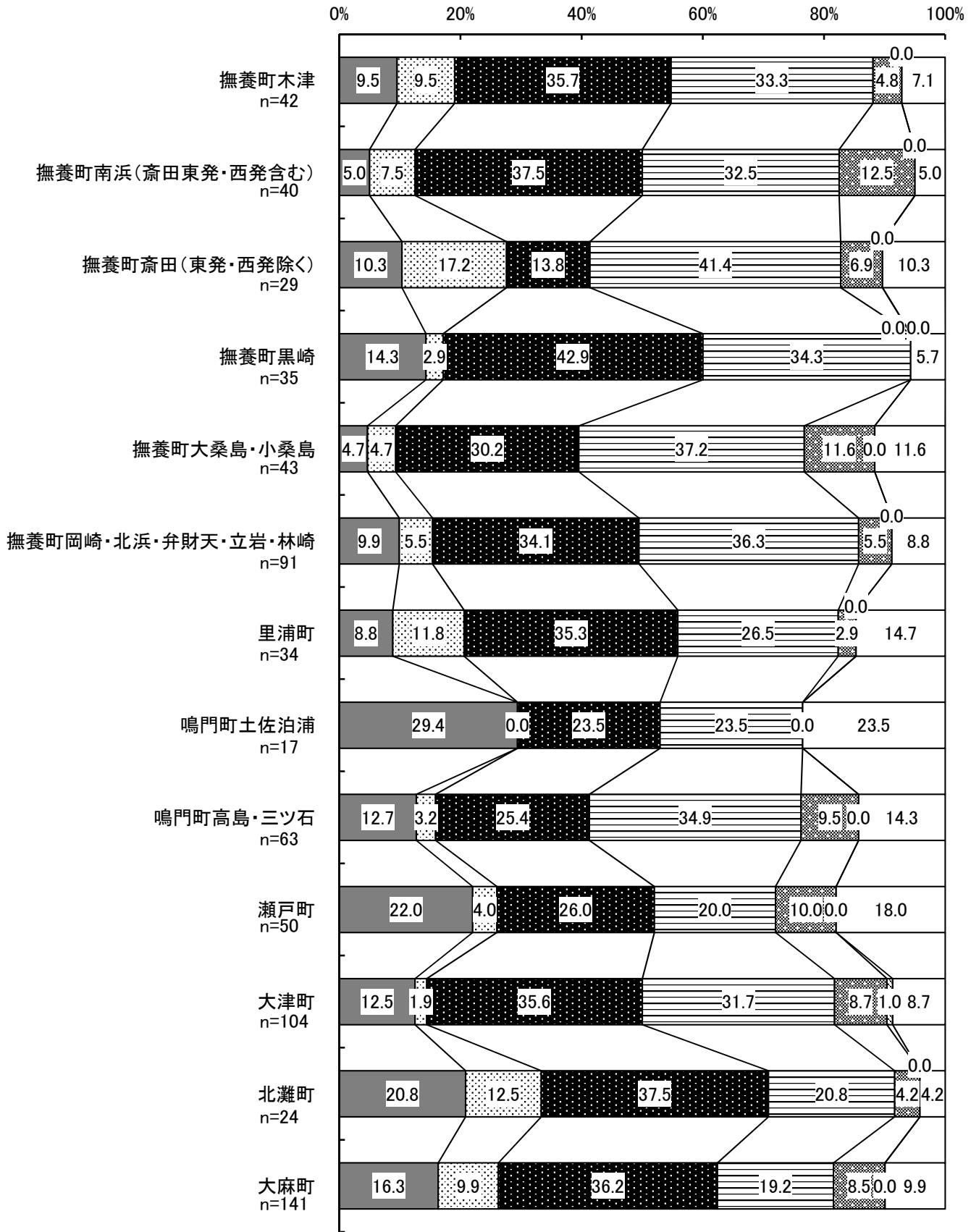
(性別)



(年齢別)

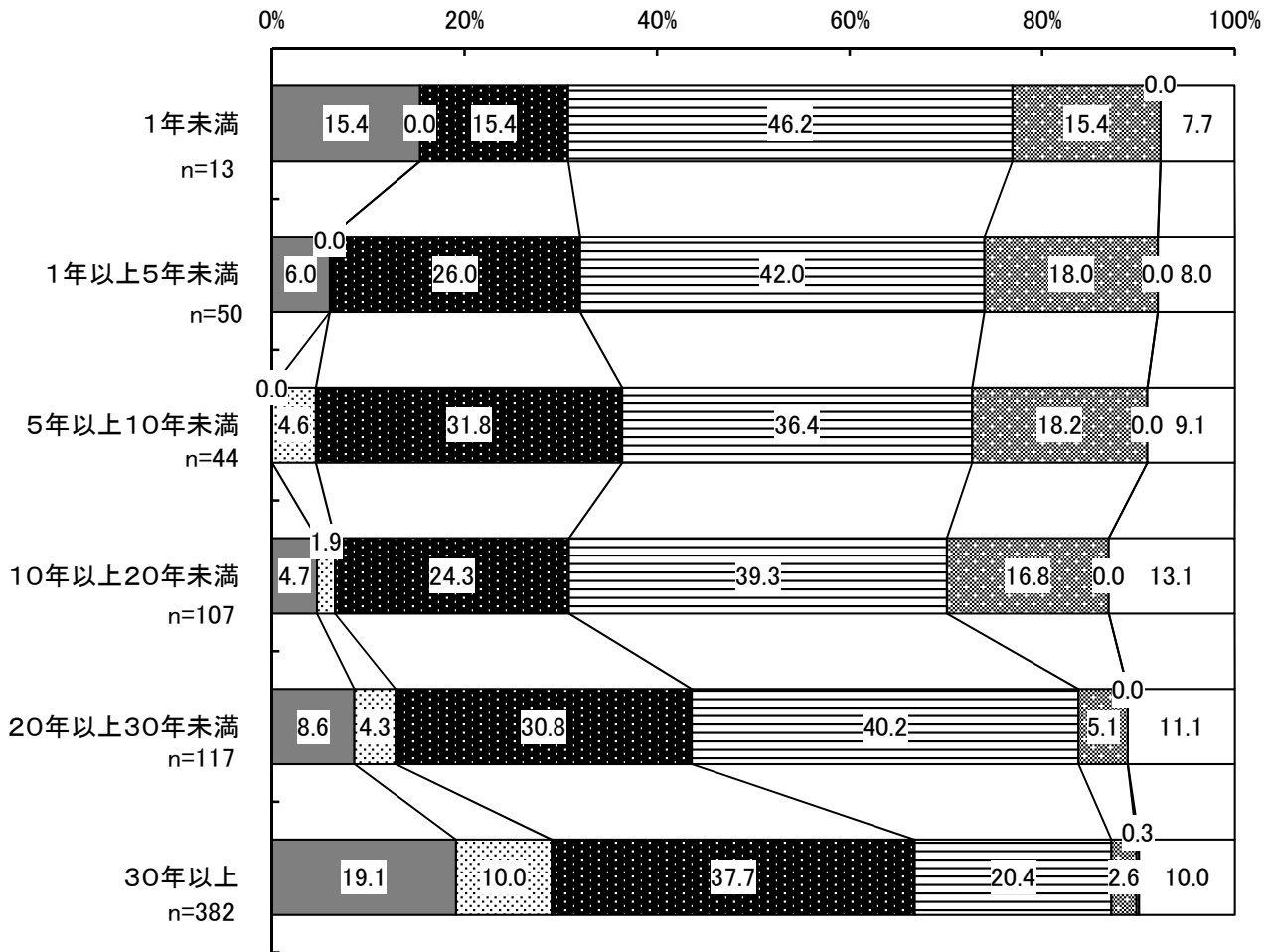


(地区別)



- 親しく付きあっている近隣者がいる
- ▨ たまにお互いの家を行き来する程度
- たまに立ち話する程度
- 会えばあいさつはするが、話したりすることはほとんどない
- ▨ 付き合いがない
- ▨ その他
- 無回答

(居住年数別)



- 親しく付きあっている近隣者がいる
- ▣ たまにお互いの家を行き来する程度
- たまに立ち話する程度
- 会えばあいさつはするが、話したりすることはほとんどない
- ▣ 付き合いがない
- ▣ その他
- 無回答

問12-1 問12で「4」または「5」を選ばれたかたにおたずねします。

近所の人とあまり付き合いがないのはどうしてですか。（複数回答）

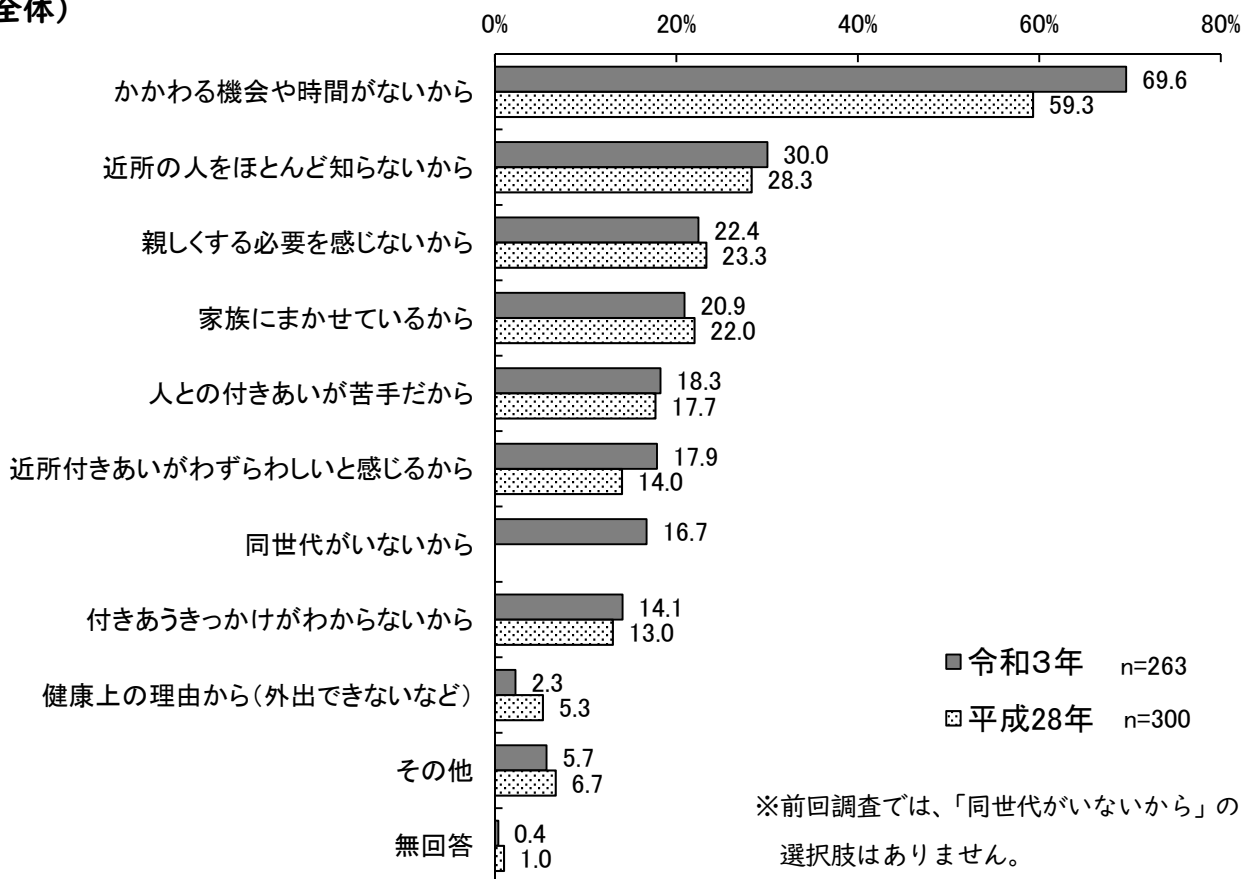
近所の人とあまり付き合いがないことについて、「かかわる機会や時間がないから」69.6%と最も多く、以下、「近所の人をほとんど知らないから」30.0%、「親しくする必要を感じないから」22.4%などの順となっている。

前回調査と比較し、「かかわる機会や時間がないから」で10.3ポイント増加している。

性別にみると、「近所の人をほとんど知らないから」（男性38.7%、女性23.7%）は男性の方が15.0ポイント多くなっている。「同世代がいらないから」（男性9.0%、女性22.4%）は女性の方が13.4ポイント多く、「付きあうきっかけがわからないから」（男性8.1%、女性18.4%）は女性の方が10.3ポイント多くなっている。

年齢別にみると、全ての年代で「かかわる機会や時間がないから」が最も多く、15～19歳で75.0%、20～64歳で8割以上となっている。15～19歳で「家族にまかせている」割合が、他の年代に比べ多くなっている。

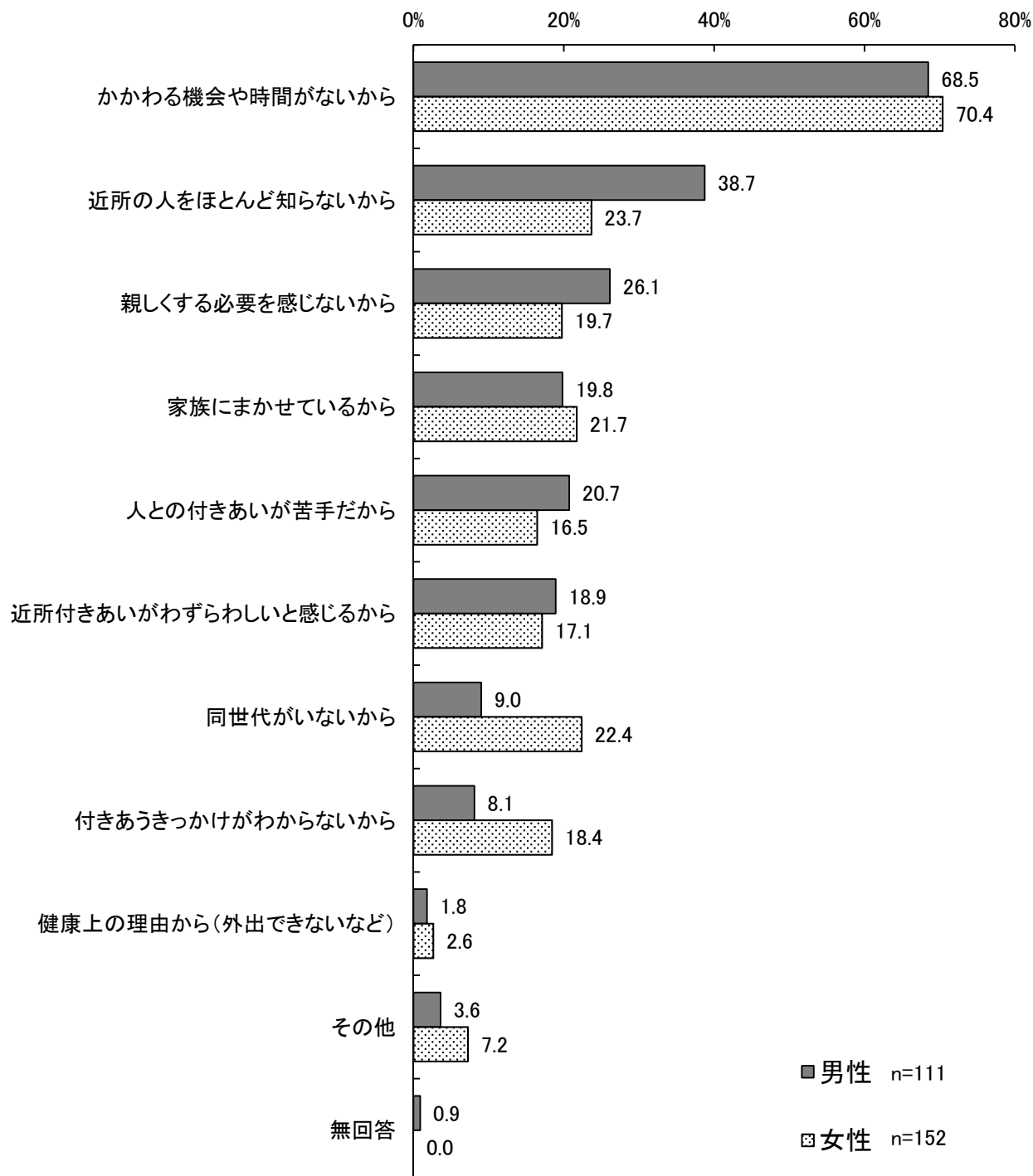
（全体）



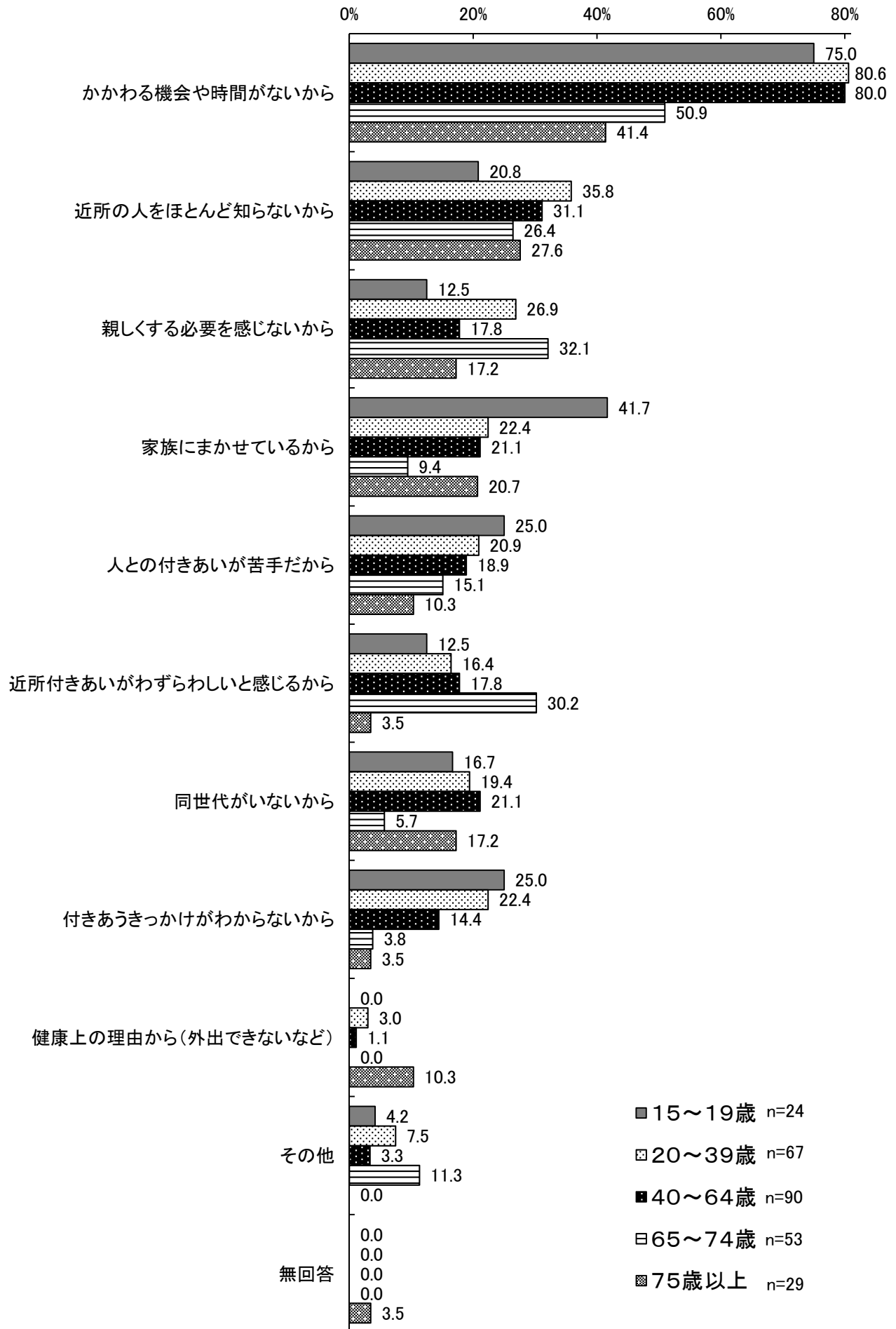
（その他の回答）

- ・目が離せない障がい児を育てているから ・重度障がい者であるため。 ・近所の人がいらない
- ・住居近くの人あまり知らない。 ・出かけるのもためらうようになった。 ・信用できない。
- ・近所の人性格に問題があるから。 ・家の中で過ごすことが多い。
- ・賃貸なので住人の入れ替わりが多いから。 ・祖母の友人としか話さないから。

(性別)



(年齢別)



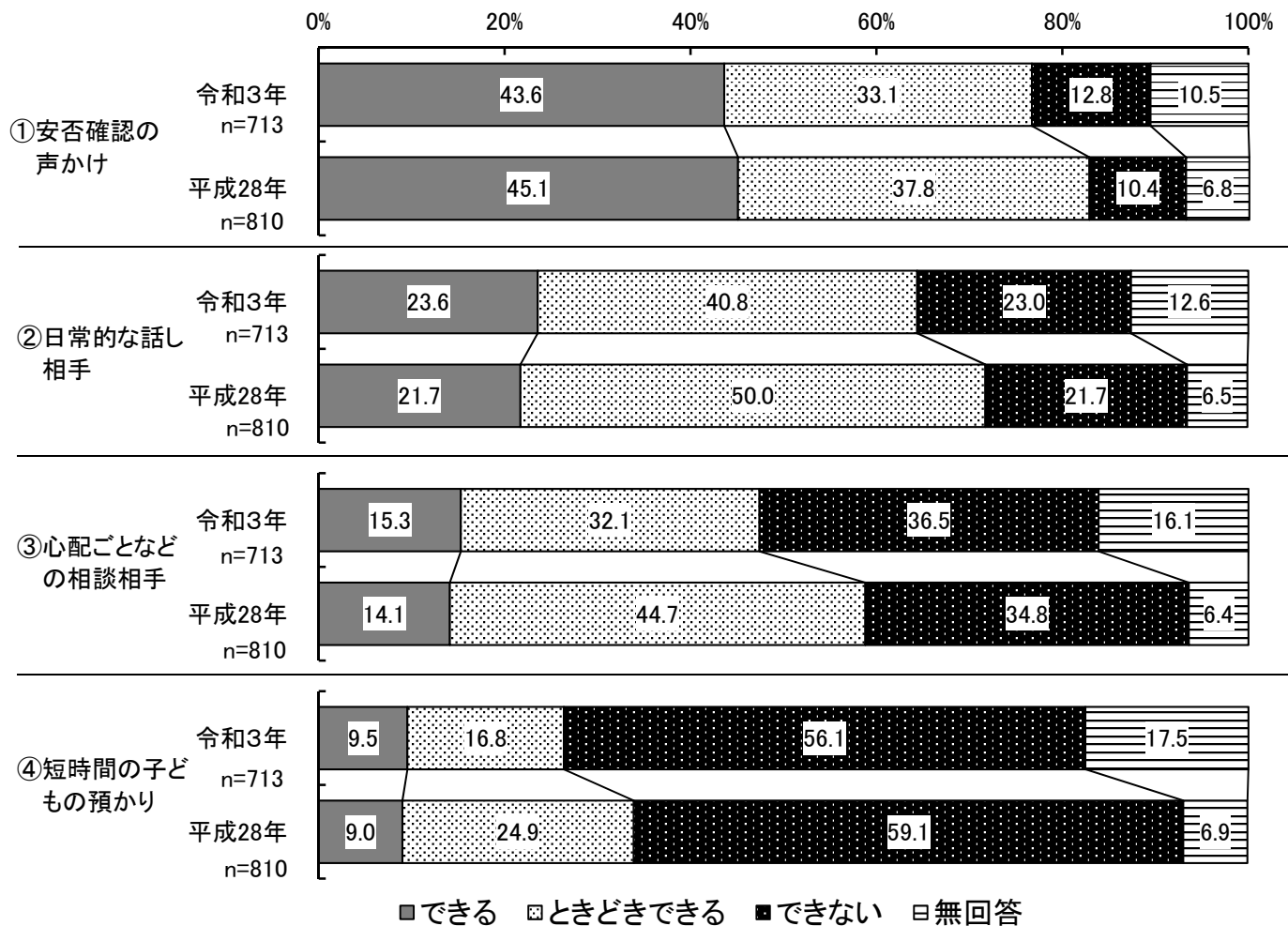
問13 (1) あなたは、近所の人困っていて、以下のことを頼まれた場合、どのような手助けができますか。(単数回答)

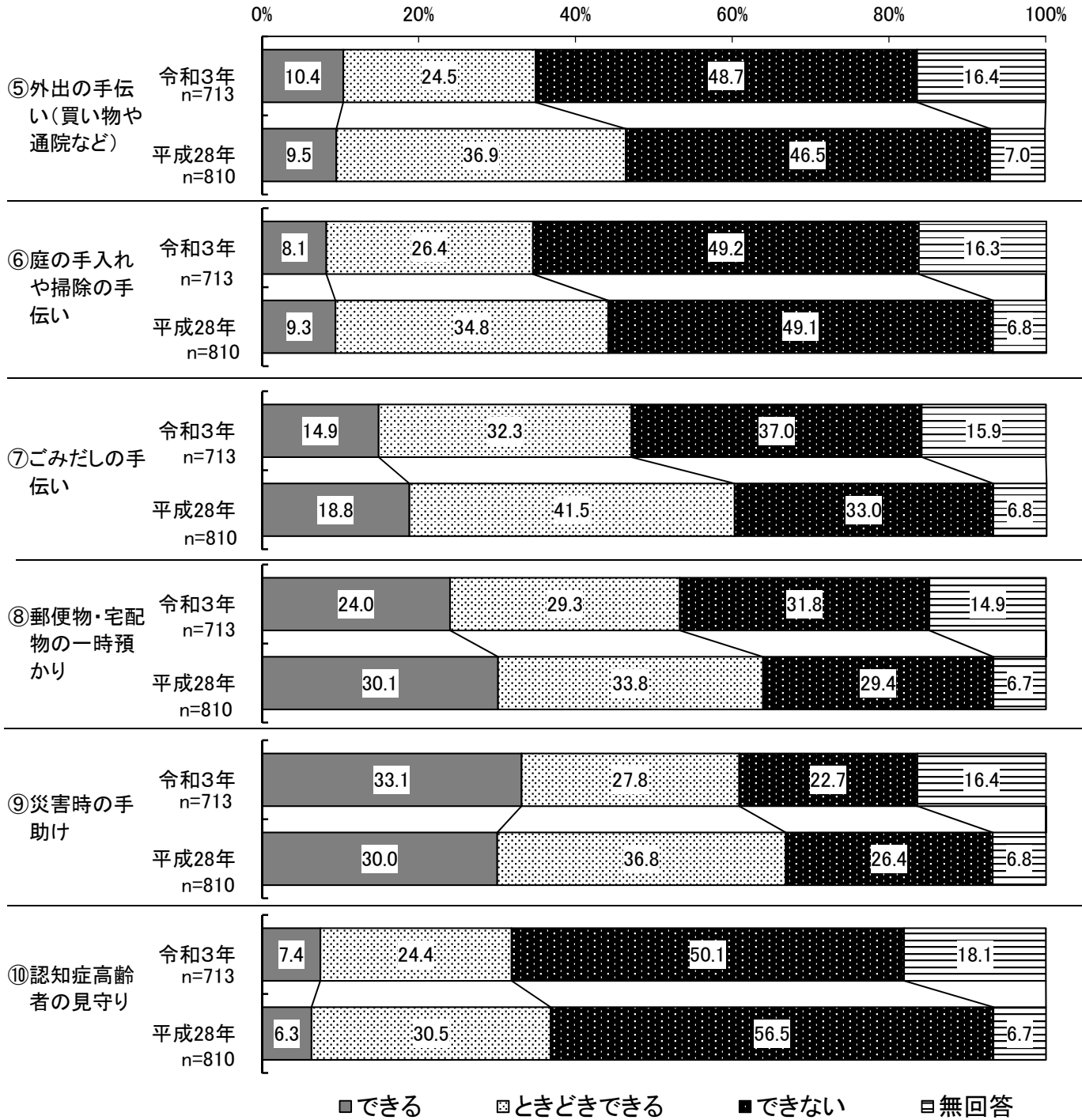
近所の人困っていた場合に、どのような手助けができるかについて、「できる」では、「①安否確認の声かけ」43.6%と最も多く、以下、「⑨災害時の手助け」33.1%、「⑧郵便物・宅配物の一時預かり」24.0%などの順となっている。

「できない」では、「④短時間の子どもの預かり」56.1%と最も多く、以下、「⑩認知症高齢者の見守り」50.1%、「⑥庭の手入れや掃除の手伝い」49.2%などの順となっている。

前回調査と比較し、「できる」と「ときどきできる」の合計で「⑦ごみだしの手伝い」が13.1ポイント減少している。

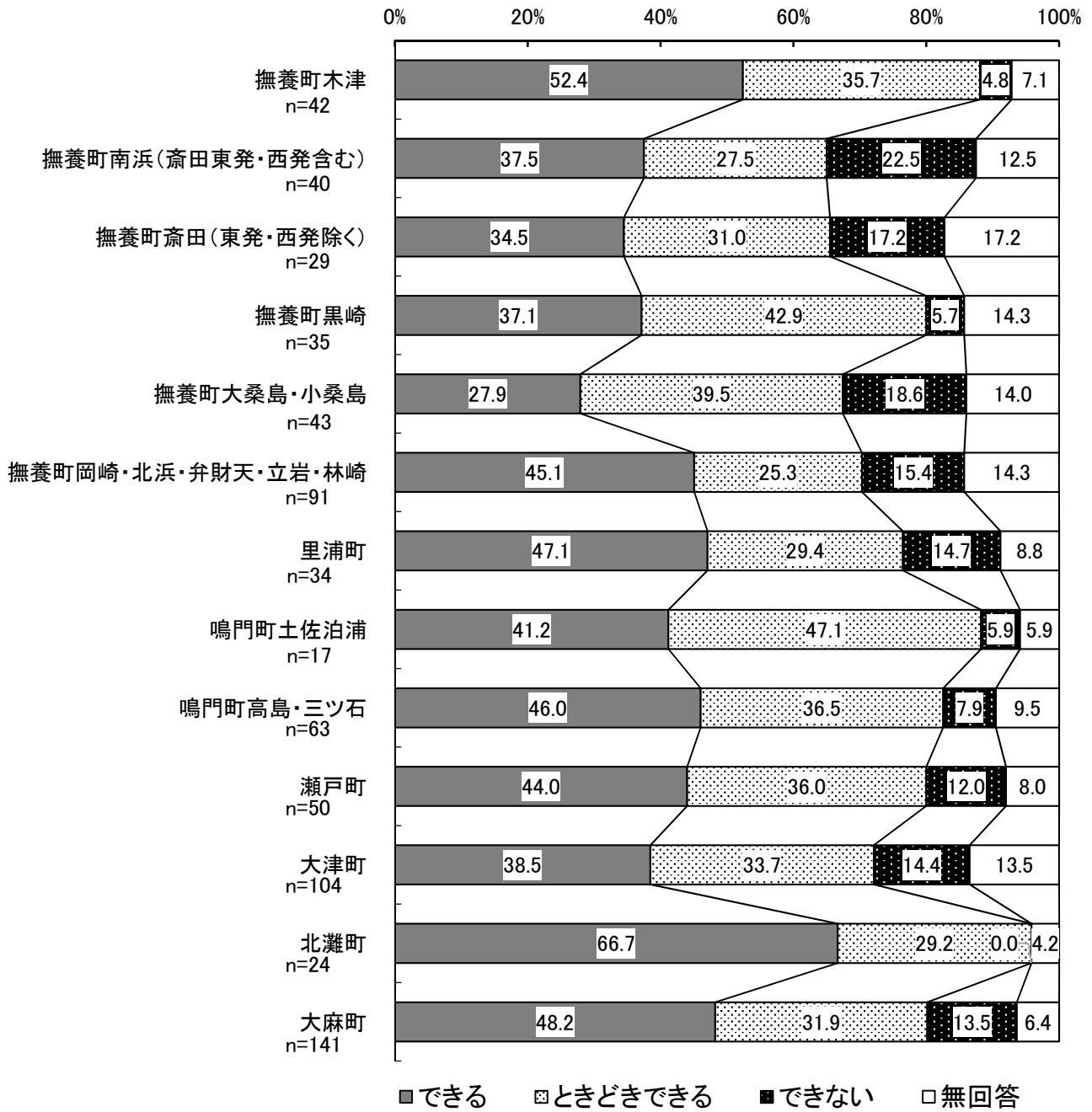
(全体)





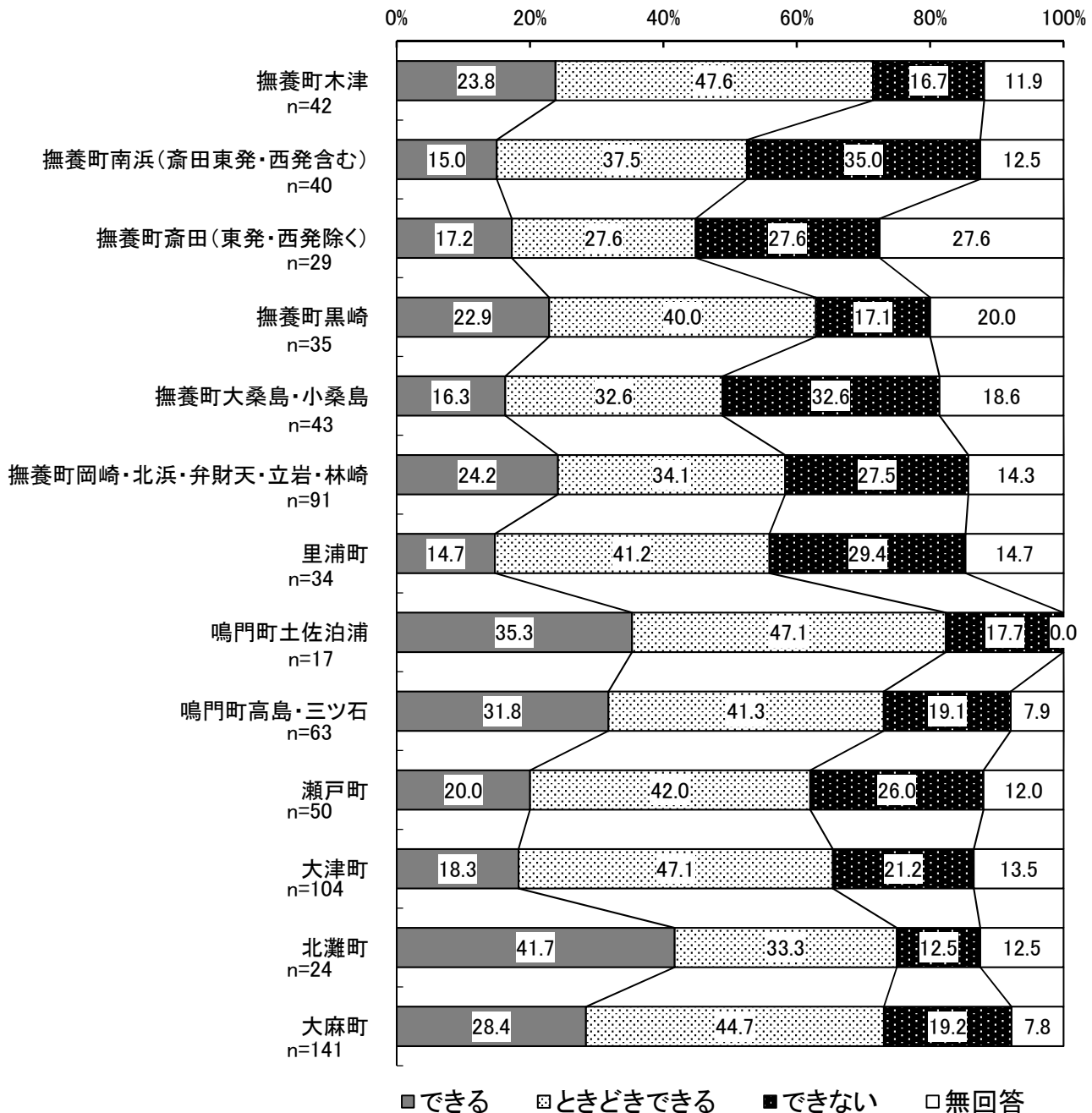
①安否確認の声かけ（地区別）

安否確認の声かけについて地区別にみると、撫養町木津及び北灘町で「できる」が5割を超えている。特に、北灘町は66.7%となっている。



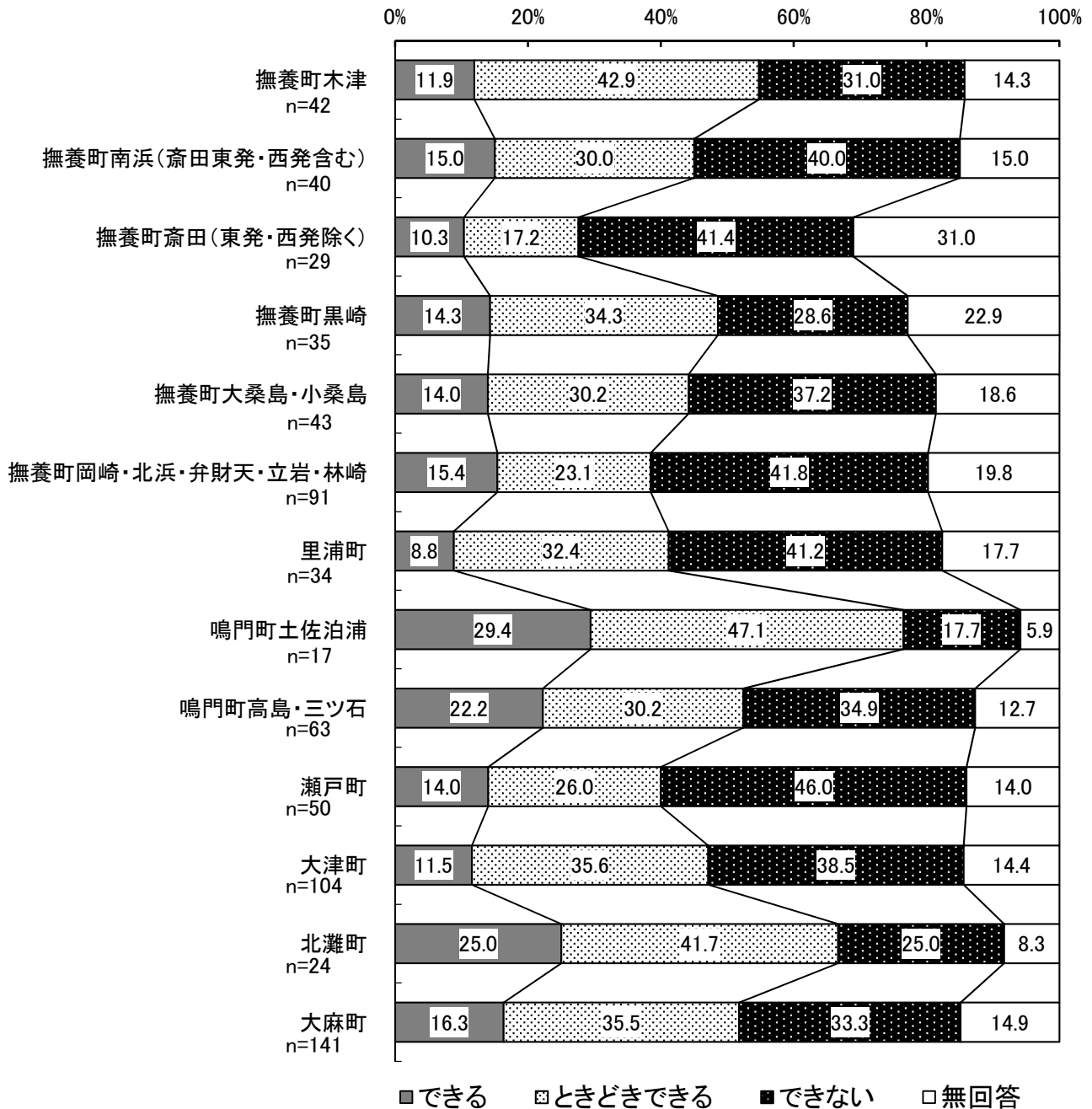
②日常的な話し相手（地区別）

日常的な話し相手について地区別にみると、北灘町で「できる」41.7%と最も多くなっている。「できる」と「ときどきできる」の合計では、鳴門町土佐泊浦が82.4%と最も多くなっている。



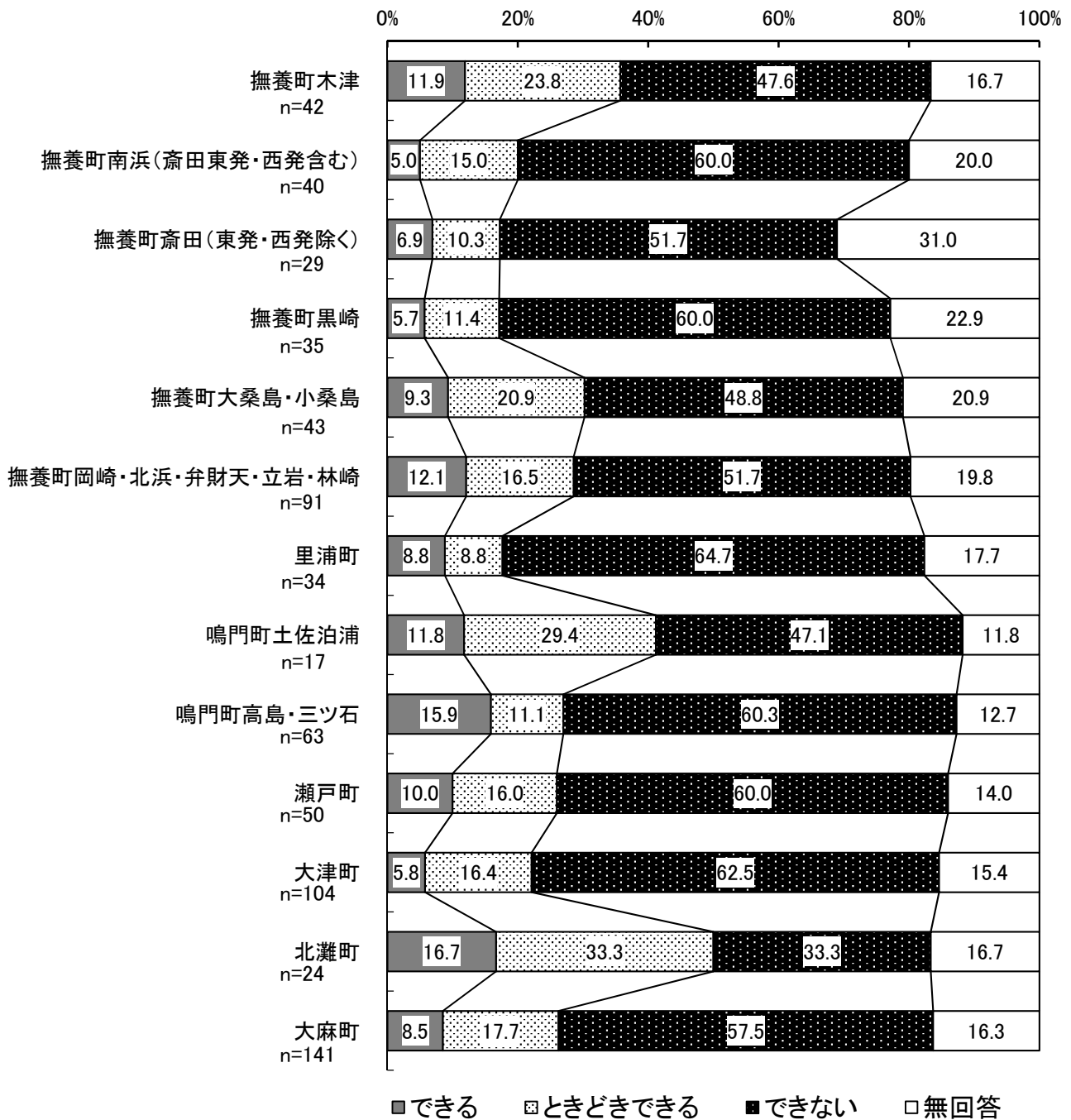
③心配ごとなどの相談相手（地区別）

心配ごとなどの相談相手について地区別にみると、鳴門町土佐泊浦、鳴門町高島・三ツ石及び北灘町で「できる」が2割を超えている。「できる」と「ときどきできる」の合計では、鳴門町土佐泊浦が76.5%と最も多くなっている。



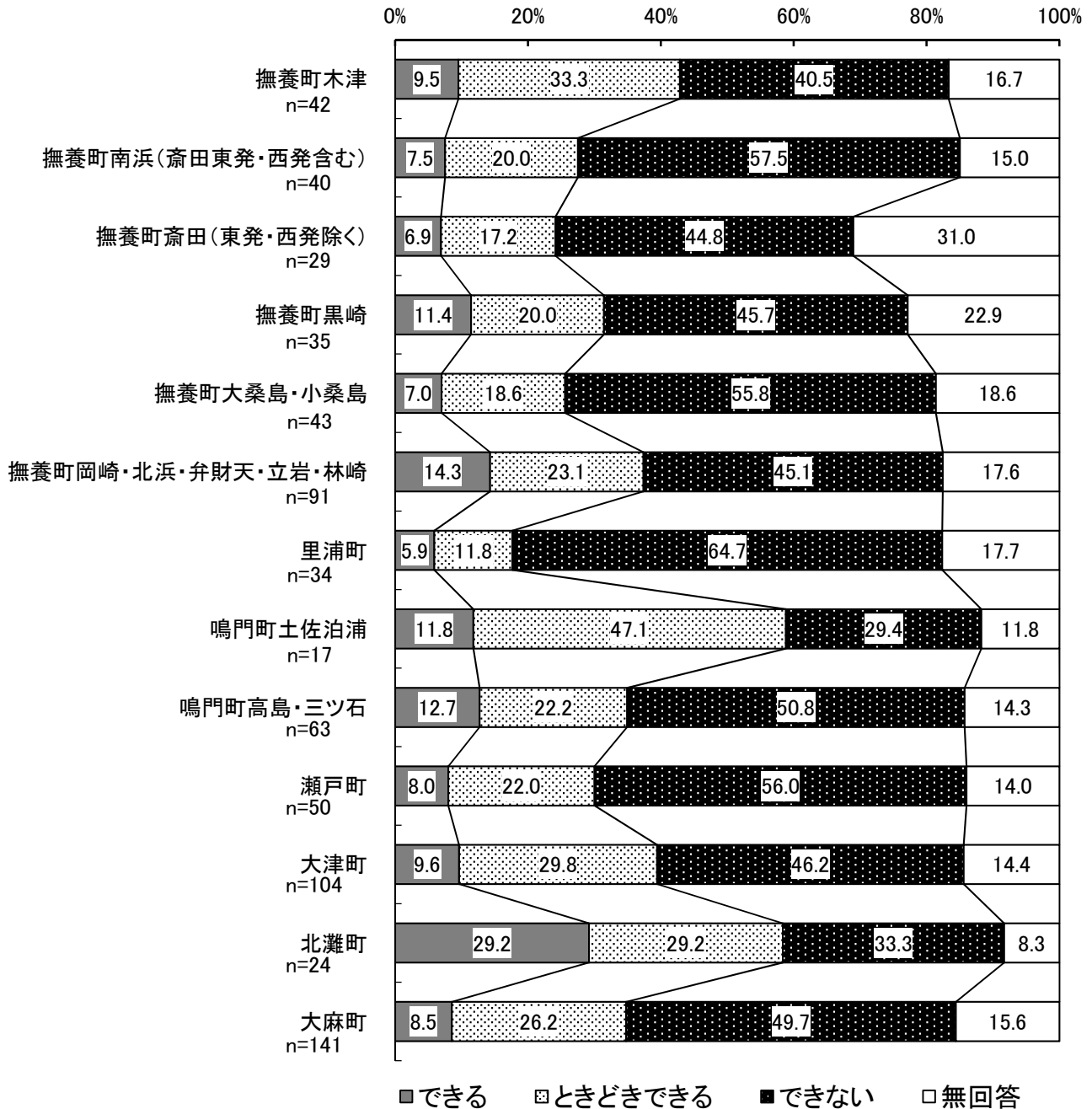
④短時間の子どもの預かり（地区別）

短時間の子どもの預かりについて地区別にみると、北灘町を除く全ての地区で「できない」が最も多くなっている。



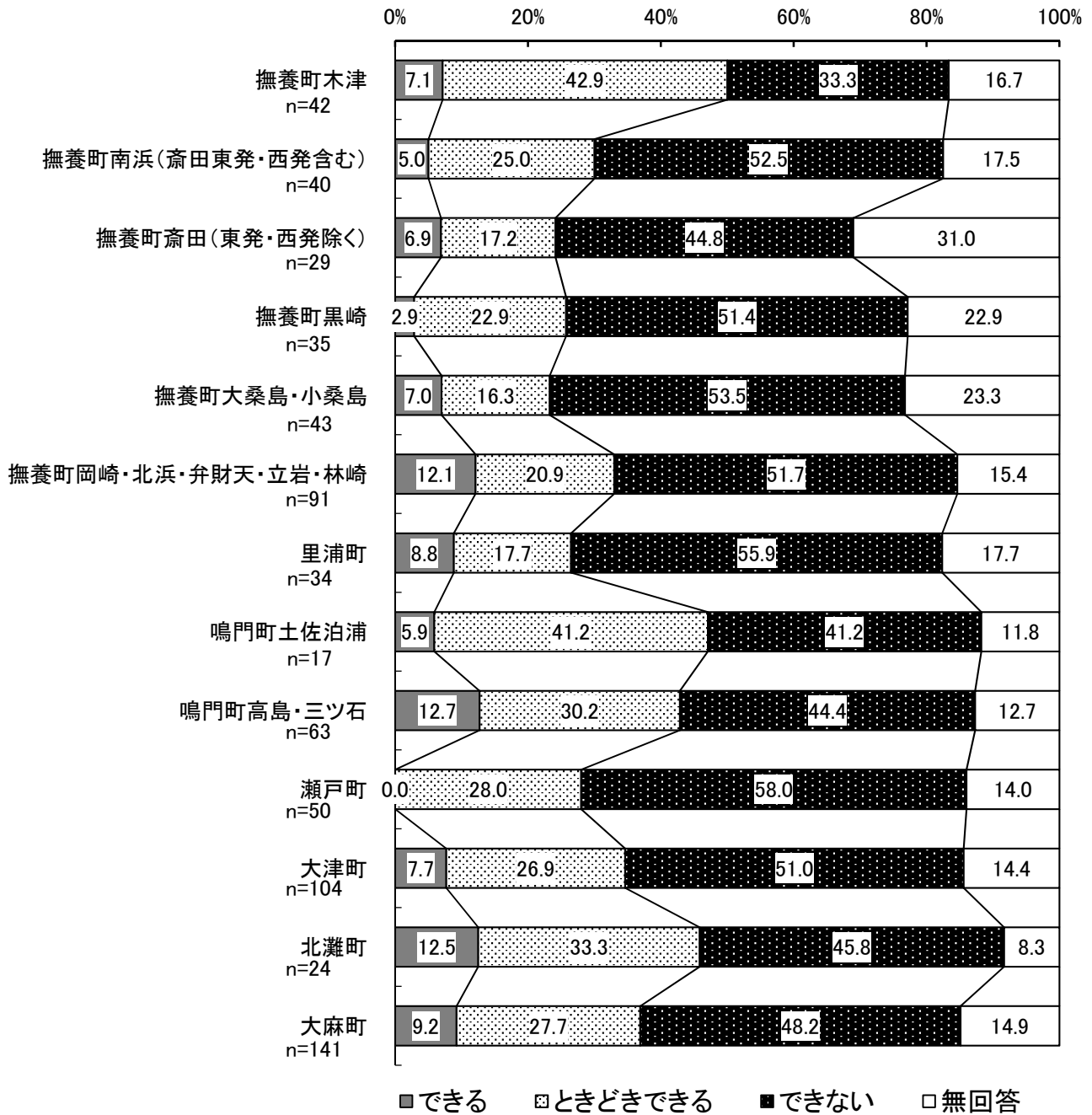
⑤外出の手伝い（買い物や通院など）（地区別）

外出の手伝い（買い物や通院など）について地区別にみると、北灘町で「できる」29.2%と最も多くなっている。里浦町で「できない」が64.7%と最も多くなっている。



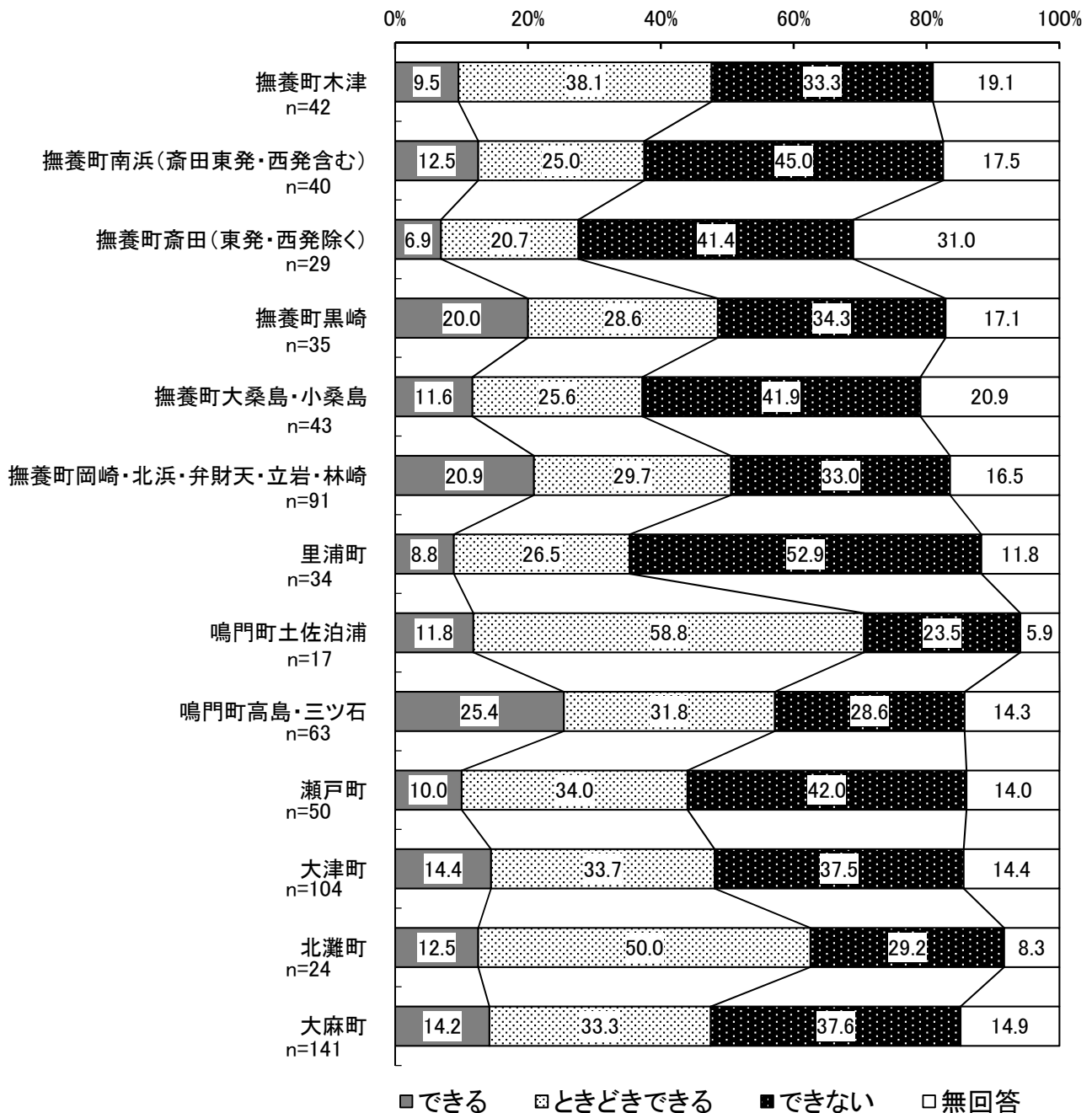
⑥庭の手入れや掃除の手伝い（地区別）

庭の手入れや掃除の手伝いについて地区別にみると、撫養町岡崎・北浜・弁財天・立岩・林崎、鳴門町高島・三ツ石及び北灘町で「できる」が1割を超えている。



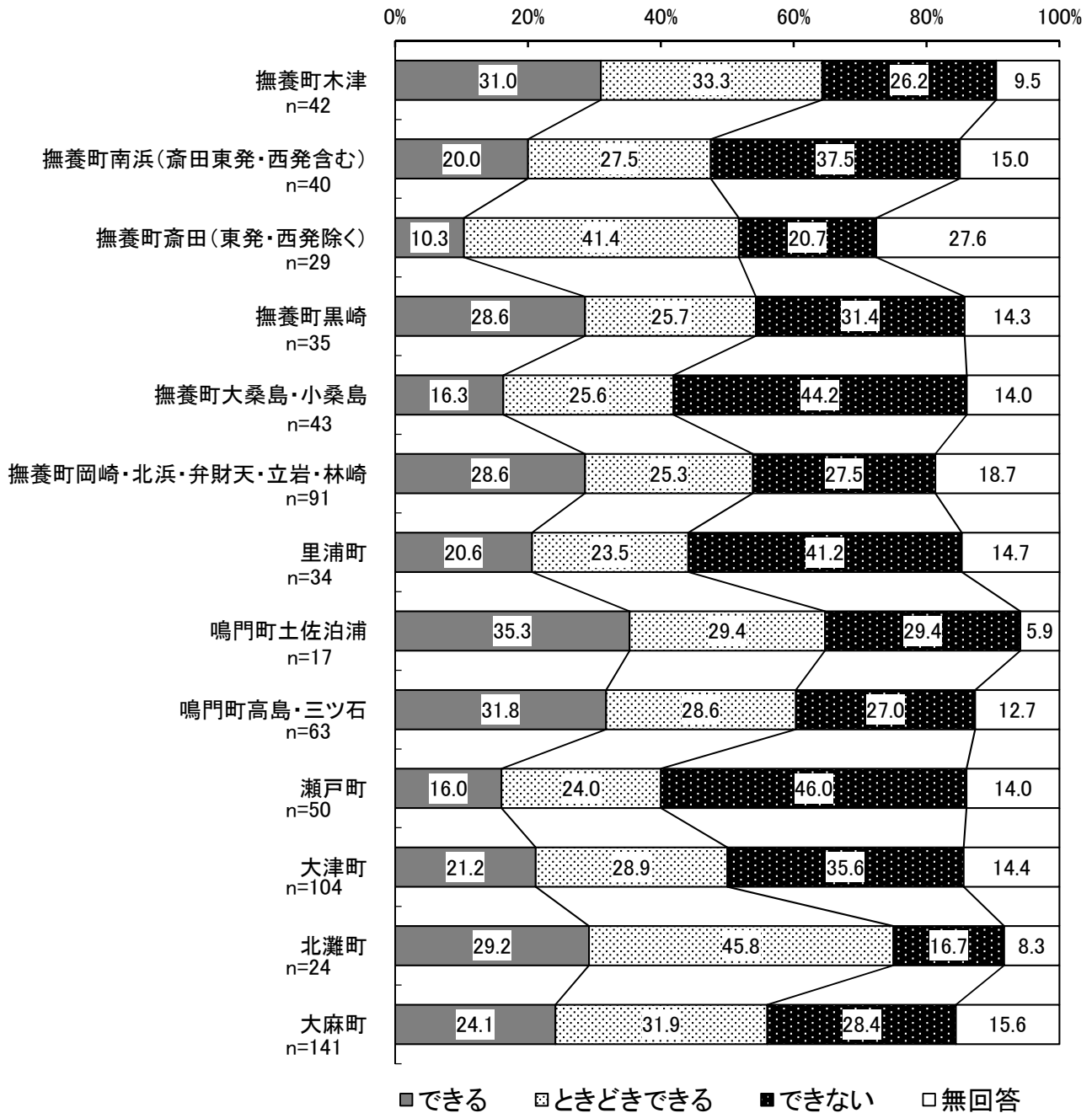
⑦ごみだしの手伝い（地区別）

ごみだしの手伝いについて地区別にみると、撫養町黒崎、撫養町岡崎・北浜・弁財天・立岩・林崎及び鳴門町高島・三ツ石で「できる」が2割以上となっている。「できる」と「ときどきできる」の合計では、鳴門町土佐泊浦が70.6%と最も多くなっている。



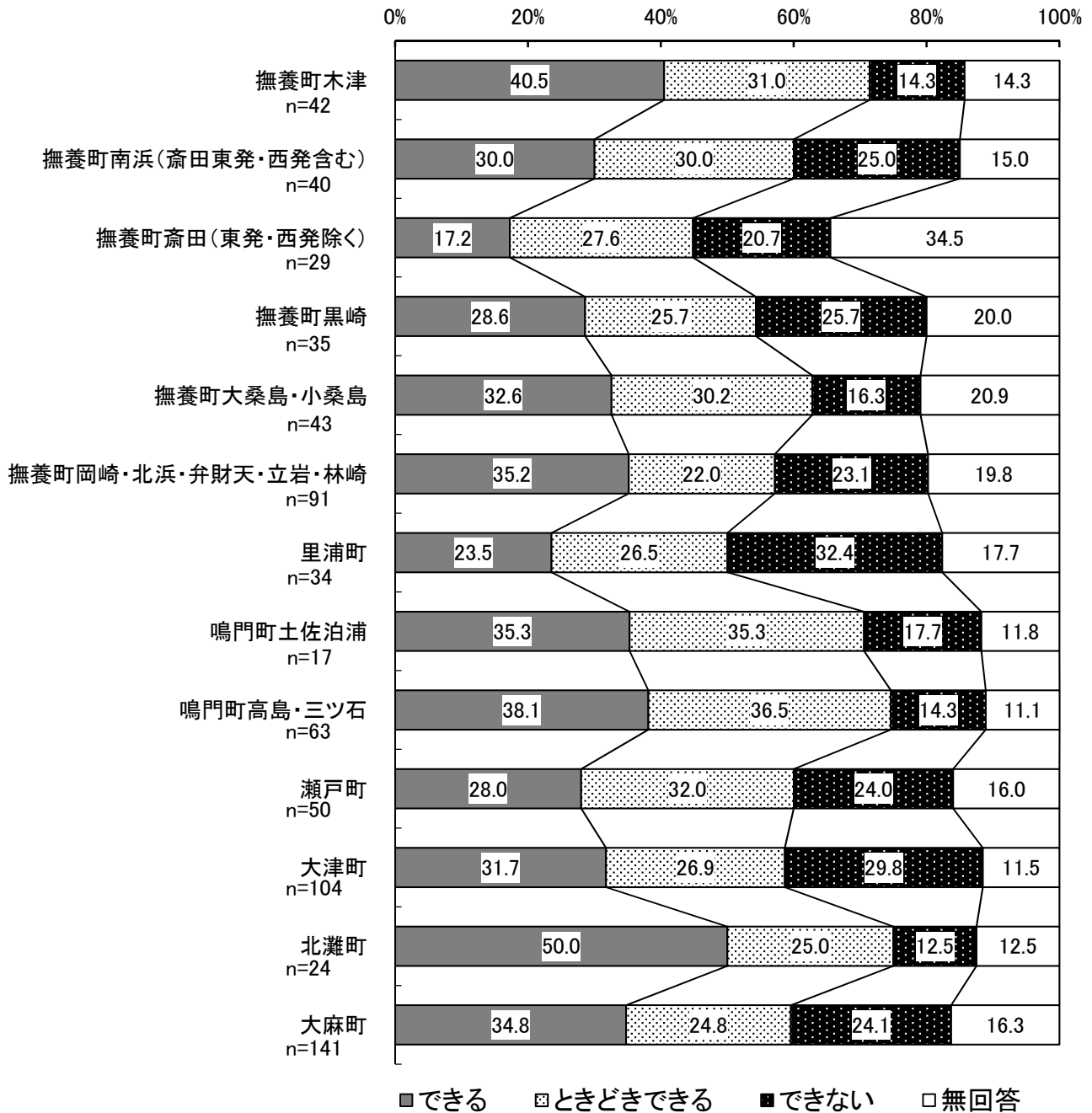
⑧郵便物・宅配物の一時預かり（地区別）

郵便物・宅配物の一時預かりについて地区別にみると、撫養町木津、鳴門町土佐泊浦及び鳴門町高島・三ツ石で「できる」が3割を超えている。「できる」と「ときどきできる」の合計では、北灘町が75.0%と最も多くなっている。



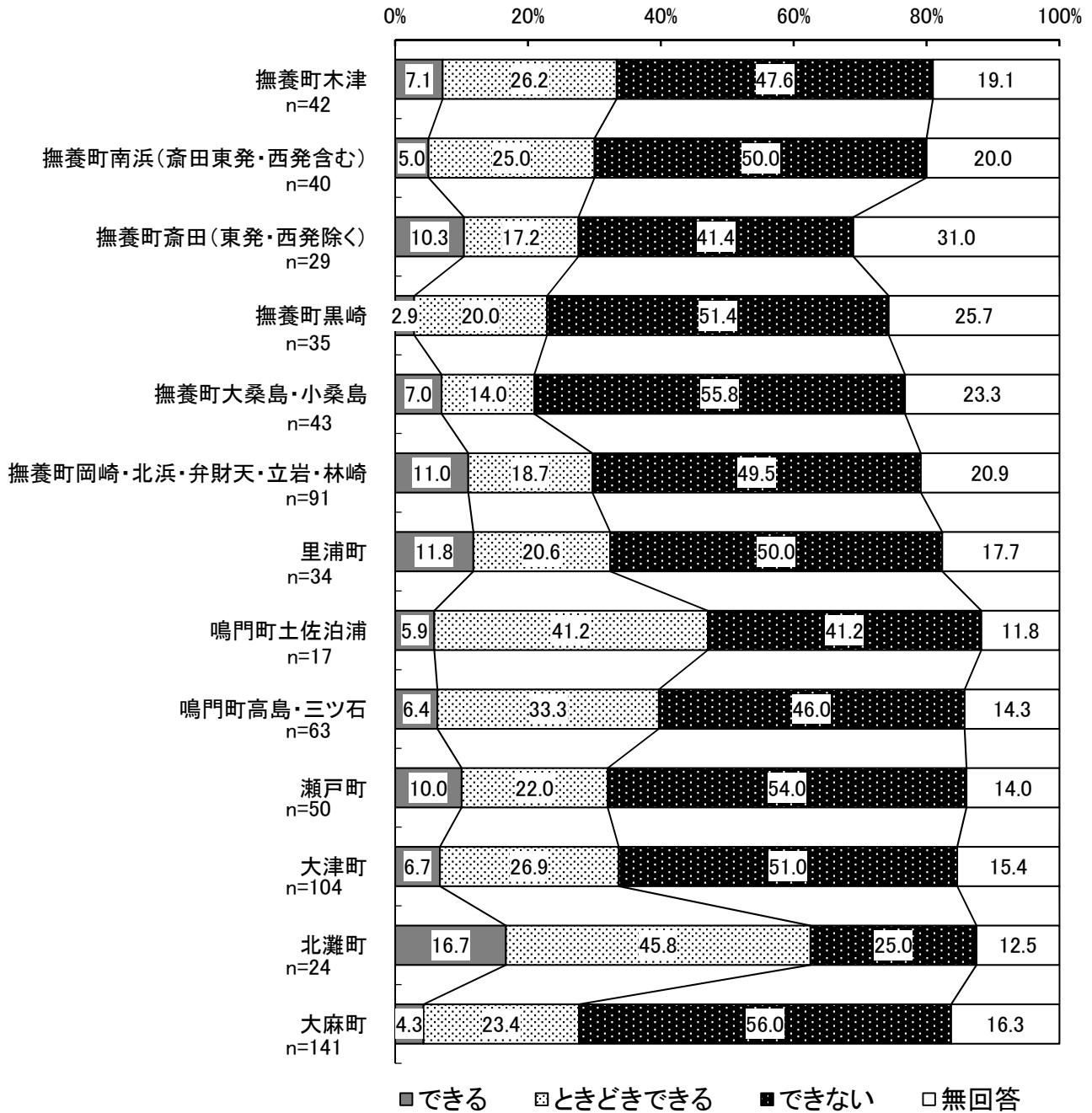
⑨災害時の手助け（地区別）

災害時の手助けについて地区別にみると、北灘町で「できる」が50.0%と最も多くなっている。撫養町斎田（東発・西発除く）では、「できる」と「ときどきできる」の合計でも5割未満となっている。



⑩認知症高齢者の見守り（地区別）

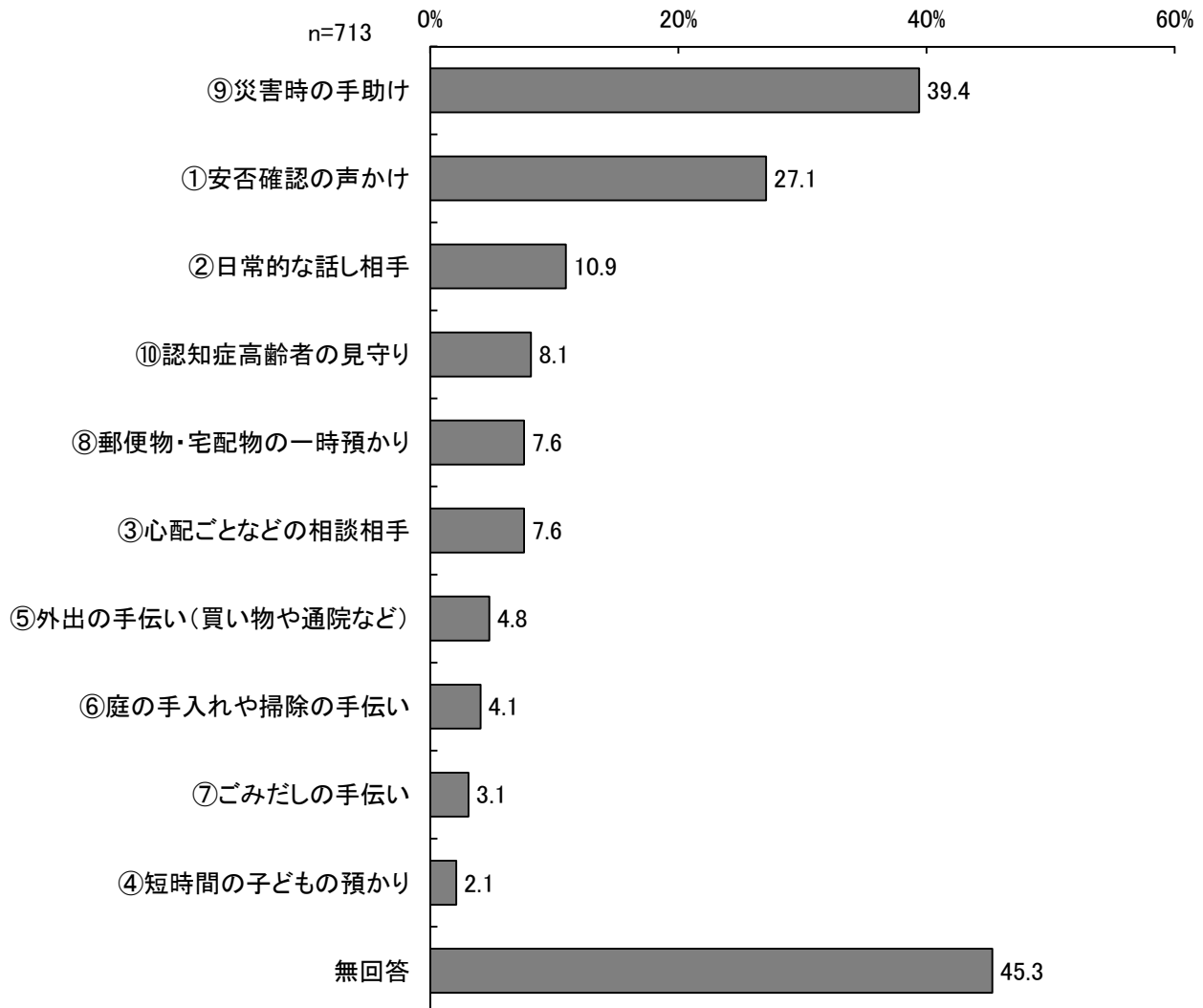
認知症高齢者の見守りについて地区別にみると、北灘町では、「できる」と「ときどきできる」の合計で62.5%と最も多く、他の地区は全て5割未満となっている。



問13 (2) あなたは、近所の人に手助けしてほしいと思うことはありますか。(複数回答)

近所の人に手助けしてほしいと思うことについて、「⑨災害時の手助け」39.4%と最も多く、以下、「①安否確認の声かけ」27.1%、「②日常的な話し相手」10.9%などの順となっている。

(全体)



(地区別・近所の人に行えることとして欲しいこと)

地区名	1位		2位		3位	
	上段：できること	下段：して欲しいこと	上段：できること	下段：して欲しいこと	上段：できること	下段：して欲しいこと
撫養町木津	①安否確認の声かけ 52.4%	⑨災害時の手助け 42.9%	⑨災害時の手助け 40.5%	①安否確認の声かけ 31.0%	⑧郵便物・宅配物の一時預かり 31.0%	②日常的な話し相手 7.1%
	①安否確認の声かけ 37.5%	⑨災害時の手助け 45.0%	⑨災害時の手助け 30.0%	①安否確認の声かけ 30.0%	⑧郵便物・宅配物の一時預かり 20.0%	③心配ごとなどの相談相手 12.5%
撫養町南浜（斎田東発・西発含む）	①安否確認の声かけ 34.5%	⑨災害時の手助け 48.3%	②日常的な話し相手・⑨災害時の手助け 17.2%		①安否確認の声かけ 31.0%	⑧郵便物・宅配物の一時預かり 17.2%
	①安否確認の声かけ 37.1%	⑨災害時の手助け 37.1%	⑧郵便物・宅配物の一時預かり・⑨災害時の手助け 28.6%	①安否確認の声かけ 31.4%	⑩認知症高齢者の見守り 14.3%	
撫養町黒崎	⑨災害時の手助け 32.6%	⑨災害時の手助け 44.2%	①安否確認の声かけ 27.9%	①安否確認の声かけ 18.6%	②日常的な話し相手・⑧郵便物・宅配物の一時預かり 16.3%	
	①安否確認の声かけ 45.1%	⑨災害時の手助け 36.3%	⑨災害時の手助け 35.2%	①安否確認の声かけ 28.6%	③心配ごとなどの相談相手 16.3%	
撫養町岡崎・北浜・弁財天・立岩・林崎	①安否確認の声かけ 47.1%	⑨災害時の手助け 41.2%	⑨災害時の手助け 23.5%	①安否確認の声かけ 29.4%	⑧郵便物・宅配物の一時預かり 20.6%	⑥庭の手入れや掃除の手伝い 8.8%
	①安否確認の声かけ 41.2%	①安否確認の声かけ 47.1%	②日常的な話し相手・⑧郵便物・宅配物の一時預かり・⑨災害時の手助け 35.3%		⑨災害時の手助け・②日常的な話し相手 29.4%	
里浦町	①安否確認の声かけ 41.2%	①安否確認の声かけ 47.1%				
鳴門町土佐泊浦	①安否確認の声かけ 41.2%	①安否確認の声かけ 47.1%				

地区名	1位	2位	3位
	上段：できること 下段：して欲しいこと	上段：できること 下段：して欲しいこと	上段：できること 下段：して欲しいこと
鳴門町高島・三ツ石	①安否確認の声かけ 46.0%	⑨災害時の手助け 38.1%	②日常的な話し相手・⑧郵便物・宅配物の一時預かり 31.8%
	⑨災害時の手助け 41.3%	①安否確認の声かけ 27.0%	②日常的な話し相手 17.5%
瀬戸町	①安否確認の声かけ 44.0%	⑨災害時の手助け 28.0%	②日常的な話し相手 20.0%
	⑨災害時の手助け 30.0%	①安否確認の声かけ 28.0%	③心配ごとなどの相談相手 18.0%
大津町	①安否確認の声かけ 38.5%	⑨災害時の手助け 31.7%	⑧郵便物・宅配物の一時預かり 21.2%
	⑨災害時の手助け 34.6%	①安否確認の声かけ 19.2%	⑩認知症高齢者の見守り 8.7%
北灘町	①安否確認の声かけ 66.7%	⑨災害時の手助け 50.0%	②日常的な話し相手 41.7%
	⑨災害時の手助け 54.2%	①安否確認の声かけ 25.0%	②日常的な話し相手 16.7%
大麻町	①安否確認の声かけ 48.2%	⑨災害時の手助け 34.8%	②日常的な話し相手 28.4%
	⑨災害時の手助け 40.4%	①安否確認の声かけ 27.7%	②日常的な話し相手 14.9%

問13 その他、「手助けできること」や「手助けしてほしいこと」があればご記入ください。（記述回答）

【手助けできること】

- 話し相手、相談相手
- 買い物、ごみ出し、子どもの預かり、郵便物、宅配物の預かり、ペットの預かり、草刈り
- 見守り、声かけ
- 災害時の手助け
- 避難場への誘導、避難場所の運営等
- 通報

【手助けしてほしいこと】

- 見守り、声かけ
- 日常的な話し相手
- 子どもの送迎
- 介護
- ペットの預かり、除草や掃除、ごみ出し、買い物
- 災害時の避難、手助け、安否確認
- 災害時の避難場所の設営・運営等

問14 あなたが住んでいる地区（問6でご回答いただいた地区）で、最近「気になる」と感じることはありますか。（複数回答）

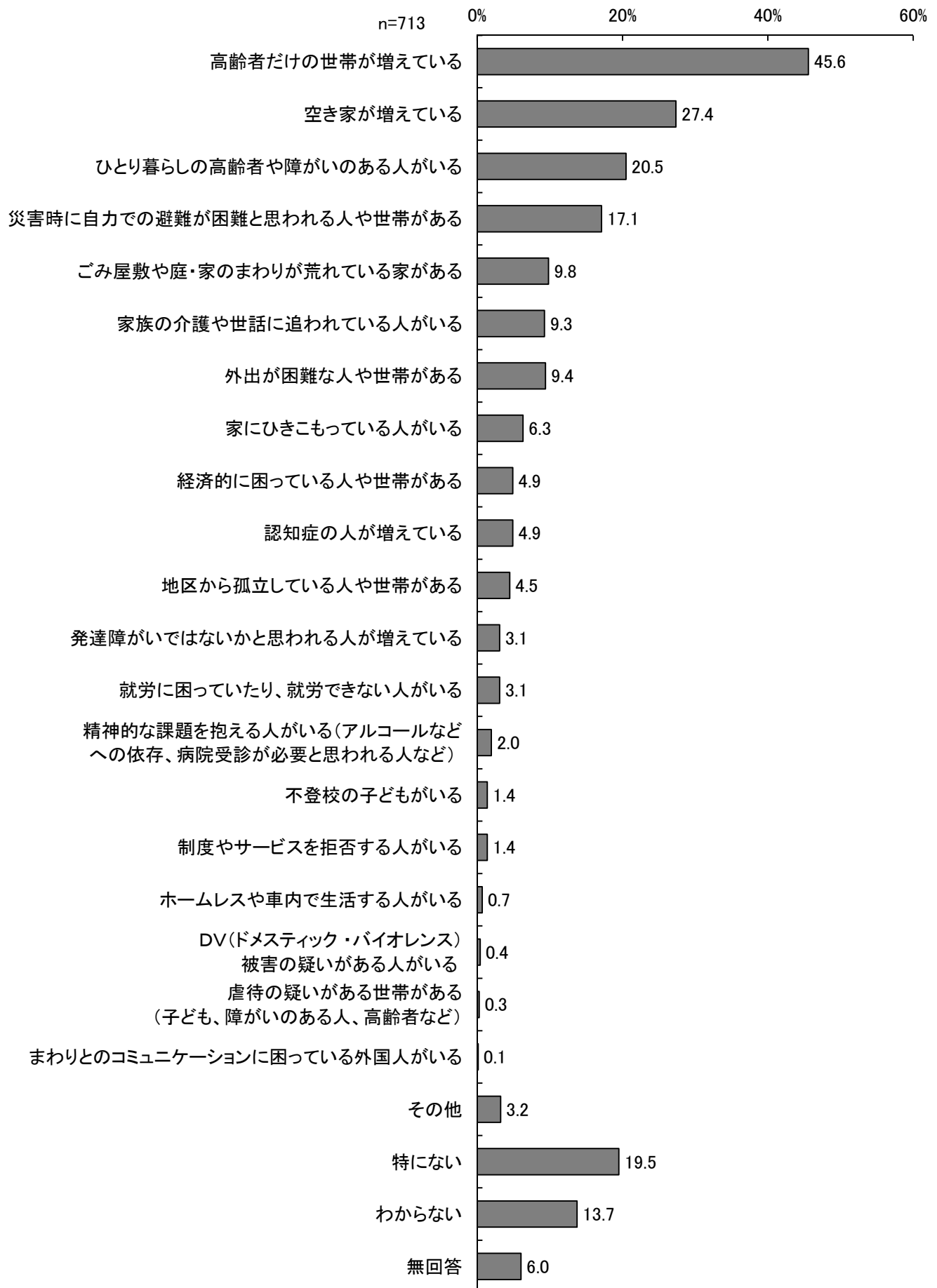
居住地区で最近気になると感じることについて、「高齢者だけの世帯が増えている」45.6%と最も多く、以下、「空き家が増えている」27.4%、「ひとり暮らしの高齢者や障がいのある人がいる」20.5%などの順となっている。

地区別にみると、全ての地区で「高齢者だけの世帯が増えている」が最も多くなっている。

（その他の回答）

- ・ 野良猫、野良犬（4件）
- ・ 野焼きをしている。（3件）
- ・ 路上駐車、違法駐車（2件）
- ・ サルが頻繁に出る。（2件）
- ・ 雑草や雑木の管理（2件）
- ・ 不審者が報告される。（2件）
- ・ 空き地の管理。

(全体)



(地区別)

	高齢者だけの世帯が増えている	空き家が増えている	ひとり暮らしの高齢者や障がいのある人がいる	災害時に自力での避難が困難と思われる人や世帯がある	ごみ屋敷や庭・家のまわりが荒れている家がある	家族の介護や世話に追われている人がいる	外出が困難な人や世帯がある
撫養町木津 n=42	35.7	21.4	23.8	26.2	7.1	7.1	9.5
撫養町南浜 n=40	50.0	32.5	20.0	25.0	10.0	12.5	5.0
撫養町斎田 n=29	41.4	34.5	13.8	6.9	17.2	3.5	3.5
撫養町黒崎 n=35	48.6	25.7	11.4	17.1	2.9	8.6	11.4
撫養町大桑島・ 小桑島 n=43	41.9	23.3	11.6	9.3	11.6	7.0	11.6
撫養町岡崎・北浜・ 弁財天・立岩・林崎 n=91	40.7	26.4	20.9	18.7	4.4	17.6	8.8
里浦町 n=34	52.9	35.3	17.7	20.6	5.9	5.9	5.9
鳴門町土佐泊浦 n=17	52.9	29.4	11.8	23.5	5.9	11.8	0.0
鳴門町高島・三ツ石 n=63	33.3	22.2	17.5	14.3	6.4	4.8	4.8
瀬戸町 n=50	56.0	38.0	22.0	22.0	16.0	12.0	16.0
大津町 n=104	38.5	22.1	23.1	12.5	15.4	7.7	8.7
北灘町 n=24	62.5	54.2	29.2	25.0	12.5	12.5	25.0
大麻町 n=141	53.2	24.1	24.8	15.6	9.9	7.8	10.6

	家にひきこもっている人がいる	経済的に困っている人や世帯がある	認知症の人が増えている	地区から孤立している人や世帯がある	発達障がいではないかと思われる人が増えている	就労に困っていたり、就労できない人がいる	精神的な課題を抱える人がいる
撫養町木津 n=42	7.1	11.9	4.8	11.9	4.8	4.8	2.4
撫養町南浜 n=40	0.0	10.0	5.0	2.5	5.0	0.0	2.5
撫養町斎田 n=29	3.5	0.0	6.9	0.0	3.5	6.9	0.0
撫養町黒崎 n=35	0.0	5.7	0.0	2.9	5.7	0.0	0.0
撫養町大桑島・ 小桑島 n=43	2.3	4.7	2.3	2.3	2.3	4.7	2.3
撫養町岡崎・北浜・ 弁財天・立岩・林崎 n=91	5.5	3.3	3.3	1.1	3.3	2.2	0.0
里浦町 n=34	14.7	2.9	8.8	8.8	0.0	2.9	2.9
鳴門町土佐泊浦 n=17	5.9	0.0	5.9	0.0	5.9	5.9	0.0
鳴門町高島・三ツ石 n=63	0.0	6.4	3.2	1.6	1.6	4.8	4.8
瀬戸町 n=50	14.0	10.0	8.0	8.0	4.0	6.0	4.0
大津町 n=104	8.7	1.9	3.9	2.9	1.9	2.9	1.9
北灘町 n=24	4.2	8.3	8.3	16.7	0.0	0.0	0.0
大麻町 n=141	8.5	3.6	6.4	5.7	3.6	2.1	2.1

	不登校の子どもがいる	制度やサービスを拒否する人がいる	ホームレスや車内で生活する人がいる	DV被害の疑いがある人がいる	虐待の疑いがある世帯がある	まわりとのコミュニケーションに困っている外国人がいる	その他
撫養町木津 n=42	2.4	2.4	2.4	2.4	2.4	0.0	2.4
撫養町南浜 n=40	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.0
撫養町斎田 n=29	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.5
撫養町黒崎 n=35	2.9	2.9	0.0	0.0	0.0	0.0	2.9
撫養町大桑島・小桑島 n=43	0.0	0.0	0.0	2.3	2.3	0.0	7.0
撫養町岡崎・北浜・弁財天・立岩・林崎 n=91	0.0	2.2	0.0	0.0	0.0	0.0	3.3
里浦町 n=34	0.0	2.9	2.9	0.0	0.0	0.0	0.0
鳴門町土佐泊浦 n=17	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
鳴門町高島・三ツ石 n=63	1.6	0.0	1.6	0.0	0.0	0.0	6.4
瀬戸町 n=50	4.0	4.0	2.0	2.0	0.0	2.0	2.0
大津町 n=104	1.9	1.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.9
北灘町 n=24	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.2
大麻町 n=141	2.1	1.4	0.7	0.0	0.0	0.0	1.4

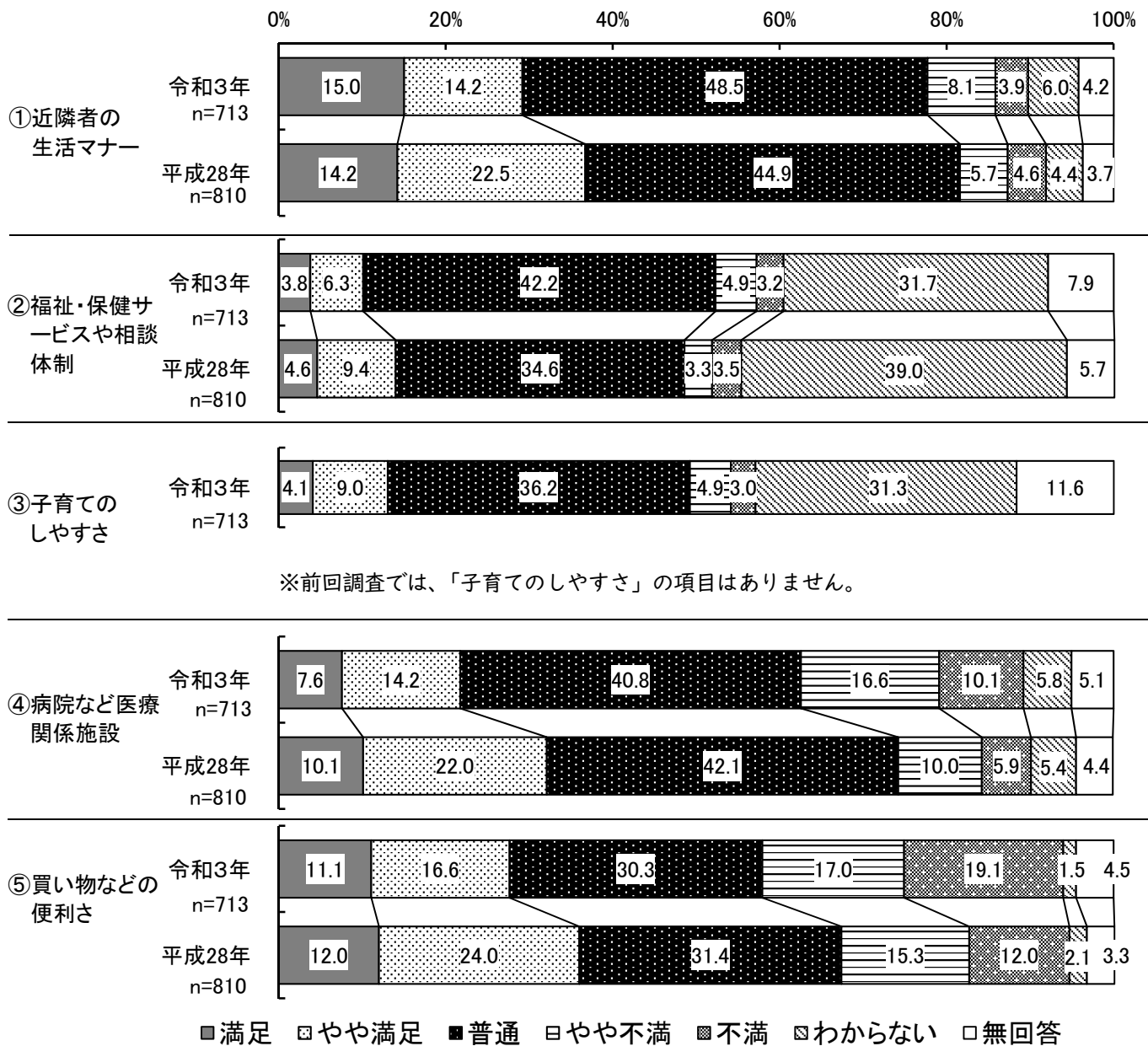
	特にない	わからない	無回答
撫養町木津 n=42	26.2	21.4	7.1
撫養町南浜 n=40	12.5	12.5	7.5
撫養町斎田 n=29	24.1	10.3	10.3
撫養町黒崎 n=35	25.7	8.6	2.9
撫養町大桑島・小桑島 n=43	23.3	14.0	9.3
撫養町岡崎・北浜・弁財天・立岩・林崎 n=91	22.0	22.0	7.7
里浦町 n=34	11.8	8.8	8.8
鳴門町土佐泊浦 n=17	17.7	11.8	5.9
鳴門町高島・三ツ石 n=63	23.8	11.1	6.4
瀬戸町 n=50	20.0	8.0	6.0
大津町 n=104	22.1	17.3	2.9
北灘町 n=24	4.2	0.0	4.2
大麻町 n=141	14.9	12.8	5.0

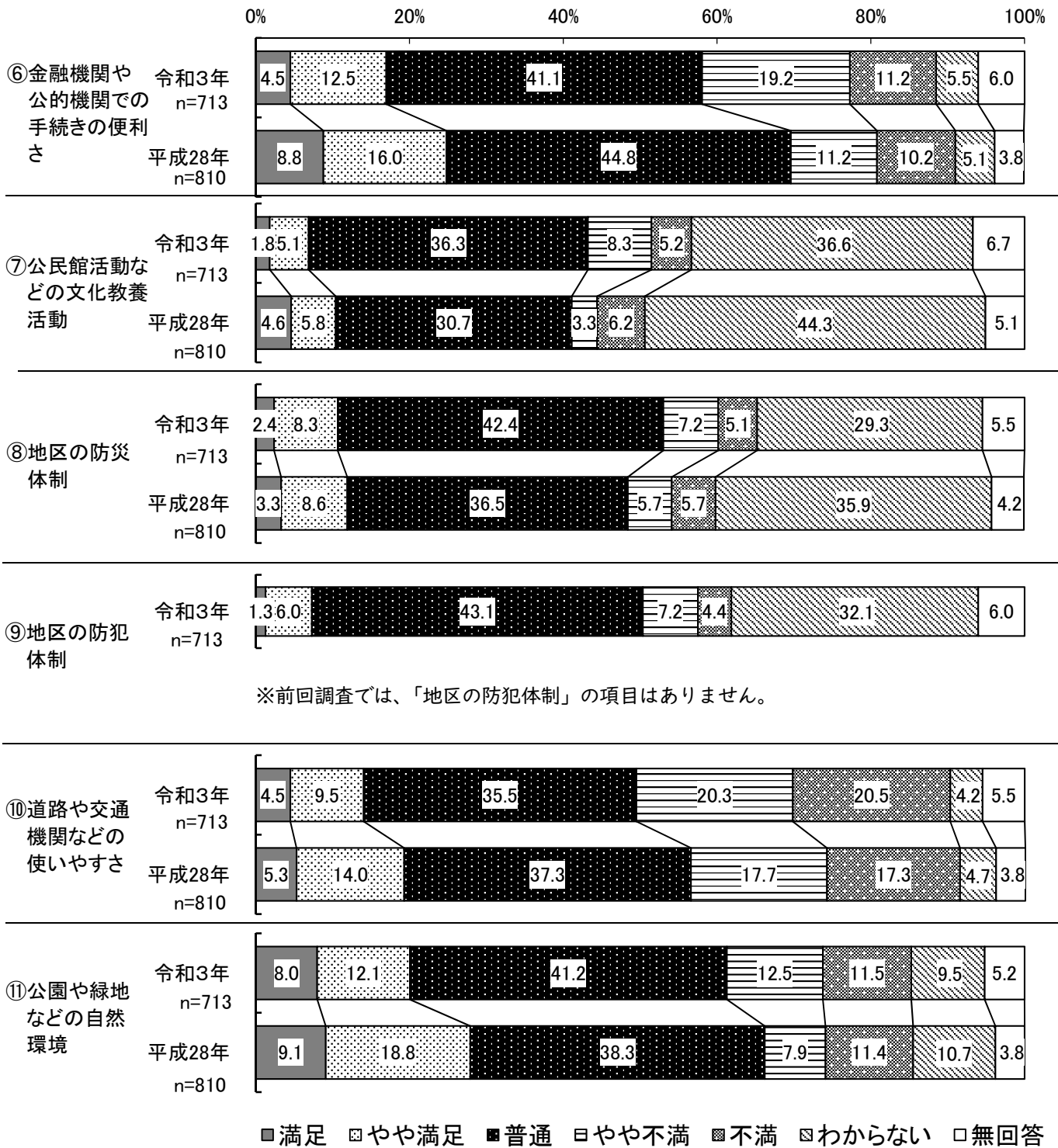
問15 あなたが住んでいる地区（問6でご回答いただいた地区）で、以下の項目についての暮らしやすさはいかがですか。（単数回答）

居住地区での暮らしやすさについて、「満足」（「満足」と「やや満足」の合計。）では、「近隣者の生活マナー」29.2%と最も多く、以下、「買い物などの便利さ」27.7%、「病院など医療関係施設」21.8%などの順となっている。

前回調査と比較し、全ての項目で「満足」は減少している。

（全体）



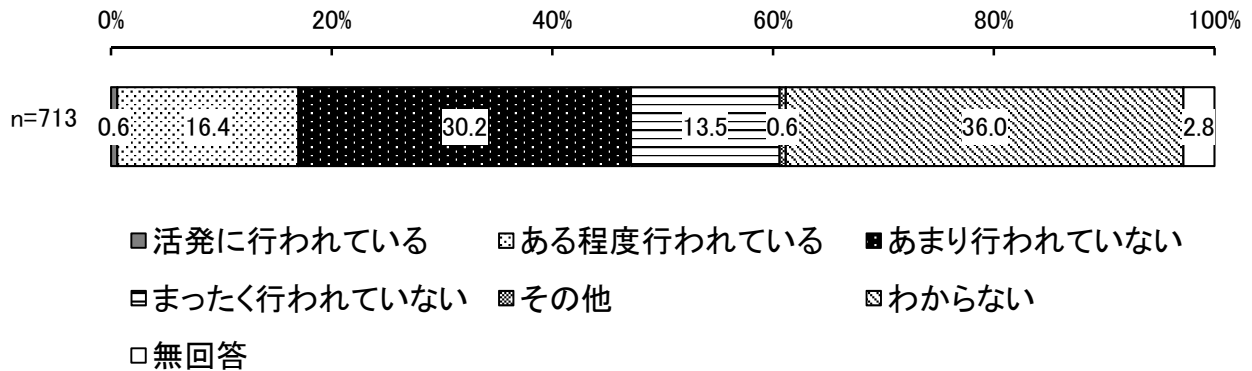


問16 あなたが住んでいる地区（問6でご回答いただいた地区）は、世代間交流が行われていますか。（単数回答）

居住地区で世代間交流が行われているかについて、「わからない」36.0%が最も多くなっている。「行われている」（「活発に行われている」と「ある程度行われている」の合計）17.0%、「行われていない」（「あまり行われていない」と「まったく行われていない」の合計）43.7%で、「行われていない」が26.7ポイント多くなっている。

地区別にみると、北灘町は「行われている」33.3%で最も多くなっている。里浦町、大津町及び大麻町は「行われていない」が5割を超えている。

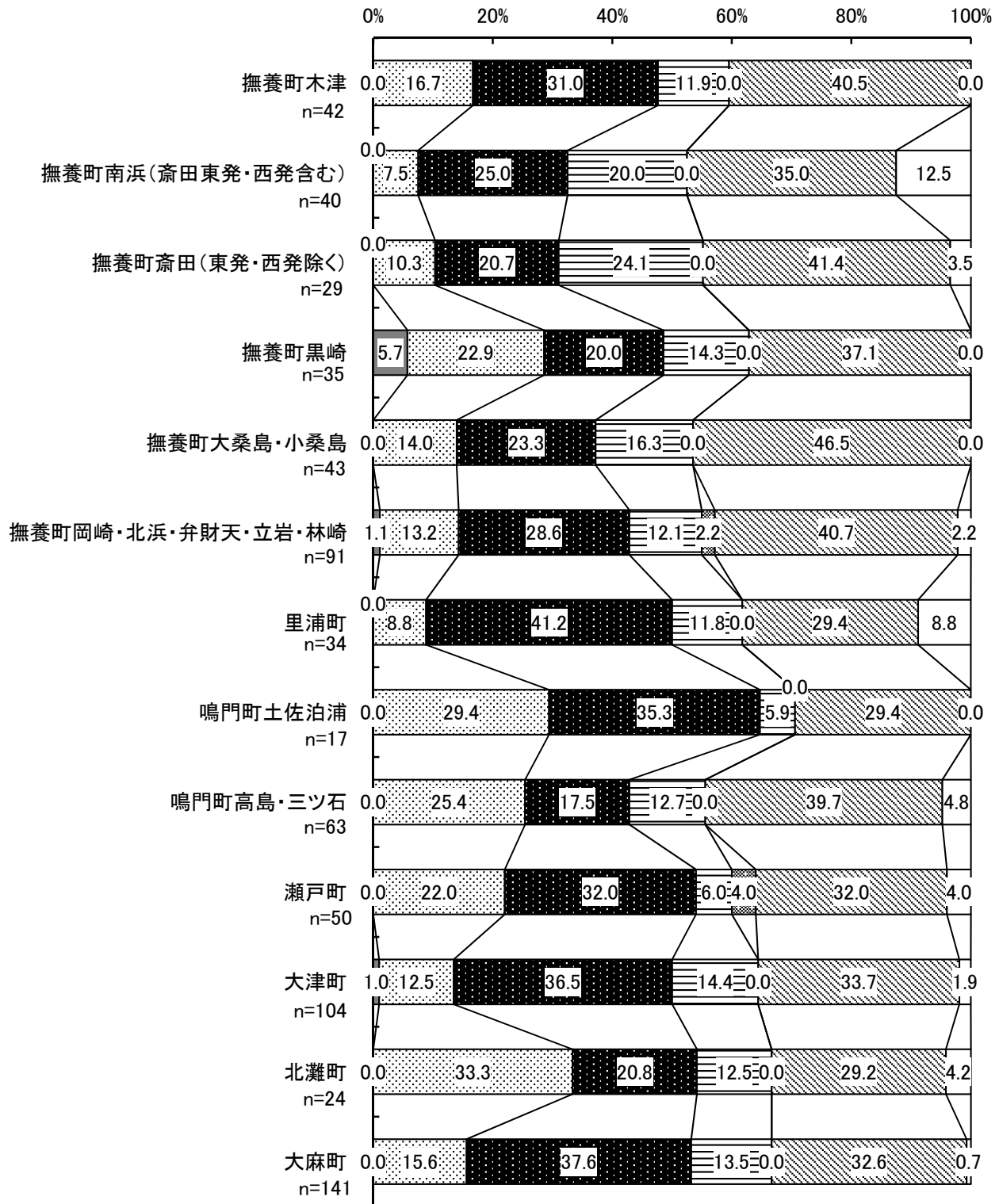
（全体）



（その他の回答）

- ・コロナ前は行われていたが、今はない。
- ・婦人会解散とコロナが重なり、今は休止状態。

(地区別)



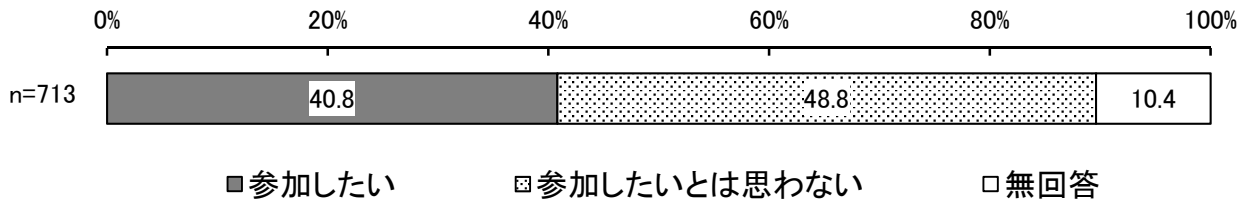
- 活発に行われている ▨ある程度行われている ■あまり行われていない
- まったく行われていない ▩その他 ▧わからない
- 無回答

問17 世代間交流の場があれば参加したいですか。(単数回答)

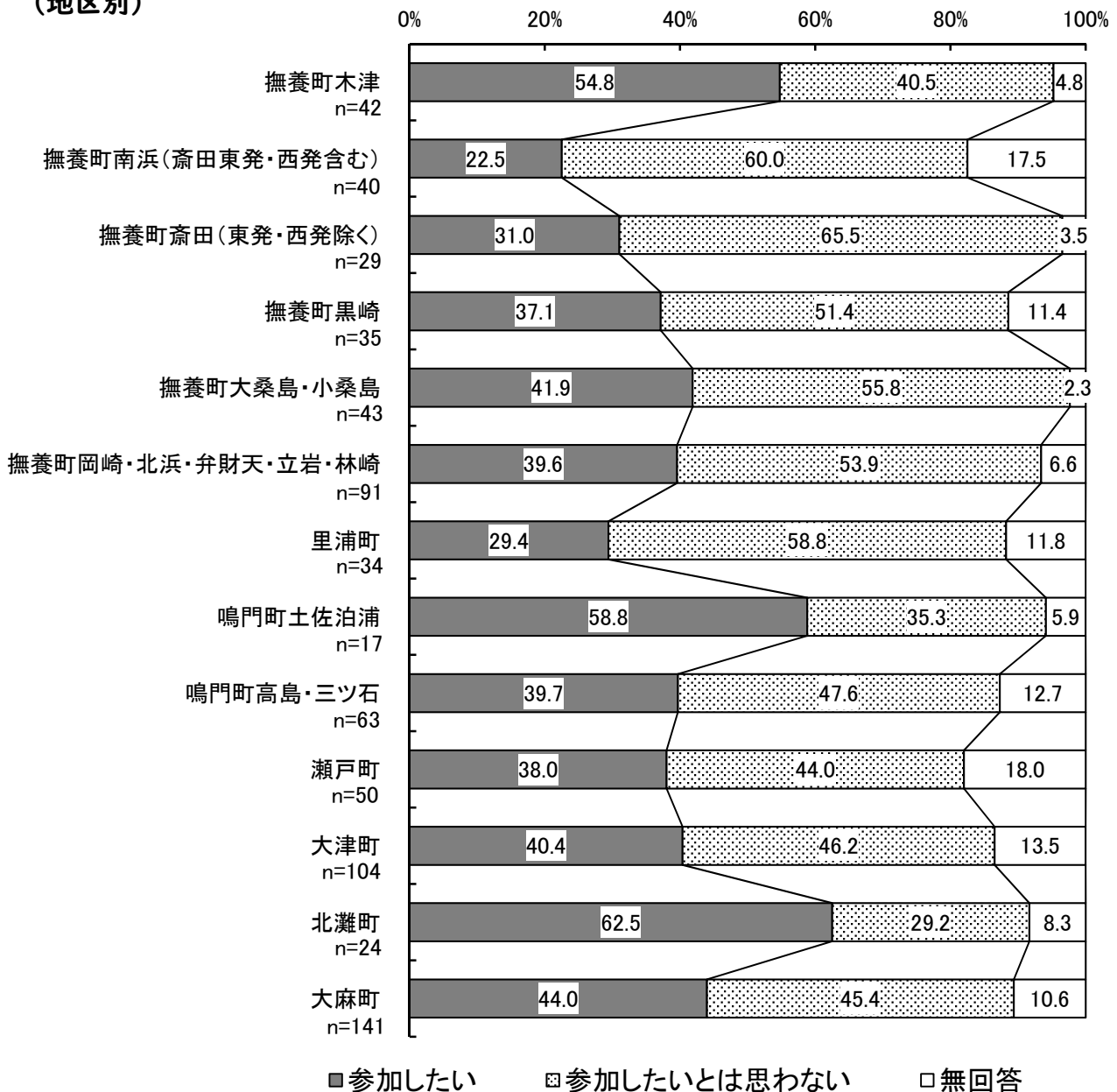
世代間交流の場に参加したいかについて、「参加したい」40.8%、「参加したいとは思わない」48.8%で差は8.0ポイントとなっている。

地区別にみると、撫養町木津、鳴門町土佐泊浦及び北灘町は「参加したい」が5割を超えている。

(全体)



(地区別)



問17-1 問17で「2」を選ばれたかたにおたずねします。
その理由についてご記入ください。（記述回答）

【交流そのものが不要】

- 必要性を感じないから。(25件)
- 交流したいと思わない。(3件)
- 世代間交流の魅力がわからない。
- 必要な情報はネットでわかるから。

【交流への苦手意識】

- 近所付き合い、人付き合いが苦手。(67件)
- 交流の場が苦手だから。(6件)、人間関係が面倒、煩わしい。(4件)

【交流に対しての考え】

- 考え方、見解の相違があるから。(4件)
- ご近所とのトラブル、もめ事を避けたい。(3件)
- 交流に参加される人や、イベントの内容によります。

【自身の都合】

- 時間が無い、余裕が無い(32件)
- 仕事、子育てが忙しいから。(22件)
- 出かけたくない。(8件)
- 介護で忙しい。
- 子どもがあまり地区にいない。

【健康上の理由、負担】

- 高齢だから。(9件)
- コロナ禍による影響(8件)
- 体が不自由(7件)、難聴、耳が聞こえにくい(4件)
- 体調が良くない。(7件)
- 障がい者だから(3件)
- 外出は無理。

問18 あなたは、これからも現在住んでいる地区に住み続けたいと思いますか。

(単数回答)

なお、「2」を選ばれた場合は、その理由を()内にご記入ください。

(記述回答)

現在住んでいる地区に住み続けたいかについて、「住み続けたい」71.1%で最も多くなっている。

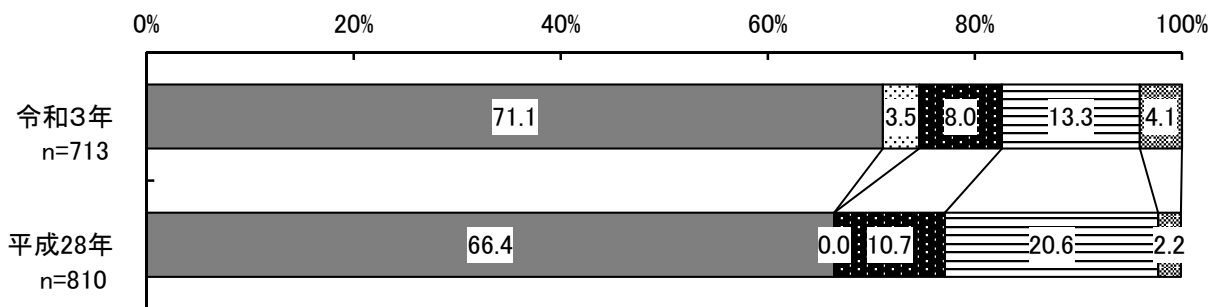
前回調査と比較し、「住み続けたい」が4.7ポイント増加している。

性別にみると、男女共に「住み続けたい」が7割を超えている。

年齢別にみると、全ての年代で「住み続けたい」が最も多く、40歳以上で「住み続けたい」が7割を超えている。

地区別にみると、全ての地区で「住み続けたい」が最も多くなっている。

(全体)



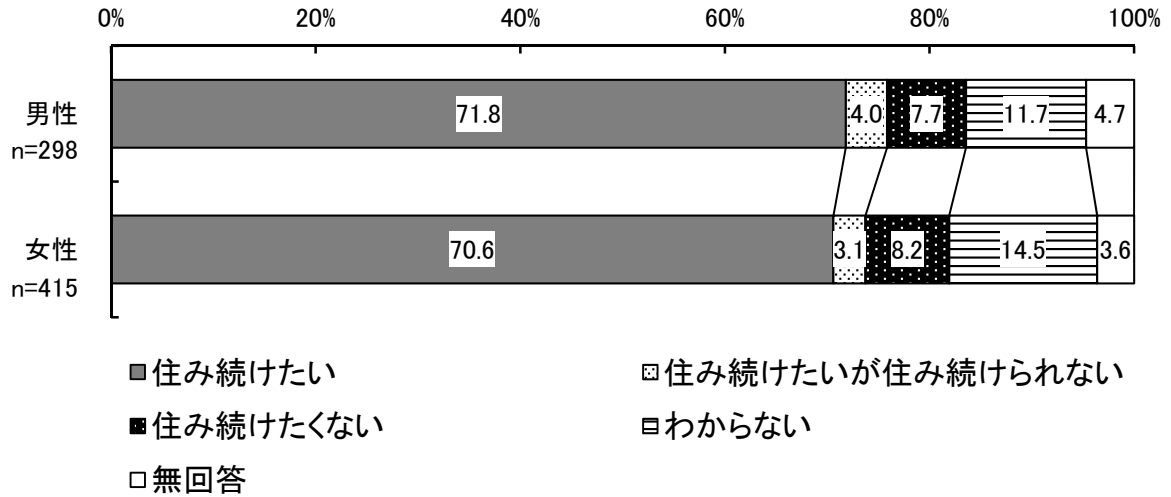
- 住み続けたい
- 住み続けたくない
- 無回答
- ▣ 住み続けたいが住み続けられない
- わからない

※前回調査では、「住み続けたいが住み続けられない」の選択肢はありません。

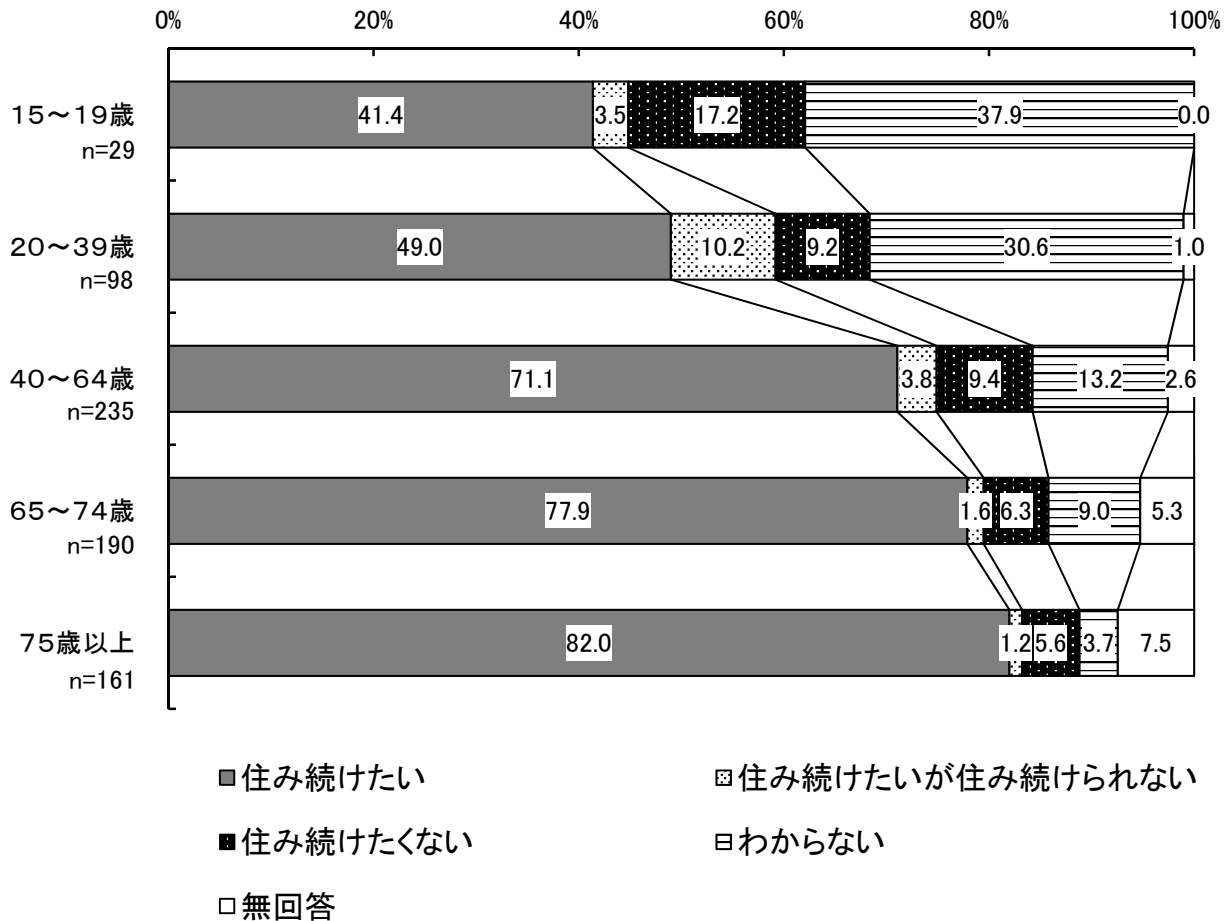
(住み続けたいが住み続けられない理由)

- ・ 仕事(転勤・異動) (5件)
- ・ 就職 (2件)
- ・ 車の移動が困難となった時に生活できない。 (2件)
- ・ 徳島市へ行くことを考えている (2件)
- ・ 進学
- ・ 線路が真横にあるから。
- ・ 生活が苦しいから。
- ・ 祖父母の介護、就職先による。
- ・ 子どもが学区外の小学校に通っているの。
- ・ 住居を維持していくのが大変だから。
- ・ 高齢者なので、今後施設に入る可能性があるから。

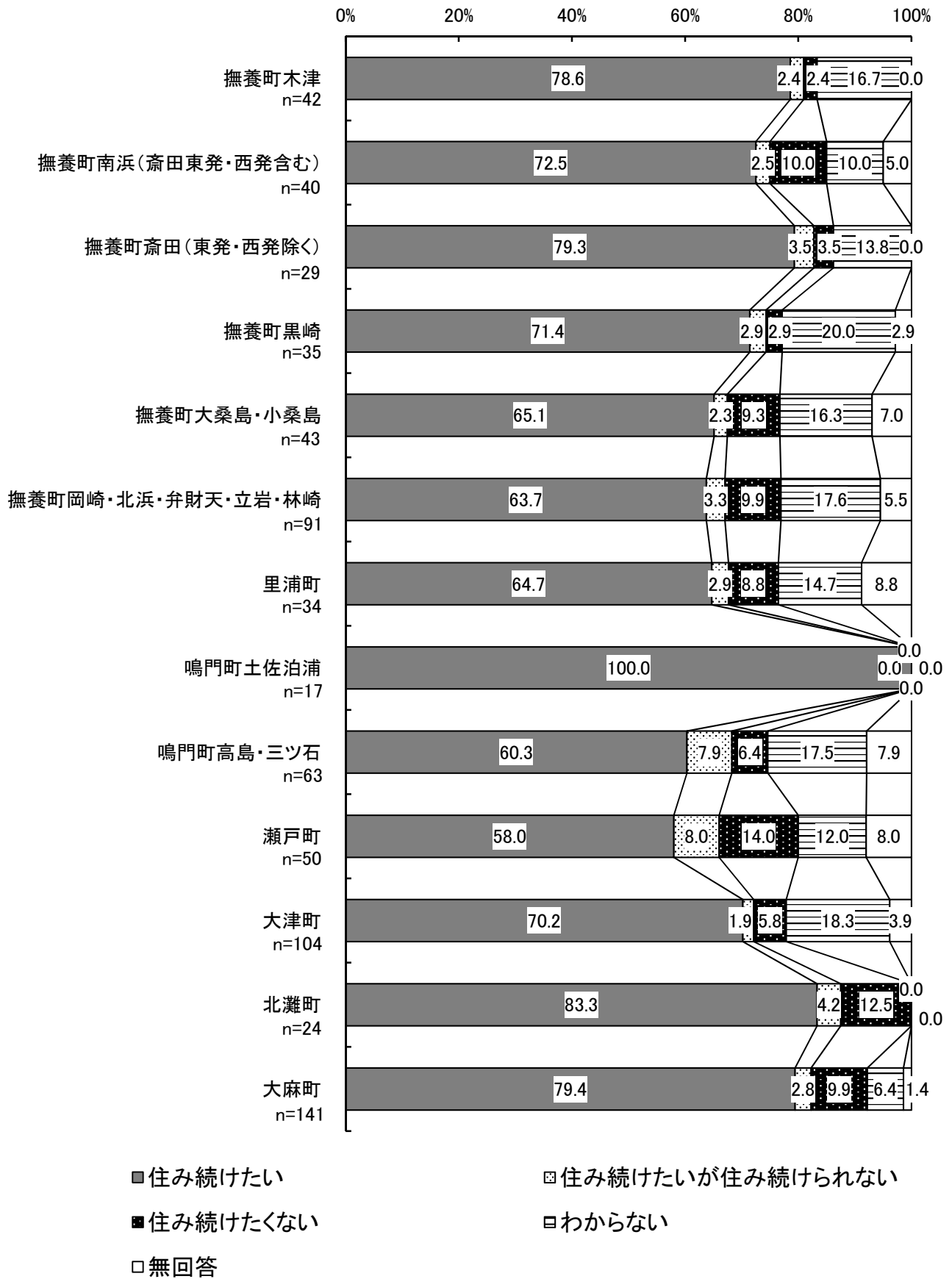
(性別)



(年齢別)



(地区別)



問18-1 問18で「3」を選ばれたかたにおたずねします。

どのような点で住み続けたくないと思いますか。(複数回答)

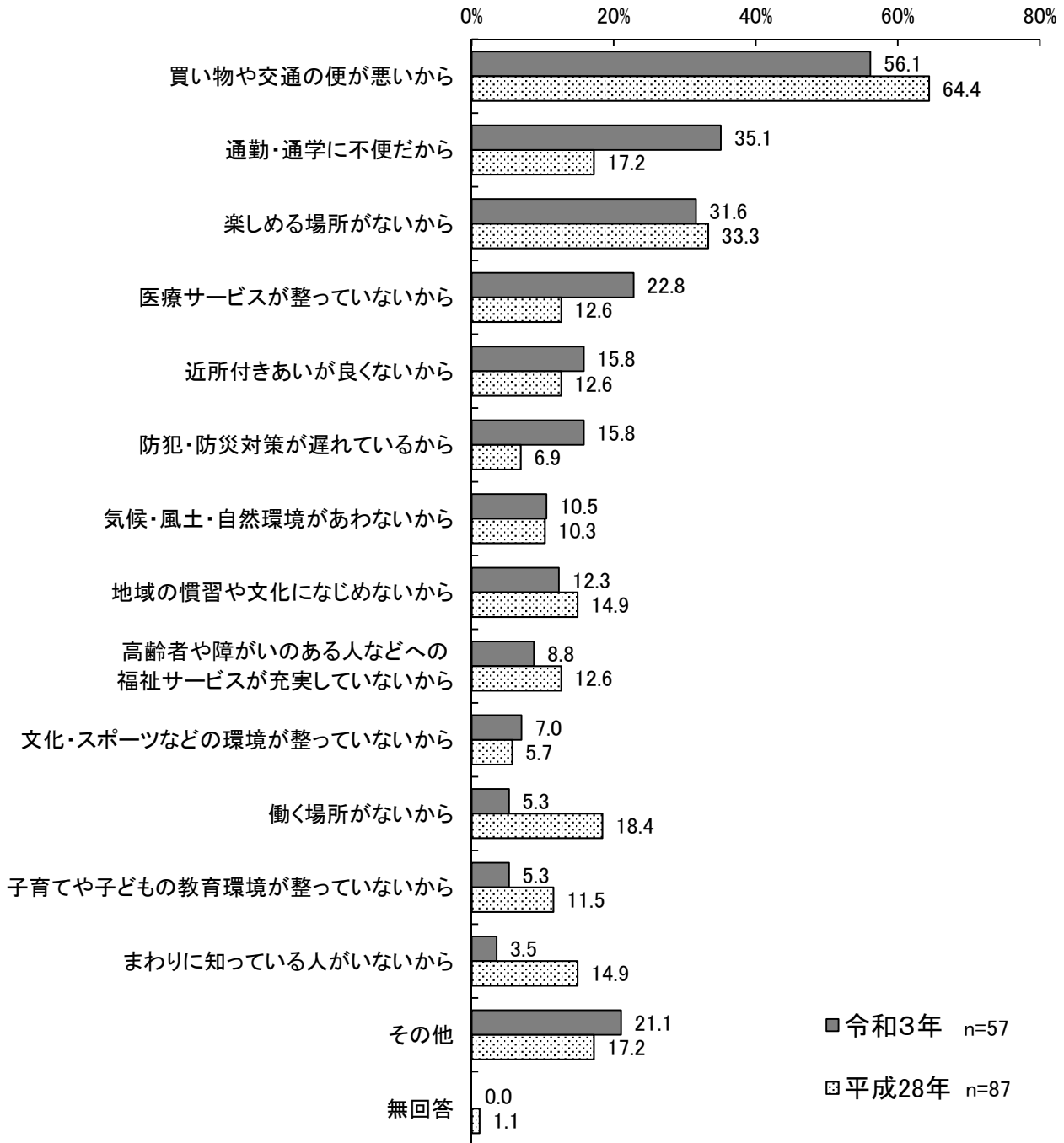
住み続けたくない理由について、「買い物や交通の便が悪いから」56.1%と最も多く、以下、「通勤・通学に不便だから」35.1%、「楽しめる場所がないから」31.6%などの順となっている。

前回調査と比較し、「通勤・通学に不便だから」が17.9ポイント増加している。「働く場所がないから」が13.1ポイント減少している。

性別にみると、男女共に「買い物や交通の便が悪いから」が最も多くなっている。「楽しめる場所がないから」(男性26.1%、女性35.3%)で女性の方が9.2ポイント多くなっている。

年齢別にみると、65歳以上で「買い物や交通の便が悪いから」が7割を超えている。20~39歳で「楽しめる場所がないから」が5割を超えている。75歳以上で「医療サービスが整っていないから」が5割を超えている。

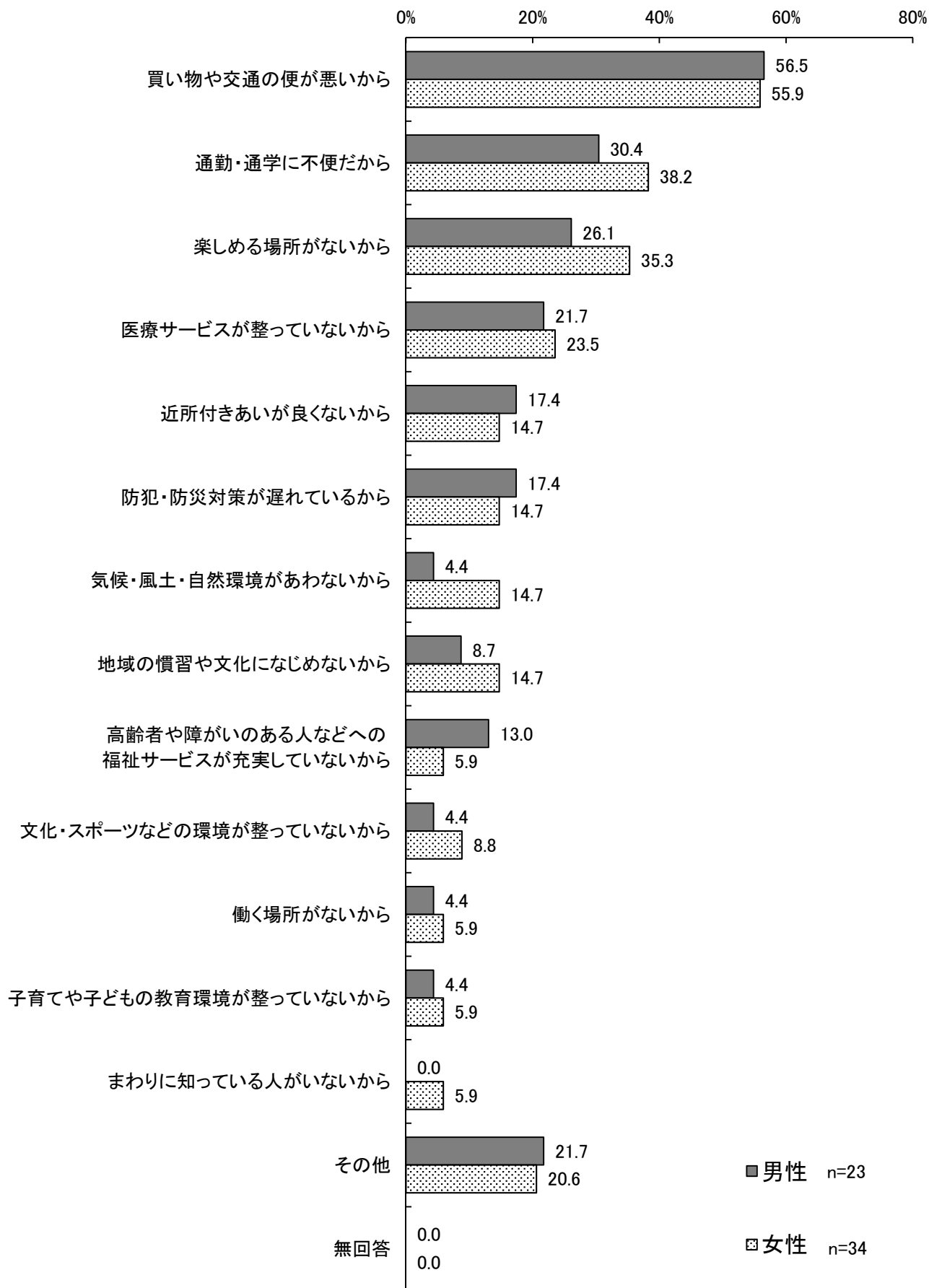
(全体)



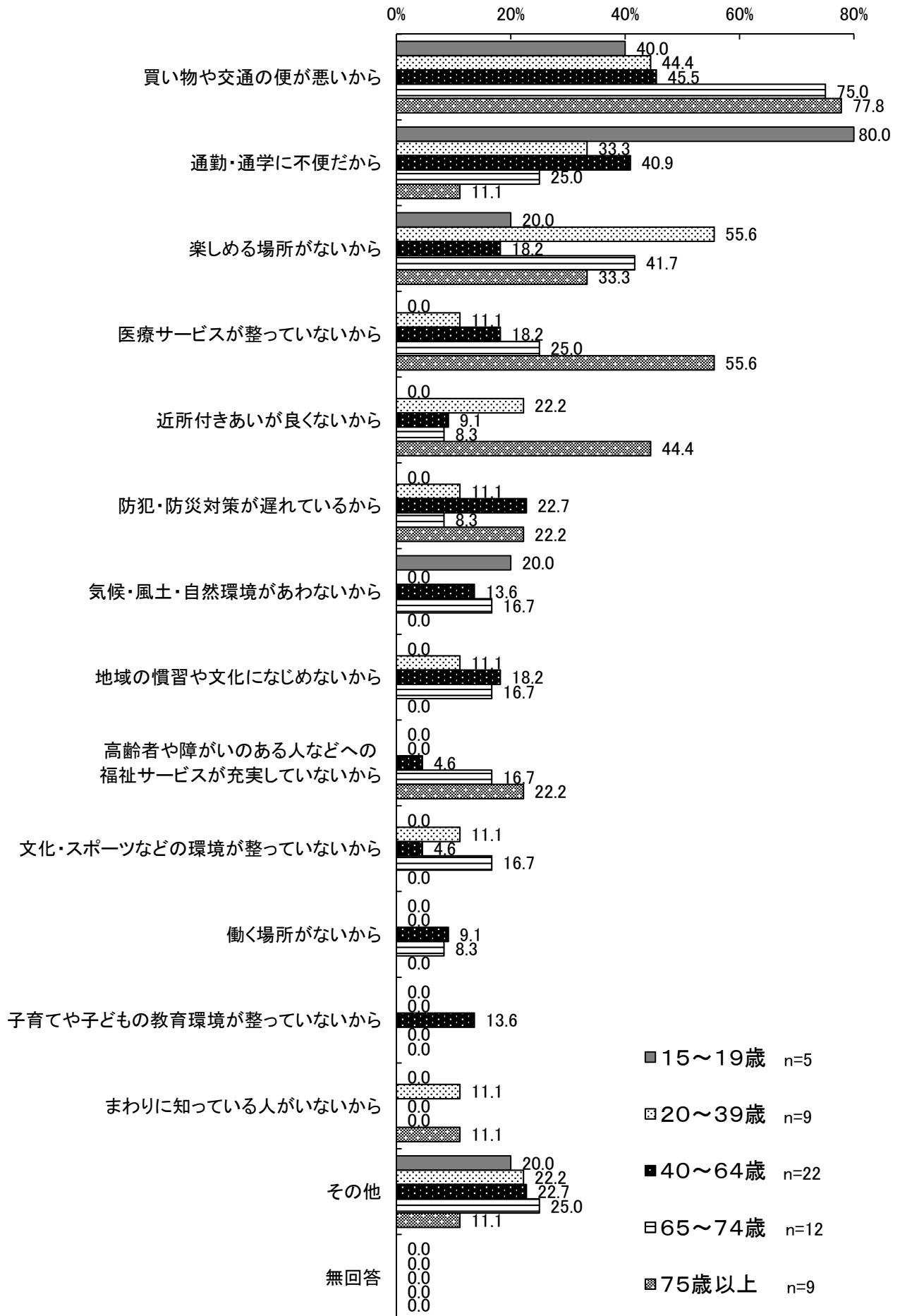
(その他の回答)

- ・引っ越し (2 件)
- ・津波 (2 件)
- ・地震が怖い。
- ・転職予定のため。
- ・農業で目が痛い。
- ・持家の老朽化。
- ・子どもと別で暮らしているから。
- ・排気ガス、騒音に悩まされている。
- ・他市町村と比べて税金、保険料が高い。ゴミ袋も高すぎる。

(性別)



(年齢別)



問19 あなたは、町内会や自治会・子ども会・老人クラブなどの地域活動をしていますか。（単数回答）

町内会や自治会・子ども会・老人クラブなどの地域活動をしているかについて、「活動したことがない」45.3%と最も多くなっている。

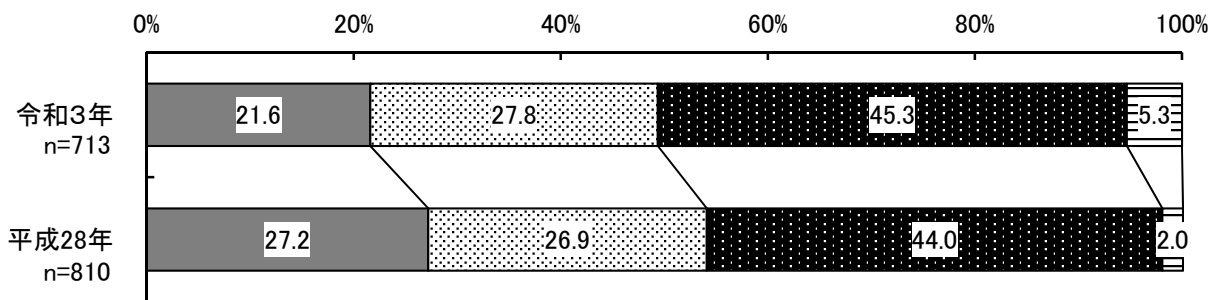
前回調査と比較し、「現在活動している」が5.6ポイント減少している。

性別にみると、「現在活動している」（男性24.8%、女性19.3%）で男性の方が5.5ポイント多くなっている。

年齢別にみると、65～74歳で「現在活動している」34.7%で他の年代に比べ、最も多くなっている。20～39歳で「活動したことがない」74.5%と他の年代に比べ、最も多くなっている。

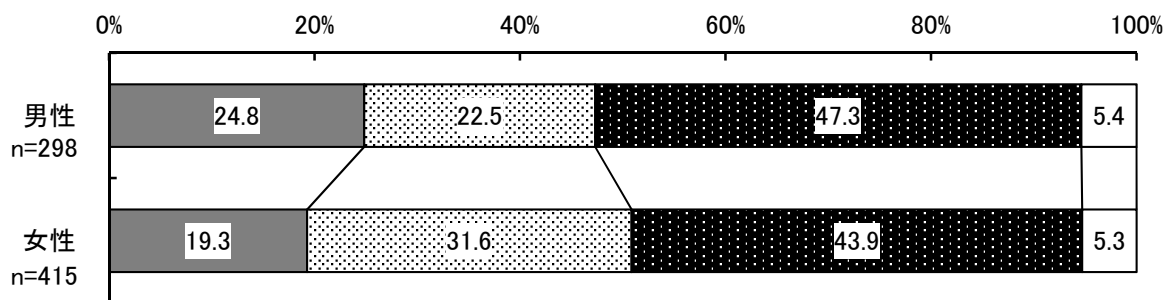
地区別にみると、北灘町で「現在活動している」が5割となっている。

（全体）



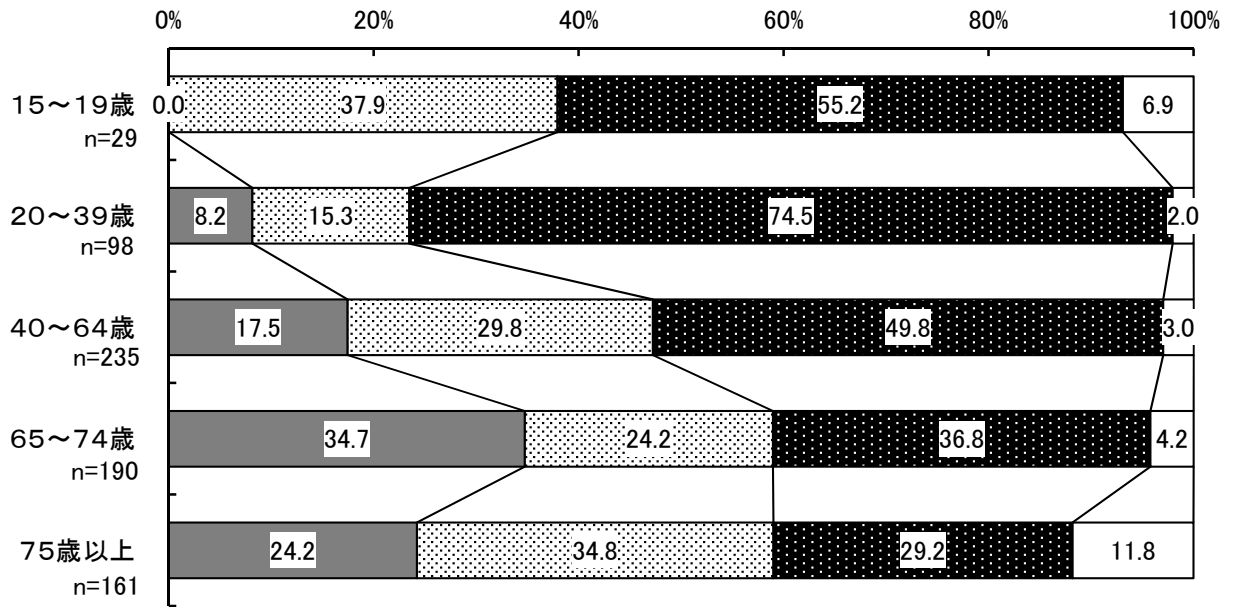
- 現在活動している
- ▨ 過去に活動したことはあるが、現在は活動していない
- 活動したことがない
- 無回答

（性別）



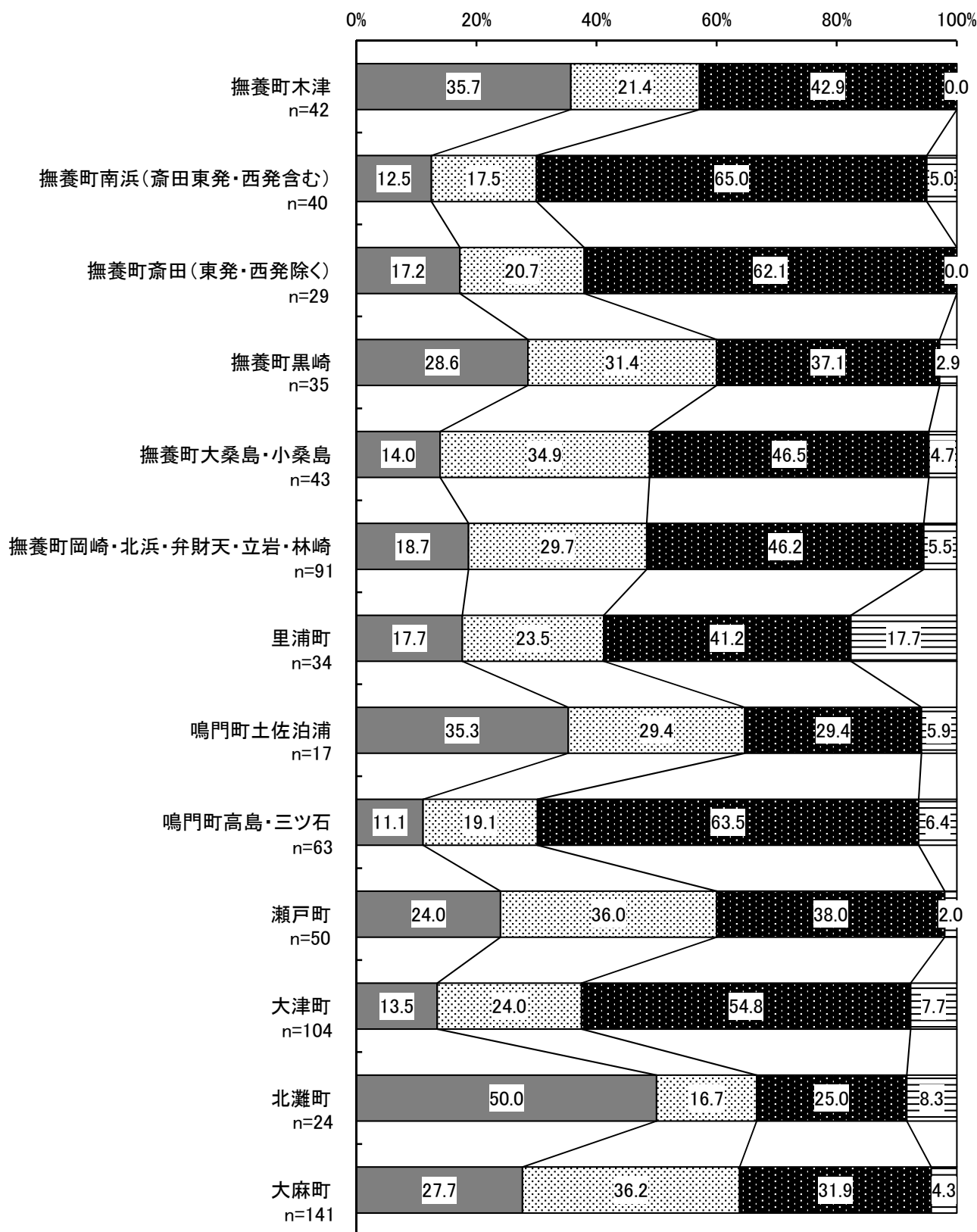
- 現在活動している
- ▨ 過去に活動したことはあるが、現在は活動していない
- 活動したことがない
- 無回答

(年齢別)



- 現在活動している
- ▨ 過去に活動したことはあるが、現在は活動していない
- 活動したことがない
- 無回答

(地区別)



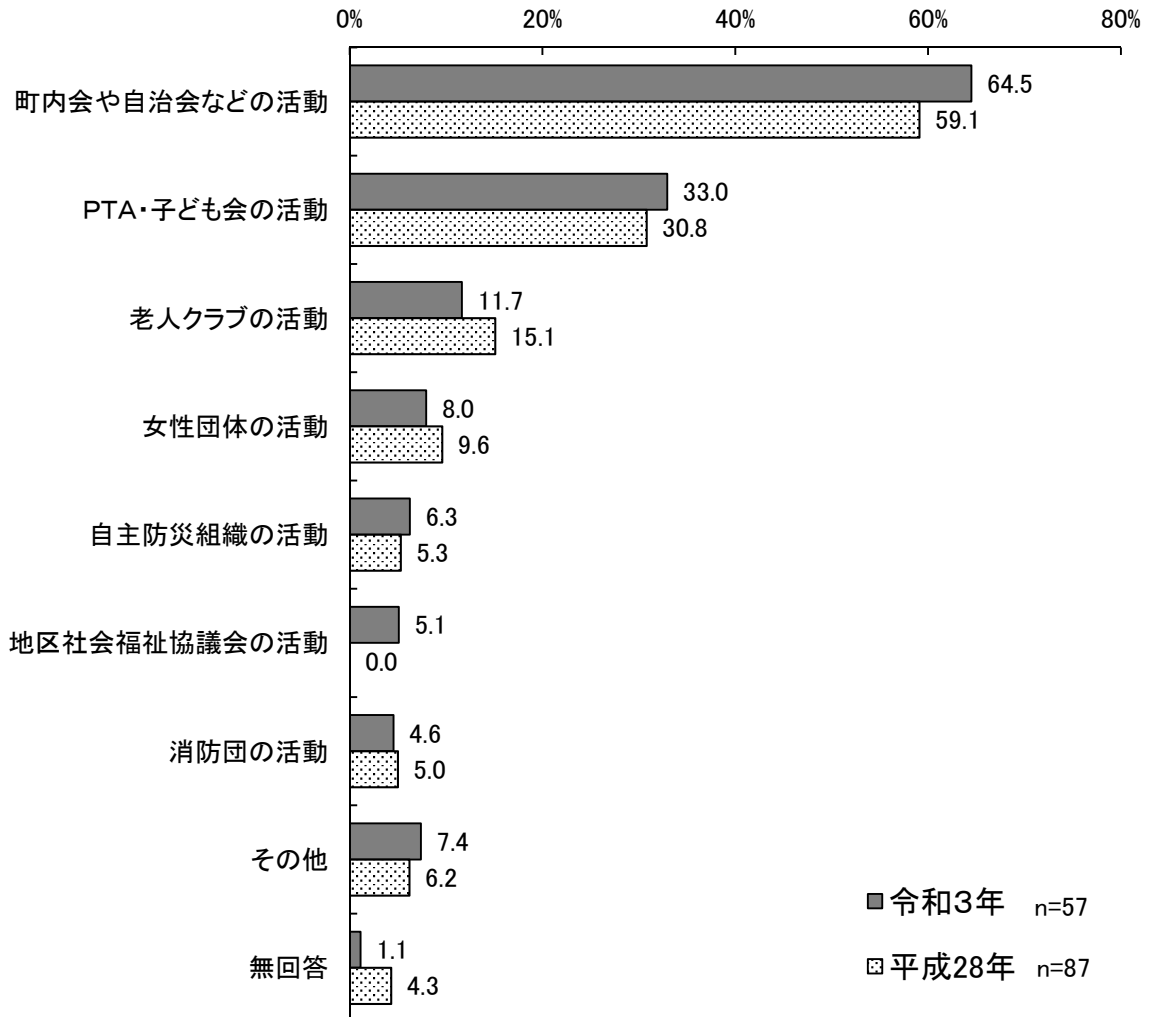
- 現在活動している
- ▨ 過去に活動したことはあるが、現在は活動していない
- 活動したことがない
- ▨ 無回答

問19-1 問19で「1」または「2」を選ばれたかたにおたずねします。
 どのような活動をしていますか（しましたか）。（複数回答）

どのような活動をしているかについて、「町内会や自治会などの活動」64.5%と最も多く、以下、「PTA・子ども会の活動」33.0%、「老人クラブの活動」11.7%などの順となっている。

前回調査と比較し、「町内会や自治会などの活動」が5.4ポイント増加している。

(全体)



※前回調査では、「地区社会福祉協議会の活動」の選択肢はありません。

(その他の回答)

- ・暮らしサポートセンターへのボランティア
- ・地区の神社総代会
- ・ロータリークラブ
- ・パトロール（防犯活動・不法投棄監視）（2件）
- ・清掃（海岸清掃・草抜き・神社の掃除）（7件）
- ・寺の世話、選挙の立会人
- ・花づくりのボランティア
- ・文化的活動
- ・図書館活動（2件）
- ・民生委員
- ・町内会の集金の手伝い
- ・ボランティア
- ・婦人会
- ・町内会の祭りなど
- ・NPO法人ふくろうの森
- ・サポートセンターむや
- ・学校行事
- ・青年連合会、JC

問19-2 問19で「3」を選ばれたかたにおたずねします。

あなたがこれまで地域活動に参加されなかったのはなぜですか。

(複数回答)

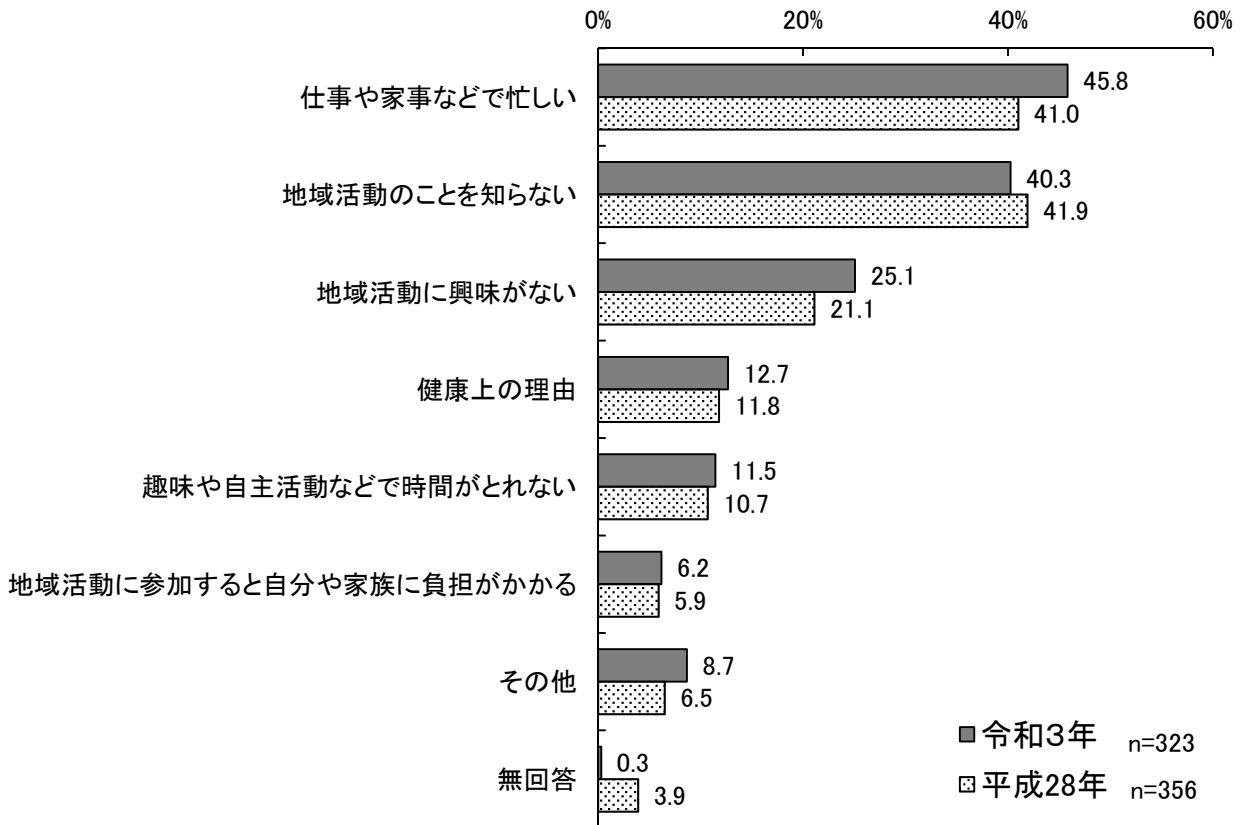
地域活動に参加しなかった理由について、「仕事や家事などで忙しい」45.8%と最も多く、以下、「地域活動のことを知らない」40.3%、「地域活動に興味がない」25.1%などの順となっている。

前回調査と比較し、「仕事や家事などで忙しい」が4.8ポイント増加している。

性別にみると、男性では「地域活動のことを知らない」45.4%で最も多く、女性では「仕事や家事などで忙しい」47.3%で最も多くなっている。「地域活動のことを知らない」は、男性の方が9.1ポイント多くなっている。

年齢別にみると、15～19歳で「地域活動のことを知らない」が最も多く、20～74歳で「仕事や家事などで忙しい」が最も多く、75歳以上で「健康上の理由」が最も多くなっている。

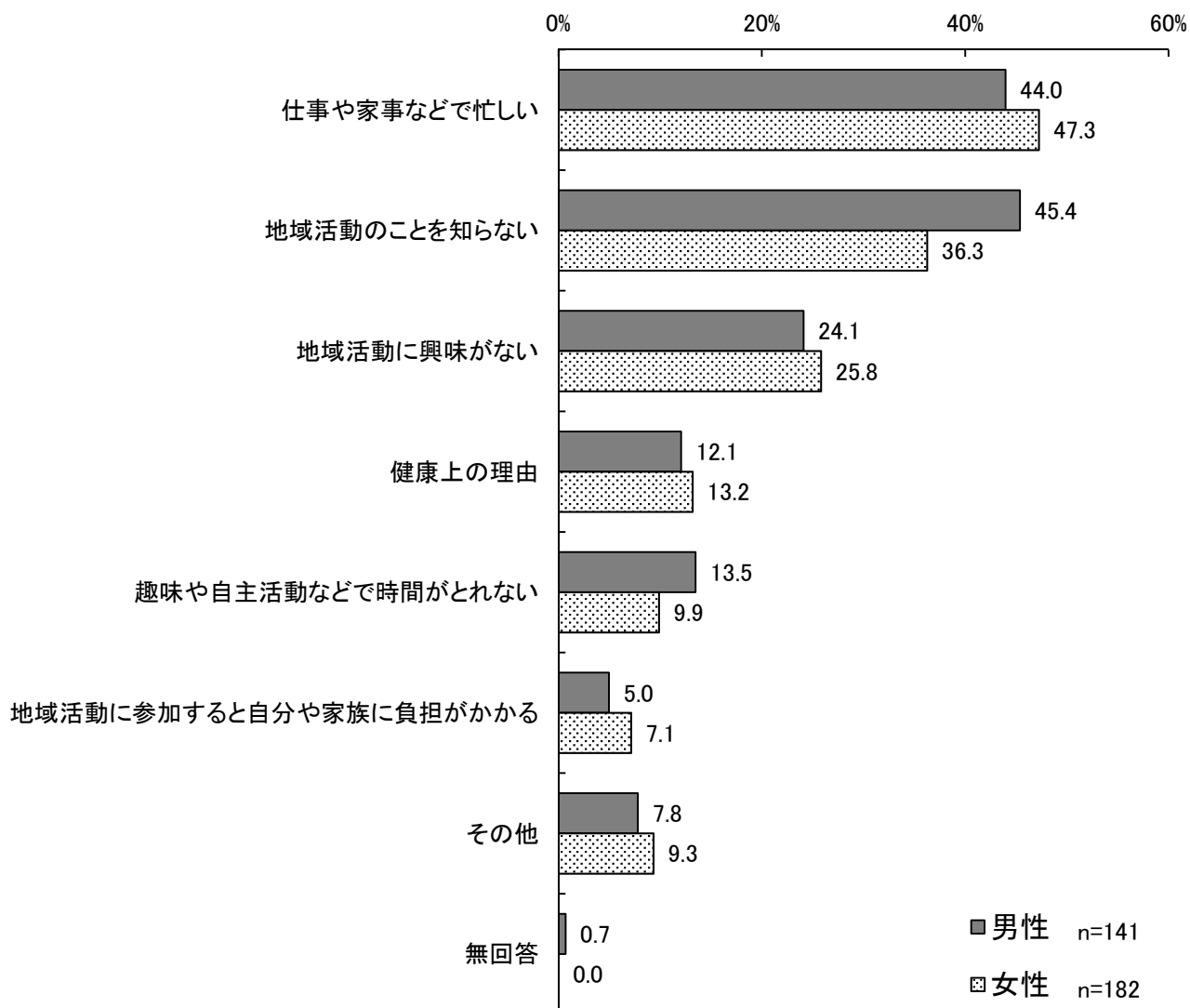
(全体)



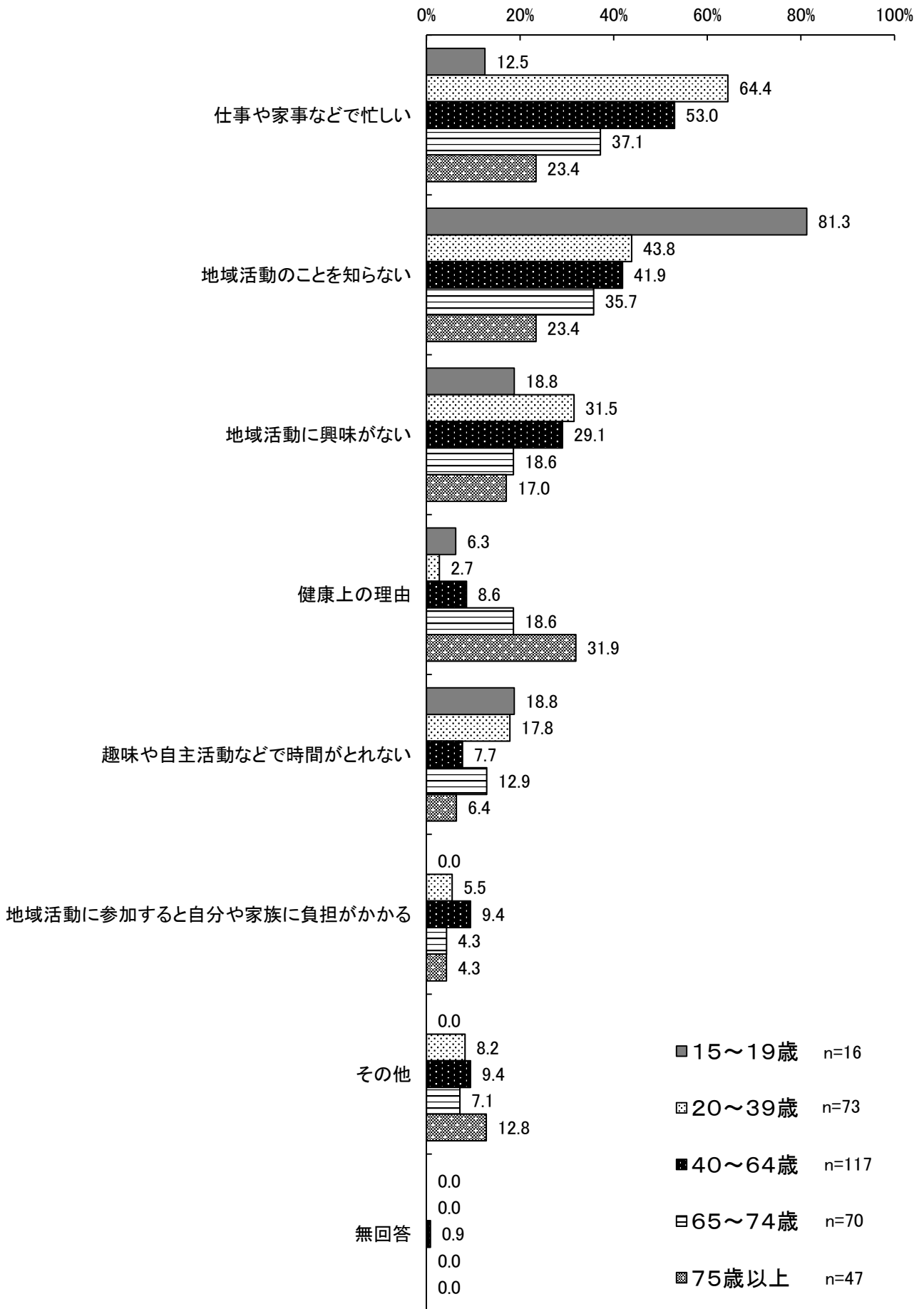
(その他の回答)

- ・活動がない。(3件) ・地域に町内会や自治会がない。 ・情報がない。
- ・回覧板が回ってくるが、日時が過ぎていたり、参加できるような内容のものが少ない。
- ・人付き合いが苦手。 ・意見を言えない性格なので疲れてしまう。
- ・声かけしてくれる人もいないので、参加するのをためらっている。
- ・自分との見解の相違などで他人を傷つけたくなく、また批判などをしたくないからです。
- ・家族が参加しているので。(4件) ・自治会に入っていない。 ・高齢のため。
- ・耳が悪いので話ができない。 ・重度の障がい者であるため。
- ・障がいのある子を連れて交流するのは、肉体的・精神的負担。

(性別)



(年齢別)



問20 あなたは、過去5年の間で、問19-1のような地域での活動以外のボランティア活動に参加したことがありますか。（単数回答）

地域での活動以外のボランティア活動に参加したことについてみると、「ある」20.8%、「ない」75.7%で「ない」の方が54.9ポイント多くなっている。

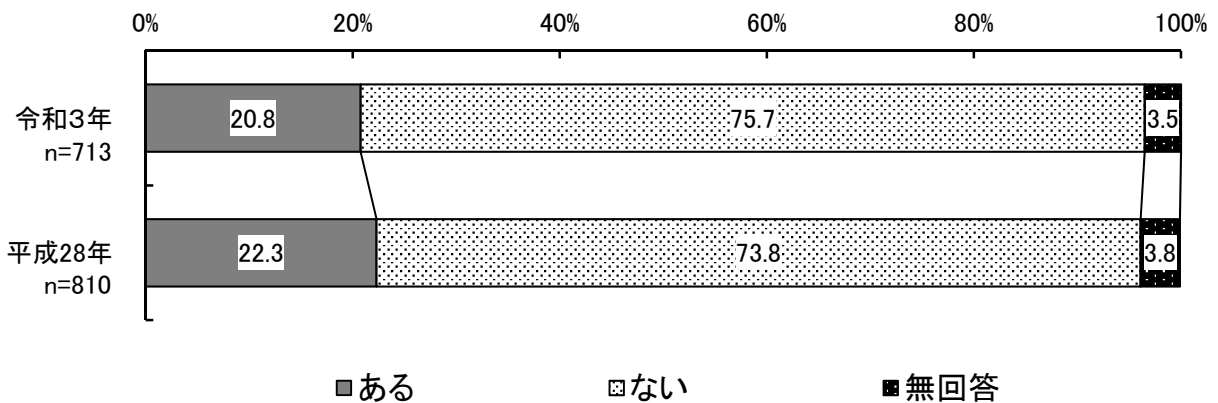
前回調査と比較し、「ある」が1.5ポイント減少している。

性別にみると、「ある」（男性21.8%、女性20.0%）は男性の方が1.8ポイント多くなっている。

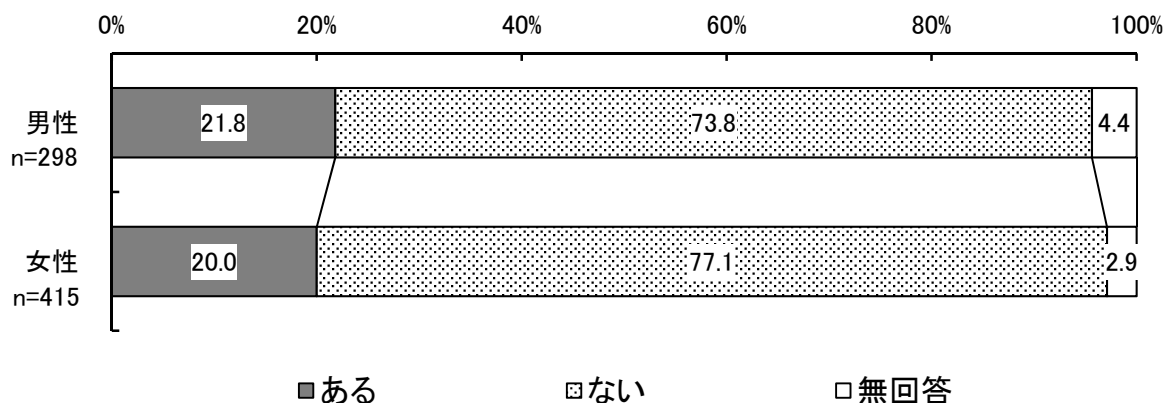
年齢別にみると、15～19歳及び65歳以上は「ある」が2割台となっている。

地区別にみると、鳴門町高島・三ツ石、瀬戸町、大津町及び大麻町を除く全ての地区で「ある」は2割台となっている。

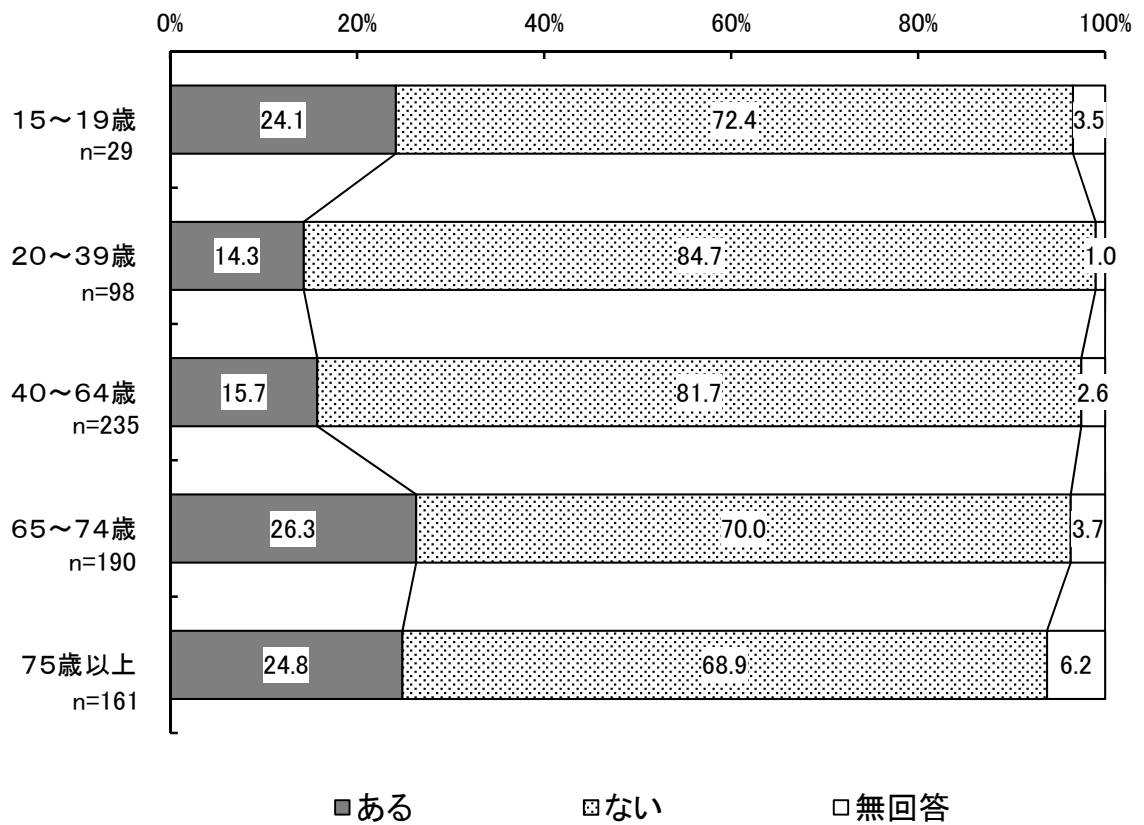
（全体）



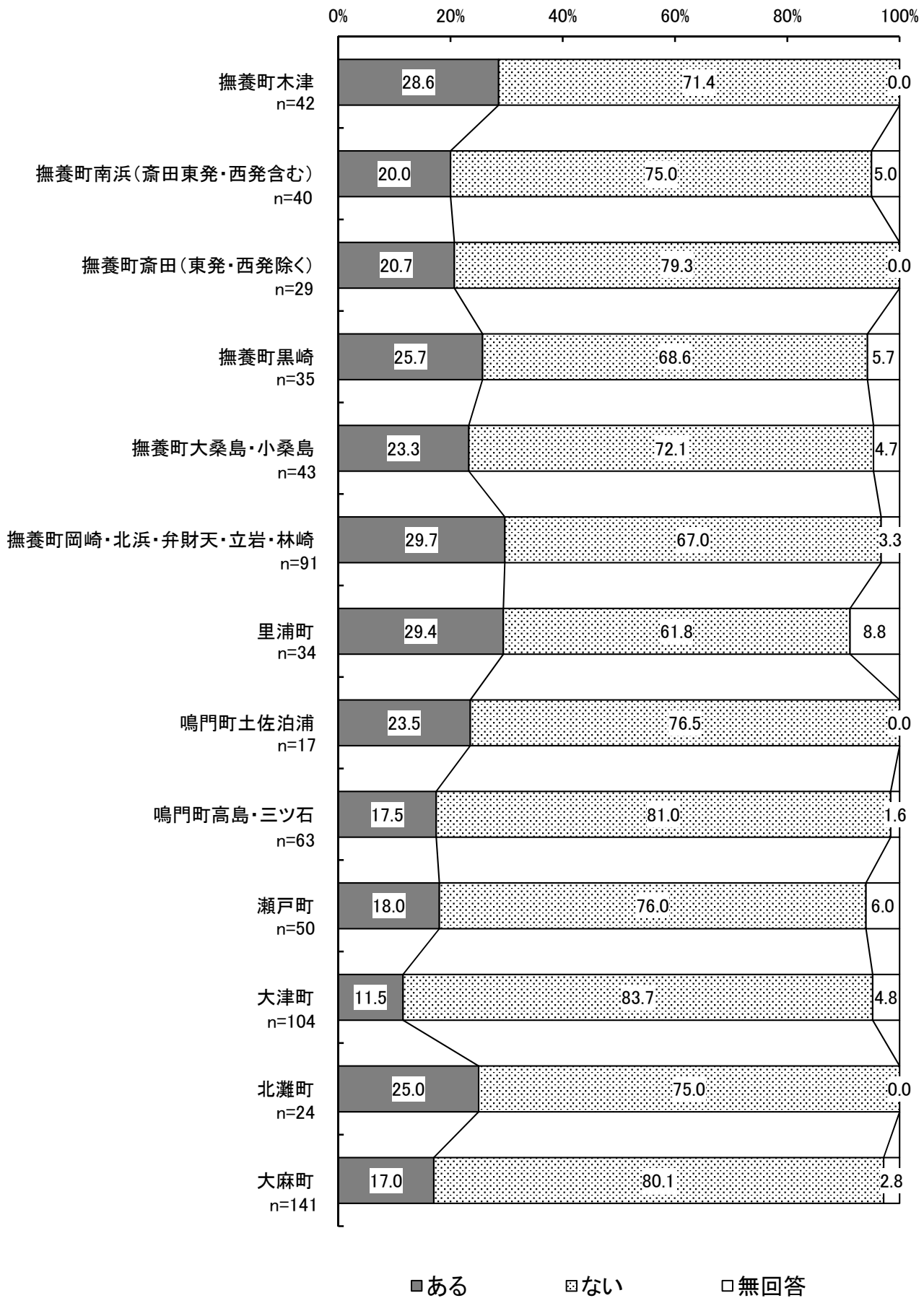
（性別）



(年齢別)



(地区別)



問20-1 問20で「1」を選ばれたかたにおたずねします。

主にどのような活動をしていますか（しましたか）。（複数回答）

地域での活動以外のボランティア活動で主にどのような活動しているかについてみると、「環境美化に関する活動（自然愛護や美化運動、リサイクル運動など）」50.7%で最も多く、以下、「スポーツや文化・芸術に関する活動」23.7%、「防災や防犯、交通安全などに関する活動」19.6%などの順となっている。

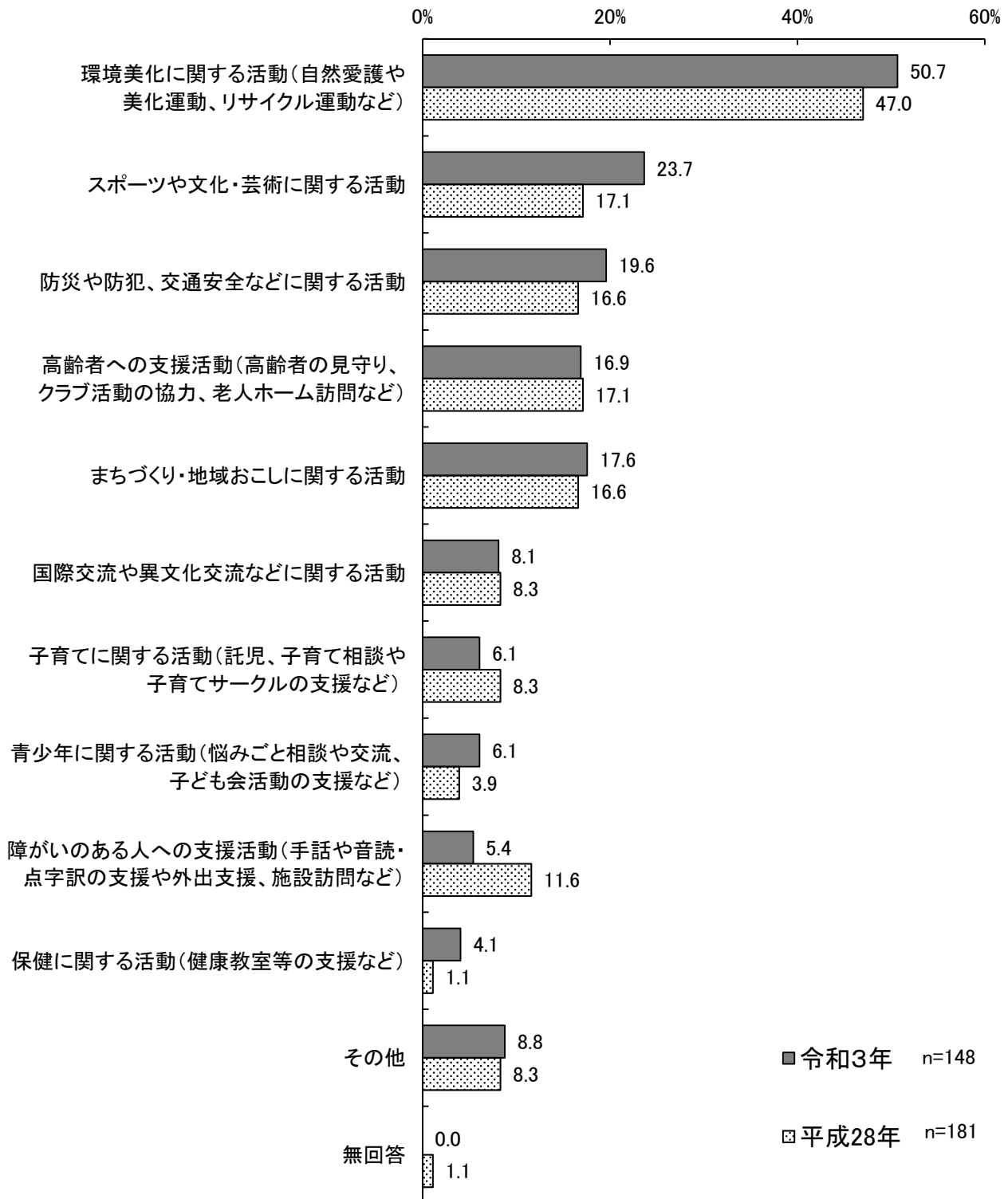
前回調査と比較し、「スポーツや文化・芸術に関する活動」が6.6ポイント増加している。「障がいのある人への支援活動（手話や音読・点字訳の支援や外出支援、施設訪問など）」が6.2ポイント減少している。

性別にみると、男女共に「環境美化に関する活動（自然愛護や美化運動、リサイクル運動など）」が最も多く、以下、男性では「防災や防犯、交通安全などに関する活動」、女性では「スポーツや文化・芸術に関する活動」などの順となっている。「防災や防犯、交通安全などに関する活動」では男性の方が17.1ポイント多く、「高齢者への支援活動（高齢者の見守り、クラブ活動の協力、老人ホーム訪問など）」では女性の方が10.9ポイント多くなっている。

年齢別にみると、15～19歳及び40歳以上で「環境美化に関する活動（自然愛護や美化運動、リサイクル運動など）」が最も多く、特に、65～74歳は60.0%となっている。20～39歳では「スポーツや文化・芸術に関する活動」が最も多くなっている。

地区別にみると、撫養町南浜（斎田東発・西発含む）、鳴門町高島・三ツ石及び北灘町を除く全ての地区で「環境美化に関する活動（自然愛護や美化運動、リサイクル運動など）」が最も多く、特に、瀬戸町では77.8%となっている。北灘町では「防災や防犯、交通安全などに関する活動」及び「まちづくり・地域おこしに関する活動」が最も多くなっている。

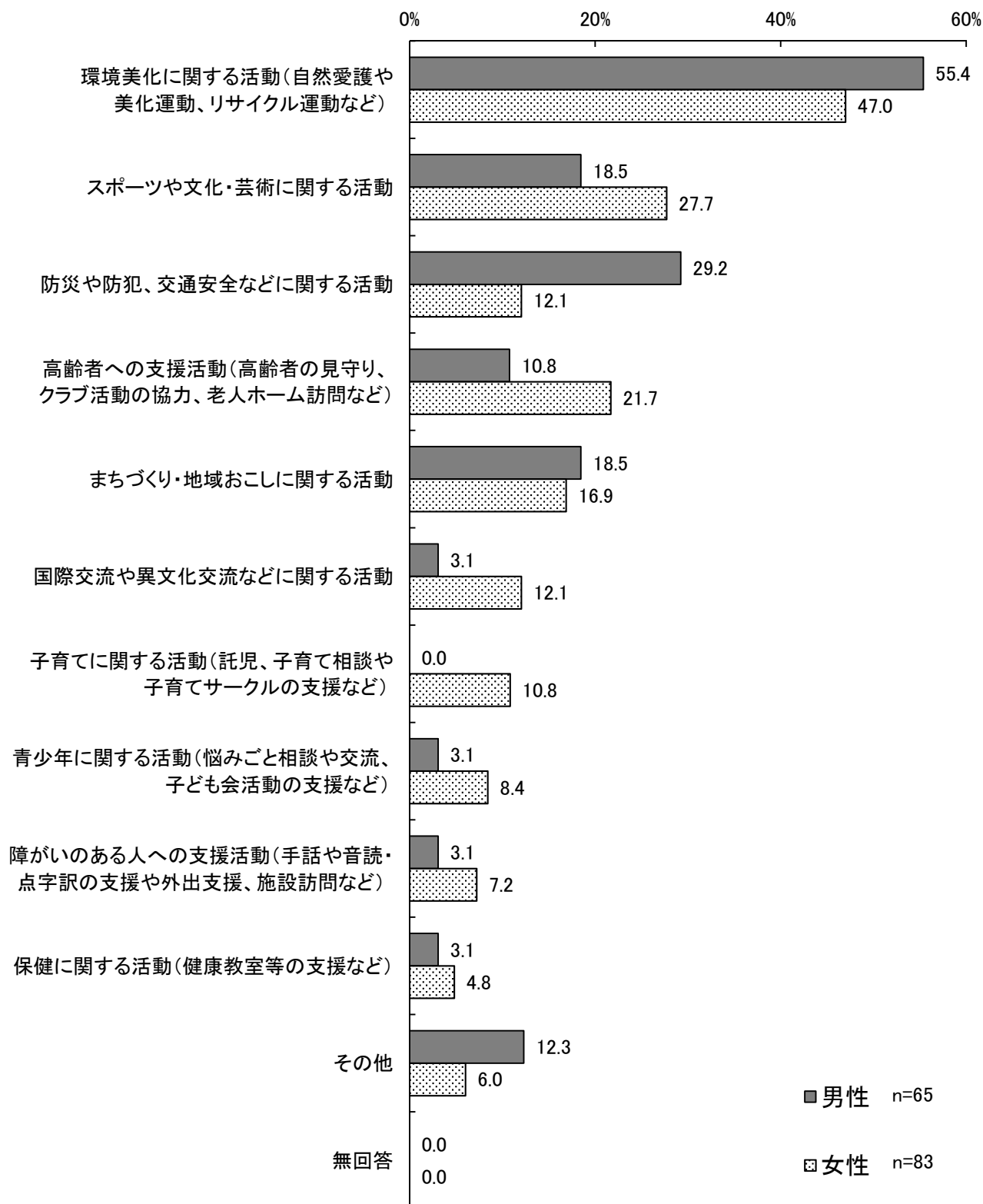
(全体)



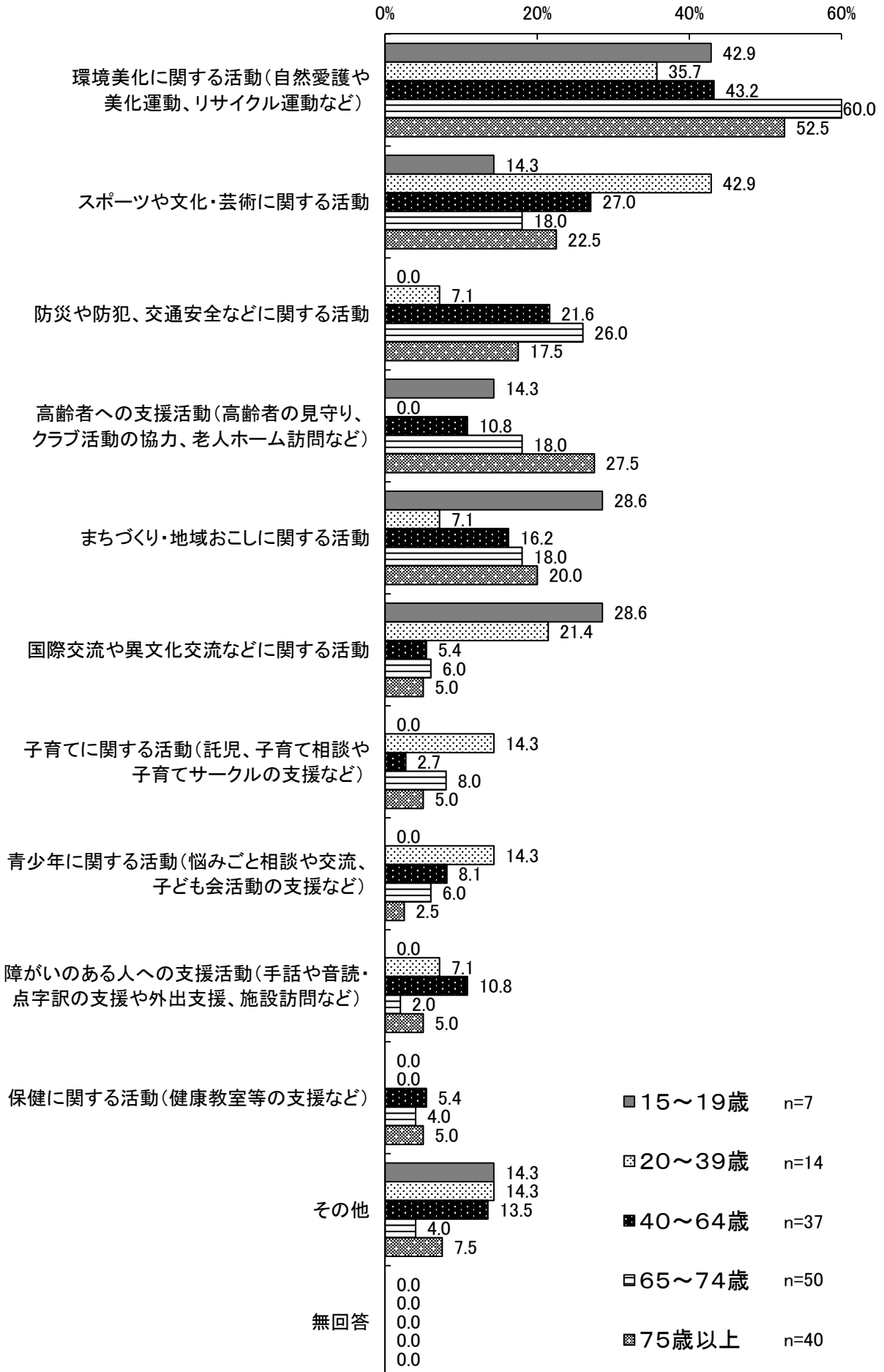
(その他の回答)

- ・災害ボランティア ・公園の雑草刈り ・公民館でのボランティア活動。
- ・認知症の方への支援活動や啓発活動。 ・コロナ対策備品支援活動 ・動物愛護
- ・時々自主的にごみ拾い、献血 ・お祭りイベントのスタッフ
- ・手芸、百歳体操、パソコン教室、料理教室 ・スクールガード ・PTA活動 ・町内の清掃

(性別)



(年齢別)



(地区別)

	環境美化に関する活動	スポーツや文化・芸術に関する活動	防災や防犯、交通安全などに関する活動	高齢者への支援活動	まちづくり・地域おこしに関する活動	国際交流や異文化交流などに関する活動	子育てに関する活動
撫養町木津 n=12	50.0	25.0	25.0	25.0	8.3	16.7	0.0
撫養町南浜 n=8	25.0	37.5	12.5	12.5	25.0	12.5	0.0
撫養町斎田 n=6	50.0	0.0	16.7	33.3	0.0	0.0	0.0
撫養町黒崎 n=9	55.6	44.4	22.2	22.2	44.4	0.0	0.0
撫養町大桑島・小桑島 n=10	40.0	20.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0
撫養町岡崎・北浜・弁財天・立岩・林崎 n=27	51.9	25.9	22.2	14.8	0.0	7.4	7.4
里浦町 n=10	50.0	30.0	40.0	10.0	10.0	10.0	0.0
鳴門町土佐泊浦 n=4	75.0	25.0	0.0	50.0	25.0	0.0	0.0
鳴門町高島・三ツ石 n=11	27.3	9.1	9.1	9.1	27.3	0.0	0.0
瀬戸町 n=9	77.8	11.1	11.1	22.2	33.3	0.0	11.1
大津町 n=12	66.7	33.3	8.3	16.7	16.7	16.7	16.7
北灘町 n=6	33.3	0.0	50.0	16.7	50.0	16.7	0.0
大麻町 n=24	54.2	25.0	20.8	12.5	20.8	8.3	12.5
	青少年に関する活動	障がいのある人への支援活動	保健に関する活動	その他	無回答		
撫養町木津 n=12	0.0	0.0	0.0	8.3	0.0		
撫養町南浜 n=8	0.0	0.0	12.5	0.0	0.0		
撫養町斎田 n=6	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0		
撫養町黒崎 n=9	11.1	22.2	11.1	11.1	0.0		
撫養町大桑島・小桑島 n=10	10.0	0.0	10.0	30.0	0.0		
撫養町岡崎・北浜・弁財天・立岩・林崎 n=27	7.4	0.0	3.7	3.7	0.0		
里浦町 n=10	10.0	0.0	0.0	10.0	0.0		
鳴門町土佐泊浦 n=4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
鳴門町高島・三ツ石 n=11	0.0	9.1	0.0	36.4	0.0		
瀬戸町 n=9	0.0	0.0	11.1	0.0	0.0		
大津町 n=12	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0		
北灘町 n=6	0.0	0.0	16.7	16.7	0.0		
大麻町 n=24	8.3	12.5	0.0	4.2	0.0		

問21 あなたは、地域活動やボランティア活動に関する情報を主にどこから得ていますか。（複数回答）

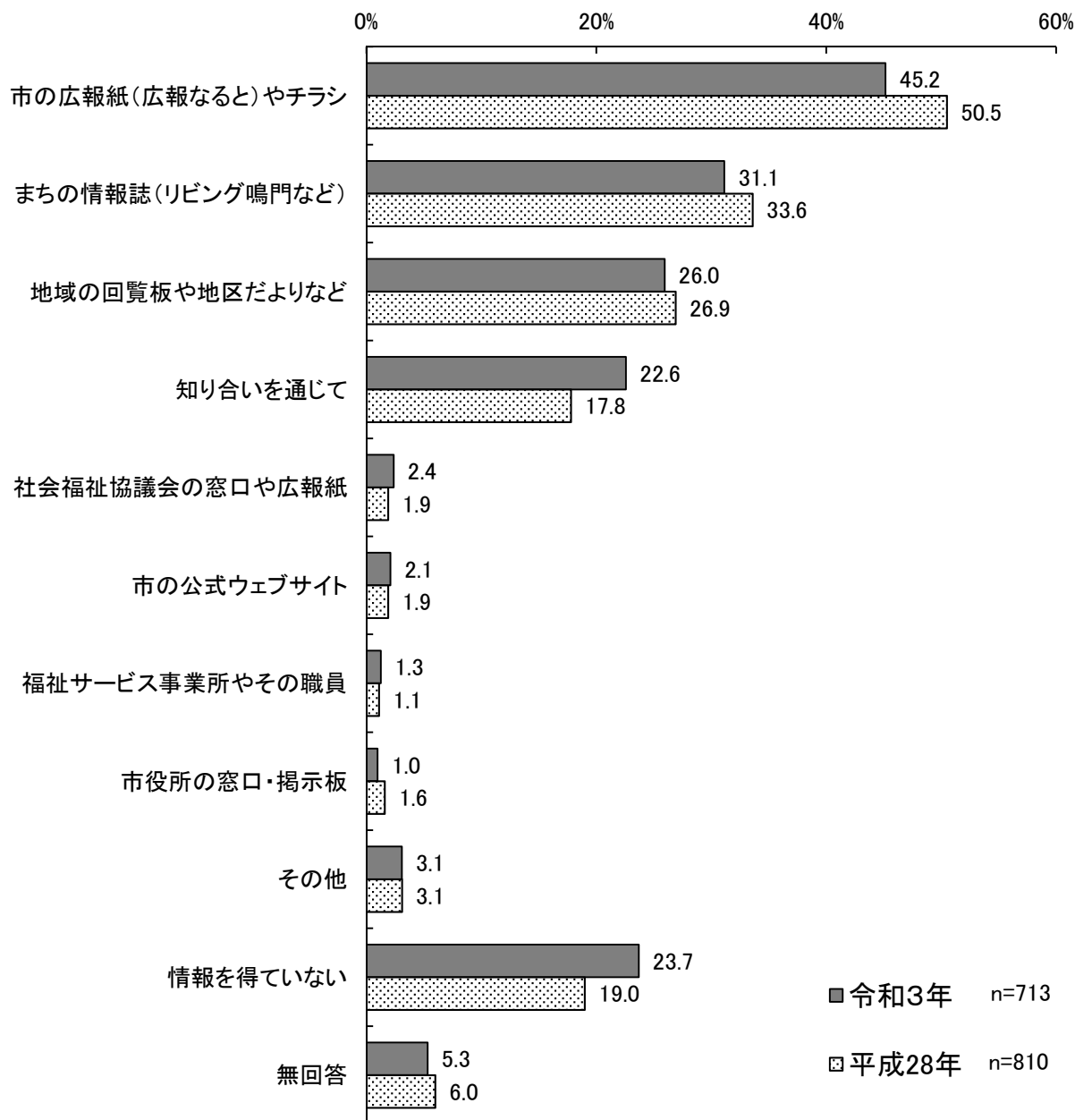
地域活動やボランティア活動に関する情報を主にどこから得ているかについてみると、「市の広報紙（広報なると）やチラシ」45.2%で最も多く、以下、「まちの情報誌（リビング鳴門など）」31.1%、「地域の回覧板や地区だよりなど」26.0%などの順となっている。

前回調査と比較し、「市の広報紙（広報なると）やチラシ」が5.3ポイント減少している。

年齢別にみると、39歳以下は「情報を得ていない」が最も多く、40歳以上は「市の広報紙（広報なると）やチラシ」が最も多くなっている。

地区別にみると、撫養町木津、鳴門町土佐泊浦及び北灘町を除く全ての地区で「市の広報紙（広報なると）やチラシ」が最も多くなっている。鳴門町土佐泊浦では「地域の回覧板や地区だよりなど」47.1%で最も多く、「市の広報紙（広報なると）やチラシ」は17.7%と少なくなっている。北灘町では「知り合いを通じて」50.0%で最も多く、「市の広報紙（広報なると）やチラシ」は25.0%と少なくなっている。

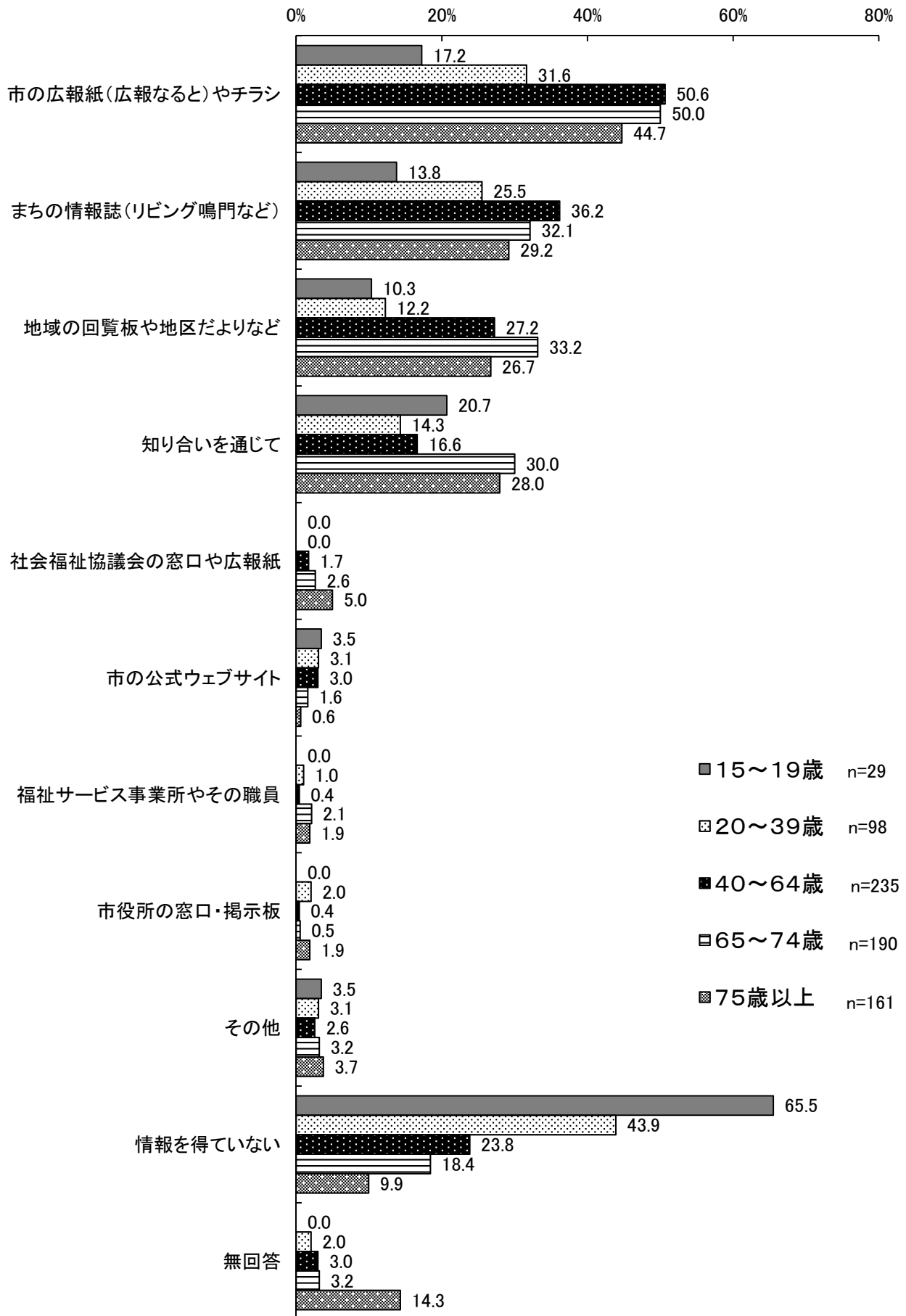
(全体)



(その他の回答)

- ・ テレビ (4件) ・ 学校 (2件) ・ 家族、親 (2件) ・ 役をされている方より。
- ・ 自治会の連絡項目より知っている。 ・ 高校・大学の先生 ・ 公民館活動を通じて。 ・ 新聞
- ・ 職場の知人 ・ 自分で検索するなど。 ・ 地域のボランティア会 ・ 公共建物の張り紙
- ・ 所属団体

(年齢)



(地区別)

	市の広報紙 (広報なる と)やチラシ	まちの情報 誌(リビング 鳴門など)	地域の回覧 板や地区だ よりなど	知り合いを 通じて	社会福祉協 議会の窓口 や広報紙	市の公式 ウェブサイト	福祉サービ ス事業所や その職員
撫養町木津 n=42	31.0	19.1	35.7	19.1	7.1	2.4	4.8
撫養町南浜 n=40	32.5	25.0	27.5	17.5	5.0	5.0	2.5
撫養町斎田 n=29	44.8	37.9	13.8	20.7	6.9	3.5	0.0
撫養町黒崎 n=35	51.4	40.0	22.9	28.6	5.7	0.0	0.0
撫養町大桑島・ 小桑島 n=43	46.5	41.9	25.6	11.6	0.0	7.0	0.0
撫養町岡崎・北浜・ 弁財天・立岩・林崎 n=91	49.5	30.8	17.6	23.1	2.2	1.1	1.1
里浦町 n=34	44.1	35.3	41.2	29.4	2.9	2.9	0.0
鳴門町土佐泊浦 n=17	17.7	11.8	47.1	17.7	0.0	0.0	0.0
鳴門町高島・三ツ石 n=63	42.9	30.2	34.9	15.9	0.0	0.0	0.0
瀬戸町 n=50	56.0	32.0	16.0	32.0	2.0	2.0	0.0
大津町 n=104	41.4	31.7	18.3	20.2	1.0	1.0	2.9
北灘町 n=24	25.0	37.5	25.0	50.0	4.2	4.2	0.0
大麻町 n=141	55.3	29.8	30.5	22.7	1.4	2.1	1.4
	市役所の窓 口・掲示板	その他	情報を得て いない	無回答			
撫養町木津 n=42	0.0	2.4	31.0	2.4			
撫養町南浜 n=40	2.5	0.0	30.0	10.0			
撫養町斎田 n=29	3.5	0.0	20.7	13.8			
撫養町黒崎 n=35	0.0	0.0	14.3	5.7			
撫養町大桑島・ 小桑島 n=43	2.3	0.0	30.2	2.3			
撫養町岡崎・北浜・ 弁財天・立岩・林崎 n=91	1.1	2.2	25.3	5.5			
里浦町 n=34	0.0	8.8	8.8	8.8			
鳴門町土佐泊浦 n=17	0.0	5.9	17.7	5.9			
鳴門町高島・三ツ石 n=63	0.0	3.2	28.6	7.9			
瀬戸町 n=50	0.0	6.0	18.0	4.0			
大津町 n=104	1.0	3.9	32.7	1.0			
北灘町 n=24	0.0	4.2	8.3	4.2			
大麻町 n=141	1.4	3.6	19.9	5.7			

**問22 あなたは、地域の中で、今後特にどのようなボランティア活動が必要になると
思いますか。（複数回答）**

今後特にどのようなボランティア活動が必要になると思うかについてみると、「高齢者への支援活動（高齢者の見守り、クラブ活動の協力、老人ホーム訪問など）」57.1%で最も多く、以下、「防災や防犯、交通安全などに関する活動」31.7%、「環境美化に関する活動（自然愛護や美化運動、リサイクル運動など）」25.5%などの順となっている。

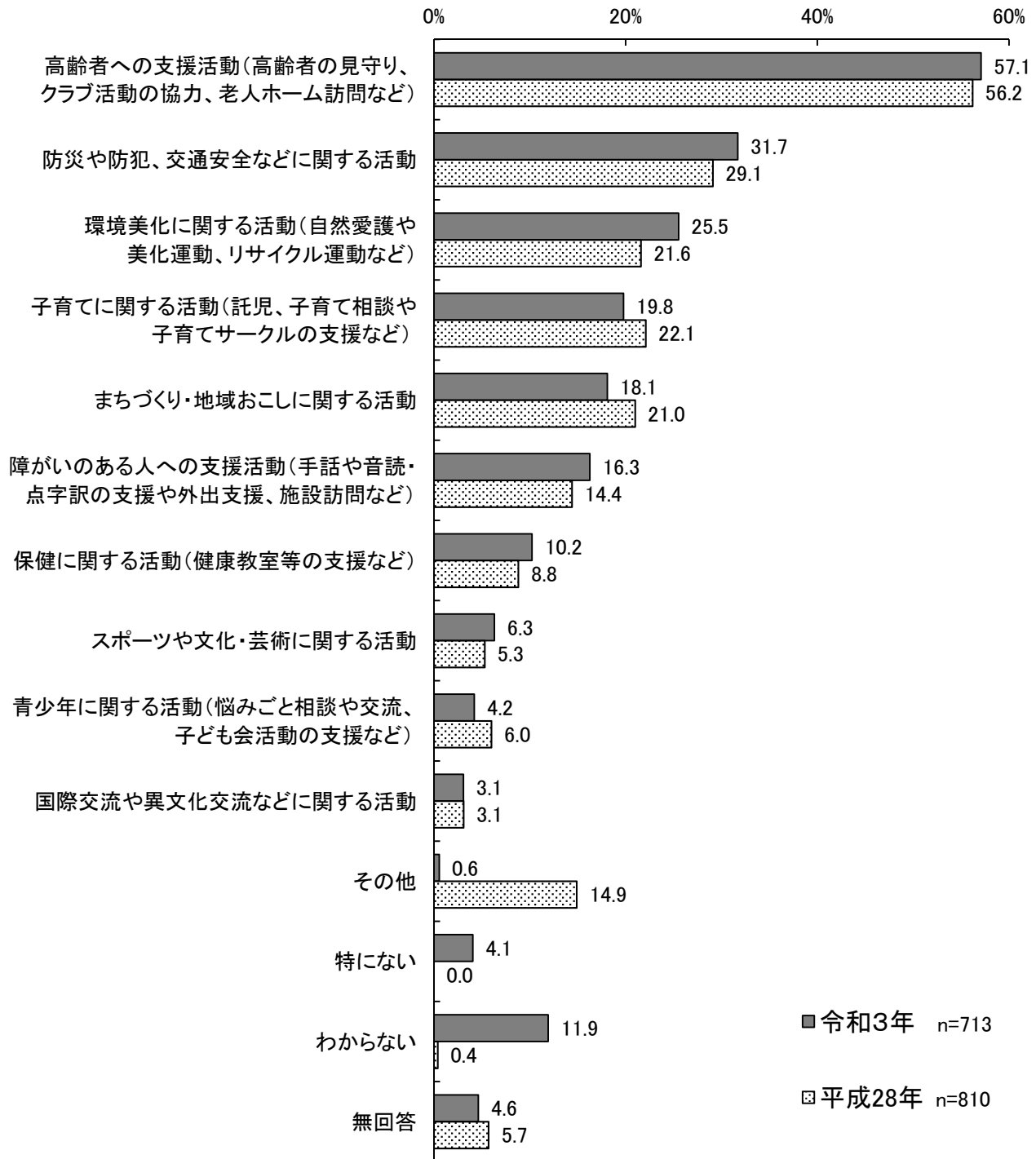
前回調査と比較し、傾向に大きな差はない。

性別にみると、男女共に「高齢者への支援活動（高齢者の見守り、クラブ活動の協力、老人ホーム訪問など）」が最も多く、男性51.0%、女性61.5%で女性の方が10.5ポイント多くなっている。

年齢別にみると、全ての年代で「高齢者への支援活動（高齢者の見守り、クラブ活動の協力、老人ホーム訪問など）」が最も多く、5割を超えている。

地区別にみると、全ての地区で「高齢者への支援活動（高齢者の見守り、クラブ活動の協力、老人ホーム訪問など）」が最も多く、特に、撫養町大桑島・小桑島72.1%となっている。

(全体)

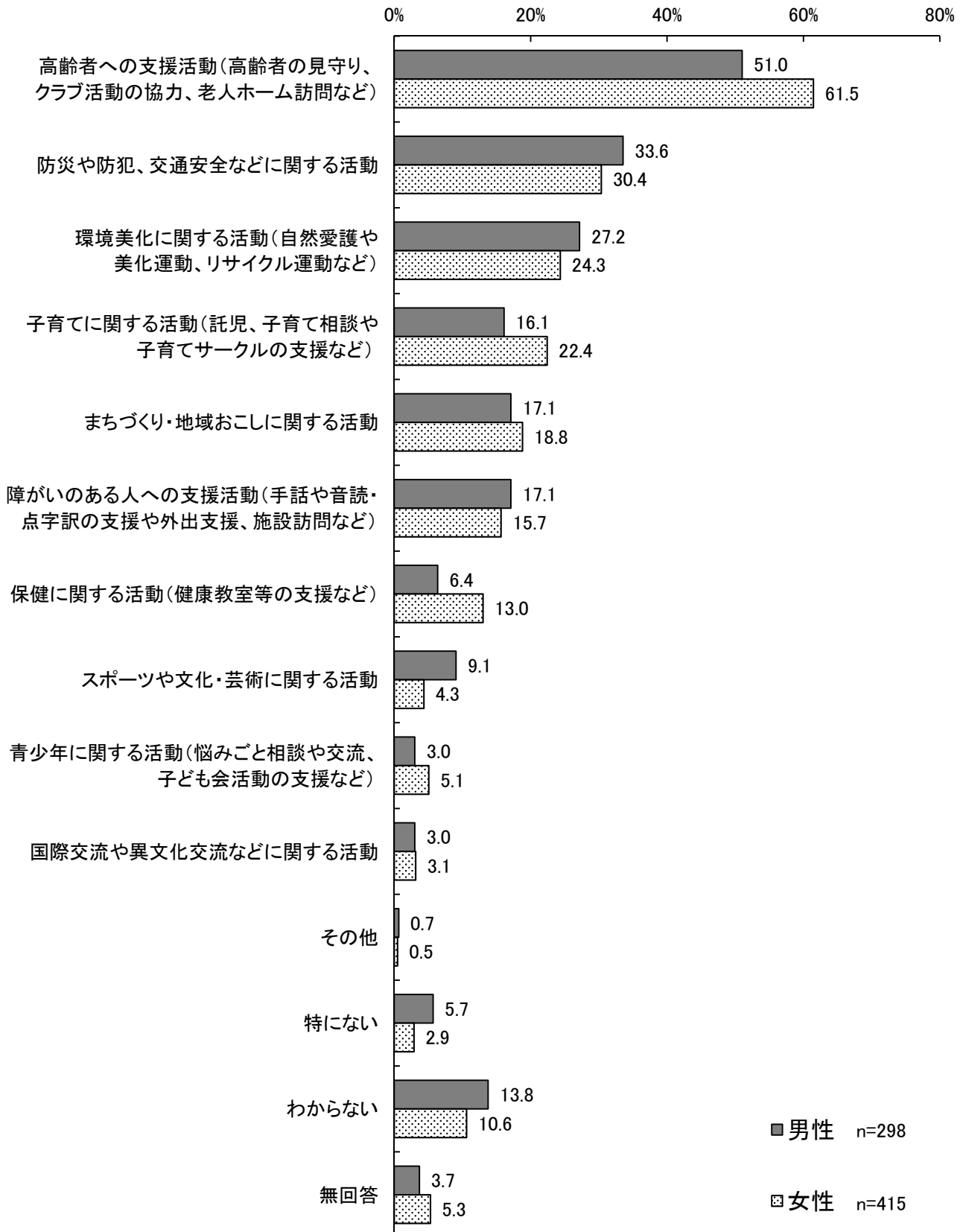


※前回調査では、「特にない」の選択肢はありません。

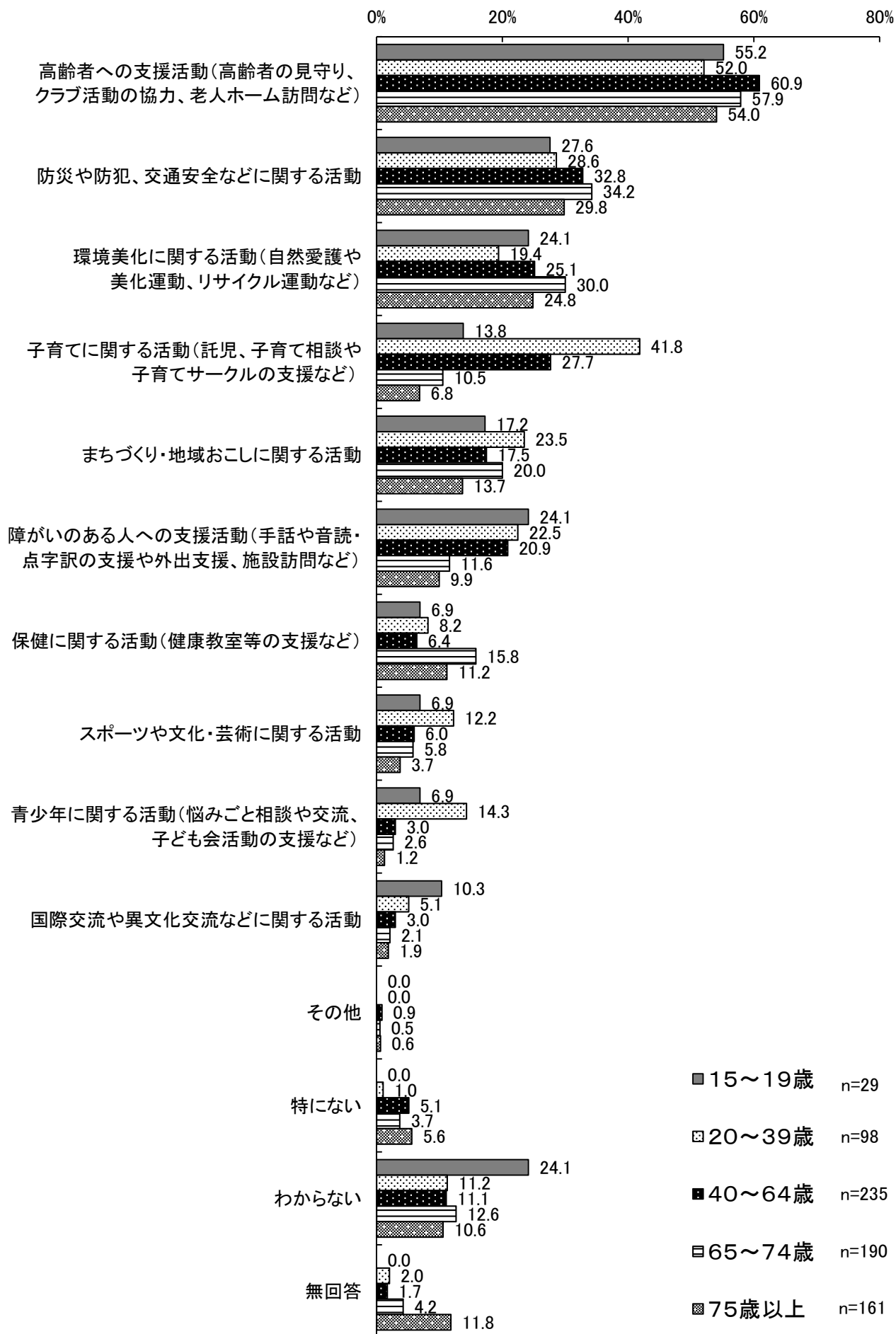
(その他の回答)

- ・ 災害時の助けあい組織づくり。
- ・ 高齢者のちょっとした困りごとへの手助けや声かけ。
- ・ 農業支援
- ・ 野犬対策。

(性別)



(年齢別)



(地区別)

	高齢者への 支援活動	防災や防 犯、交通安 全などに 関する活動	環境美化に 関する活動	子育てに関 する活動	まちづくり・ 地域おこし に関する活 動	障がいのある 人への支 援活動	保健に関す る活動
撫養町木津 n=42	64.3	28.6	26.2	26.2	11.9	14.3	14.3
撫養町南浜 n=40	52.5	40.0	15.0	12.5	12.5	2.5	12.5
撫養町斎田 n=29	58.6	17.2	27.6	13.8	20.7	6.9	10.3
撫養町黒崎 n=35	54.3	31.4	28.6	20.0	17.1	22.9	2.9
撫養町大桑島・ 小桑島 n=43	72.1	27.9	20.9	25.6	14.0	23.3	7.0
撫養町岡崎・北浜・ 弁財天・立岩・林崎 n=91	49.5	28.6	38.5	17.6	20.9	15.4	8.8
里浦町 n=34	58.8	44.1	23.5	17.7	14.7	20.6	5.9
鳴門町土佐泊浦 n=17	58.8	35.3	23.5	17.7	17.7	5.9	5.9
鳴門町高島・三ツ石 n=63	54.0	20.6	27.0	25.4	12.7	22.2	6.4
瀬戸町 n=50	62.0	30.0	26.0	20.0	20.0	18.0	26.0
大津町 n=104	48.1	38.5	20.2	18.3	17.3	14.4	4.8
北灘町 n=24	62.5	29.2	25.0	16.7	41.7	8.3	12.5
大麻町 n=141	61.7	34.0	24.1	20.6	19.9	19.2	13.5
	スポーツや 文化・芸術 に関する活 動	青少年に関 する活動	国際交流や 異文化交流 などに 関する活動	その他	特にな い	わから ない	無回 答
撫養町木津 n=42	2.4	2.4	4.8	2.4	0.0	9.5	2.4
撫養町南浜 n=40	5.0	5.0	5.0	0.0	2.5	12.5	12.5
撫養町斎田 n=29	6.9	3.5	0.0	0.0	0.0	17.2	6.9
撫養町黒崎 n=35	11.4	5.7	0.0	0.0	0.0	11.4	0.0
撫養町大桑島・ 小桑島 n=43	4.7	7.0	0.0	0.0	0.0	14.0	2.3
撫養町岡崎・北浜・ 弁財天・立岩・林崎 n=91	11.0	6.6	3.3	0.0	7.7	8.8	6.6
里浦町 n=34	8.8	0.0	0.0	0.0	5.9	5.9	8.8
鳴門町土佐泊浦 n=17	5.9	5.9	0.0	0.0	11.8	5.9	11.8
鳴門町高島・三ツ石 n=63	1.6	3.2	6.4	0.0	1.6	19.1	7.9
瀬戸町 n=50	10.0	2.0	8.0	2.0	4.0	12.0	4.0
大津町 n=104	3.9	4.8	1.9	1.0	6.7	18.3	1.0
北灘町 n=24	16.7	4.2	4.2	0.0	0.0	4.2	0.0
大麻町 n=141	4.3	3.6	2.8	0.7	5.0	8.5	3.6

問23 あなたは、地域活動やボランティア活動の輪を広げていくために、今後特にどのようなことが必要だと思いますか。（複数回答）

地域活動やボランティア活動の輪を広げていくために、今後特にどのようなことが必要だと思うかについてみると、「気軽に相談できる窓口の充実を図る」37.0%で最も多く、以下、「活動できる拠点や場所を整備する」28.5%、「活動に関する情報を積極的に発信する」24.5%などの順となっている。

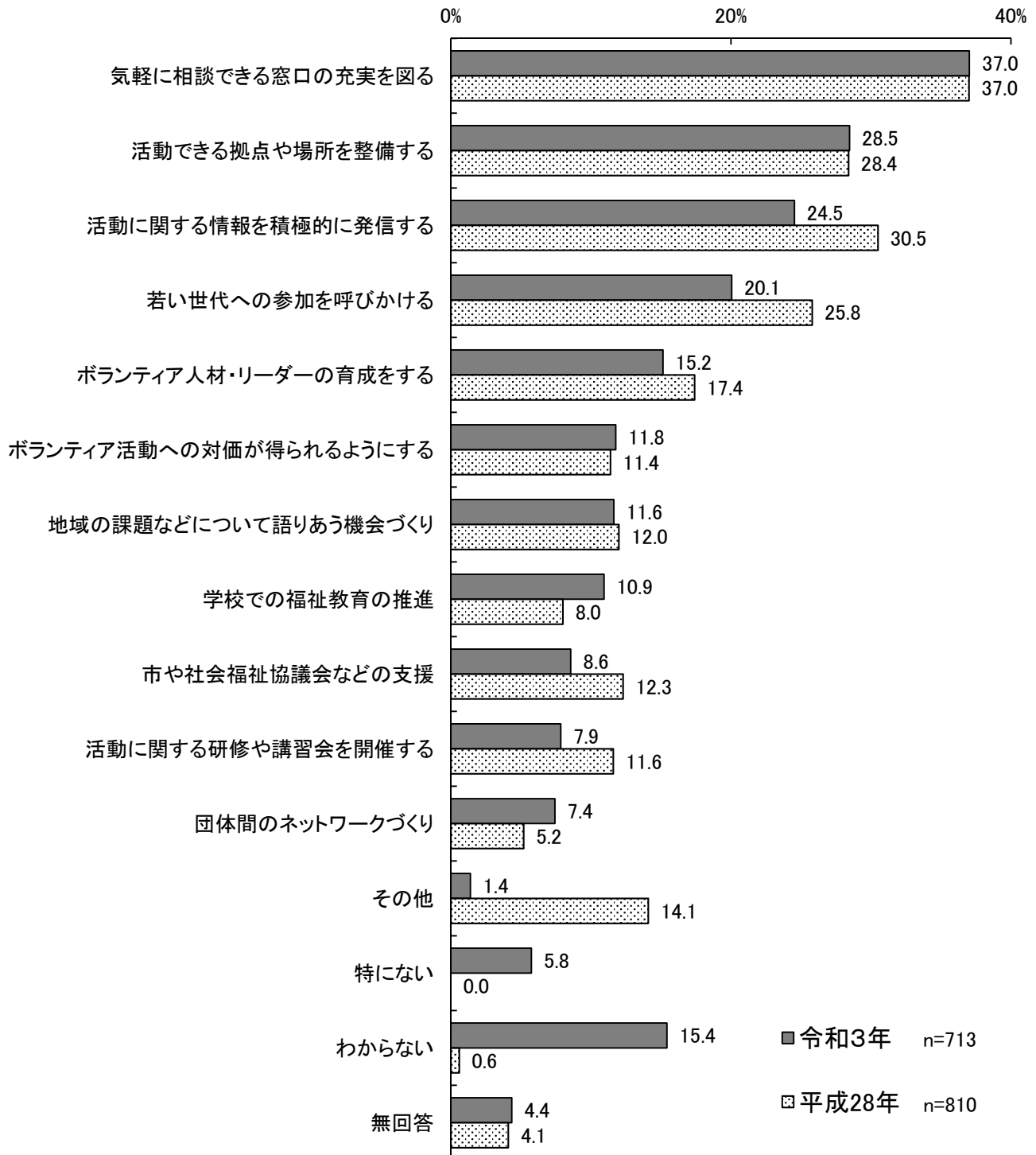
前回調査と比較し、「活動に関する情報を積極的に発信する」が6.0ポイント減少し、「若い世代への参加を呼びかける」が5.7ポイント減少している。

性別にみると、男女共に「気軽に相談できる窓口の充実を図る」が最も多く、男性34.9%、女性38.6%で女性の方が3.7ポイント多くなっている。「地域の課題などについて語りあう機会づくり」では、男性15.1%、女性9.2%で男性の方が5.9ポイント多くなっている。

年齢別にみると、15～19歳で「若い世代への参加を呼びかける」37.9%が最も多く、20～39歳で「活動できる拠点や場所を整備する」35.7%が最も多く、40歳以上で「気軽に相談できる窓口の充実を図る」が最も多くなっている。

地区別にみると、全ての地区で「気軽に相談できる窓口の充実を図る」や「活動できる拠点や場所を整備する」及び「活動に関する情報を積極的に発信する」が上位となっているなか、鳴門町土佐泊浦、瀬戸町及び北灘町では「若い世代への参加を呼びかける」が3割以上と他の地区と比べ多くなっている。

(全体)

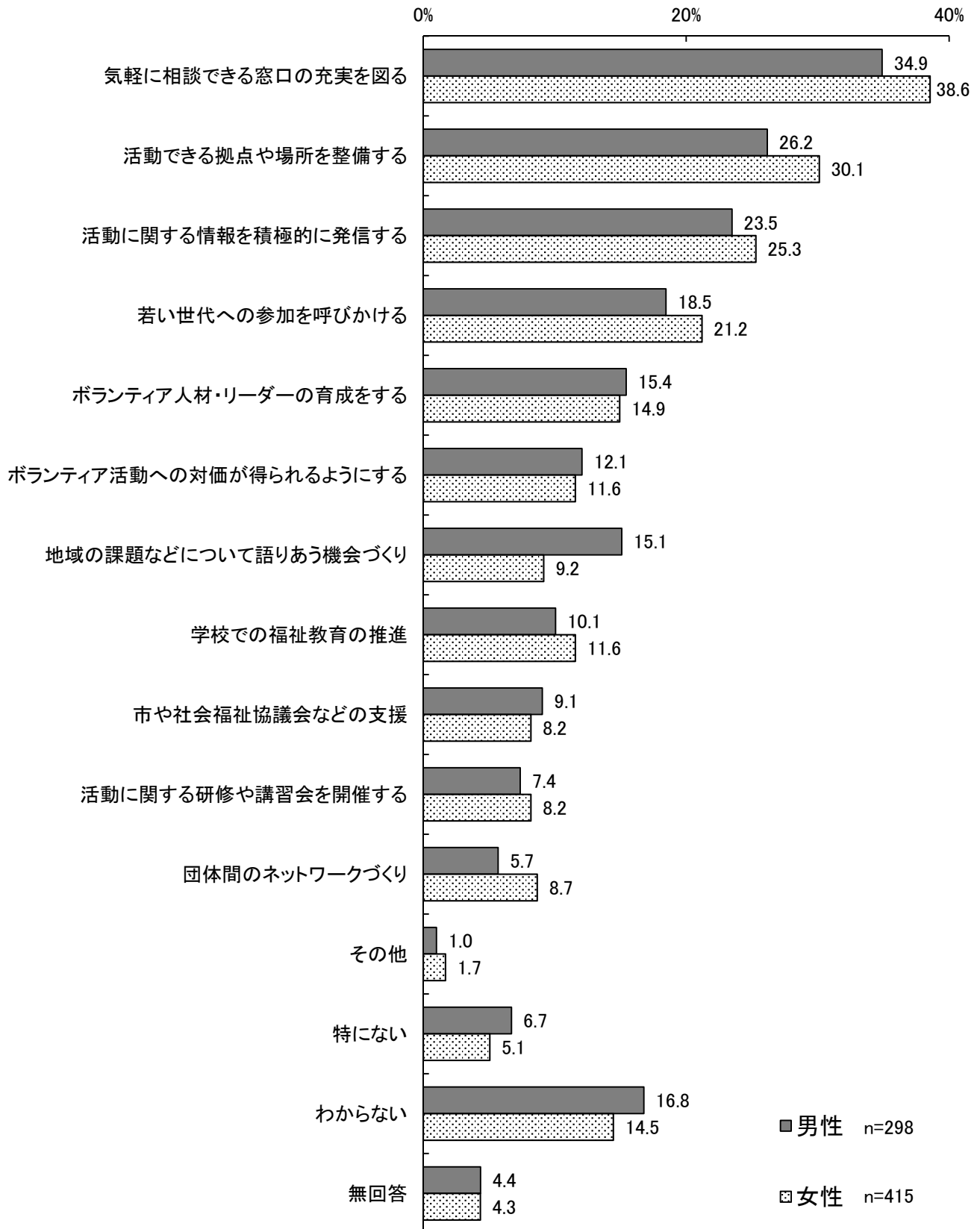


※前回調査では、「特にない」の選択肢はありません。

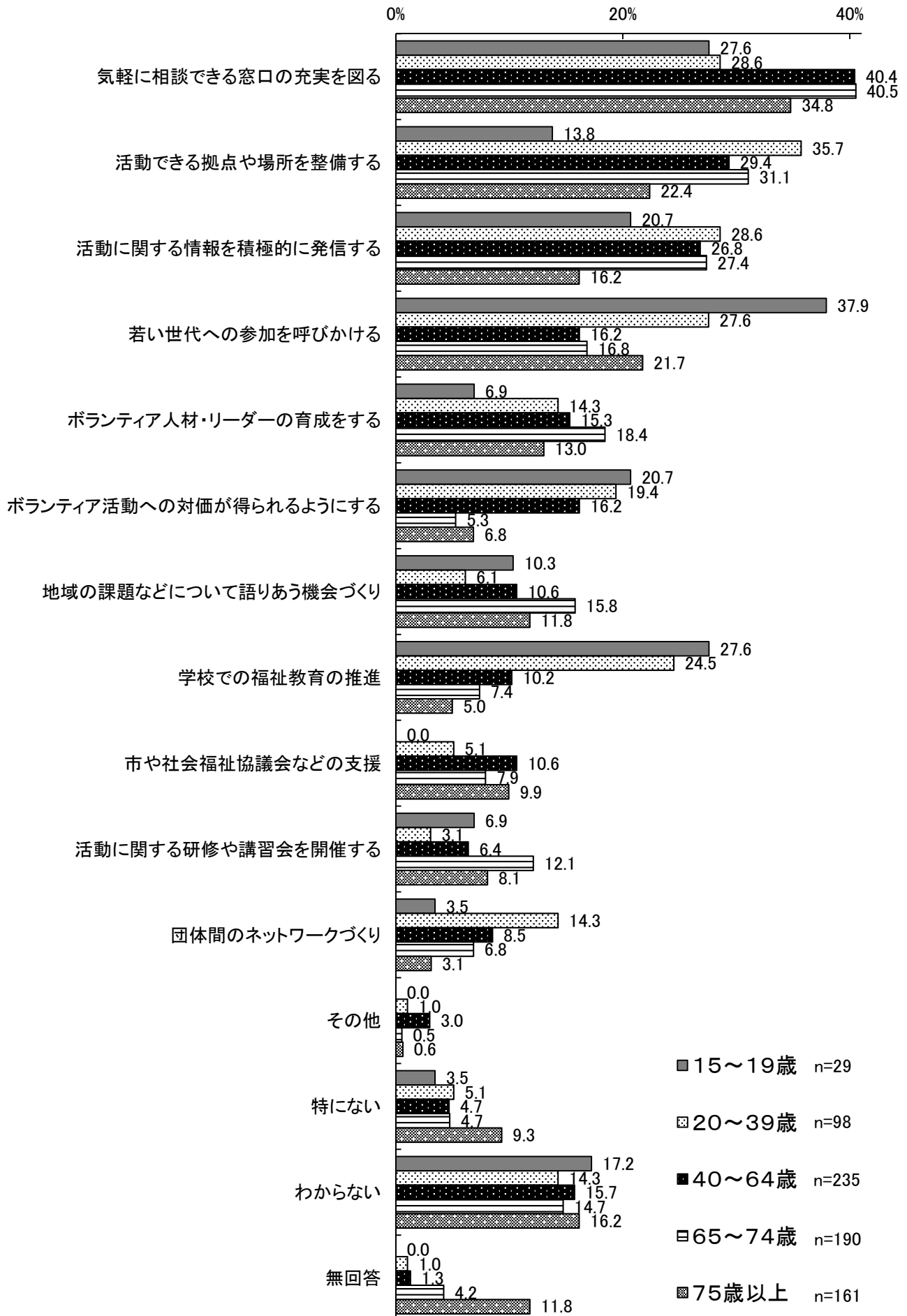
(その他の回答)

- ・気軽に参加できるお試しボランティアのようなもの。
- ・多くの人に周知してもらえよう情報を広げる。
- ・定年（退職）前から職場単位で参加の呼びかけを行う。
- ・問題事が見える場所に、積極的な働きかけができる機関が必要。
- ・市政がしていることは市民に対して響いてこないし、何をしているかも知らない。アピール力をつける。
- ・生活に直結させる。 ・広報に努める。
- ・ボランティアアプリをつくり、気軽に発信できるようにする。

(性別)



(年齢別)



(地区別)

	気軽に相談 できる窓口 の充実を図 る	活動できる 拠点や場所 を整備する	活動に関す る情報を積 極的に発信 する	若い世代へ の参加を呼 びかける	ボランティア 人材・リー ダーの育成 をする	ボランティア 活動への対 価が得られ るようにする		地域の課題 などについ て語りあう 機会づくり	
撫養町木津 n=42	31.0	26.2	35.7	19.1	9.5	11.9		7.1	
撫養町南浜 n=40	40.0	15.0	25.0	12.5	15.0	12.5		5.0	
撫養町斎田 n=29	31.0	27.6	13.8	13.8	6.9	10.3		6.9	
撫養町黒崎 n=35	34.3	40.0	20.0	14.3	17.1	14.3		8.6	
撫養町大桑島・ 小桑島 n=43	37.2	20.9	27.9	14.0	11.6	14.0		9.3	
撫養町岡崎・北浜・ 弁財天・立岩・林崎 n=91	27.5	25.3	23.1	20.9	22.0	11.0		6.6	
里浦町 n=34	38.2	32.4	35.3	11.8	17.7	17.7		17.7	
鳴門町土佐泊浦 n=17	29.4	41.2	35.3	35.3	17.7	0.0		23.5	
鳴門町高島・三ツ石 n=63	36.5	28.6	17.5	20.6	19.1	9.5		20.6	
瀬戸町 n=50	44.0	24.0	22.0	30.0	20.0	22.0		14.0	
大津町 n=104	39.4	27.9	22.1	18.3	13.5	4.8		4.8	
北灘町 n=24	33.3	45.8	25.0	41.7	8.3	12.5		25.0	
大麻町 n=141	43.3	31.2	26.2	20.6	12.8	13.5		15.6	
	学校での福 祉教育の推 進	市や社会福 祉協議会な どの支援	活動に関す る研修や講 習会を開催 する	団体間の ネットワーク づくり	その他	特にない	わからない	無回答	
撫養町木津 n=42	16.7	7.1	11.9	7.1	2.4	2.4	16.7	4.8	
撫養町南浜 n=40	10.0	7.5	15.0	10.0	0.0	0.0	17.5	10.0	
撫養町斎田 n=29	13.8	3.5	6.9	3.5	0.0	3.5	34.5	6.9	
撫養町黒崎 n=35	8.6	2.9	2.9	2.9	2.9	2.9	20.0	0.0	
撫養町大桑島・ 小桑島 n=43	9.3	9.3	7.0	4.7	4.7	4.7	18.6	2.3	
撫養町岡崎・北浜・ 弁財天・立岩・林崎 n=91	9.9	11.0	9.9	11.0	1.1	7.7	14.3	5.5	
里浦町 n=34	11.8	17.7	5.9	2.9	0.0	2.9	8.8	8.8	
鳴門町土佐泊浦 n=17	5.9	11.8	5.9	5.9	0.0	11.8	5.9	0.0	
鳴門町高島・三ツ石 n=63	6.4	1.6	7.9	9.5	1.6	7.9	17.5	7.9	
瀬戸町 n=50	12.0	8.0	10.0	10.0	2.0	6.0	10.0	4.0	
大津町 n=104	12.5	11.5	3.9	2.9	1.0	7.7	22.1	1.9	
北灘町 n=24	8.3	0.0	8.3	8.3	0.0	0.0	12.5	0.0	
大麻町 n=141	12.1	9.9	7.8	9.9	1.4	7.1	8.5	3.6	

問24 行政が行っている福祉サービス（高齢者、障がいのある人、子育て世帯、低所得者に対する相談や支援など）について、あなたやあなたの家族は利用していますか（または利用していましたか）。（単数回答）

行政が行っている福祉サービスの利用についてみると、「利用している（したことがある）」27.2%、「利用していない（したことがない）」69.4%で、差は42.2ポイントとなっている。

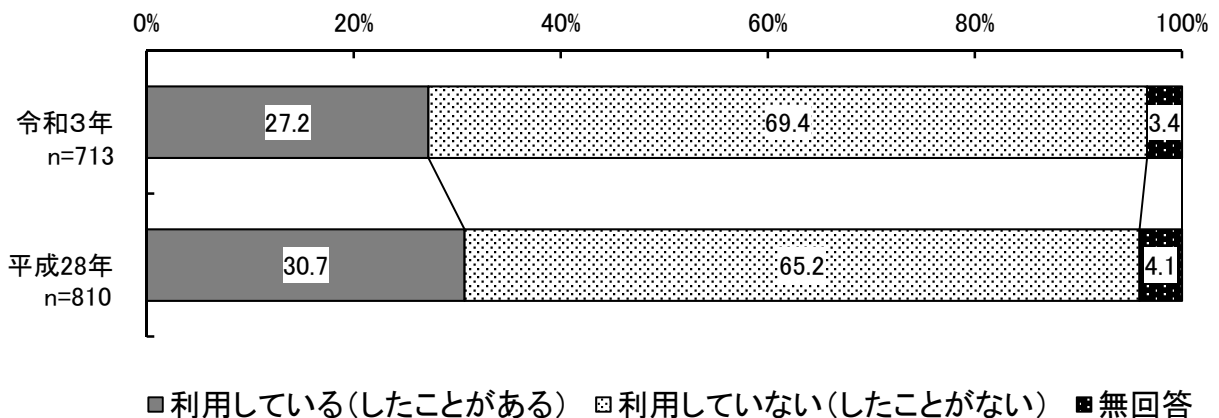
前回調査と比較し、「利用している（したことがある）」が3.5ポイント減少している。

性別にみると、「利用している（したことがある）」は男性27.5%、女性27.0%で男性の方が0.5ポイント多くなっている。

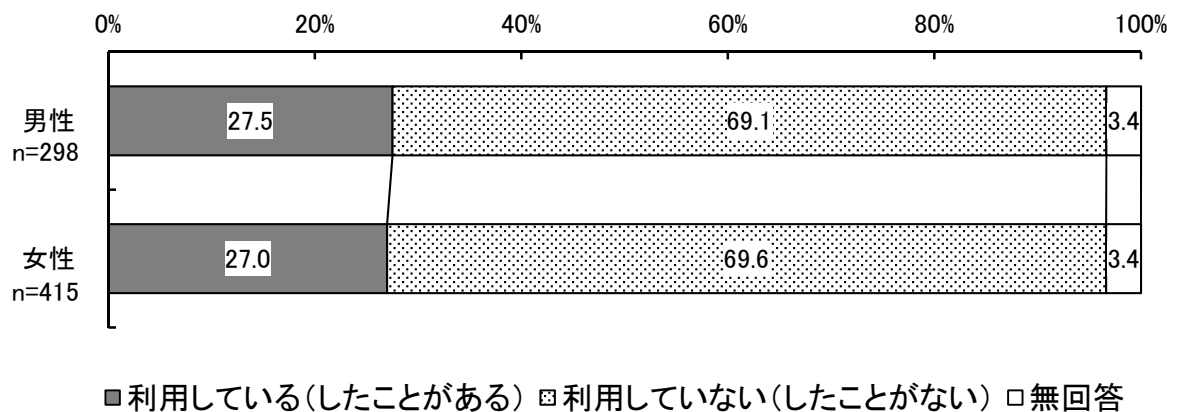
年齢別にみると、「利用している（したことがある）」は20～39歳で3割を超えており、他の年代は2割台となっている。

地区別にみると、「利用している（したことがある）」は、撫養町南浜（斎田東発・西発含む）、撫養町黒崎、鳴門町土佐泊浦及び瀬戸町では3割台となっており、撫養町斎田（東発・西発除く）を除く他の地区では2割台となっている。

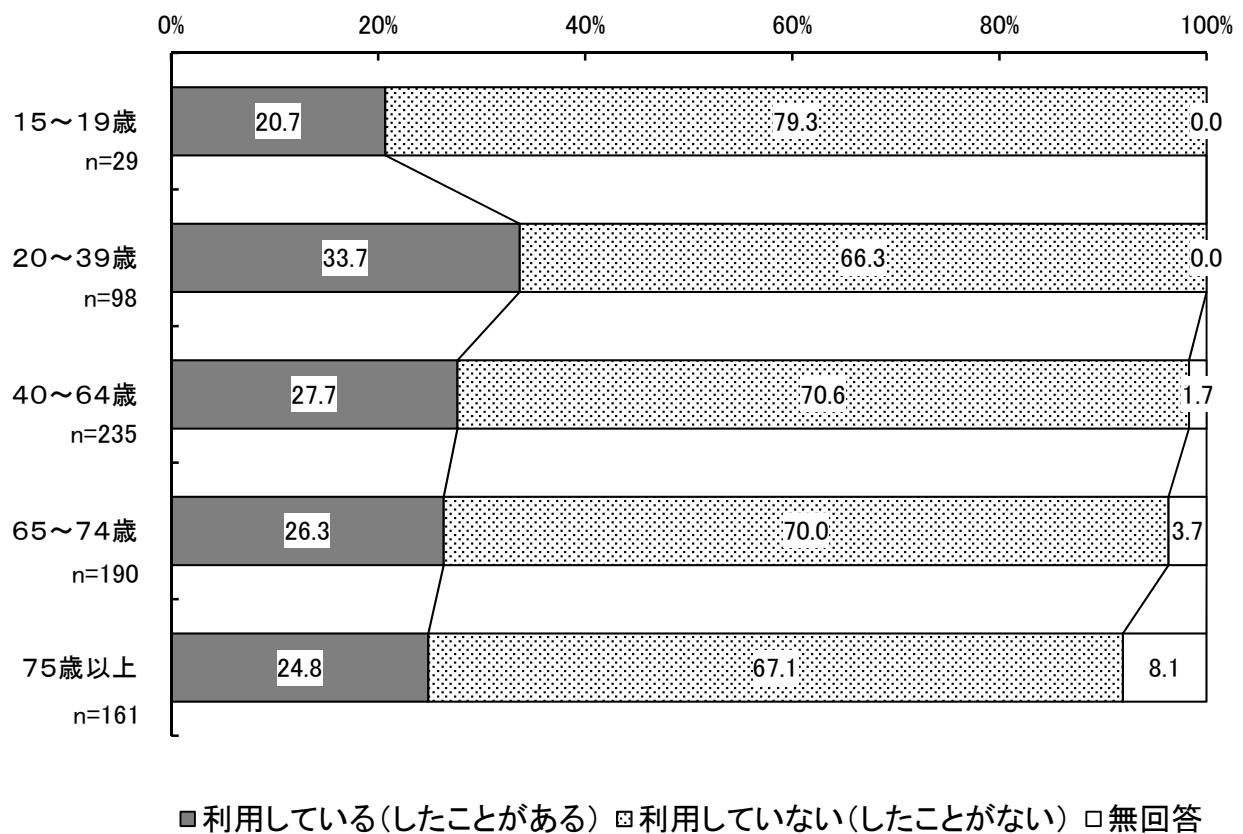
（全体）



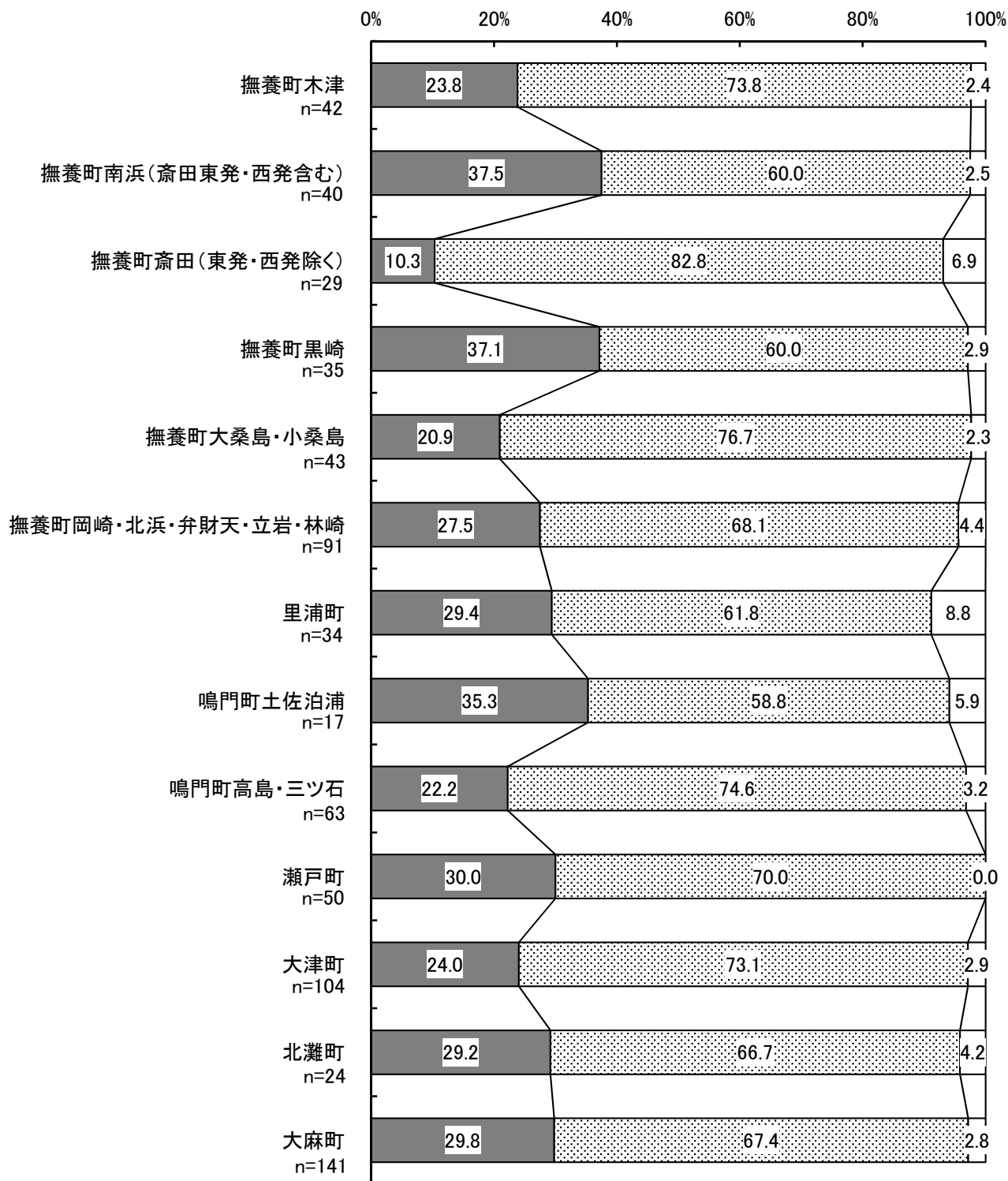
(性別)



(年齢別)



(地区別)



■利用している(したことがある) ▨利用していない(したことがない) □無回答

問25 あなたは、福祉サービスに関する情報を主にどこから入手していますか。

(複数回答)

福祉サービスに関する情報を主にどこから入手しているかについてみると、「市の広報紙（広報なると）やチラシ」50.8%と最も多く、以下、「まちの情報誌（リビング鳴門など）」29.6%、「知り合いを通じて」21.0%などの順となっている。

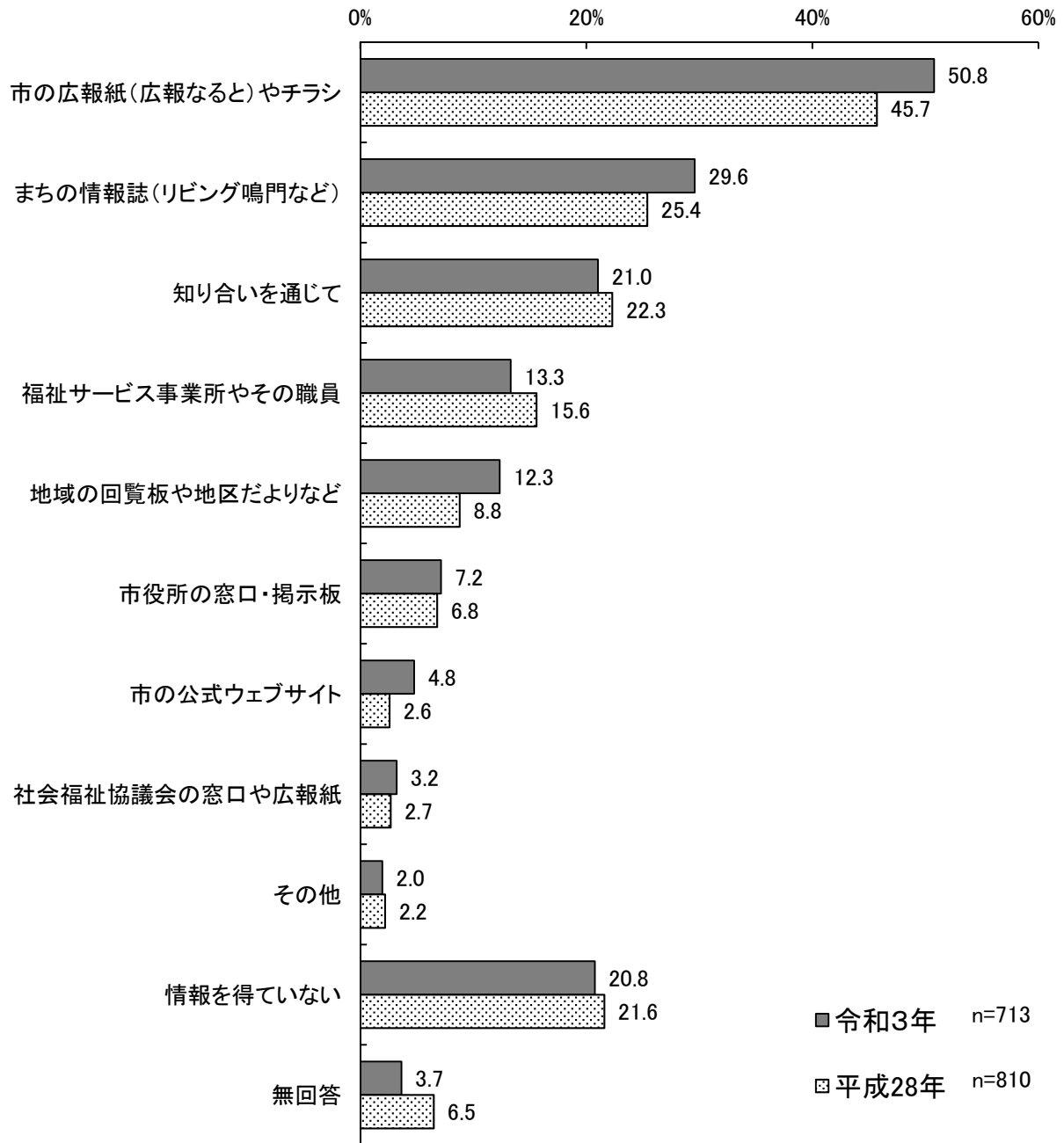
前回調査と比較し、「市の広報紙（広報なると）やチラシ」が5.1ポイント増加している。

性別にみると、「市の広報紙（広報なると）やチラシ」は男性45.0%、女性54.9%で女性の方が9.9ポイント多くなっている。「まちの情報誌（リビング鳴門など）」は男性23.2%、女性34.2%で女性の方が11.0ポイント多くなっている。

年齢別にみると、15～19歳で「情報を得ていない」75.9%と最も多く、20歳以上で「市の広報紙（広報なると）やチラシ」が最も多くなっており、特に、40歳以上では5割を超えている。

地区別にみると、鳴門町土佐泊浦を除く全ての地区で、「市の広報紙（広報なると）やチラシ」が最も多くなっている。

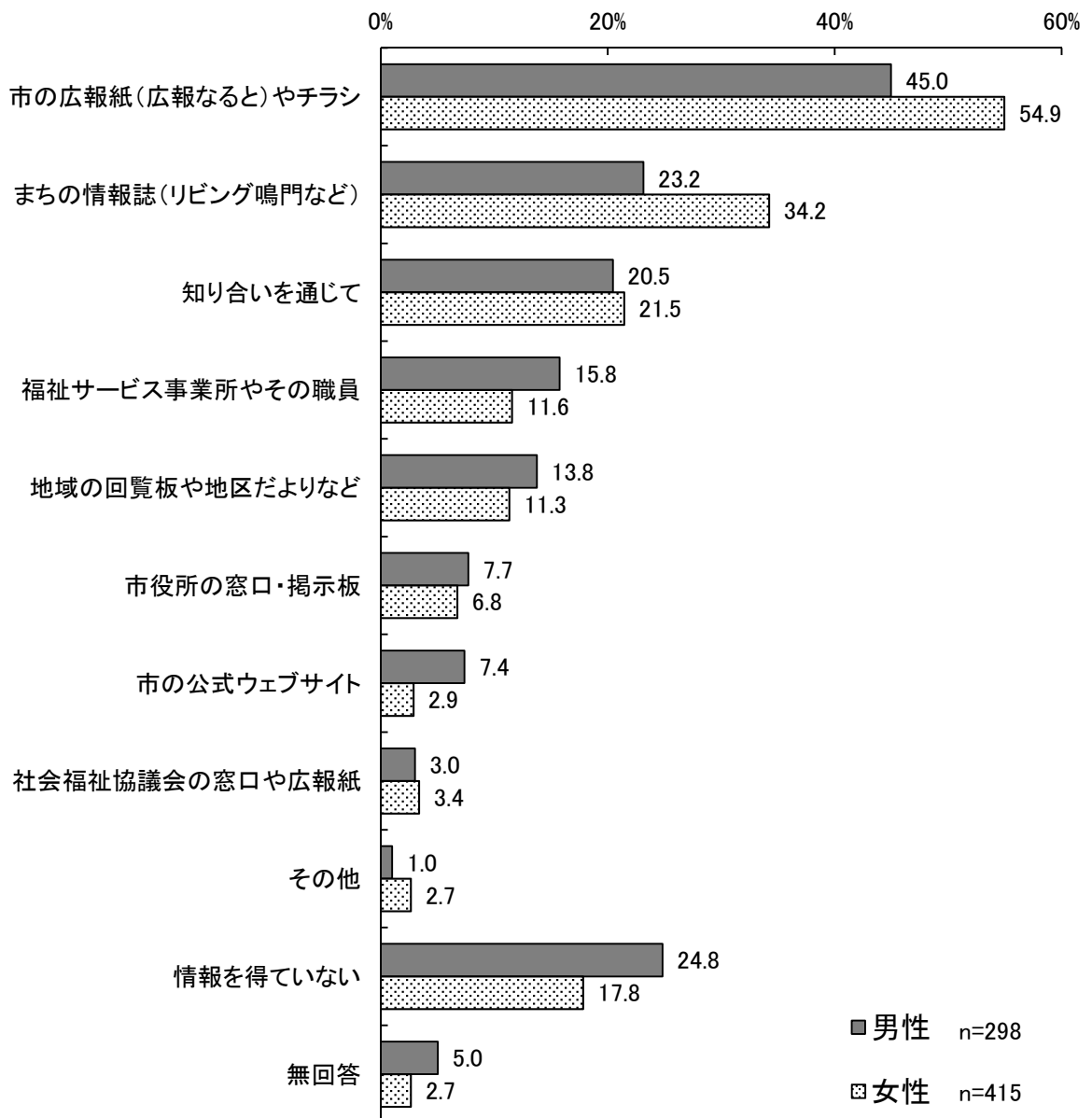
(全体)



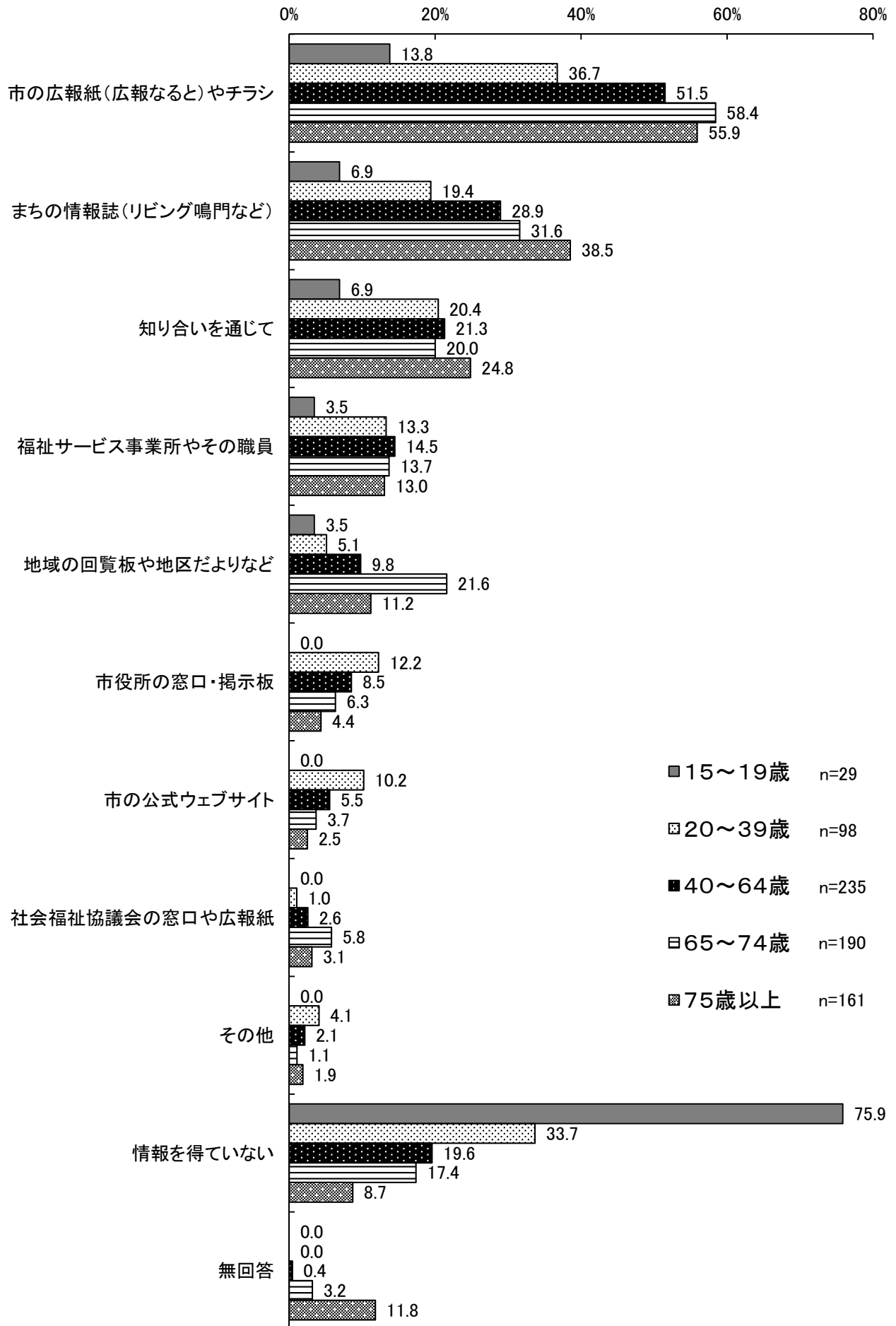
(その他の回答)

- ・自分で調べて(2件) ・テレビ ・自身の元職場にて情報を得た。 ・妻 ・よくわからない。
- ・看護学校での授業 ・卒業した学校からの連携している就労支援者様より。
- ・病院(2件) ・病院の支援センター ・主人が福祉の仕事をしていたから。 ・テレビ ・親

(性別)



(年齢別)



(地区別)

	市の広報紙 (広報なる と)やチラシ	まちの情報 誌(リビング 鳴門など)	知り合いを 通じて	福祉サービ ス事業所や その職員	地域の回覧 板や地区だ よりなど	市役所の窓 口・掲示板	市の公式 ウェブサイト
撫養町木津 n=42	47.6	26.2	11.9	9.5	16.7	7.1	7.1
撫養町南浜 n=40	55.0	32.5	17.5	20.0	7.5	10.0	15.0
撫養町斎田 n=29	48.3	20.7	31.0	6.9	6.9	6.9	10.3
撫養町黒崎 n=35	51.4	31.4	17.1	17.1	5.7	8.6	2.9
撫養町大桑島・ 小桑島 n=43	44.2	18.6	23.3	7.0	11.6	9.3	11.6
撫養町岡崎・北浜・ 弁財天・立岩・林崎 n=91	52.8	31.9	17.6	7.7	9.9	7.7	4.4
里浦町 n=34	50.0	20.6	29.4	20.6	8.8	5.9	2.9
鳴門町土佐泊浦 n=17	29.4	23.5	35.3	23.5	5.9	11.8	0.0
鳴門町高島・三ツ石 n=63	46.0	34.9	12.7	7.9	28.6	7.9	4.8
瀬戸町 n=50	50.0	34.0	28.0	16.0	4.0	12.0	4.0
大津町 n=104	51.0	32.7	18.3	10.6	8.7	2.9	1.9
北灘町 n=24	45.8	25.0	20.8	25.0	4.2	8.3	0.0
大麻町 n=141	57.5	30.5	24.8	17.0	18.4	5.7	2.8
	社会福祉協 議会の窓口 や広報紙	その他	情報を得て いない	無回答			
撫養町木津 n=42	4.8	2.4	23.8	2.4			
撫養町南浜 n=40	5.0	0.0	10.0	5.0			
撫養町斎田 n=29	6.9	0.0	20.7	6.9			
撫養町黒崎 n=35	11.4	0.0	22.9	0.0			
撫養町大桑島・ 小桑島 n=43	4.7	2.3	23.3	4.7			
撫養町岡崎・北浜・ 弁財天・立岩・林崎 n=91	1.1	6.6	22.0	2.2			
里浦町 n=34	0.0	2.9	17.7	8.8			
鳴門町土佐泊浦 n=17	5.9	0.0	17.7	5.9			
鳴門町高島・三ツ石 n=63	1.6	1.6	19.1	4.8			
瀬戸町 n=50	4.0	2.0	22.0	0.0			
大津町 n=104	1.0	1.0	26.9	2.9			
北灘町 n=24	4.2	0.0	20.8	0.0			
大麻町 n=141	2.8	1.4	17.7	5.0			

問26 あなたは、あなたが住んでいる地区を担当している民生委員・児童委員を知っていますか。(単数回答)

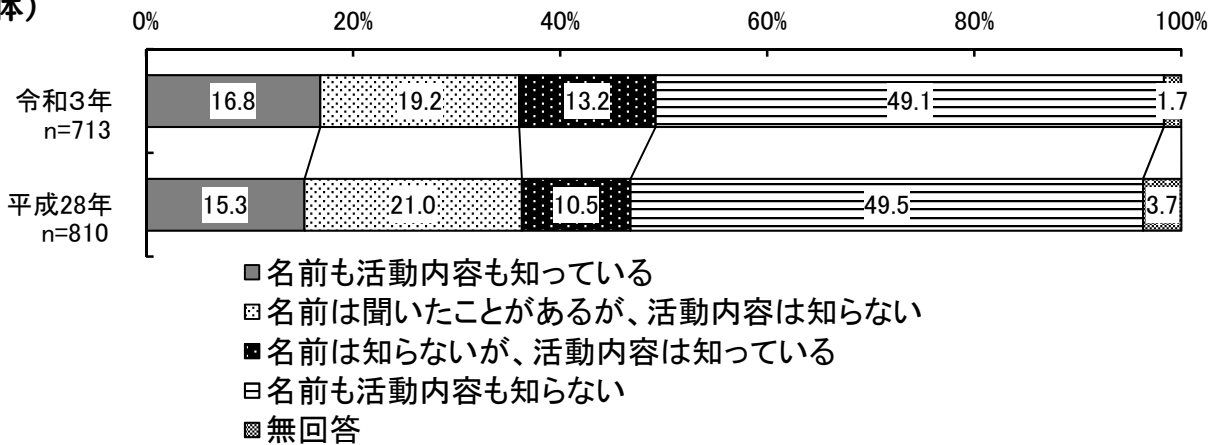
民生委員・児童委員を知っているかについてみると、「名前も活動内容も知らない」49.1%と最も多く、以下、「名前は聞いたことがあるが、活動内容は知らない」19.2%、「名前も活動内容も知っている」16.8%、「名前は知らないが、活動内容は知っている」13.2%となっている。

前回調査と比較し、「名前も活動内容も知っている」が1.5ポイント増加している。

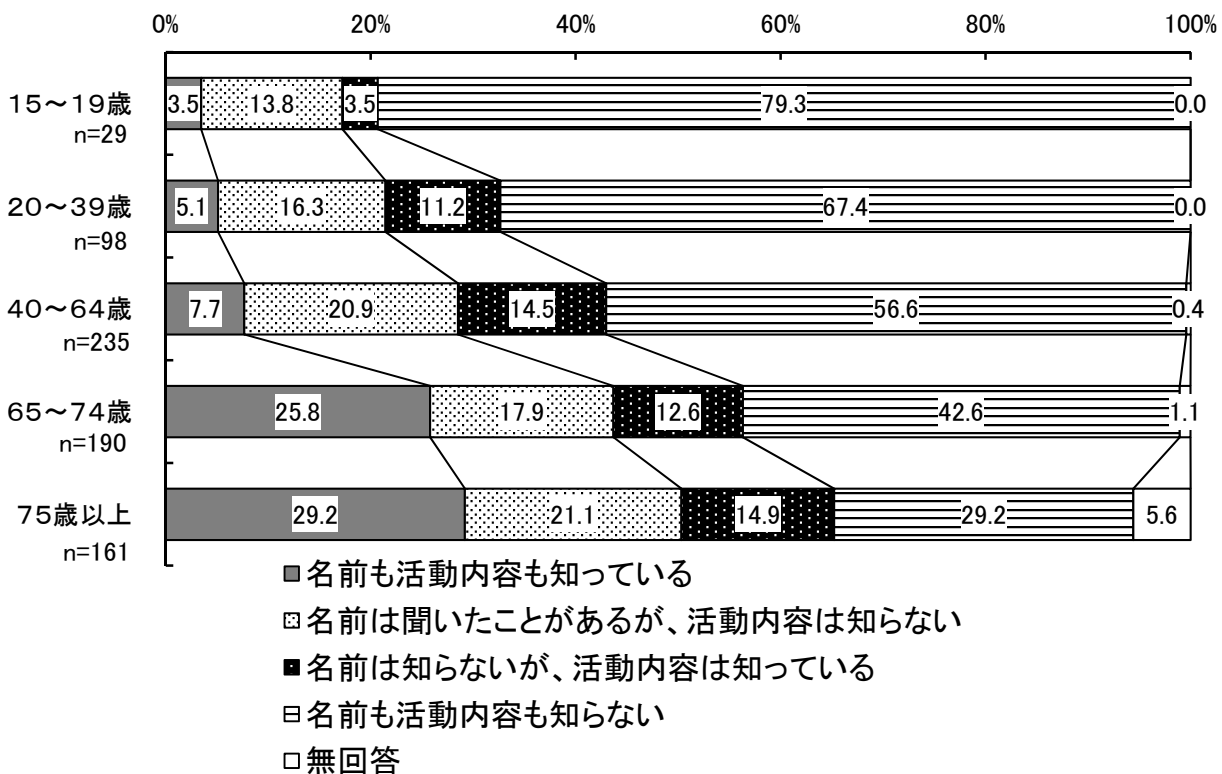
年齢別にみると、65歳以上で「名前も活動内容も知っている」が2割を超えている。15～19歳で「名前も活動内容も知らない」79.3%と最も多くなっている。

地区別にみると、撫養町斎田（東発・西発除く）、撫養町大桑島・小桑島及び鳴門町高島・三ツ石で、「名前も活動内容も知っている」が1割未満となっている。

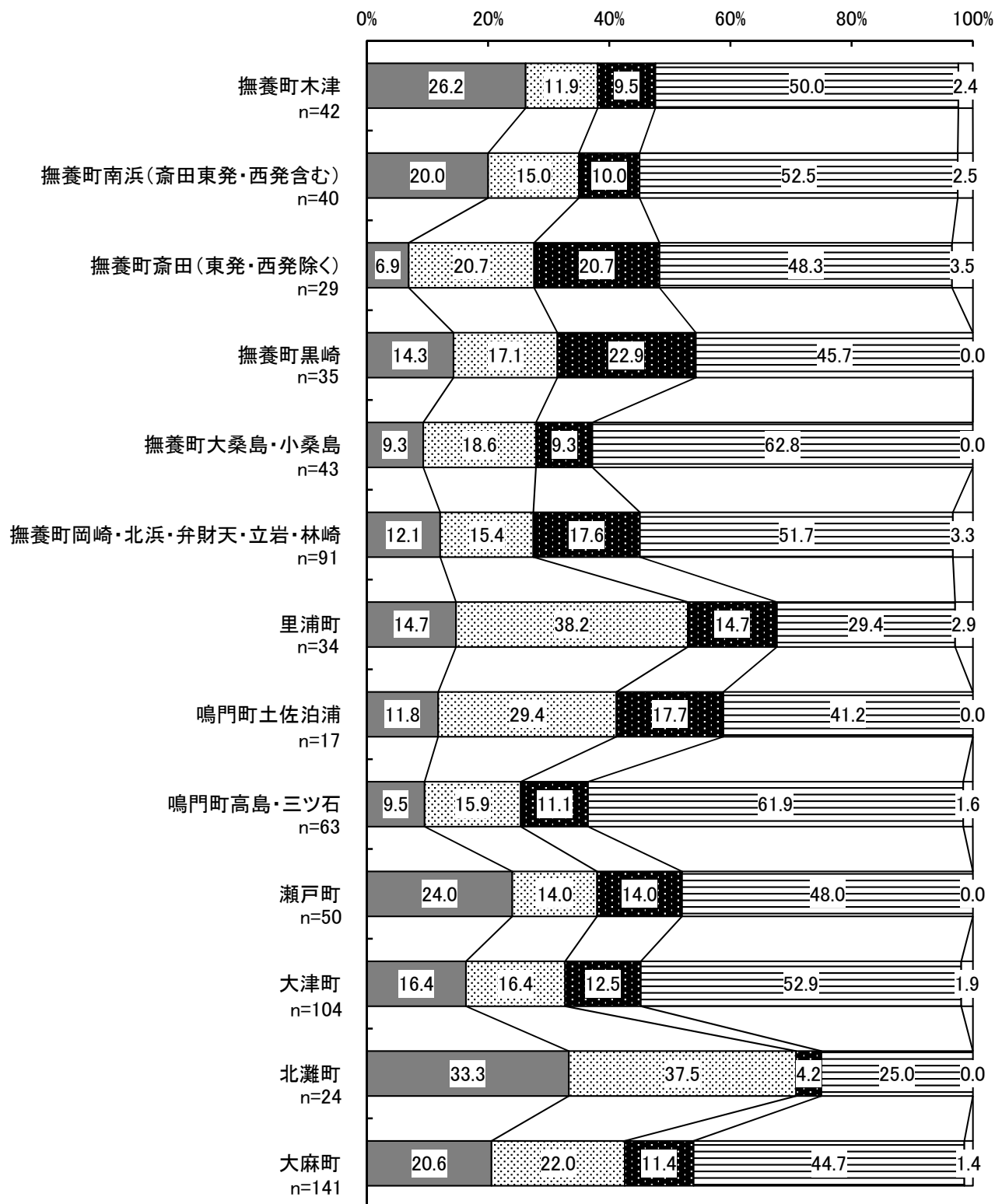
(全体)



(年齢別)



(地区別)



- 名前も活動内容も知っている
- ▨ 名前は聞いたことがあるが、活動内容は知らない
- 名前は知らないが、活動内容は知っている
- ▨ 名前も活動内容も知らない
- 無回答

問27 あなたは、鳴門市社会福祉協議会を知っていますか。（単数回答）

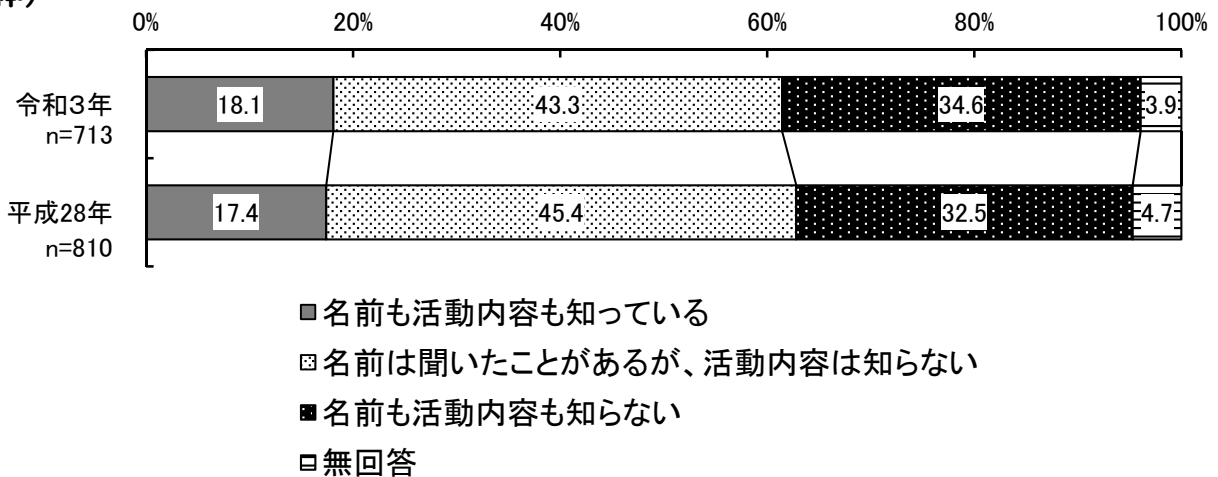
鳴門市社会福祉協議会を知っているかについてみると、「名前は聞いたことがあるが、活動内容は知らない」43.3%と最も多く、以下、「名前も活動内容も知らない」34.6%、「名前も活動内容も知っている」18.1%となっている。

前回調査と比較し、「名前も活動内容も知らない」が2.1ポイント増加している。

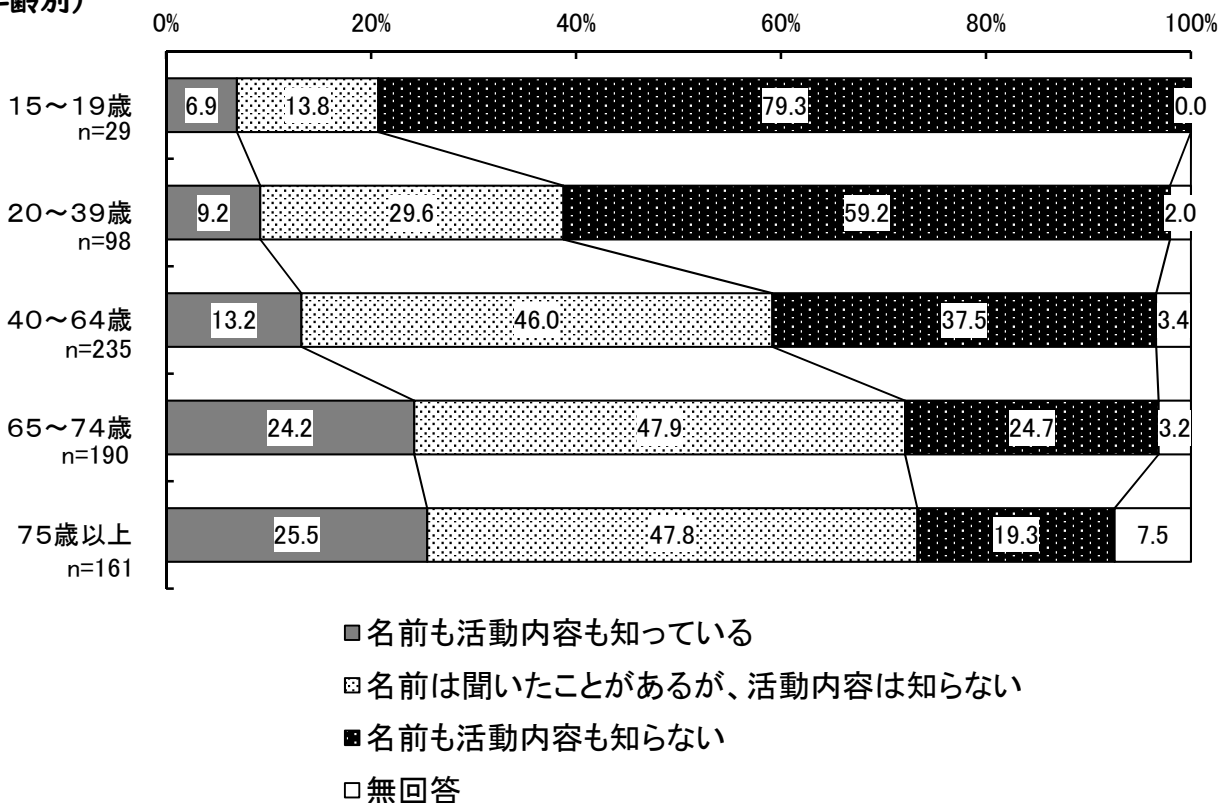
年齢別にみると、65歳以上で「名前も活動内容も知っている」が2割を超えている。15～19歳で「名前も活動内容も知らない」79.3%と最も多くなっている。

地区別にみると、「名前も活動内容も知っている」が撫養町木津で3割を超え、撫養町南浜（斎田東発・西発含む）、撫養町黒崎、里浦町及び鳴門町土佐泊浦で、2割以上となっている。

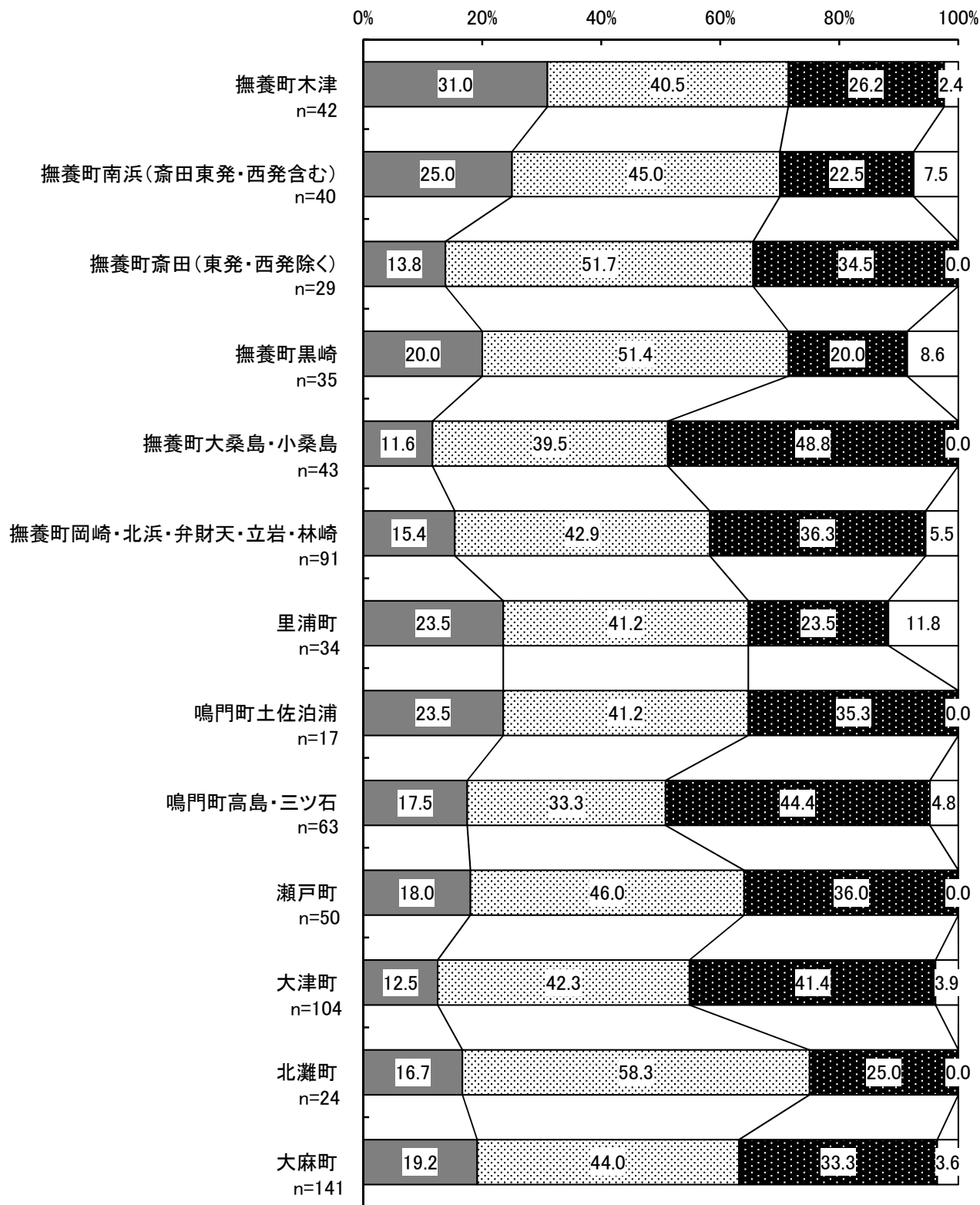
（全体）



（年齢別）



(地区別)



- 名前も活動内容も知っている
- ▨ 名前は聞いたことがあるが、活動内容は知らない
- 名前も活動内容も知らない
- 無回答

問27-1 問27で「1」を選ばれたかたにおたずねします。

あなたの知っている鳴門市社会福祉協議会の活動は次のどれですか。（複数回答）

知っている鳴門市社会福祉協議会の活動についてみると、「地域福祉推進事業（地区社会福祉協議会、社会福祉団体への補助金交付や事務局運営、100歳のお祝いなど）」66.7%と最も多く、以下、「赤い羽根共同募金運動」60.5%、「ひとり暮らし高齢者の家庭にお弁当などを届ける給食サービス事業」47.3%などの順となっている。

前回調査と比較し、「日常生活自立支援事業、成年後見等事業（認知症の人などの金銭管理や福祉サービスの利用援助、日常生活の見守りなど、権利を守るための事業）」が16.6ポイント増加している。

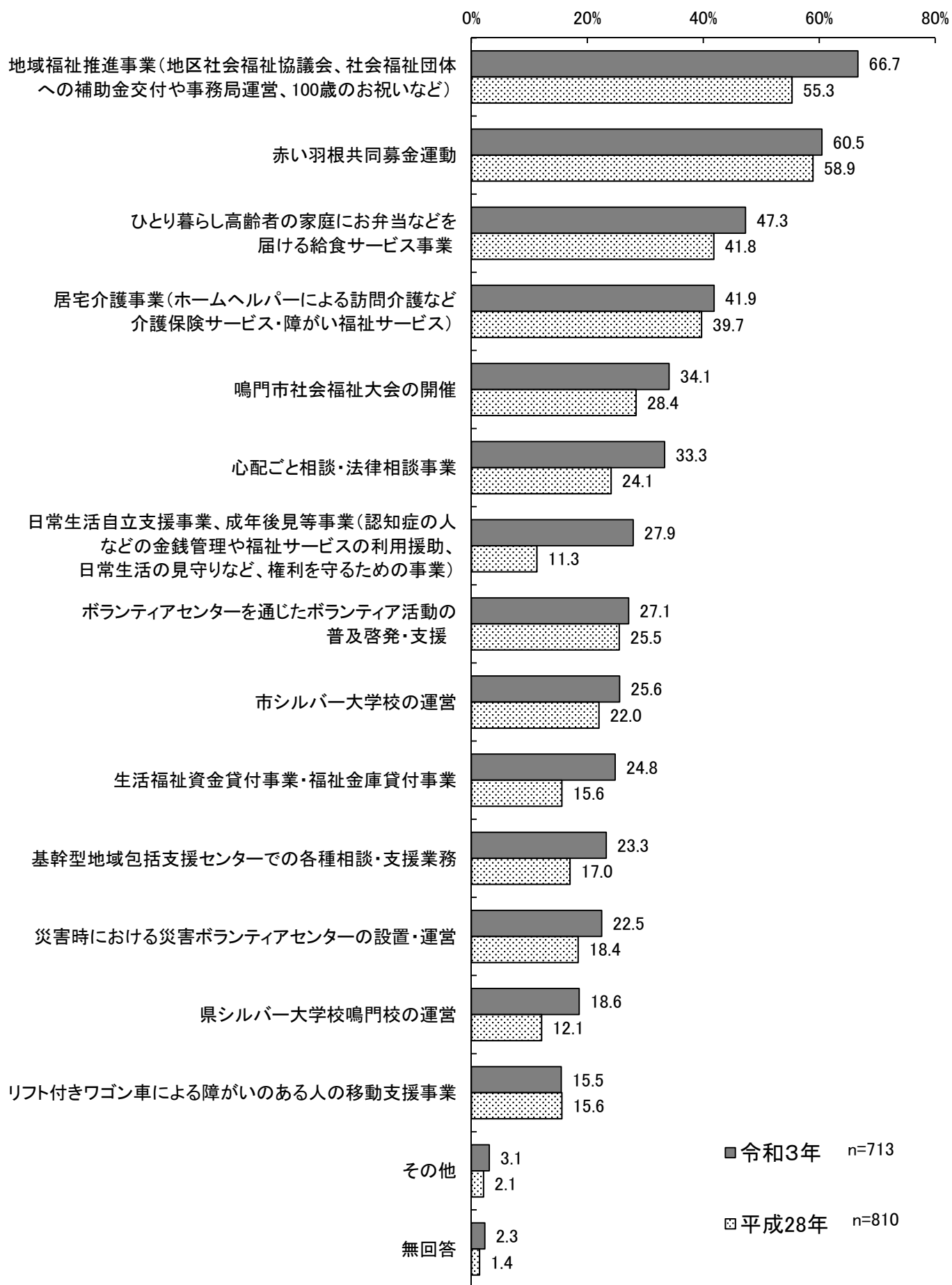
年齢別にみると、64歳以下で「赤い羽根共同募金運動」が最も多く、特に、15～19歳で100.0%となっている。20～39歳では「地域福祉推進事業（地区社会福祉協議会、社会福祉団体への補助金交付や事務局運営、100歳のお祝いなど）」及び「心配ごと相談・法律相談事業」も最も多くなっている。65～74歳では「地域福祉推進事業（地区社会福祉協議会、社会福祉団体への補助金交付や事務局運営、100歳のお祝いなど）」78.3%と最も多く、他の年代と比較しても最も多くなっている。75歳以上で「ひとり暮らし高齢者の家庭にお弁当などを届ける給食サービス事業」73.2%と最も多く、他の年代と比較しても最も多くなっている。

地区別にみると、大津町で「地域福祉推進事業（地区社会福祉協議会、社会福祉団体への補助金交付や事務局運営、100歳のお祝いなど）」が84.6%と最も多く、他の地区と比較しても最も多くなっている。

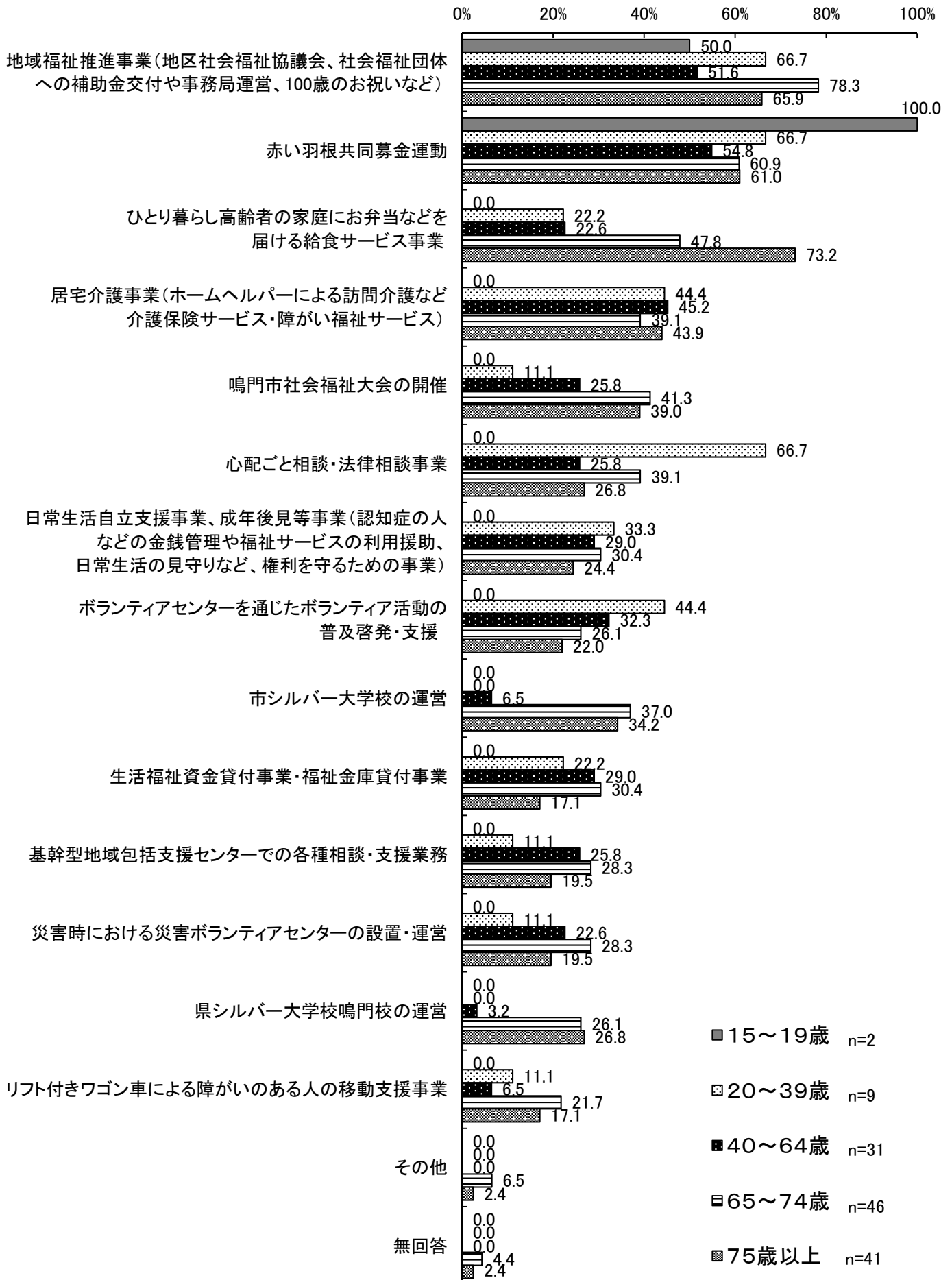
（その他の回答）

- ・収益を社会福祉事業に充てる売店等運営。
- ・赤い羽根共同募金運動。
- ・老人クラブ支援、グラウンドゴルフ関係。

(全体)



(年齢別)



(地区別)

	地域福祉推進事業	赤い羽根共同募金運動	ひとり暮らし高齢者の家庭にお弁当などを届ける給食サービス事業	居宅介護事業	鳴門市社会福祉大会の開催	心配ごと相談・法律相談事業	日常生活自立支援事業、成年後見等事業
撫養町木津 n=13	76.9	61.5	30.8	23.1	38.5	23.1	23.1
撫養町南浜 n=10	70.0	70.0	50.0	50.0	20.0	40.0	40.0
撫養町斎田 n=4	75.0	50.0	50.0	50.0	25.0	25.0	25.0
撫養町黒崎 n=7	57.1	100.0	42.9	42.9	71.4	57.1	28.6
撫養町大桑島・小桑島 n=5	40.0	40.0	40.0	20.0	40.0	20.0	20.0
撫養町岡崎・北浜・弁財天・立岩・林崎 n=14	78.6	71.4	42.9	50.0	28.6	28.6	28.6
里浦町 n=8	62.5	50.0	37.5	62.5	37.5	25.0	37.5
鳴門町土佐泊浦 n=4	75.0	50.0	0.0	25.0	25.0	25.0	25.0
鳴門町高島・三ツ石 n=11	45.5	63.6	54.6	36.4	36.4	18.2	27.3
瀬戸町 n=9	77.8	44.4	33.3	55.6	22.2	33.3	33.3
大津町 n=13	84.6	53.9	46.2	38.5	30.8	53.9	23.1
北灘町 n=4	0.0	50.0	50.0	0.0	25.0	25.0	0.0
大麻町 n=27	66.7	59.3	70.4	48.2	37.0	37.0	29.6

	ボランティアセンターを通じたボランティア活動の普及啓発・支援	市シルバー大学校の運営	生活福祉資金貸付事業・福祉金庫貸付事業	基幹型地域包括支援センターでの各種相談・支援業務	災害時における災害ボランティアセンターの設置・運営	県シルバー大学校鳴門校の運営	リフト付きワゴン車による障がいのある人の移動支援事業
撫養町木津 n=13	38.5	30.8	38.5	7.7	30.8	30.8	15.4
撫養町南浜 n=10	20.0	20.0	30.0	30.0	20.0	10.0	10.0
撫養町斎田 n=4	25.0	0.0	25.0	25.0	0.0	25.0	50.0
撫養町黒崎 n=7	42.9	57.1	57.1	57.1	71.4	42.9	14.3
撫養町大桑島・小桑島 n=5	20.0	40.0	0.0	20.0	0.0	20.0	0.0
撫養町岡崎・北浜・弁財天・立岩・林崎 n=14	42.9	28.6	21.4	21.4	21.4	14.3	7.1
里浦町 n=8	37.5	12.5	12.5	12.5	12.5	25.0	12.5
鳴門町土佐泊浦 n=4	25.0	25.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0
鳴門町高島・三ツ石 n=11	27.3	18.2	27.3	27.3	27.3	18.2	18.2
瀬戸町 n=9	11.1	22.2	0.0	33.3	11.1	0.0	22.2
大津町 n=13	15.4	15.4	23.1	7.7	0.0	7.7	15.4
北灘町 n=4	25.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
大麻町 n=27	22.2	29.6	33.3	33.3	37.0	22.2	22.2

	その他	無回答
撫養町木津 n=13	7.7	0.0
撫養町南浜 n=10	10.0	0.0
撫養町斎田 n=4	0.0	0.0
撫養町黒崎 n=7	14.3	0.0
撫養町大桑島・ 小桑島 n=5	0.0	0.0
撫養町岡崎・北浜・ 弁財天・立岩・林崎 n=14	0.0	0.0
里浦町 n=8	12.5	12.5
鳴門町土佐泊浦 n=4	0.0	0.0
鳴門町高島・三ツ石 n=11	0.0	0.0
瀬戸町 n=9	0.0	0.0
大津町 n=13	0.0	7.7
北灘町 n=4	0.0	0.0
大麻町 n=27	0.0	3.7

問28 あなたは、鳴門市社会福祉協議会に対してどのような活動や支援を期待しますか。（複数回答）

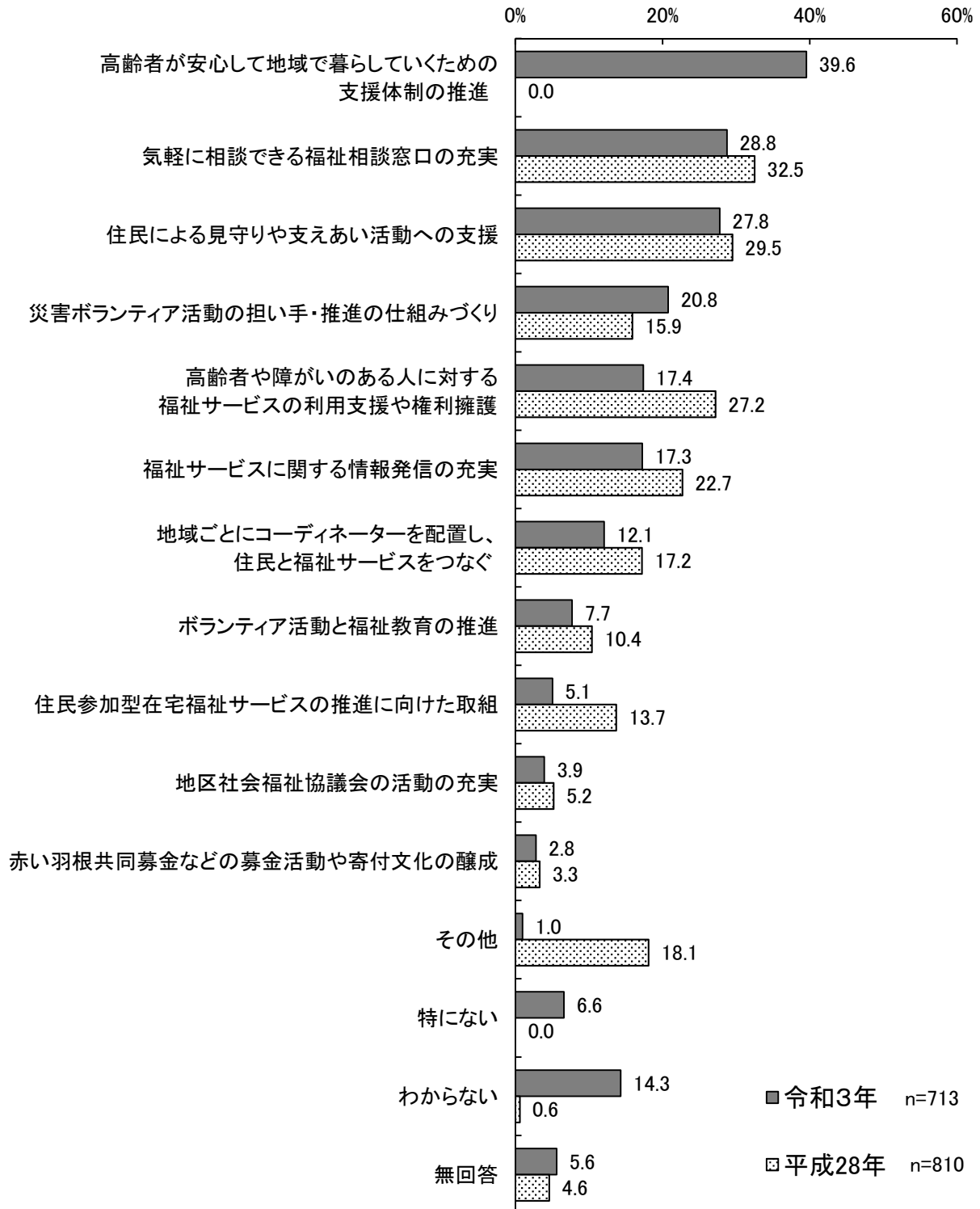
鳴門市社会福祉協議会に対してどのような活動や支援を期待するかについてみると、「高齢者が安心して地域で暮らしていくための支援体制の推進」39.6%と最も多く、以下、「気軽に相談できる福祉相談窓口の充実」28.8%、「住民による見守りや支えあい活動への支援」27.8%などの順となっている。

前回調査と比較し、「高齢者や障がいのある人に対する福祉サービスの利用支援や権利擁護」が9.8ポイント減少している。

年齢別にみると、40歳以上で「高齢者が安心して地域で暮らしていくための支援体制の推進」が最も多く、65歳以上で4割を超えている。15～19歳で「災害ボランティア活動の担い手・推進の仕組みづくり」が最も多く、20～39歳で「住民による見守りや支えあい活動への支援」と「災害ボランティア活動の担い手・推進の仕組みづくり」が最も多くなっている。

地区別にみると、撫養町黒崎及び瀬戸町を除く全ての地区で「高齢者が安心して地域で暮らしていくための支援体制の推進」が最も多く、撫養町黒崎及び瀬戸町では、「気軽に相談できる福祉相談窓口の充実」が最も多くなっている。

(全体)

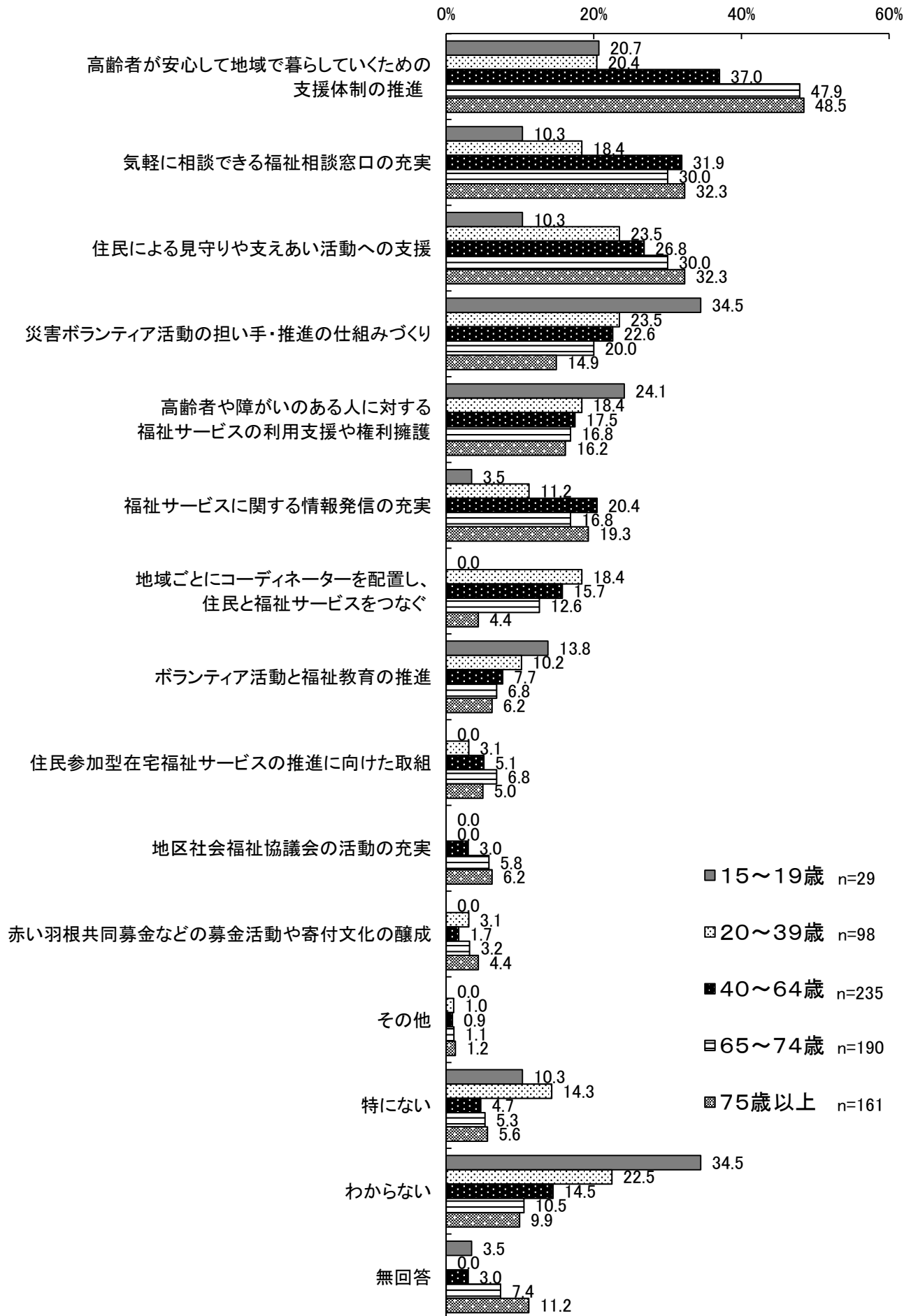


※前回調査では、「高齢者が安心して地域で暮らしていくための支援体制の推進」と「特にない」の選択肢はありません。

(その他)

- ・一人で子育てしている人が住みやすくなるようにしてほしい。
- ・車の免許返納者などのパス。 ・高齢者重視だけでなく、若い世代にも目を向けてほしい。
- ・ごみ屋敷対策。

(年齢別)



(地区別)

	高齢者が安心して地域で暮らしていくための支援体制の推進	気軽に相談できる福祉相談窓口の充実	住民による見守りや支えあい活動への支援	災害ボランティア活動の担い手・推進の仕組みづくり	高齢者や障がいのある人に対する福祉サービスの利用支援や権利擁護	福祉サービスに関する情報発信の充実	地域ごとにコーディネーターを配置し、住民と福祉サービスをつなぐ
撫養町木津 n=42	38.1	23.8	31.0	19.1	11.9	9.5	7.1
撫養町南浜 n=40	52.5	37.5	12.5	20.0	15.0	22.5	7.5
撫養町斎田 n=29	31.0	27.6	27.6	20.7	13.8	17.2	0.0
撫養町黒崎 n=35	28.6	34.3	28.6	25.7	17.1	14.3	17.1
撫養町大桑島・小桑島 n=43	34.9	16.3	23.3	25.6	20.9	18.6	9.3
撫養町岡崎・北浜・弁財天・立岩・林崎 n=91	42.9	30.8	30.8	23.1	16.5	11.0	12.1
里浦町 n=34	41.2	23.5	8.8	23.5	20.6	32.4	14.7
鳴門町土佐泊浦 n=17	52.9	41.2	11.8	23.5	29.4	11.8	5.9
鳴門町高島・三ツ石 n=63	41.3	23.8	34.9	22.2	14.3	11.1	6.4
瀬戸町 n=50	38.0	42.0	34.0	16.0	14.0	18.0	20.0
大津町 n=104	31.7	27.9	27.9	21.2	21.2	23.1	11.5
北灘町 n=24	50.0	16.7	33.3	16.7	12.5	8.3	12.5
大麻町 n=141	41.8	29.1	30.5	17.7	18.4	19.2	17.0

	ボランティア活動と福祉教育の推進	住民参加型在宅福祉サービスの推進に向けた取組	地区社会福祉協議会の活動の充実	赤い羽根共同募金などの募金活動や寄付文化の醸成	その他	特になし	わからない	無回答
撫養町木津 n=42	7.1	4.8	4.8	2.4	2.4	2.4	16.7	9.5
撫養町南浜 n=40	2.5	7.5	0.0	0.0	2.5	7.5	12.5	7.5
撫養町斎田 n=29	6.9	3.5	3.5	3.5	0.0	6.9	20.7	10.3
撫養町黒崎 n=35	14.3	8.6	8.6	5.7	0.0	2.9	20.0	0.0
撫養町大桑島・小桑島 n=43	14.0	4.7	4.7	2.3	0.0	9.3	20.9	2.3
撫養町岡崎・北浜・弁財天・立岩・林崎 n=91	12.1	6.6	4.4	1.1	0.0	7.7	11.0	4.4
里浦町 n=34	11.8	0.0	5.9	5.9	0.0	5.9	8.8	11.8
鳴門町土佐泊浦 n=17	5.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.9	23.5
鳴門町高島・三ツ石 n=63	4.8	7.9	3.2	4.8	0.0	6.4	22.2	3.2
瀬戸町 n=50	8.0	2.0	8.0	4.0	0.0	12.0	8.0	8.0
大津町 n=104	4.8	1.9	1.0	4.8	1.9	5.8	17.3	1.9
北灘町 n=24	12.5	12.5	4.2	0.0	4.2	4.2	12.5	0.0
大麻町 n=141	5.0	5.7	4.3	1.4	1.4	7.1	10.6	6.4

問29 あなたは、子どもたちやその家族が安心して暮らすために、今後特にどのようなことが必要だと思いますか。（複数回答）

子どもたちやその家族が安心して暮らすために、今後特にどのようなことが必要だと思うかについてみると、「保育所費用や教育にかかる費用の軽減」29.9%と最も多く、以下、「安心して出産や育児ができる母子保健や医療サービスの充実」29.2%、「安心して遊べる場所の確保」28.6%などの順となっている。

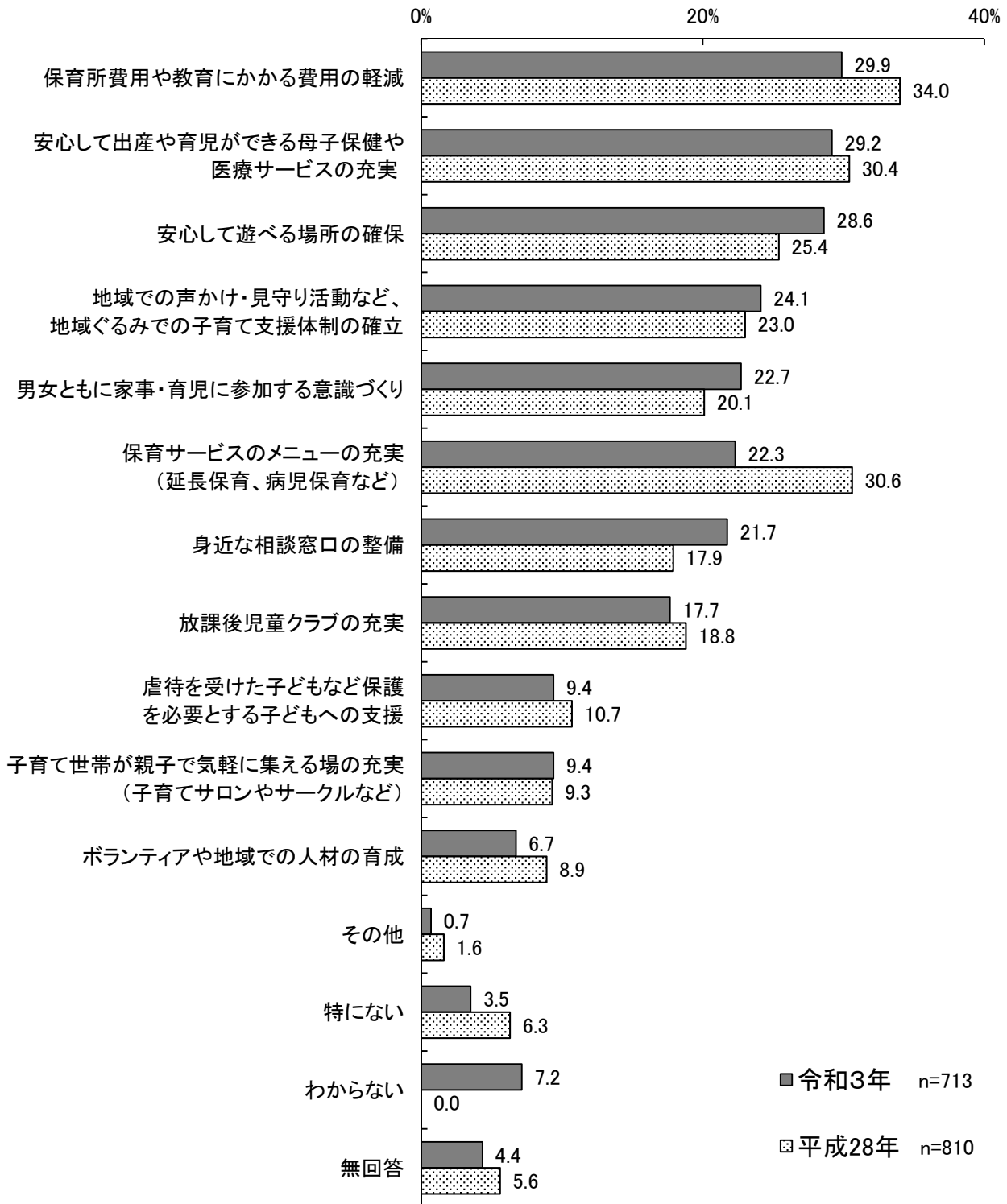
前回調査と比較し、「保育サービスのメニューの充実（延長保育、病児保育など）」が8.3ポイント減少している。

性別にみると、男性では「保育所費用や教育にかかる費用の軽減」30.5%で最も多く、女性では「安心して出産や育児ができる母子保健や医療サービスの充実」31.6%で最も多くなっている。「男女ともに家事・育児に参加する意識づくり」では男性18.1%、女性26.0%で女性の方が7.9ポイント多くなっている。

年齢別にみると、15～19歳で「男女ともに家事・育児に参加する意識づくり」が最も多く、20～39歳で「安心して出産や育児ができる母子保健や医療サービスの充実」が最も多く、40～64歳で「保育所費用や教育にかかる費用の軽減」が最も多く、65～74歳で「地域での声かけ・見守り活動など、地域ぐるみでの子育て支援体制の確立」が最も多く、75歳以上で「安心して遊べる場所の確保」が最も多くなっている。

地区別にみると、撫養町木津、撫養町大桑島・小桑島及び鳴門町土佐泊浦で「保育所費用や教育にかかる費用の軽減」が最も多く、撫養町南浜（斎田東発・西発含む）で「保育所費用や教育にかかる費用の軽減」及び「身近な相談窓口の整備」が最も多く、撫養町斎田（東発・西発除く）で「保育サービスのメニューの充実（延長保育、病児保育など）」が最も多く、撫養町黒崎及び撫養町岡崎・北浜・弁財天・立岩・林崎で「安心して遊べる場所の確保」が最も多く、里浦町で「身近な相談窓口の整備」が最も多く、鳴門町高島・三ツ石、大津町及び大麻町で「安心して出産や育児ができる母子保健や医療サービスの充実」が最も多く、瀬戸町で「地域での声かけ・見守り活動など、地域ぐるみでの子育て支援体制の確立」が最も多く、北灘町で「男女ともに家事・育児に参加する意識づくり」が最も多くなっている。

(全体)

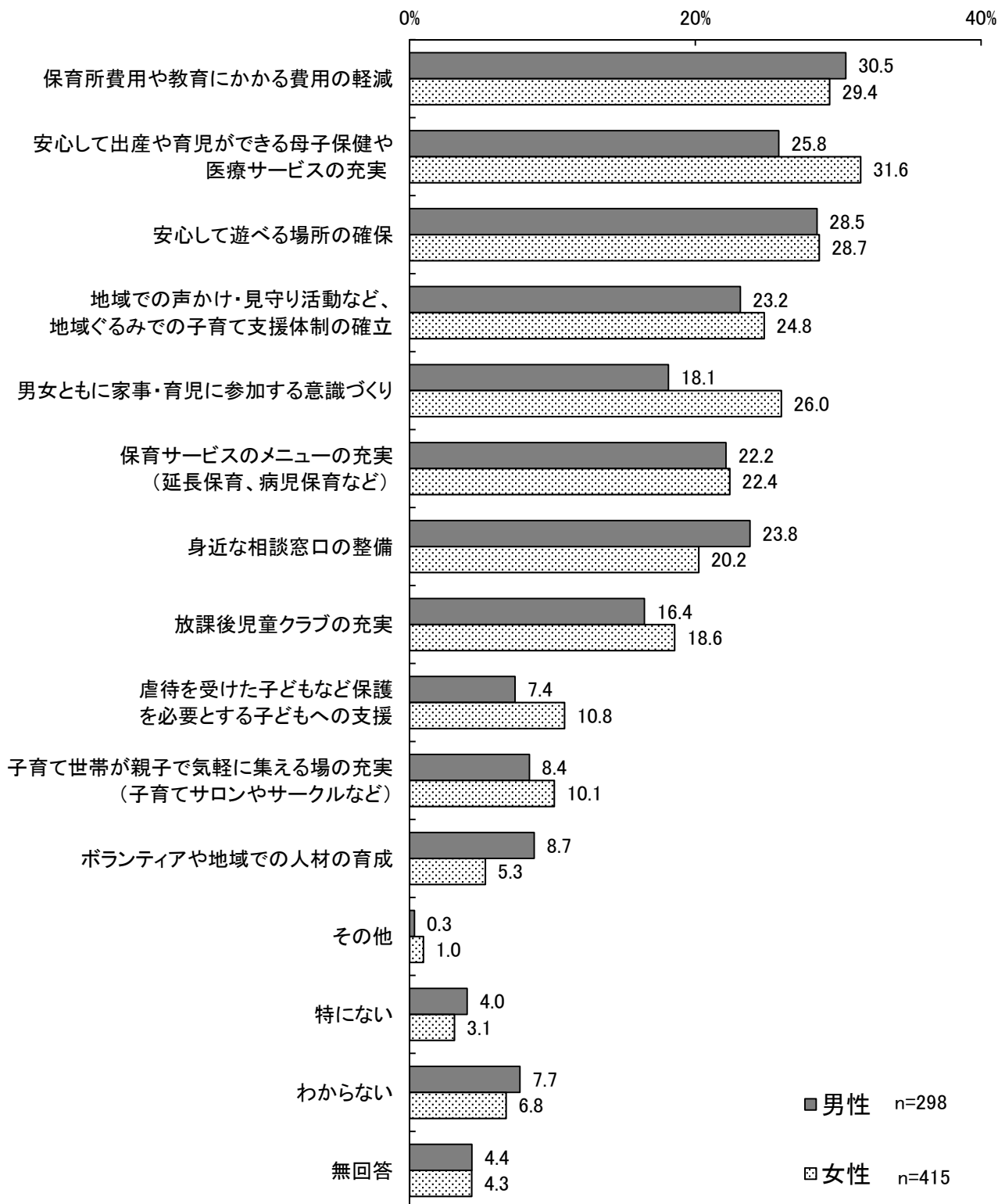


※前回調査では、「わからない」の選択肢はありません。

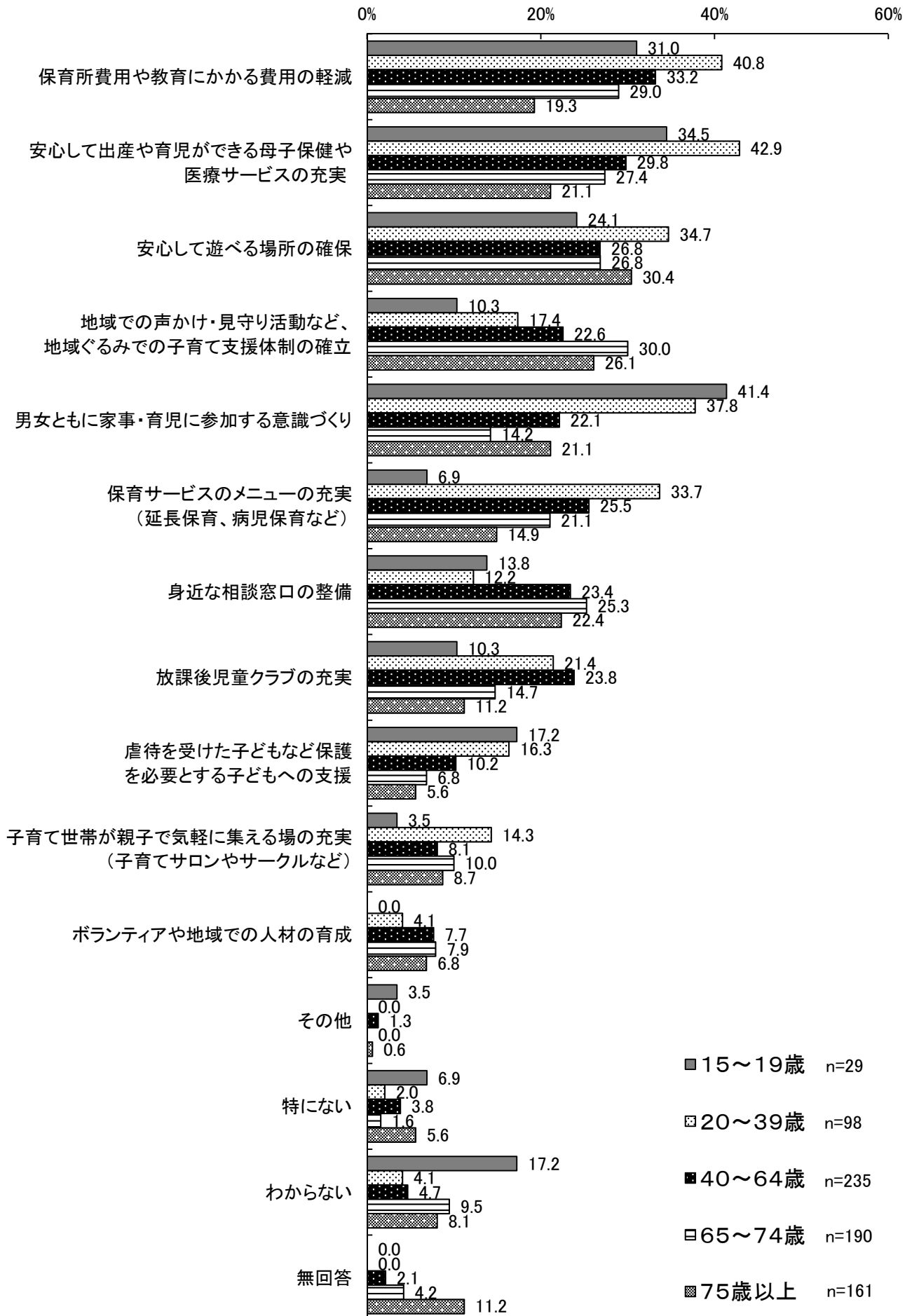
(その他の回答)

- ・空き家対策
- ・買い物ができる場所を増やす。
- ・子ども中心ではなく夫婦に現金支援
- ・野犬、野良猫対策。餌付けする人への注意・指導。

(性別)



(年齢別)



(地区別)

	保育所費用 や教育にか かる費用の 軽減	安心して出 産や育児が できる母子 保健や医療 サービスの 充実	安心して遊 べる場所の 確保	地域での声 かけ・見守 り活動な ど、地域ぐる みでの子育 て支援体制 の確立	男女ともに 家事・育児 に参加する 意識づくり	保育サービ スのメ ニューの充 実	身近な相談 窓口の整備
撫養町木津 n=42	47.6	26.2	35.7	33.3	11.9	31.0	19.1
撫養町南浜 n=40	27.5	20.0	20.0	25.0	20.0	25.0	27.5
撫養町斎田 n=29	20.7	3.5	27.6	17.2	6.9	41.4	24.1
撫養町黒崎 n=35	31.4	20.0	37.1	28.6	22.9	28.6	20.0
撫養町大桑島・ 小桑島 n=43	34.9	23.3	32.6	20.9	27.9	18.6	20.9
撫養町岡崎・北浜・ 弁財天・立岩・林崎 n=91	23.1	29.7	41.8	22.0	20.9	17.6	20.9
里浦町 n=34	23.5	26.5	20.6	20.6	26.5	20.6	32.4
鳴門町土佐泊浦 n=17	41.2	35.3	29.4	23.5	17.7	17.7	17.7
鳴門町高島・三ツ石 n=63	30.2	33.3	31.8	19.1	31.8	27.0	20.6
瀬戸町 n=50	24.0	34.0	28.0	38.0	24.0	20.0	18.0
大津町 n=104	27.9	34.6	24.0	20.2	22.1	19.2	22.1
北灘町 n=24	29.2	29.2	12.5	25.0	37.5	20.8	20.8
大麻町 n=141	33.3	34.0	24.1	24.8	22.7	19.9	21.3

	放課後児童 クラブの充 実	虐待を受け た子どもな ど保護を必 要とする子 どもへの支 援	子育て世帯 が親子で気 軽に集える 場の充実	ボランティア や地域での 人材の育成	その他	特にない	わから ない	無回答
撫養町木津 n=42	16.7	11.9	7.1	7.1	0.0	0.0	7.1	4.8
撫養町南浜 n=40	10.0	10.0	5.0	0.0	0.0	2.5	7.5	7.5
撫養町斎田 n=29	20.7	17.2	3.5	3.5	0.0	3.5	13.8	6.9
撫養町黒崎 n=35	20.0	17.1	11.4	11.4	0.0	0.0	5.7	0.0
撫養町大桑島・ 小桑島 n=43	20.9	16.3	11.6	7.0	0.0	2.3	7.0	4.7
撫養町岡崎・北浜・ 弁財天・立岩・林崎 n=91	20.9	12.1	7.7	11.0	1.1	4.4	6.6	3.3
里浦町 n=34	14.7	5.9	11.8	8.8	0.0	5.9	5.9	5.9
鳴門町土佐泊浦 n=17	29.4	0.0	17.7	0.0	0.0	5.9	0.0	11.8
鳴門町高島・三ツ石 n=63	17.5	6.4	7.9	7.9	1.6	0.0	7.9	3.2
瀬戸町 n=50	16.0	6.0	16.0	10.0	0.0	6.0	6.0	4.0
大津町 n=104	21.2	4.8	10.6	4.8	1.0	4.8	8.7	2.9
北灘町 n=24	16.7	8.3	8.3	16.7	0.0	4.2	8.3	0.0
大麻町 n=141	13.5	9.2	8.5	3.6	1.4	4.3	6.4	5.7

問30 あなたは、高齢者が安心して暮らすために、今後特にどのようなことが必要だと思いますか。（複数回答）

高齢者が安心して暮らすために、今後特にどのようなことが必要だと思うかについてみると、「医療と介護の連携」40.4%と最も多く、以下、「在宅福祉サービスの充実（ホームヘルプサービス・デイサービスなど）」29.2%、「病院など医療関係施設の整備」28.3%などの順となっている。

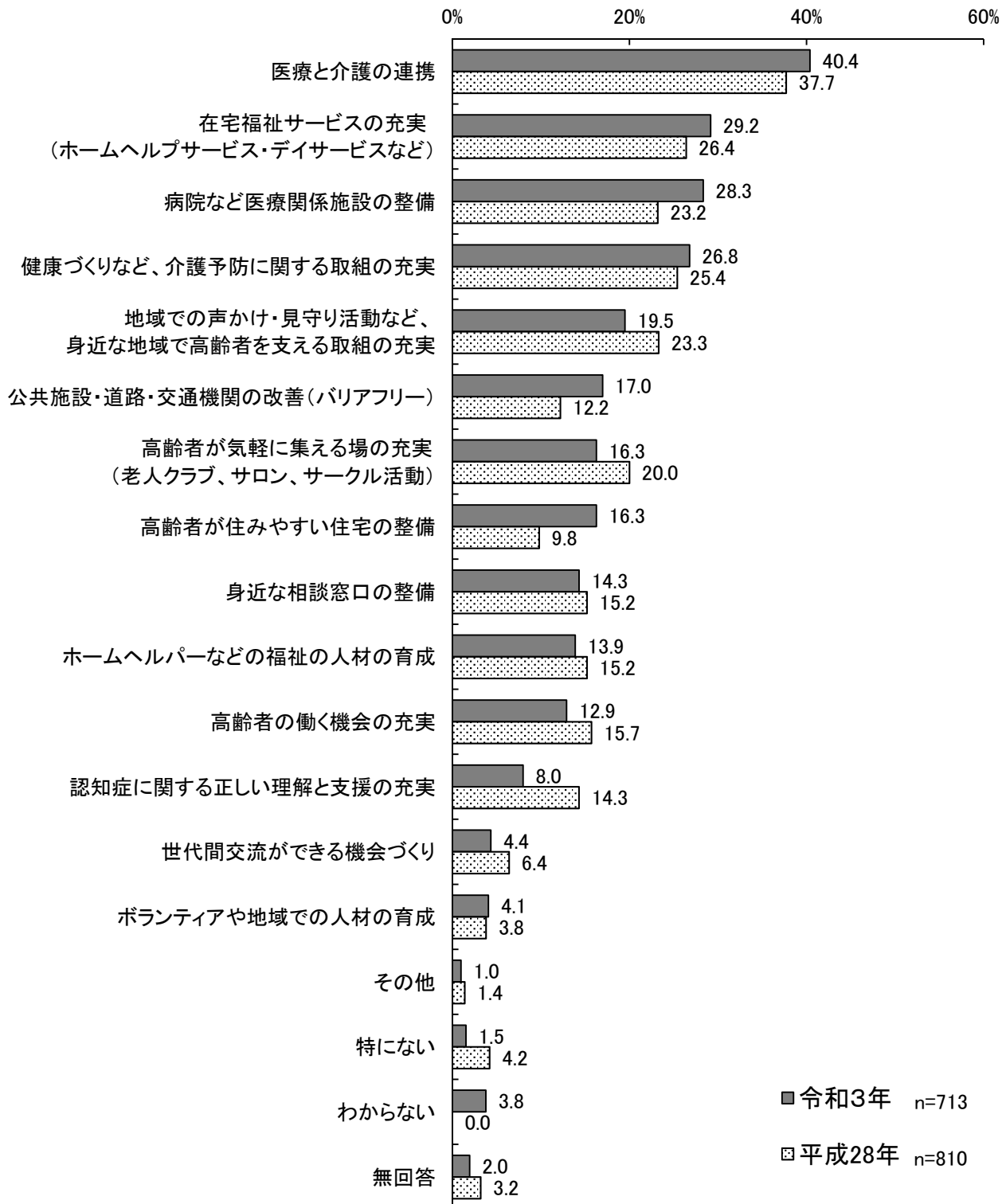
前回調査と比較し、「高齢者が住みやすい住宅の整備」が6.5ポイント増加し、「病院など医療関係施設の整備」が5.1ポイント増加している。

性別にみると、男女共に「医療と介護の連携」が最も多く、男性36.2%、女性43.4%で女性の方が7.2ポイント多くなっている。

年齢別にみると、全ての年代で「医療と介護の連携」が最も多くなっている。

地区別にみると、撫養町南浜（斎田東発・西発含む）、里浦町及び鳴門町高島・三ツ石を除く全ての地区で「医療と介護の連携」が最も多くなっている。北灘町では「医療と介護の連携」と「病院など医療関係施設の整備」が最も多くなっている。撫養町南浜（斎田東発・西発含む）及び里浦町で「在宅福祉サービスの充実（ホームヘルプサービス・デイサービスなど）」が最も多くなっている。鳴門町高島・三ツ石で「健康づくりなど、介護予防に関する取組の充実」が最も多くなっている。

(全体)

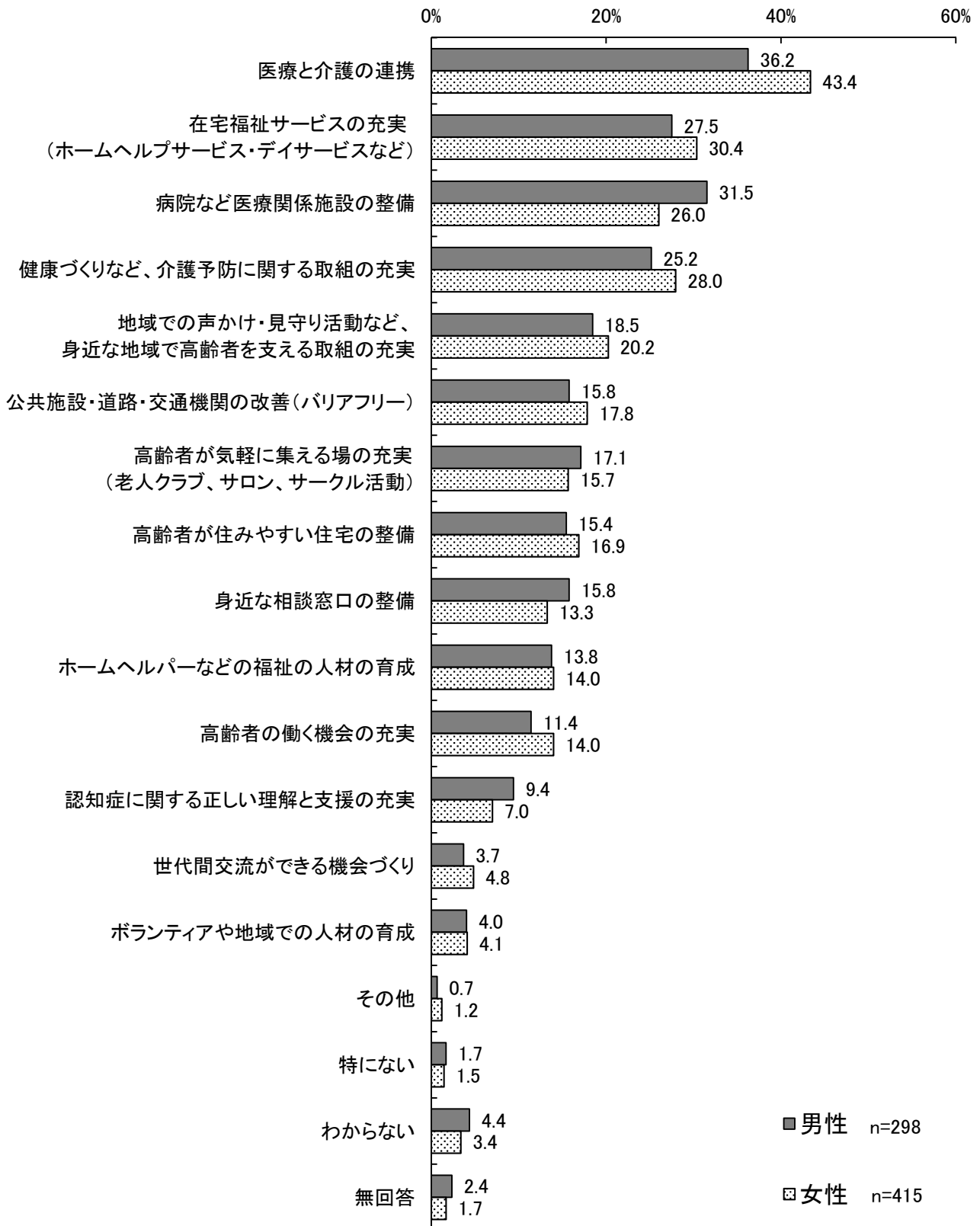


※前回調査では、「わからない」の選択肢はありません。

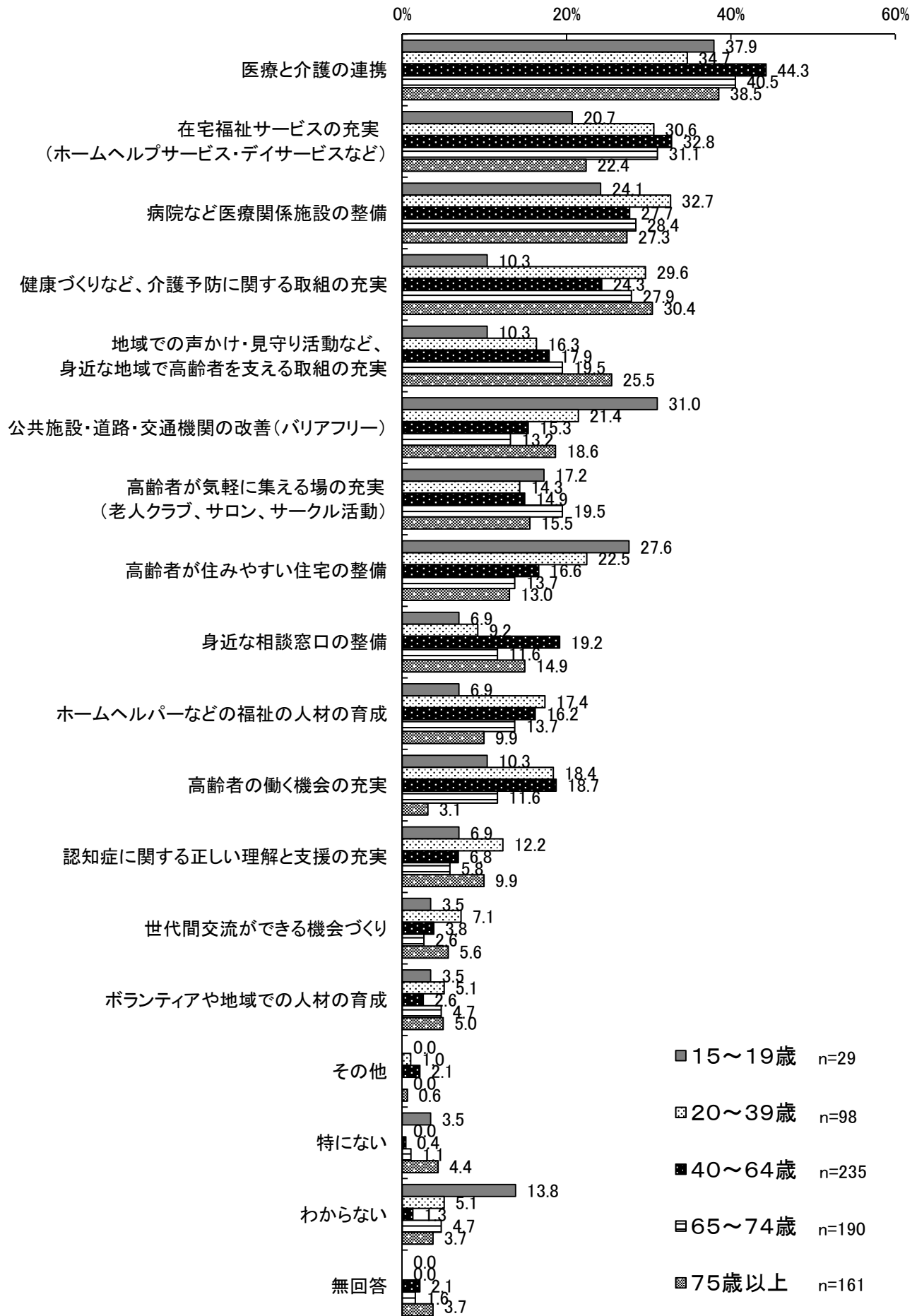
(その他の回答)

- ・ 年配の方が近くで買い物ができる環境。
- ・ 近所にスーパーがほしい。
- ・ プッシュ型の防災。具体的に防災行政無線の早期開局。
- ・ スーパーなど日常使う場に手すり。不自由さ配慮。
- ・ 高齢者が運動できる場所。

(性別)



(年齢別)



(地区別)

	医療と介護 の連携	在宅福祉 サービスの 充実	病院など医 療関係施設 の整備	健康づくりな ど、介護予 防に関する 取組の充実	地域での声 かけ・見守 り活動な ど、身近な 地域で高齢 者を支える 取組の充実	公共施設・ 道路・交通 機関の改善	高齢者が気 軽に集える 場の充実
撫養町木津 n=42	50.0	28.6	28.6	33.3	14.3	7.1	16.7
撫養町南浜 n=40	32.5	35.0	32.5	27.5	22.5	25.0	5.0
撫養町斎田 n=29	37.9	31.0	34.5	31.0	13.8	6.9	13.8
撫養町黒崎 n=35	48.6	37.1	25.7	34.3	14.3	17.1	14.3
撫養町大桑島・ 小桑島 n=43	41.9	18.6	25.6	20.9	18.6	18.6	16.3
撫養町岡崎・北浜・ 弁財天・立岩・林崎 n=91	39.6	25.3	37.4	23.1	22.0	20.9	18.7
里浦町 n=34	41.2	47.1	17.7	14.7	8.8	14.7	17.7
鳴門町土佐泊浦 n=17	52.9	23.5	35.3	23.5	17.7	23.5	11.8
鳴門町高島・三ツ石 n=63	27.0	27.0	28.6	33.3	20.6	12.7	19.1
瀬戸町 n=50	36.0	32.0	34.0	26.0	20.0	18.0	20.0
大津町 n=104	42.3	28.9	21.2	21.2	19.2	15.4	14.4
北灘町 n=24	41.7	25.0	41.7	20.8	16.7	12.5	29.2
大麻町 n=141	42.6	28.4	24.1	31.9	24.1	19.9	15.6

	高齢者が住 みやすい住 宅の整備	身近な相談 窓口の整備	ホームヘル パーなどの 福祉の人材 の育成	高齢者の働 く機会の充 実	認知症に関 する正しい 理解と支援 の充実	世代間交流 ができる機 会づくり	ボランティア や地域での 人材の育成
撫養町木津 n=42	14.3	11.9	14.3	9.5	7.1	4.8	4.8
撫養町南浜 n=40	25.0	17.5	17.5	10.0	5.0	2.5	2.5
撫養町斎田 n=29	17.2	13.8	3.5	17.2	10.3	0.0	0.0
撫養町黒崎 n=35	20.0	8.6	11.4	20.0	11.4	2.9	2.9
撫養町大桑島・ 小桑島 n=43	11.6	16.3	14.0	23.3	9.3	7.0	7.0
撫養町岡崎・北浜・ 弁財天・立岩・林崎 n=91	18.7	12.1	14.3	13.2	8.8	2.2	3.3
里浦町 n=34	14.7	26.5	11.8	17.7	8.8	5.9	8.8
鳴門町土佐泊浦 n=17	17.7	17.7	5.9	11.8	0.0	5.9	0.0
鳴門町高島・三ツ石 n=63	22.2	15.9	14.3	17.5	9.5	3.2	6.4
瀬戸町 n=50	10.0	20.0	14.0	16.0	10.0	6.0	8.0
大津町 n=104	10.6	18.3	14.4	8.7	8.7	3.9	5.8
北灘町 n=24	20.8	0.0	8.3	8.3	8.3	4.2	0.0
大麻町 n=141	16.3	9.9	17.0	8.5	5.7	6.4	1.4

第2章 市民調査

	その他	特にない	わからない	無回答
撫養町木津 n=42	0.0	0.0	7.1	2.4
撫養町南浜 n=40	0.0	0.0	2.5	2.5
撫養町斎田 n=29	0.0	0.0	10.3	0.0
撫養町黒崎 n=35	0.0	0.0	0.0	0.0
撫養町大桑島・ 小桑島 n=43	4.7	0.0	2.3	2.3
撫養町岡崎・北浜・ 弁財天・立岩・林崎 n=91	0.0	0.0	1.1	1.1
里浦町 n=34	0.0	2.9	2.9	2.9
鳴門町土佐泊浦 n=17	0.0	0.0	0.0	5.9
鳴門町高島・三ツ石 n=63	4.8	0.0	3.2	3.2
瀬戸町 n=50	0.0	4.0	2.0	2.0
大津町 n=104	0.0	3.9	9.6	1.0
北灘町 n=24	4.2	0.0	4.2	0.0
大麻町 n=141	0.7	2.8	2.1	2.8

問31 あなたは、障がいのある人が安心して暮らすために、今後特にどのようなことが必要だと思いますか。（複数回答）

障がいのある人が安心して暮らすために、今後特にどのようなことが必要だと思うかについてみると、「障がいのある人に対する理解の促進」46.3%と最も多く、以下、「就労に向けた支援の充実と働く場の確保」32.4%、「心身の状況などに応じた保健・医療・医学的リハビリテーションの提供」25.5%などの順となっている。

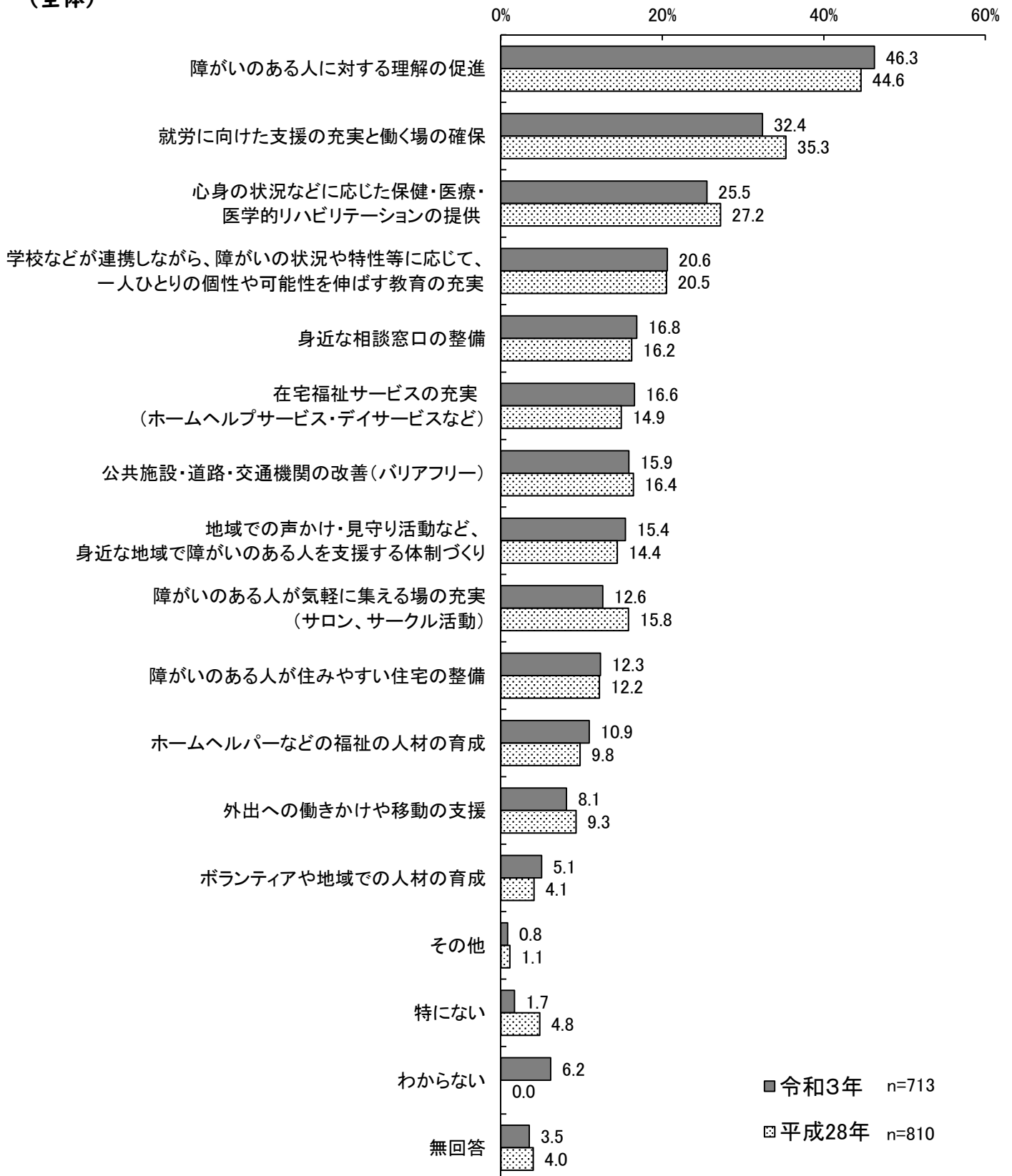
前回調査と比較し、「就労に向けた支援の充実と働く場の確保」が2.9ポイント減少している。

性別にみると、男女共に「障がいのある人に対する理解の促進」が最も多くなっている。「身近な相談窓口の整備」では男性の方が7.4ポイント多く、「学校などが連携しながら、障がいの状況や特性等に応じて、一人ひとりの個性や可能性を伸ばす教育の充実」では女性の方が11.2ポイント多くなっている。

年齢別にみると、全ての年代で「障がいのある人に対する理解の促進」が最も多くなっている。

地区別にみると、撫養町南浜（斎田東発・西発含む）及び北灘町を除く全ての地区で「障がいのある人に対する理解の促進」が最も多くなっている。撫養町南浜（斎田東発・西発含む）で「就労に向けた支援の充実と働く場の確保」が最も多くなっている。北灘町で「就労に向けた支援の充実と働く場の確保」と「心身の状況などに応じた保健・医療・医学的リハビリテーションの提供」が最も多くなっている。

(全体)

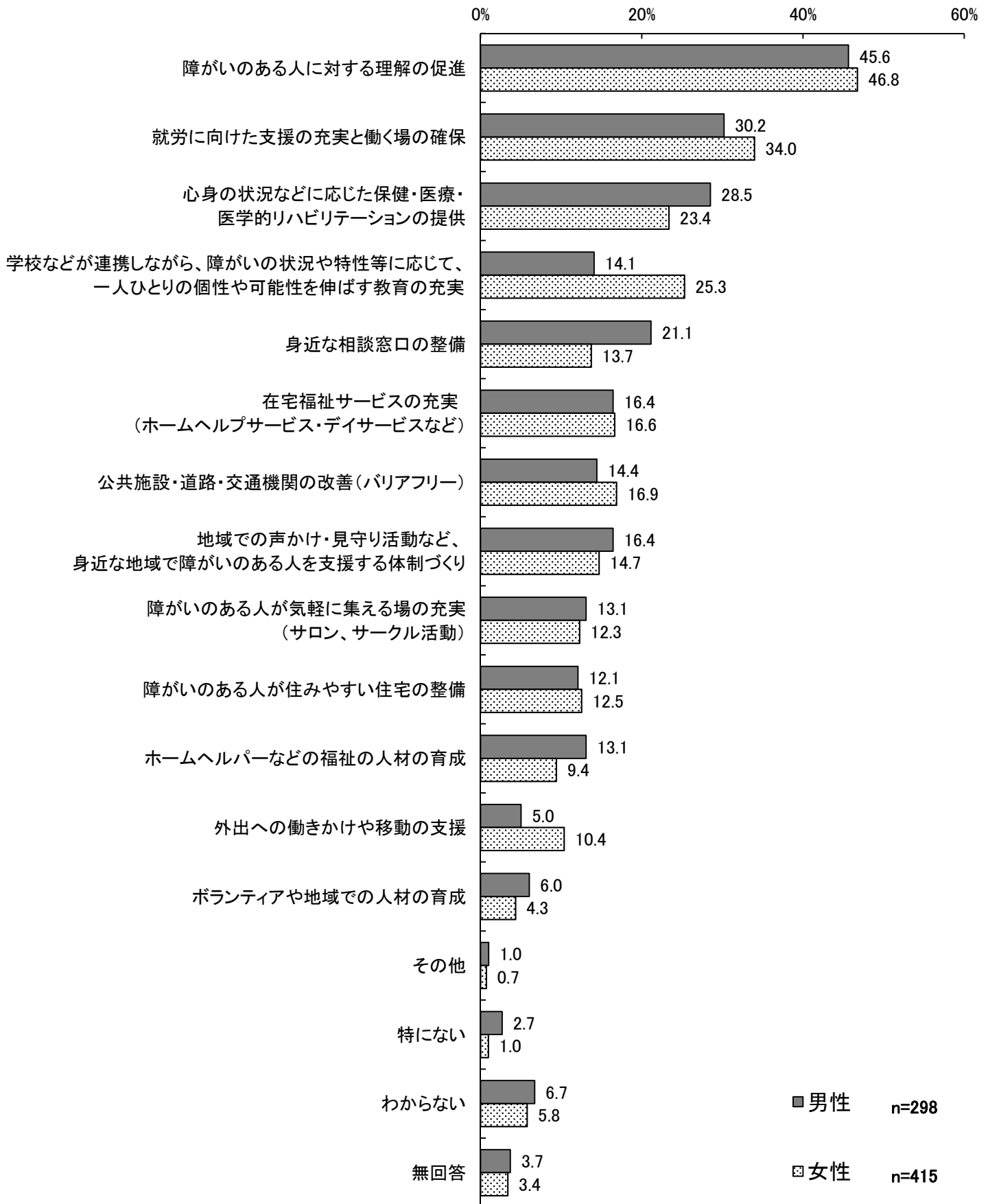


(その他)

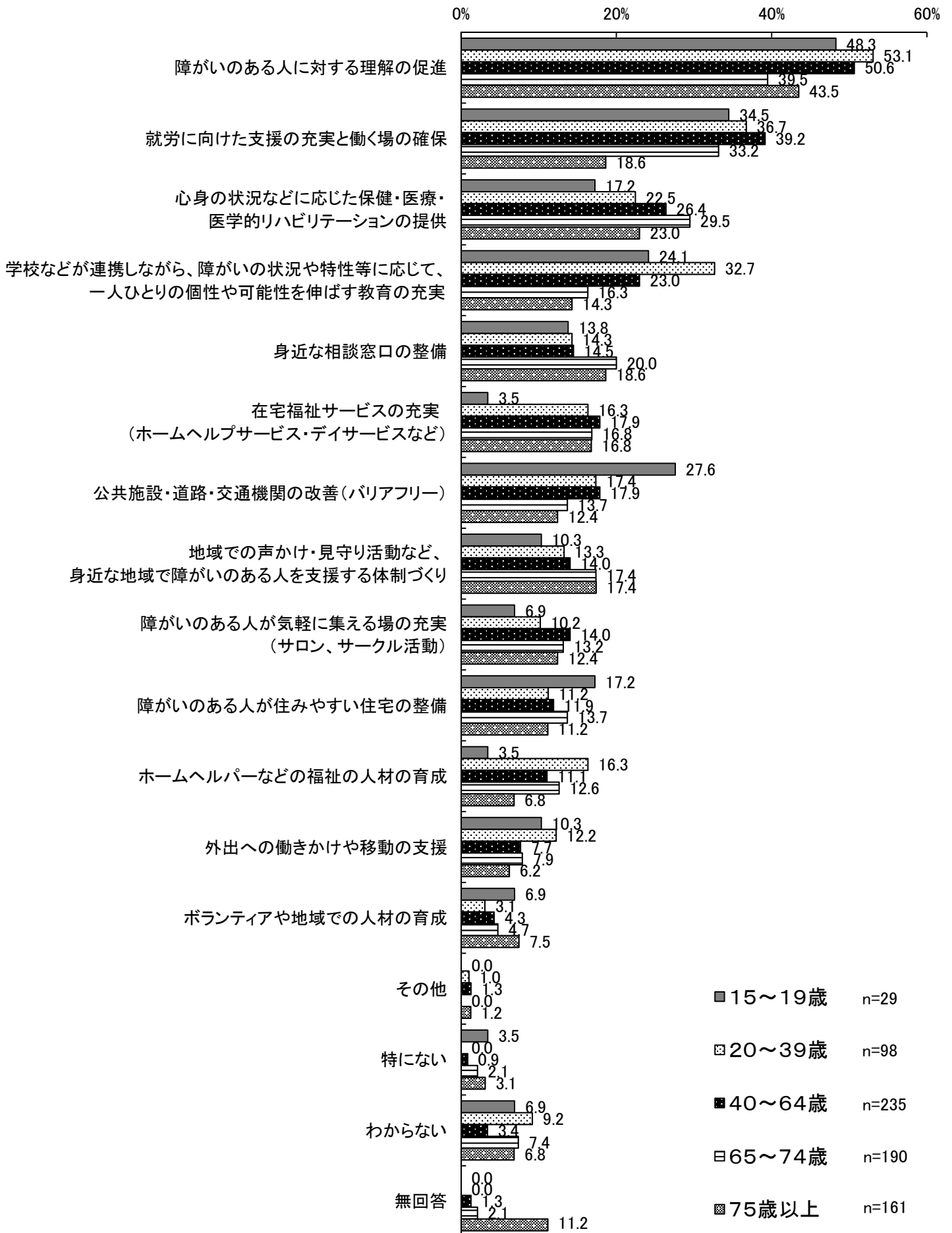
- ・プッシュ型の防災。具体的に防災行政無線の早期開局。
- ・家族に障がいがあったとしても、認めない(認めたくない)人がいる。
- ・スーパー、外食、駅、バス、トイレ、手すり、蛇口の形など、健常者が考えず障がい者自身にアドバイスを求める。
- ・人に優しく思いやりを皆が持つこと
- ・歩道の整備。

※前回調査では、「わからない」の選択肢はありません。

(性別)



(年齢別)



(地区別)

	障がいのある人に対する理解の促進	就労に向けた支援の充実と働く場の確保	心身の状況などに応じた保健・医療・医学的リハビリテーションの提供	学校などが連携しながら、障がいの状況や特性等に応じて、一人ひとりの個性や可能性を伸ばす教育の充実	身近な相談窓口の整備	在宅福祉サービスの充実	公共施設・道路・交通機関の改善
撫養町木津 n=42	50.0	35.7	40.5	23.8	9.5	19.1	14.3
撫養町南浜 n=40	37.5	40.0	30.0	15.0	30.0	12.5	17.5
撫養町斎田 n=29	37.9	20.7	34.5	27.6	10.3	20.7	10.3
撫養町黒崎 n=35	51.4	22.9	25.7	17.1	34.3	28.6	8.6
撫養町大桑島・小桑島 n=43	51.2	34.9	14.0	23.3	14.0	11.6	9.3
撫養町岡崎・北浜・弁財天・立岩・林崎 n=91	52.8	27.5	19.8	18.7	15.4	16.5	20.9
里浦町 n=34	41.2	38.2	29.4	32.4	14.7	11.8	26.5
鳴門町土佐泊浦 n=17	47.1	29.4	11.8	11.8	17.7	11.8	17.7
鳴門町高島・三ツ石 n=63	42.9	20.6	27.0	15.9	12.7	14.3	19.1
瀬戸町 n=50	48.0	44.0	26.0	24.0	8.0	18.0	14.0
大津町 n=104	41.4	28.9	26.0	15.4	20.2	13.5	25.0
北灘町 n=24	33.3	45.8	45.8	20.8	8.3	20.8	12.5
大麻町 n=141	50.4	36.9	21.3	24.1	18.4	18.4	7.8
	地域での声かけ・見守り活動など、身近な地域で障がいのある人を支援する体制づくり	障がいのある人が気軽に集える場の充実	障がいのある人が住みやすい住宅の整備	ホームヘルパーなどの福祉の人材の育成	外出への働きかけや移動の支援	ボランティアや地域での人材の育成	その他
撫養町木津 n=42	21.4	9.5	4.8	7.1	4.8	7.1	0.0
撫養町南浜 n=40	15.0	10.0	10.0	10.0	7.5	2.5	0.0
撫養町斎田 n=29	13.8	13.8	13.8	3.5	3.5	6.9	0.0
撫養町黒崎 n=35	11.4	11.4	5.7	14.3	2.9	5.7	0.0
撫養町大桑島・小桑島 n=43	14.0	9.3	11.6	11.6	7.0	7.0	2.3
撫養町岡崎・北浜・弁財天・立岩・林崎 n=91	15.4	12.1	19.8	16.5	5.5	7.7	0.0
里浦町 n=34	2.9	11.8	17.7	2.9	14.7	0.0	0.0
鳴門町土佐泊浦 n=17	0.0	35.3	17.7	5.9	11.8	11.8	0.0
鳴門町高島・三ツ石 n=63	19.1	14.3	15.9	14.3	9.5	4.8	3.2
瀬戸町 n=50	18.0	14.0	12.0	14.0	22.0	4.0	0.0
大津町 n=104	15.4	11.5	13.5	11.5	5.8	3.9	1.0
北灘町 n=24	12.5	12.5	8.3	8.3	8.3	0.0	4.2
大麻町 n=141	18.4	12.8	8.5	9.2	7.8	5.0	0.7

第2章 市民調査

	特にない	わからない	無回答
撫養町木津 n=42	0.0	7.1	4.8
撫養町南浜 n=40	0.0	5.0	7.5
撫養町斎田 n=29	0.0	17.2	3.5
撫養町黒崎 n=35	0.0	0.0	0.0
撫養町大桑島・ 小桑島 n=43	0.0	9.3	2.3
撫養町岡崎・北浜・ 弁財天・立岩・林崎 n=91	2.2	6.6	1.1
里浦町 n=34	2.9	2.9	8.8
鳴門町土佐泊浦 n=17	0.0	5.9	5.9
鳴門町高島・三ツ石 n=63	1.6	7.9	4.8
瀬戸町 n=50	6.0	4.0	0.0
大津町 n=104	2.9	7.7	3.9
北灘町 n=24	0.0	0.0	0.0
大麻町 n=141	1.4	5.0	4.3

問32 あなたは、生活困窮者や困窮状態にある世帯への支援として、今後特にどのようなことが必要だと思いますか。（複数回答）

生活困窮者や困窮状態にある世帯への支援として、今後特にどのようなことが必要だと思うかについてみると、「世帯が孤立しないように、困窮状態の早期発見に向けた支援」42.4%と最も多く、以下、「生活困窮世帯の子どもたちの学習支援や進学支援」40.0%、「本人や家族の悩み・つらい気持ちに寄り添うための相談支援の充実」24.4%などの順となっている。

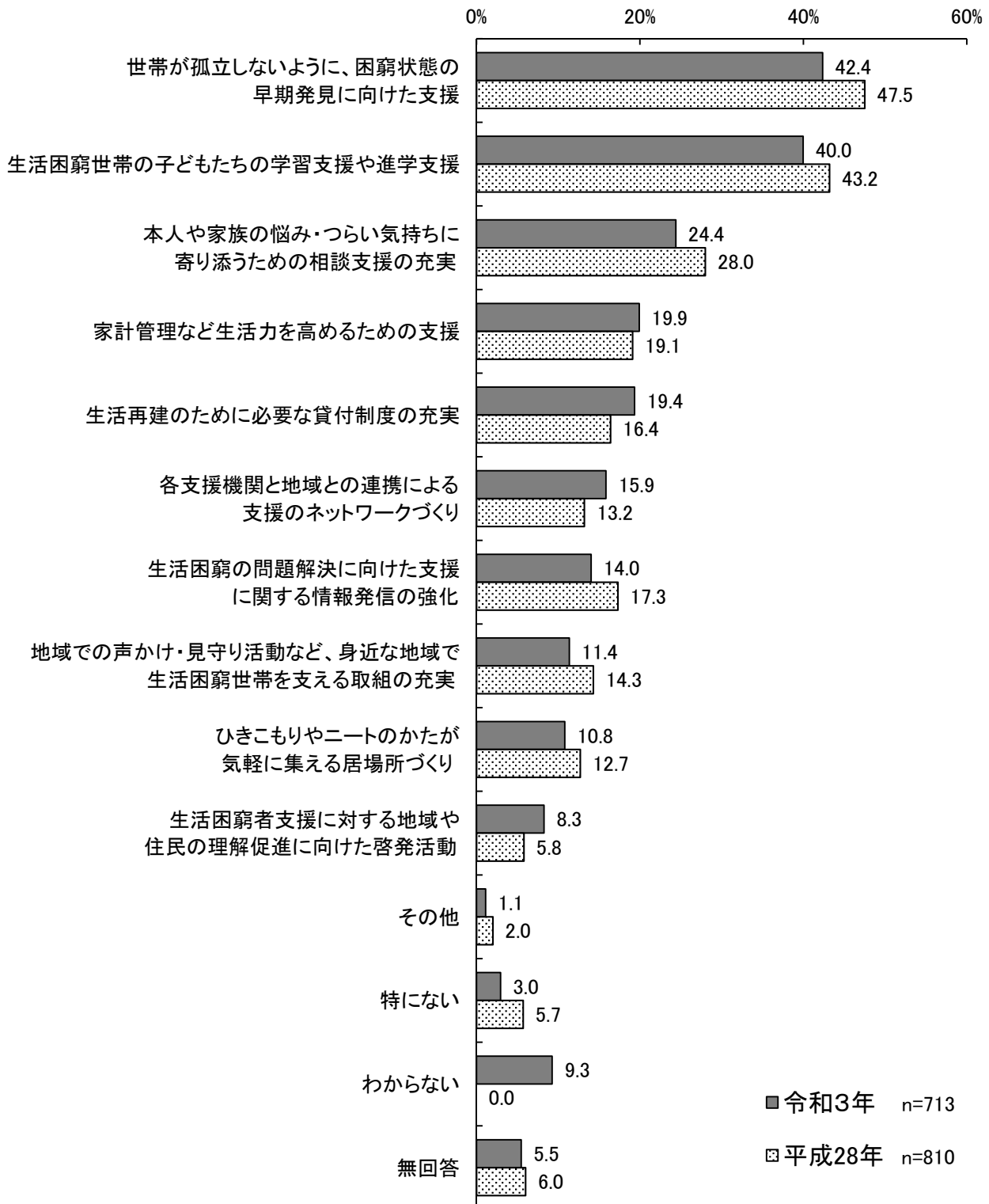
前回調査と比較し、「世帯が孤立しないように、困窮状態の早期発見に向けた支援」が5.1ポイント減少している。

性別にみると、男女共に「世帯が孤立しないように、困窮状態の早期発見に向けた支援」が最も多くなっている。

年齢別にみると、15～19歳及び65歳以上で「世帯が孤立しないように、困窮状態の早期発見に向けた支援」が最も多く、20～64歳で「生活困窮世帯の子どもたちの学習支援や進学支援」が最も多くなっている。

地区別にみると、撫養町木津、撫養町南浜（斎田東発・西発含む）、鳴門町高島・三ツ石及び瀬戸町を除く全ての地区で「世帯が孤立しないように、困窮状態の早期発見に向けた支援」が最も多くなっている。北灘町で「世帯が孤立しないように、困窮状態の早期発見に向けた支援」と「生活困窮世帯の子どもたちの学習支援や進学支援」が最も多くなっている。撫養町木津、撫養町南浜（斎田東発・西発含む）、鳴門町高島・三ツ石及び瀬戸町で「生活困窮世帯の子どもたちの学習支援や進学支援」が最も多くなっている。

(全体)

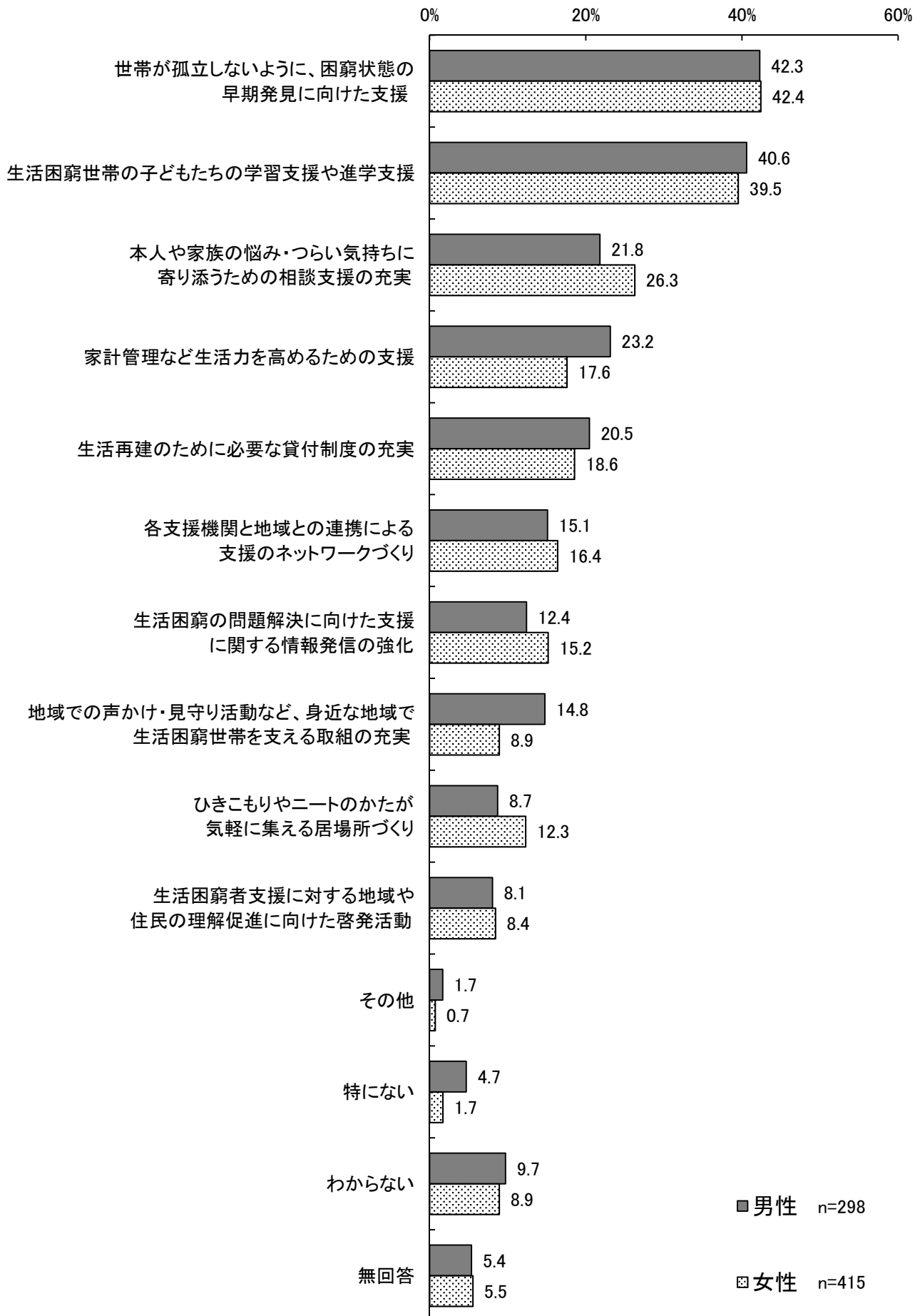


※前回調査では、「わからない」の選択肢はありません。

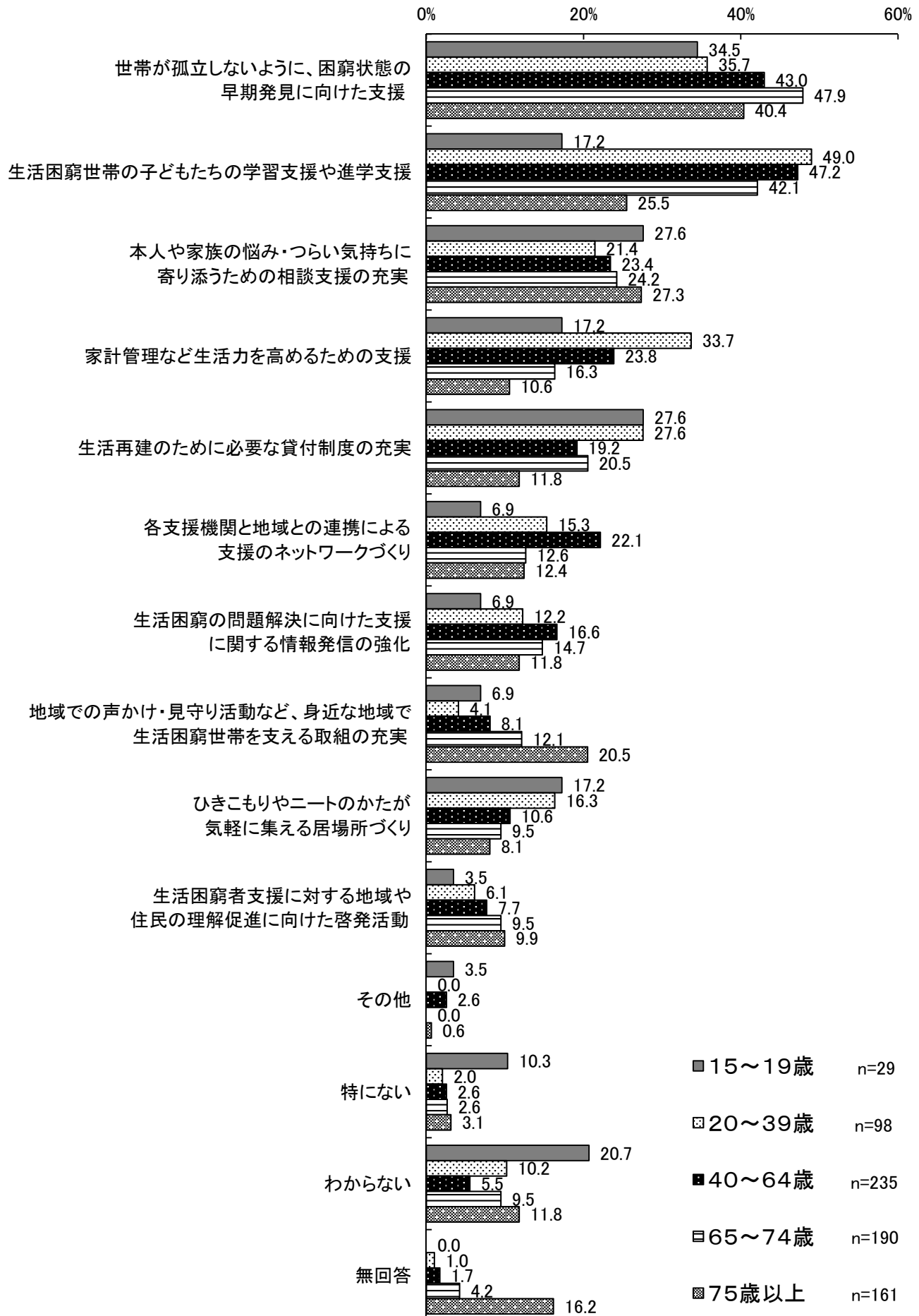
(その他の回答)

- ・ 給付金を出す。 ・ 就労支援 ・ 支援が「生活」に利用される制度整備。
- ・ 働ける施設をつくる ・ 健康状態が取り戻せるような専用病院をつくる
- ・ プッシュ型の防災。具体的に防災行政無線の早期開局。

(性別)



(年齢別)



(地区別)

	世帯が孤立しないように、困窮状態の早期発見に向けた支援	生活困窮世帯の子どもたちの学習支援や進学支援	本人や家族の悩み・つらい気持ちに寄り添うための相談支援の充実	家計管理など生活力を高めるための支援	生活再建のために必要な貸付制度の充実	各支援機関と地域との連携による支援のネットワークづくり	生活困窮の問題解決に向けた支援に関する情報発信の強化
撫養町木津 n=42	35.7	47.6	31.0	28.6	21.4	9.5	4.8
撫養町南浜 n=40	32.5	47.5	25.0	22.5	15.0	12.5	27.5
撫養町斎田 n=29	34.5	24.1	31.0	10.3	3.5	13.8	24.1
撫養町黒崎 n=35	45.7	40.0	25.7	22.9	22.9	25.7	8.6
撫養町大桑島・小桑島 n=43	34.9	32.6	18.6	23.3	18.6	7.0	14.0
撫養町岡崎・北浜・弁財天・立岩・林崎 n=91	44.0	41.8	24.2	26.4	26.4	13.2	16.5
里浦町 n=34	47.1	41.2	17.7	20.6	17.7	20.6	14.7
鳴門町土佐泊浦 n=17	52.9	29.4	35.3	17.7	23.5	0.0	11.8
鳴門町高島・三ツ石 n=63	38.1	39.7	27.0	17.5	15.9	15.9	9.5
瀬戸町 n=50	36.0	40.0	22.0	16.0	26.0	16.0	12.0
大津町 n=104	41.4	34.6	25.0	17.3	16.4	18.3	14.4
北灘町 n=24	41.7	41.7	37.5	12.5	12.5	29.2	12.5
大麻町 n=141	51.8	44.7	19.9	18.4	20.6	17.7	13.5
	地域での声かけ・見守り活動など、身近な地域で生活困窮世帯を支える取組の充実	ひきこもりやニートのかたが気軽に集える居場所づくり	生活困窮者支援に対する地域や住民の理解促進に向けた啓発活動	その他	特になし	わからない	無回答
撫養町木津 n=42	16.7	9.5	11.9	0.0	0.0	11.9	4.8
撫養町南浜 n=40	5.0	15.0	2.5	2.5	0.0	7.5	7.5
撫養町斎田 n=29	13.8	3.5	20.7	0.0	0.0	10.3	13.8
撫養町黒崎 n=35	11.4	11.4	2.9	0.0	2.9	0.0	2.9
撫養町大桑島・小桑島 n=43	14.0	14.0	14.0	2.3	7.0	11.6	4.7
撫養町岡崎・北浜・弁財天・立岩・林崎 n=91	11.0	8.8	4.4	0.0	3.3	13.2	3.3
里浦町 n=34	14.7	5.9	8.8	0.0	5.9	8.8	11.8
鳴門町土佐泊浦 n=17	11.8	23.5	5.9	5.9	0.0	0.0	11.8
鳴門町高島・三ツ石 n=63	12.7	7.9	9.5	1.6	3.2	7.9	4.8
瀬戸町 n=50	18.0	20.0	10.0	0.0	6.0	14.0	4.0
大津町 n=104	10.6	9.6	4.8	1.9	3.9	12.5	3.9
北灘町 n=24	4.2	8.3	8.3	4.2	0.0	8.3	4.2
大麻町 n=141	8.5	10.6	9.9	0.7	2.1	5.7	5.7

問33 あなたは、成年後見制度について知っていますか。（単数回答）

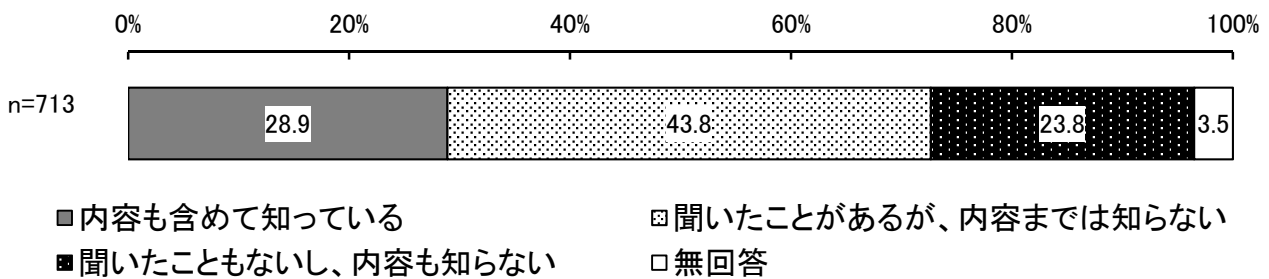
成年後見制度について知っているかについてみると、「聞いたことがあるが、内容までは知らない」43.8%と最も多く、以下、「内容も含めて知っている」28.9%、「聞いたこともないし、内容も知らない」23.8%となっている。

性別にみると、「内容も含めて知っている」が男性25.8%、女性31.1%で女性の方が5.3ポイント多くなっている。

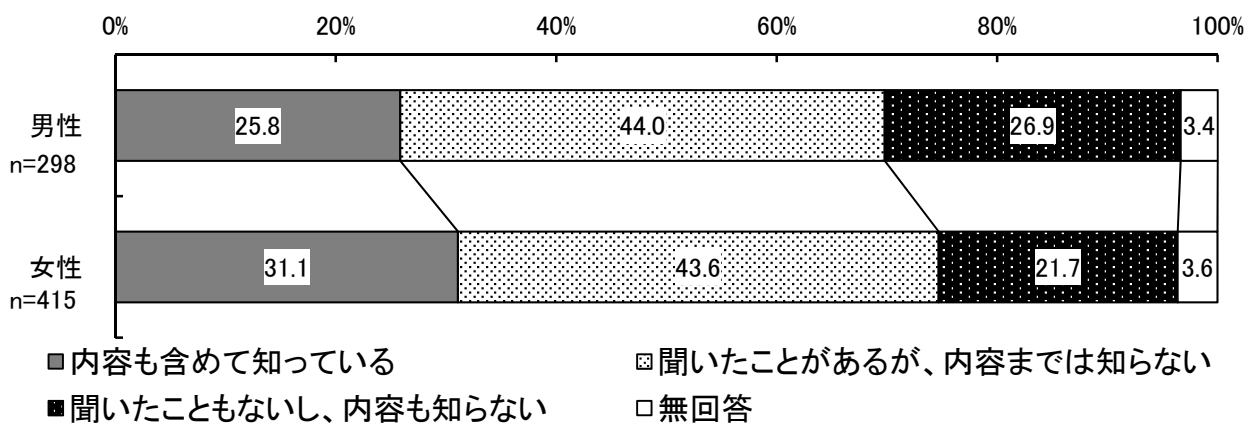
年齢別にみると、15～19歳で「聞いたこともないし、内容も知らない」82.8%が最も多く、20歳以上で「聞いたことがあるが、内容までは知らない」が最も多くなっている。

地区別にみると、撫養町南浜（斎田東発・西発含む）、撫養町斎田（東発・西発除く）及び撫養町黒崎で「内容も含めて知っている」が最も多くなっている。撫養町斎田（東発・西発除く）では、同率で「聞いたことがあるが、内容までは知らない」も最も多くなっている。

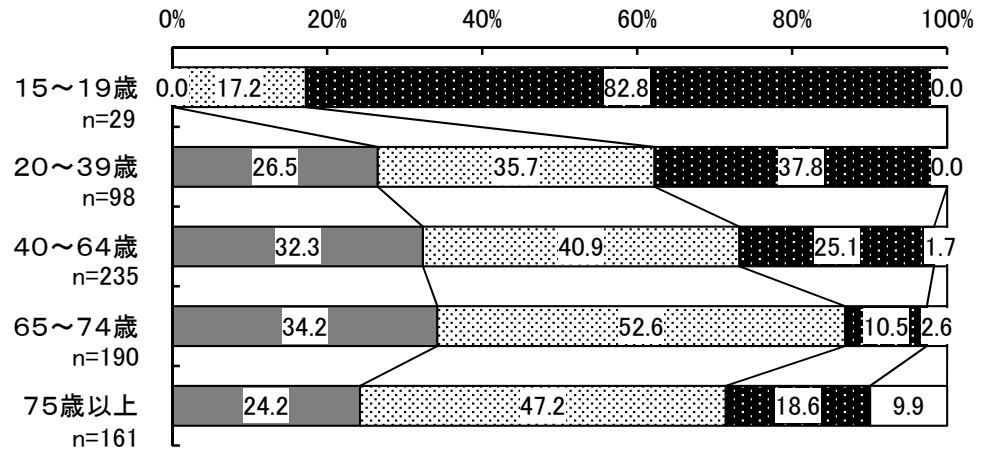
（全体）



（性別）

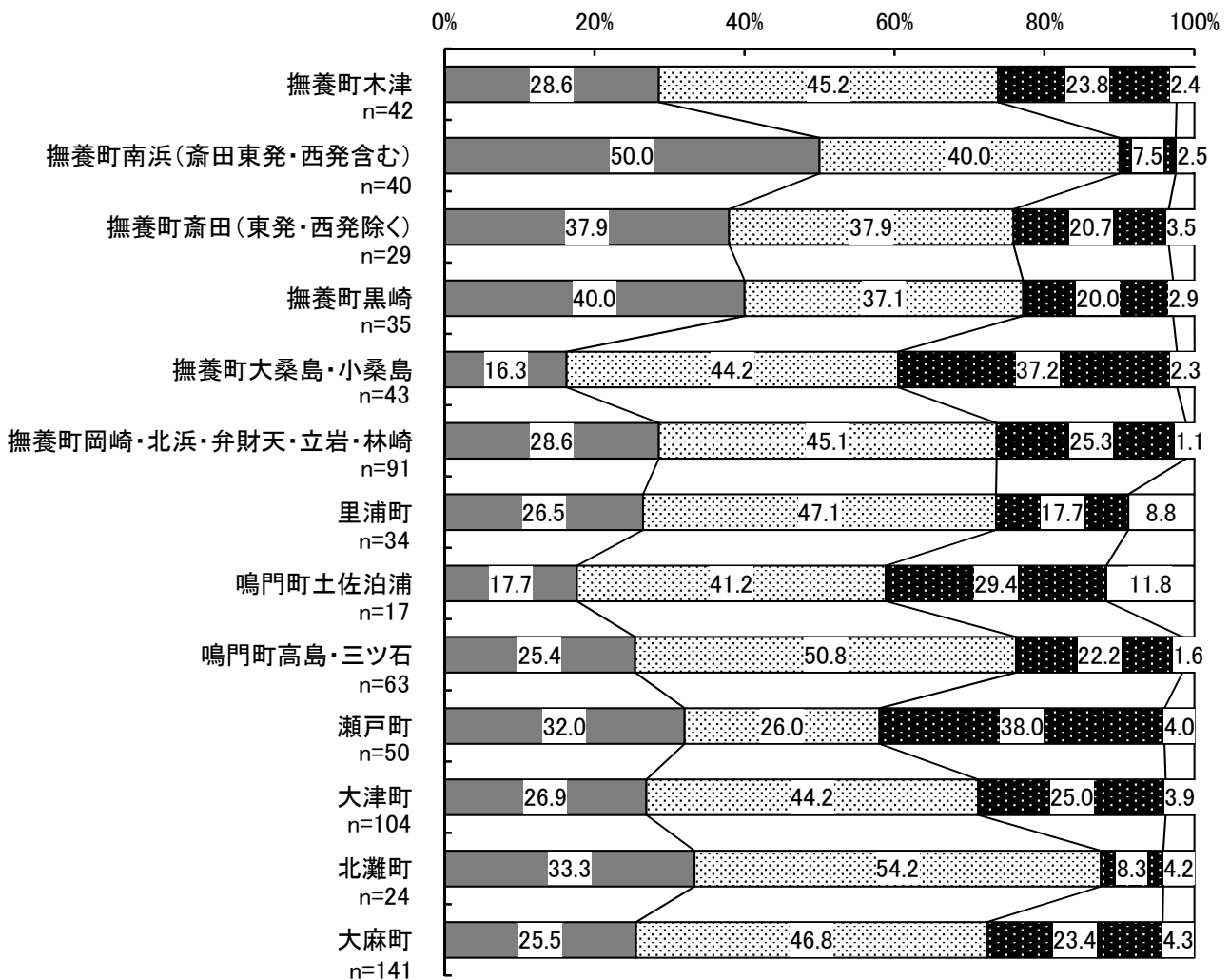


(年齢別)



- 内容も含めて知っている
- 聞いたこともないし、内容も知らない
- ▨ 聞いたことがあるが、内容までは知らない
- 無回答

(地区別)



- 内容も含めて知っている
- 聞いたこともないし、内容も知らない
- ▨ 聞いたことがあるが、内容までは知らない
- 無回答

問34 もし、あなたご自身や親族の判断能力が衰えてしまった場合、成年後見制度を利用したいと思いますか。（単数回答）

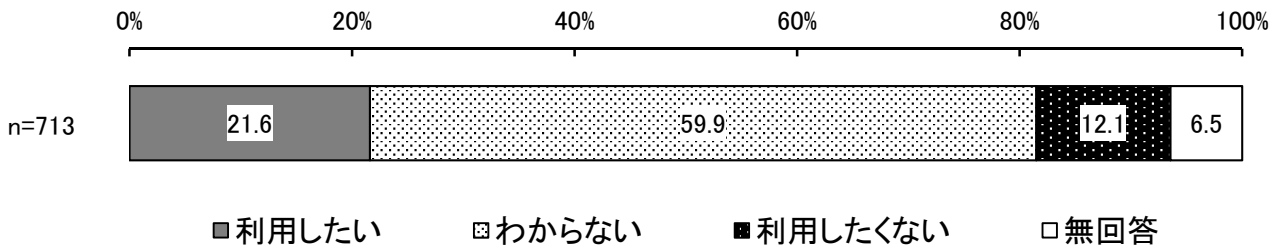
成年後見制度を利用したいと思うかについてみると、「わからない」59.9%と最も多く、以下、「利用したい」21.6%、「利用したくない」12.1%となっている。

性別にみると、「利用したい」は男性19.5%、女性23.1%で女性の方が3.6ポイント多くなっている。

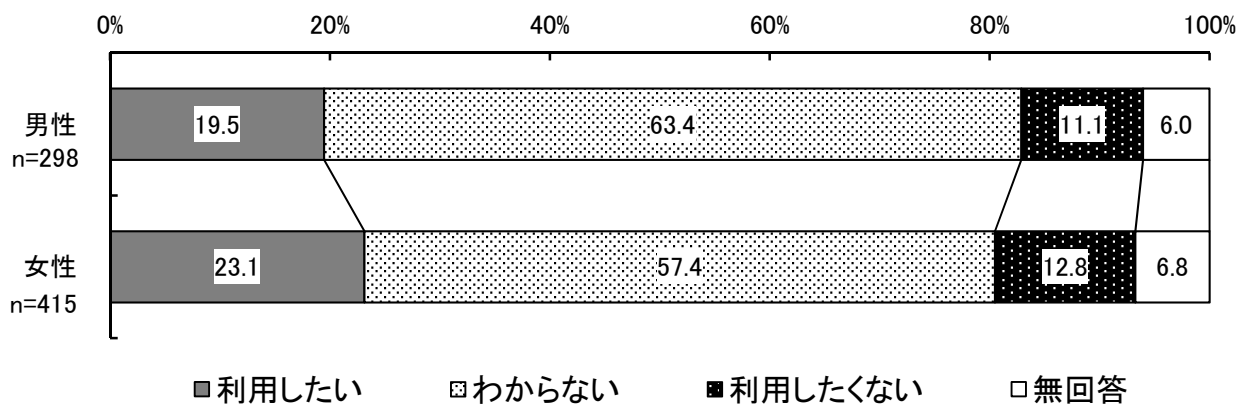
年齢別にみると、20～64歳で「利用したい」が2割を超えている。65歳以上では「利用したい」より、「利用したくない」の方が多くなっている。

地区別にみると、撫養町斎田（東発・西発除く）及び撫養町黒崎を除く全ての地区で「利用したくない」より、「利用したい」の方が多くなっている。

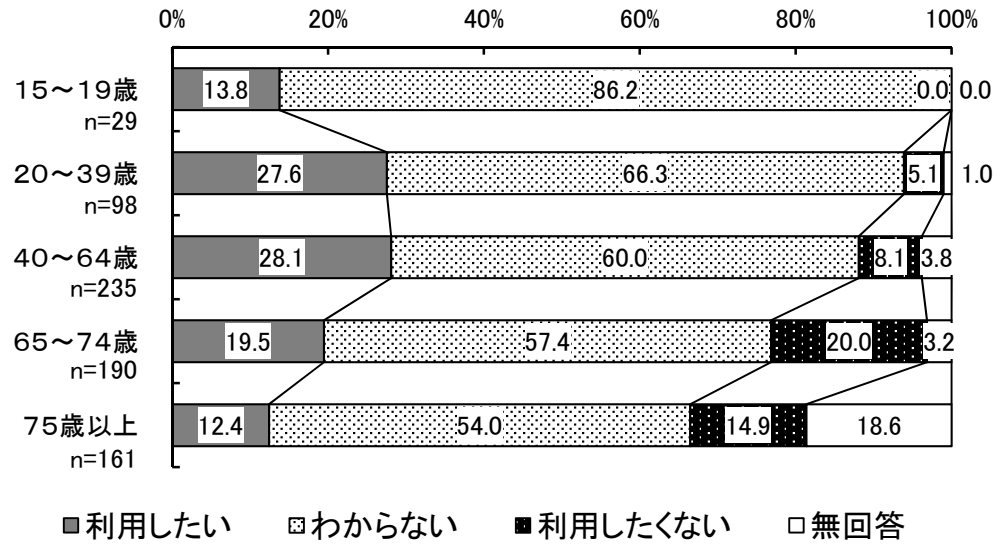
（全体）



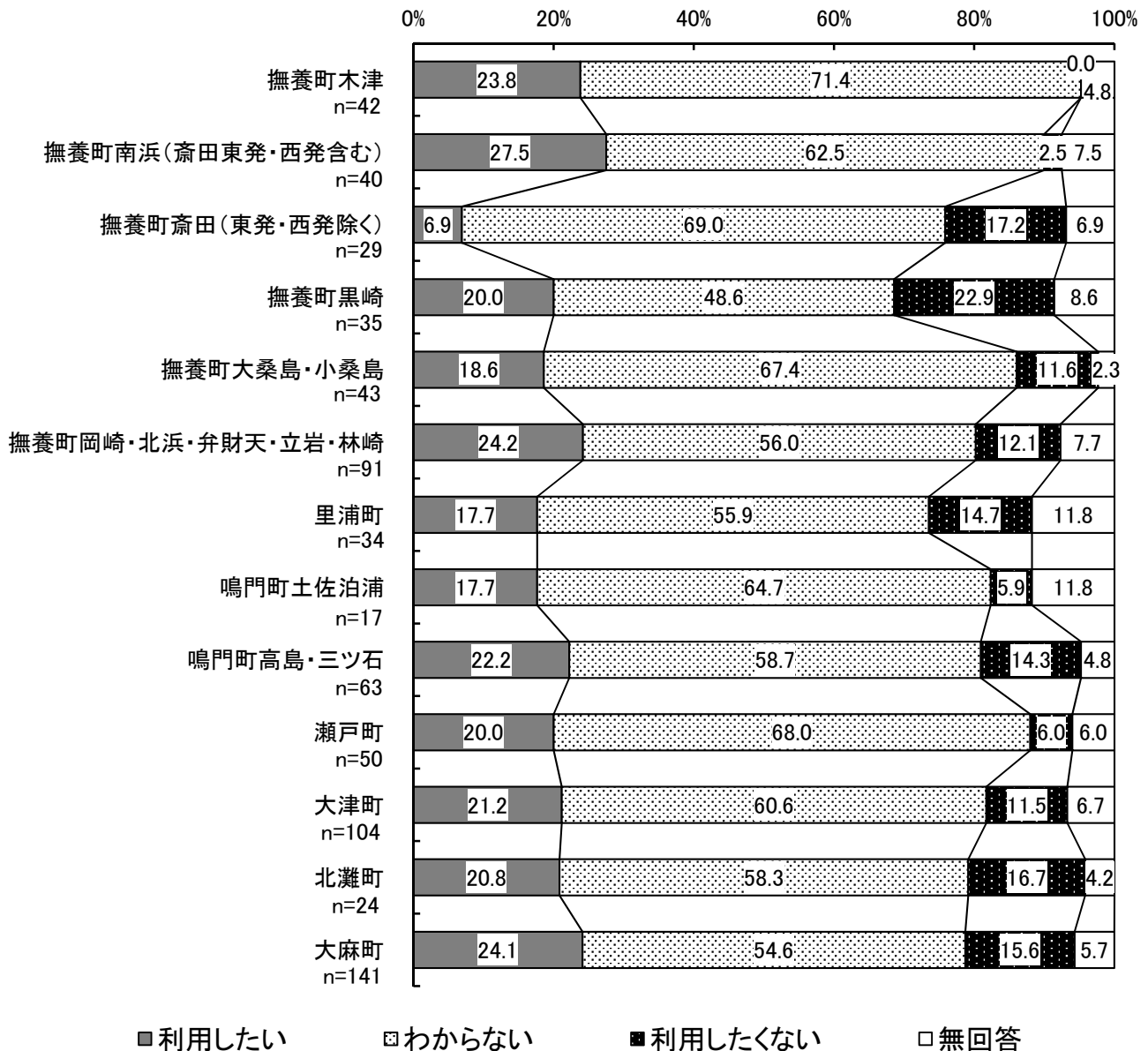
（性別）



(年齢別)



(地区別)



問34-1 問34で「1」を選ばれたかたにおたずねします。

どのようなことに不安を覚えて、成年後見制度を利用したいと思いますか。

(複数回答)

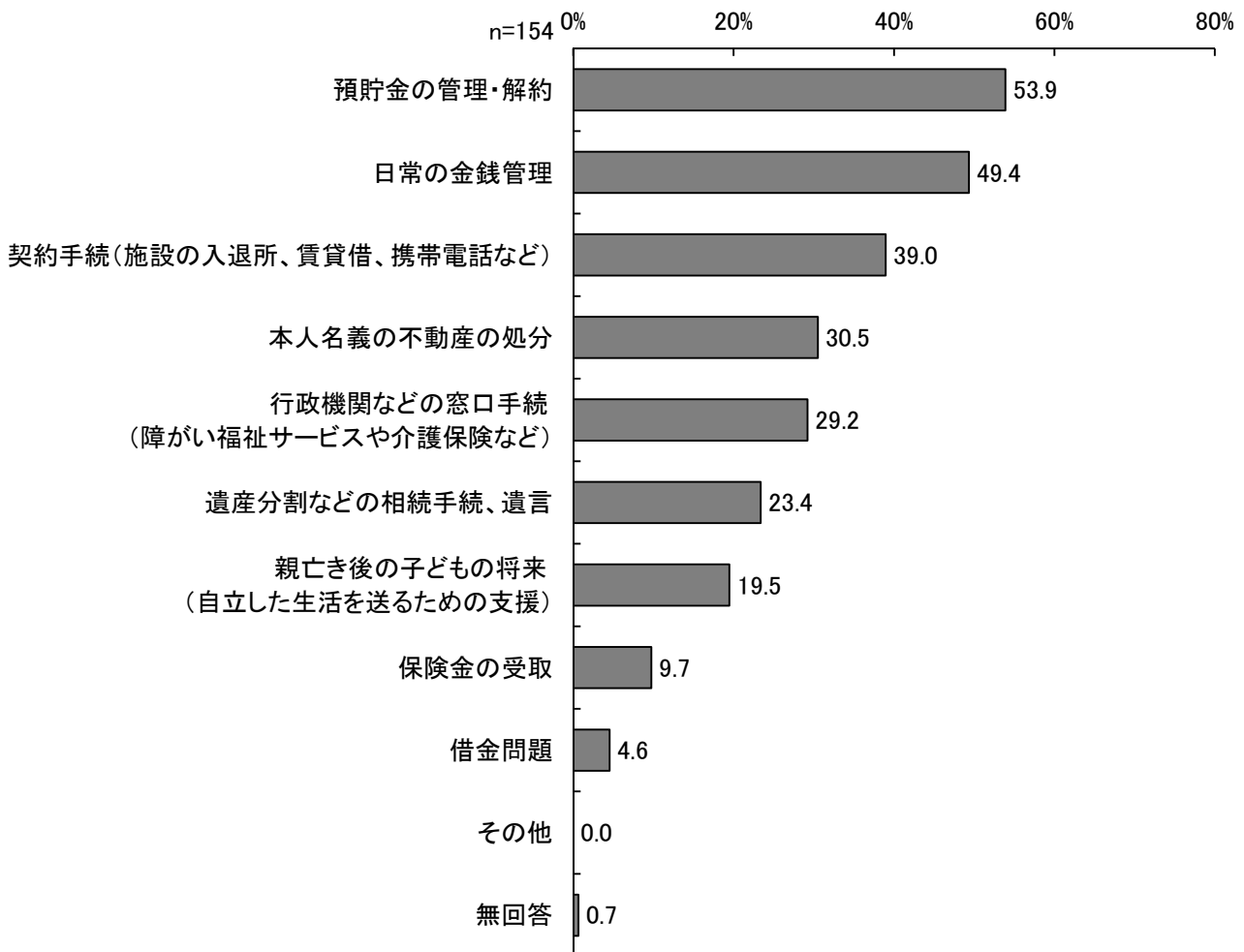
成年後見制度を利用したい理由についてみると、「預貯金の管理・解約」53.9%と最も多く、以下、「日常の金銭管理」49.4%、「契約手続（施設の入退所、賃貸借、携帯電話など）」39.0%などの順となっている。

性別にみると、「日常の金銭管理」は男性60.3%、女性42.7%で男性の方が17.6ポイント多くなっている。

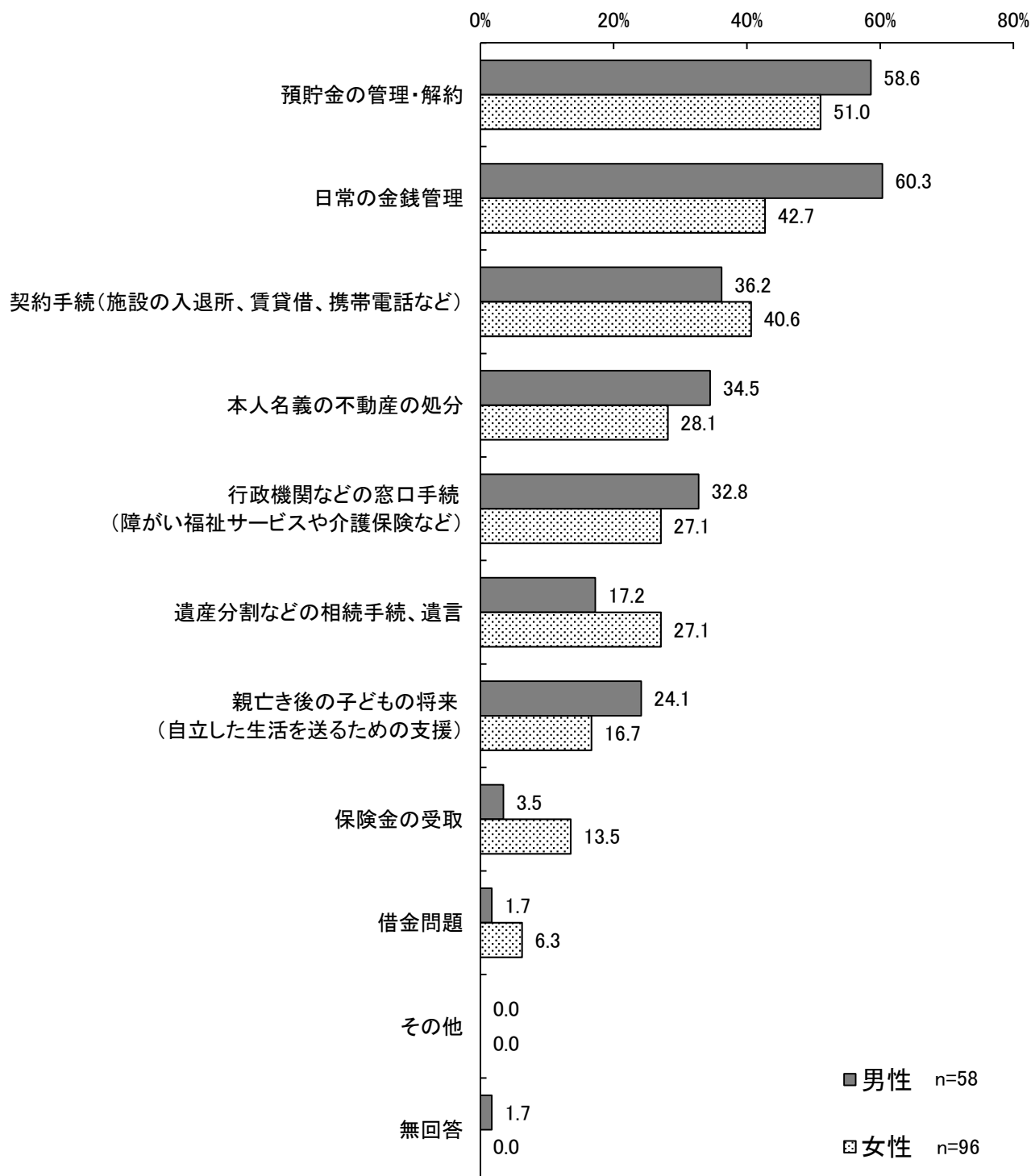
年齢別にみると、15～19歳及び「日常の金銭管理」75.0%が最も多く、20～64歳で「預貯金の管理・解約」と「日常の金銭管理」が最も多く、65歳以上で「預貯金の管理・解約」が最も多くなっている。

地区別にみると、撫養町黒崎及び鳴門町高島・三ツ石で「預貯金の管理・解約」が7割を超えている。北灘町で「日常の金銭管理」が100.0%になっている。

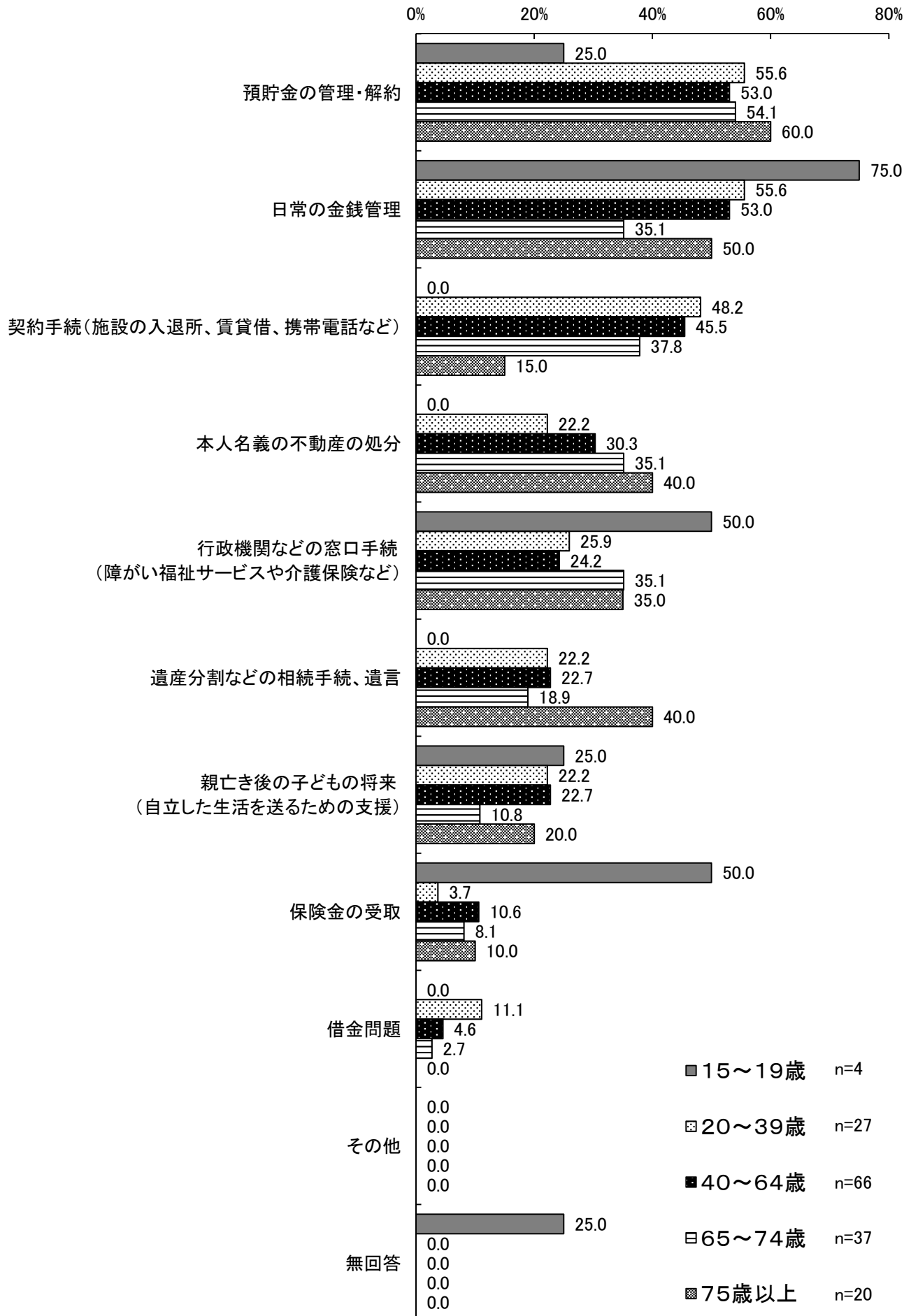
(全体)



(性別)



(年齢別)



(地区別)

	預貯金の管理・解約	日常の金銭管理	契約手続	本人名義の不動産の処分	行政機関などの窓口手続	遺産分割などの相続手続、遺言	親亡き後の子どもの将来
撫養町木津 n=10	20.0	10.0	20.0	20.0	20.0	40.0	20.0
撫養町南浜 n=11	45.5	45.5	45.5	27.3	36.4	18.2	18.2
撫養町斎田 n=2	50.0	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0	50.0
撫養町黒崎 n=7	71.4	42.9	42.9	28.6	0.0	28.6	42.9
撫養町大桑島・ 小桑島 n=8	62.5	50.0	50.0	12.5	25.0	50.0	0.0
撫養町岡崎・北浜・ 弁財天・立岩・林崎 n=22	45.5	50.0	31.8	27.3	36.4	18.2	36.4
里浦町 n=6	33.3	33.3	33.3	50.0	33.3	50.0	0.0
鳴門町土佐泊浦 n=3	33.3	33.3	66.7	33.3	0.0	33.3	33.3
鳴門町高島・三ツ石 n=14	71.4	42.9	50.0	42.9	14.3	35.7	14.3
瀬戸町 n=10	40.0	80.0	30.0	30.0	40.0	10.0	0.0
大津町 n=22	63.6	63.6	36.4	36.4	27.3	18.2	22.7
北灘町 n=5	40.0	100.0	40.0	20.0	20.0	0.0	0.0
大麻町 n=34	64.7	44.1	44.1	32.4	38.2	17.7	17.7

	保険金の受取	借金問題	その他	無回答
撫養町木津 n=10	20.0	20.0	0.0	10.0
撫養町南浜 n=11	9.1	0.0	0.0	0.0
撫養町斎田 n=2	50.0	0.0	0.0	0.0
撫養町黒崎 n=7	14.3	0.0	0.0	0.0
撫養町大桑島・ 小桑島 n=8	12.5	0.0	0.0	0.0
撫養町岡崎・北浜・ 弁財天・立岩・林崎 n=22	9.1	4.6	0.0	0.0
里浦町 n=6	0.0	16.7	0.0	0.0
鳴門町土佐泊浦 n=3	0.0	0.0	0.0	0.0
鳴門町高島・三ツ石 n=14	0.0	7.1	0.0	0.0
瀬戸町 n=10	10.0	0.0	0.0	0.0
大津町 n=22	4.6	4.6	0.0	0.0
北灘町 n=5	60.0	20.0	0.0	0.0
大麻町 n=34	5.9	0.0	0.0	0.0

問35 あなたは災害時の避難場所を知っていますか。(単数回答)

災害時の避難場所を知っているかについてみると、「知っている」80.5%、「知らない」15.7%となっている。

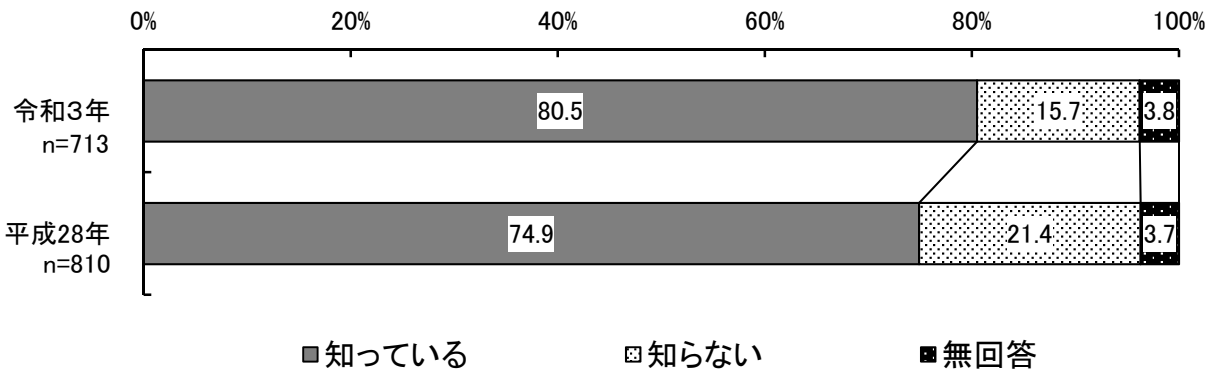
前回調査と比較し、「知っている」が5.6ポイント増加している。

性別にみると、「知っている」が男性75.8%、女性83.9%で女性の方が8.1ポイント多くなっている。

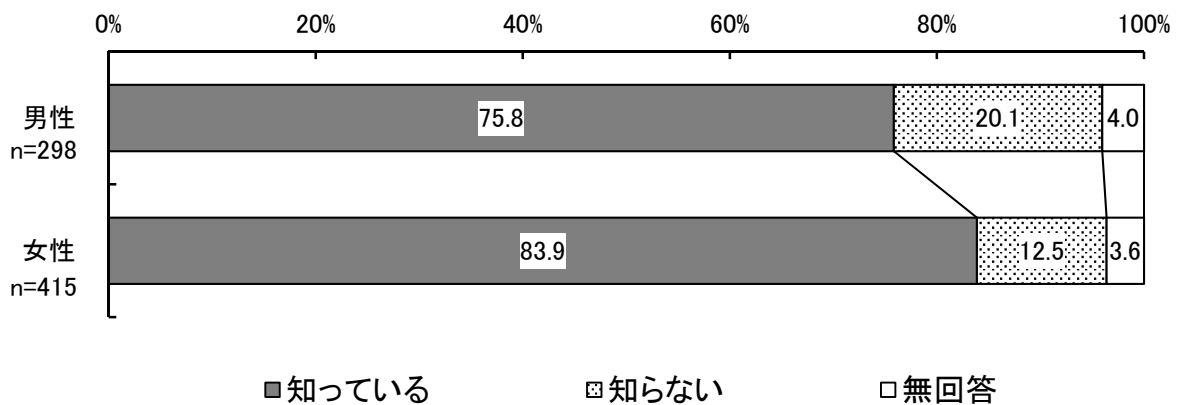
年齢別にみると、74歳以下で「知っている」は8割以上となっている。

地区別にみると、撫養町岡崎・北浜・弁財天・立岩・林崎で「知っている」が90.1%と他の地区と比較し、最も多くなっている。

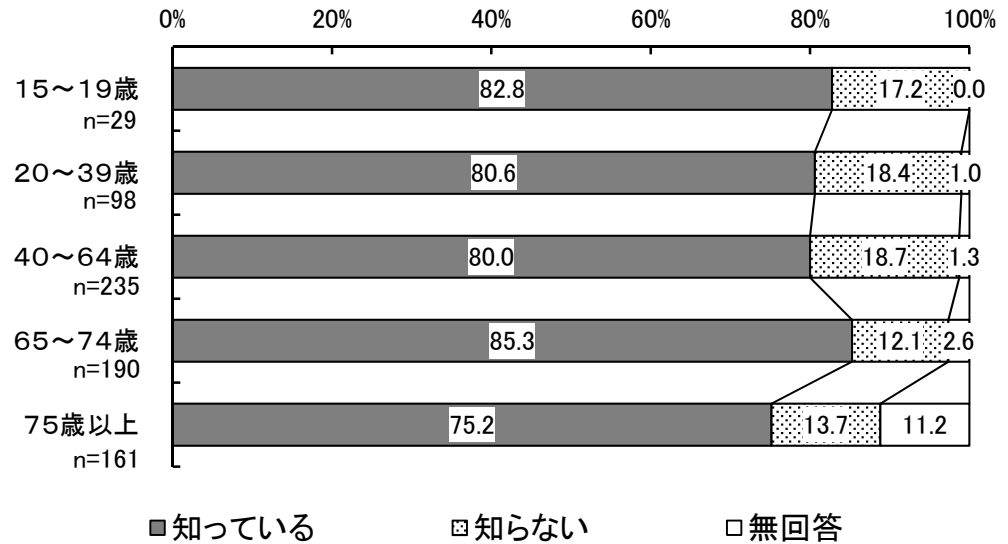
(全体)



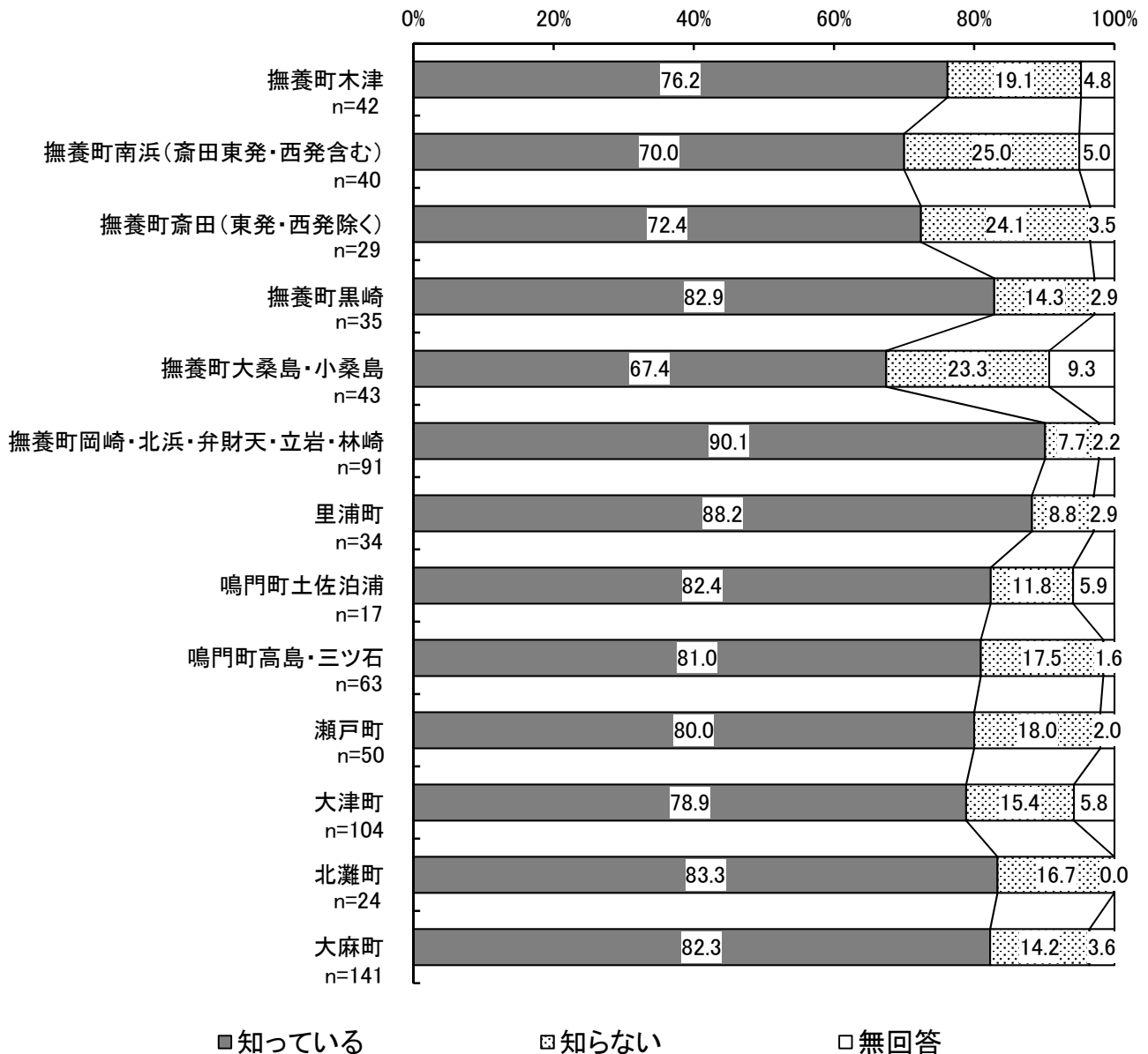
(性別)



(年齢別)



(地区別)



問36 あなたは、避難時、どのようなことに困ると思いますか。（複数回答）

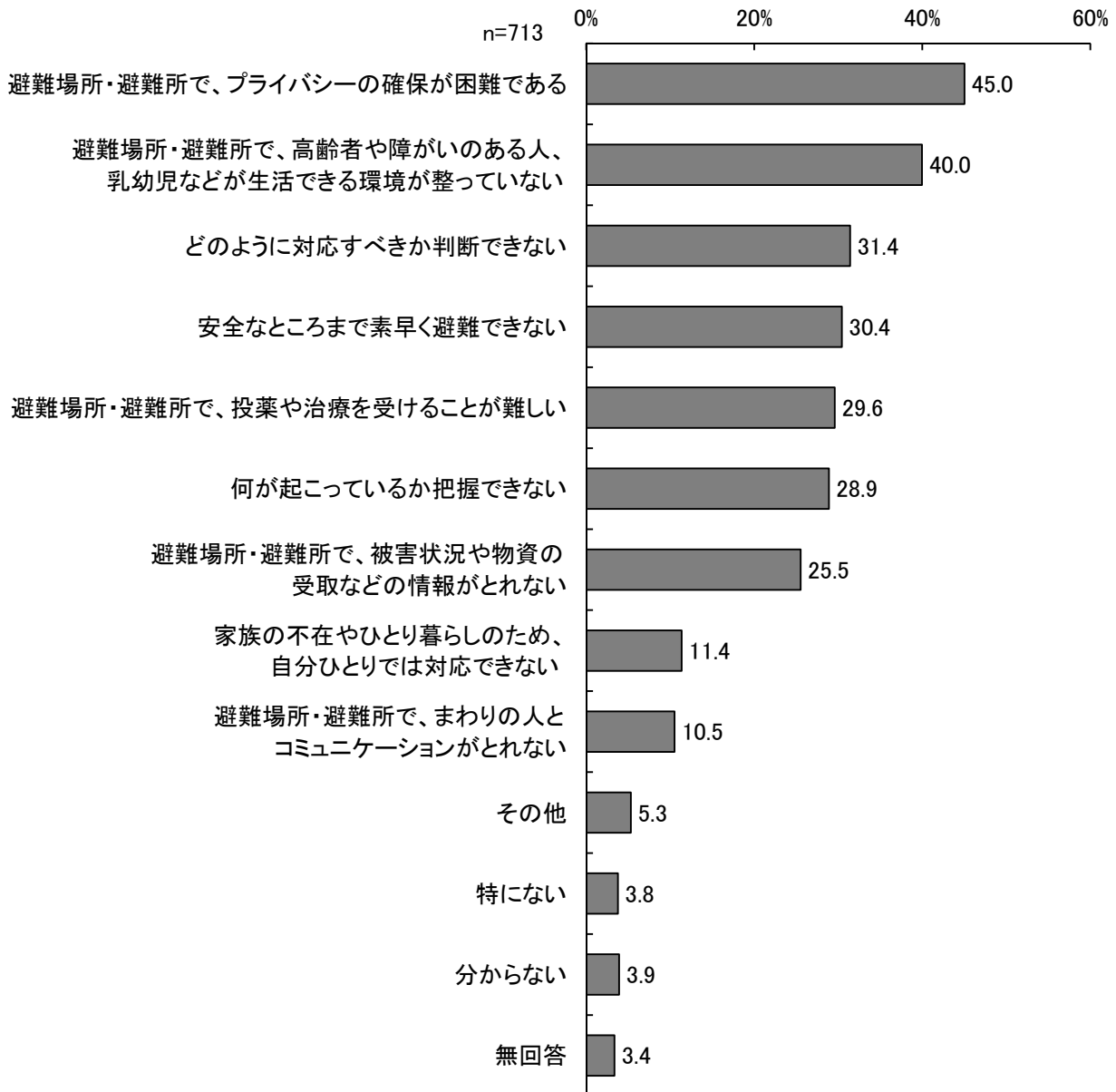
避難時に困ることについてみると、「避難場所・避難所で、プライバシーの確保が困難である」45.0%と最も多く、以下、「避難場所・避難所で、高齢者や障がいのある人、乳幼児などが生活できる環境が整っていない」40.0%、「どのように対応すべきか判断できない」31.4%などの順となっている。

性別にみると、「どのように対応すべきか判断できない」は男性24.2%、女性36.6%で女性の方が12.4ポイント多くなっている。「避難場所・避難所で、投薬や治療を受けることが難しい」は男性33.2%、女性27.0%で男性の方が6.2ポイント多くなっている。

年齢別にみると、20～74歳で「避難場所・避難所で、プライバシーの確保が困難である」が最も多く、15～19歳で「どのように対応すべきか判断できない」が最も多く、75歳以上で「安全なところまで素早く避難できない」が最も多くなっている。

地区別にみると、撫養町黒崎、鳴門町土佐泊浦及び北灘町を除く全ての地区で「避難場所・避難所で、プライバシーの確保が困難である」が最も多く、瀬戸町では「避難場所・避難所で、高齢者や障がいのある人、乳幼児などが生活できる環境が整っていない」も同率で最も多くなっている。撫養町黒崎で「避難場所・避難所で、高齢者や障がいのある人、乳幼児などが生活できる環境が整っていない」が最も多く、鳴門町土佐泊浦で「安全なところまで素早く避難できない」が最も多く、北灘町で「どのように対応すべきか判断できない」が最も多くなっている。

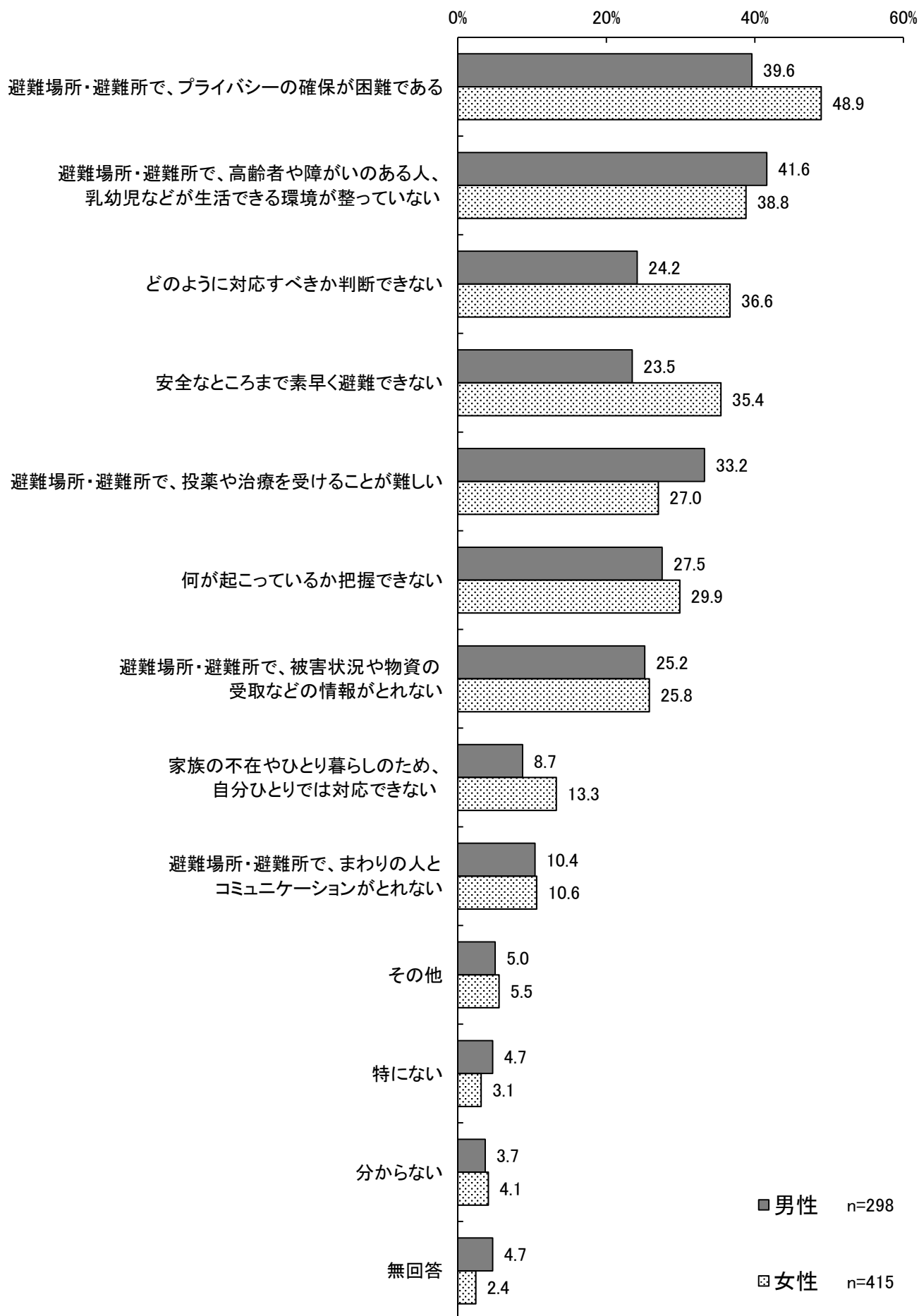
(全体)



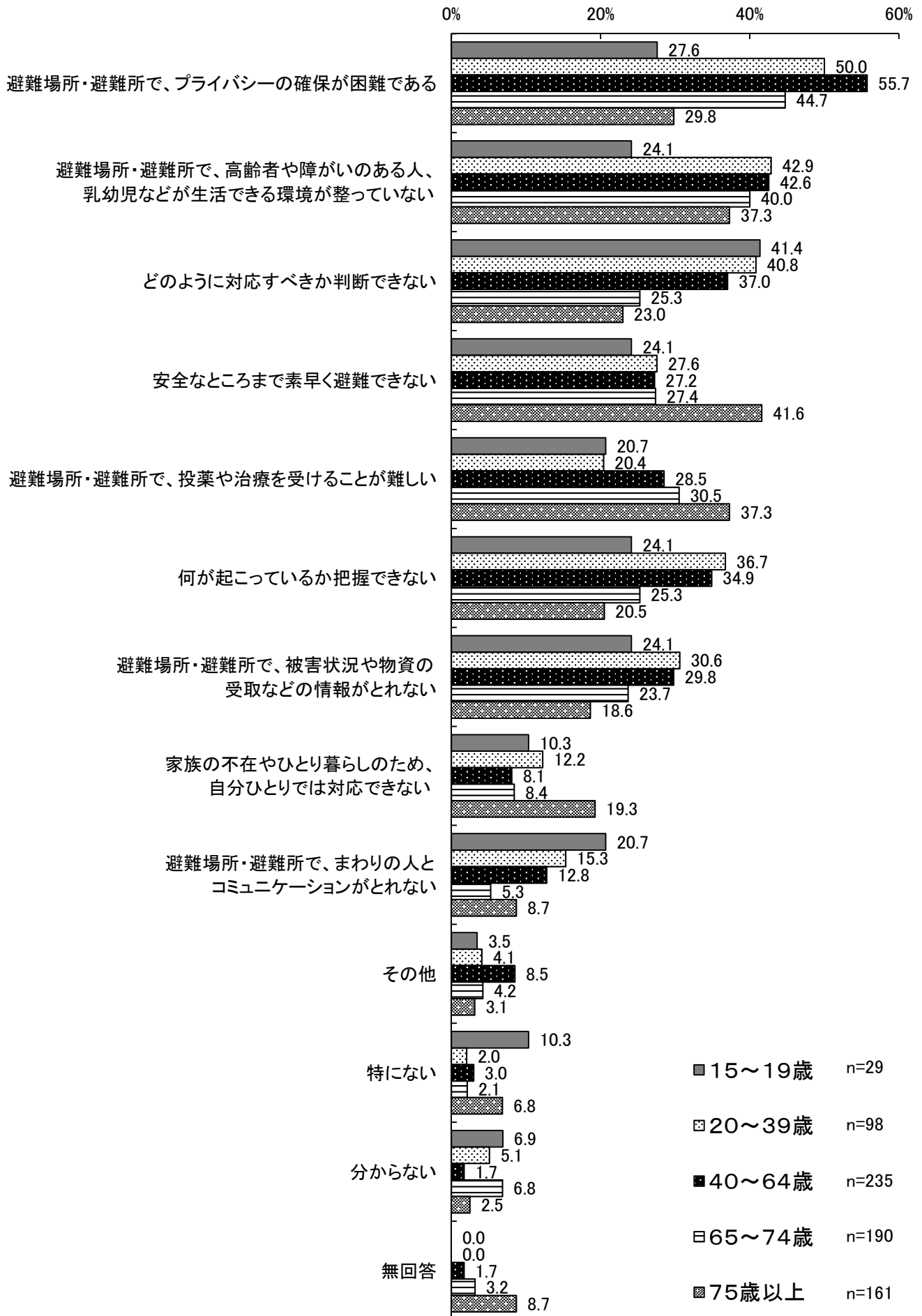
(その他の回答)

- ・車いす生活の妻をかかえているので、直に座ることも寝ることもできない。
- ・身体障がい者のため避難ができない。 ・ふらついて一人では歩けない。
- ・災害放送が届かない、聞き取りにくい。(3件) ・子どもが学校や主人が仕事などの時の安否確認
- ・家にいない時の避難。家族との連絡。 ・ペットを連れての避難。(10件)
- ・愛犬と一緒に避難できない。
- ・ペット(犬)を飼っているので、避難所に行けない。避難所をペット可能にしてほしい。
- ・ペットがいるので、どう避難するか判断に困ると思う。 ・動物と一緒に避難することの不安。
- ・家族が別々に避難した時、合流するのが難しい。
- ・支援が必要な人にどの程度支援ができるかわからない。
- ・加齢により全てできなくなるかも。 ・避難所の数が少ない。スペースが足りない。
- ・避難所の数が少なく、必ずしも安全と思えない。安心して利用できる場の設定が必要。
- ・コロナ感染 ・衛生的な面(入浴、給湯、排泄、トイレ) ・女性への性的被害。
- ・今災害時に被害を受けて避難所にならないので、避難する所がない。
- ・水、食料、トイレがないと、人間としての最低限の生活ができない。

(性別)



(年齢別)



(地区別)

	避難場所・避難所で、プライバシーの確保が困難である	避難場所・避難所で、高齢者や障がいのある人、乳幼児などが生活できる環境が整っていない	どのように対応すべきか判断できない	安全なところまで素早く避難できない	避難場所・避難所で、投薬や治療を受けることが難しい	何が起きているか把握できない	避難場所・避難所で、被害状況や物資の受取などの情報がとれない
撫養町木津 n=42	47.6	45.2	21.4	26.2	26.2	14.3	28.6
撫養町南浜 n=40	42.5	35.0	30.0	37.5	35.0	25.0	15.0
撫養町斎田 n=29	62.1	44.8	31.0	27.6	24.1	27.6	17.2
撫養町黒崎 n=35	34.3	45.7	22.9	17.1	14.3	17.1	25.7
撫養町大桑島・小桑島 n=43	48.8	27.9	32.6	25.6	25.6	37.2	37.2
撫養町岡崎・北浜・弁財天・立岩・林崎 n=91	48.4	38.5	36.3	40.7	30.8	26.4	19.8
里浦町 n=34	41.2	23.5	29.4	32.4	32.4	29.4	26.5
鳴門町土佐泊浦 n=17	23.5	35.3	5.9	41.2	17.7	23.5	11.8
鳴門町高島・三ツ石 n=63	36.5	28.6	27.0	33.3	27.0	33.3	20.6
瀬戸町 n=50	44.0	44.0	42.0	26.0	38.0	32.0	26.0
大津町 n=104	47.1	44.2	34.6	39.4	27.9	34.6	24.0
北灘町 n=24	25.0	29.2	41.7	16.7	20.8	29.2	29.2
大麻町 n=141	50.4	48.9	31.2	22.7	36.2	29.8	33.3
	家族の不在やひとり暮らしのため、自分ひとりでは対応できない	避難場所・避難所で、まわりの人とコミュニケーションがとれない	その他	特になし	分からない	無回答	
撫養町木津 n=42	9.5	7.1	11.9	4.8	9.5	4.8	
撫養町南浜 n=40	7.5	10.0	10.0	2.5	2.5	10.0	
撫養町斎田 n=29	13.8	17.2	6.9	0.0	3.5	3.5	
撫養町黒崎 n=35	8.6	11.4	0.0	5.7	0.0	2.9	
撫養町大桑島・小桑島 n=43	9.3	20.9	7.0	0.0	2.3	2.3	
撫養町岡崎・北浜・弁財天・立岩・林崎 n=91	11.0	9.9	3.3	4.4	2.2	1.1	
里浦町 n=34	2.9	8.8	8.8	0.0	5.9	8.8	
鳴門町土佐泊浦 n=17	5.9	0.0	5.9	0.0	11.8	5.9	
鳴門町高島・三ツ石 n=63	12.7	17.5	4.8	1.6	4.8	3.2	
瀬戸町 n=50	16.0	8.0	2.0	4.0	2.0	2.0	
大津町 n=104	15.4	11.5	2.9	4.8	1.9	2.9	
北灘町 n=24	16.7	4.2	8.3	8.3	0.0	4.2	
大麻町 n=141	10.6	7.1	5.7	5.7	6.4	2.1	

問37 あなたは、市民が住み慣れた地域で安心して暮らしていくために、今後特にどのようなことが必要だと思いますか。（複数回答）

市民が住み慣れた地域で安心して暮らしていくために、今後特にどのようなことが必要だと思うかについてみると、「支援が必要な人へのサポート体制の充実」37.3%と最も多く、以下、「身近なところで日常生活の相談ができる体制の整備」33.0%、「在宅福祉サービスの充実（ホームヘルプサービス・デイサービスなど）」28.1%などの順となっている。

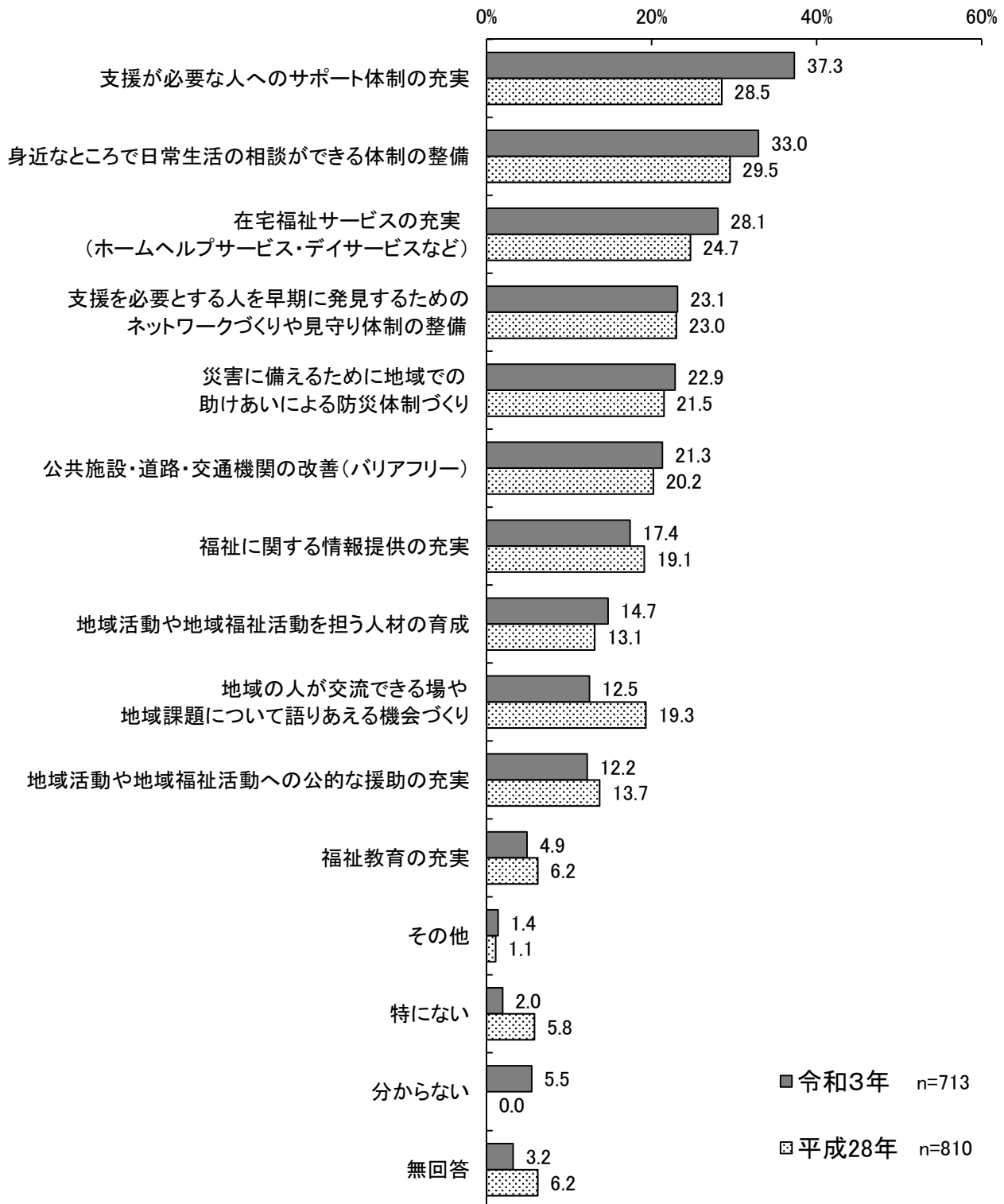
前回調査と比較し、「支援が必要な人へのサポート体制の充実」が8.8ポイント増加している。「地域の人と交流できる場や地域課題について語りあえる機会づくり」が6.8ポイント減少している。

性別にみると、「災害に備えるために地域での助けあいによる防災体制づくり」は男性18.5%、女性26.0%で女性の方が7.5ポイント多くなっている。

年齢別にみると、15～19歳で「公共施設・道路・交通機関の改善（バリアフリー）」が最も多く、20～74歳で「支援が必要な人へのサポート体制の充実」が最も多く、75歳以上で「身近なところで日常生活の相談ができる体制の整備」が最も多くなっている。

地区別にみると、撫養町大桑島・小桑島、撫養町岡崎・北浜・弁財天・立岩・林崎及び瀬戸町で「支援が必要な人へのサポート体制の充実」が4割を超えている。瀬戸町で「身近なところで日常生活の相談ができる体制の整備」が4割を超えている。里浦町で「在宅福祉サービスの充実（ホームヘルプサービス・デイサービスなど）」が4割を超えている。

(全体)

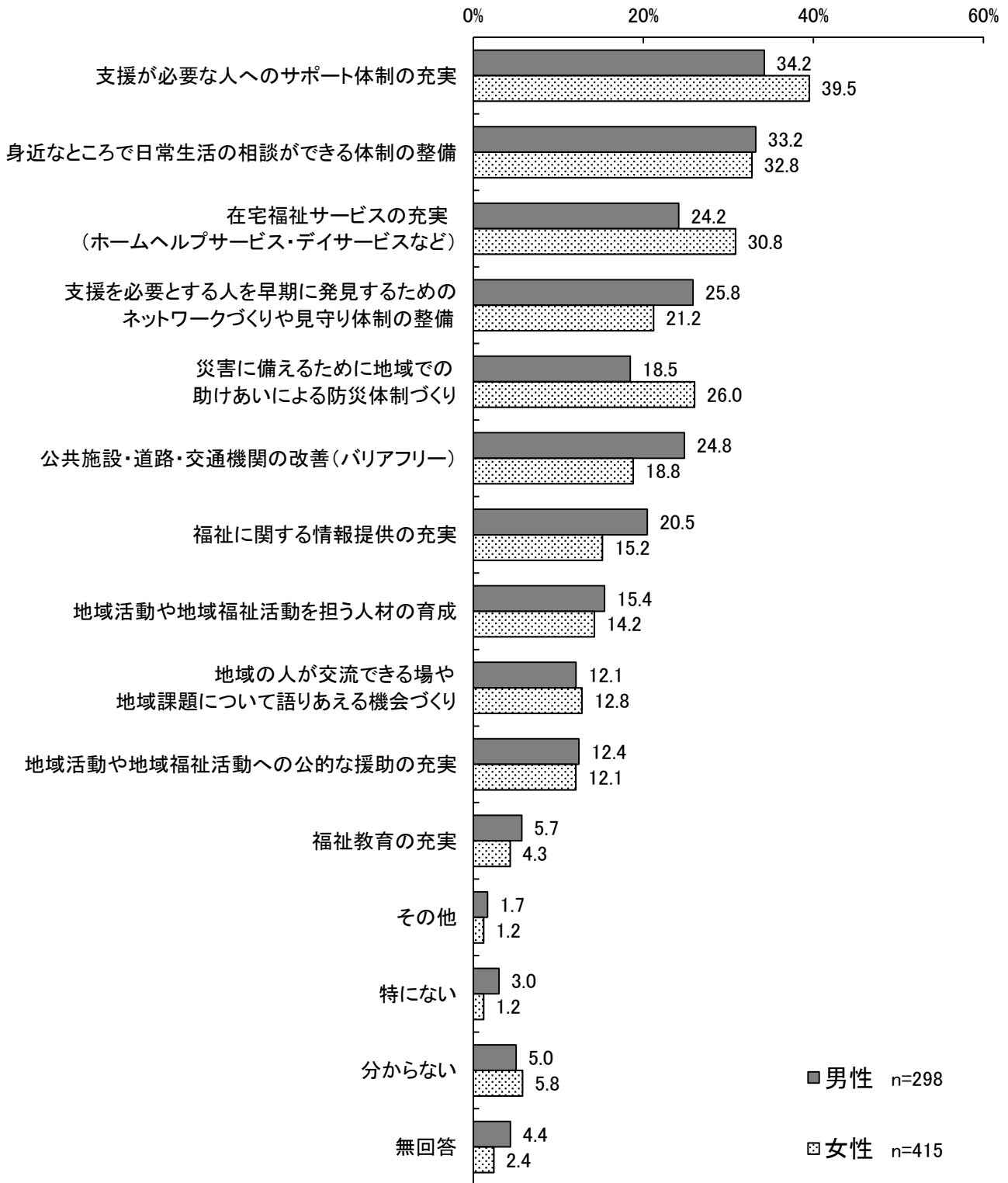


※前回調査では、「分からない」の選択肢はありません。

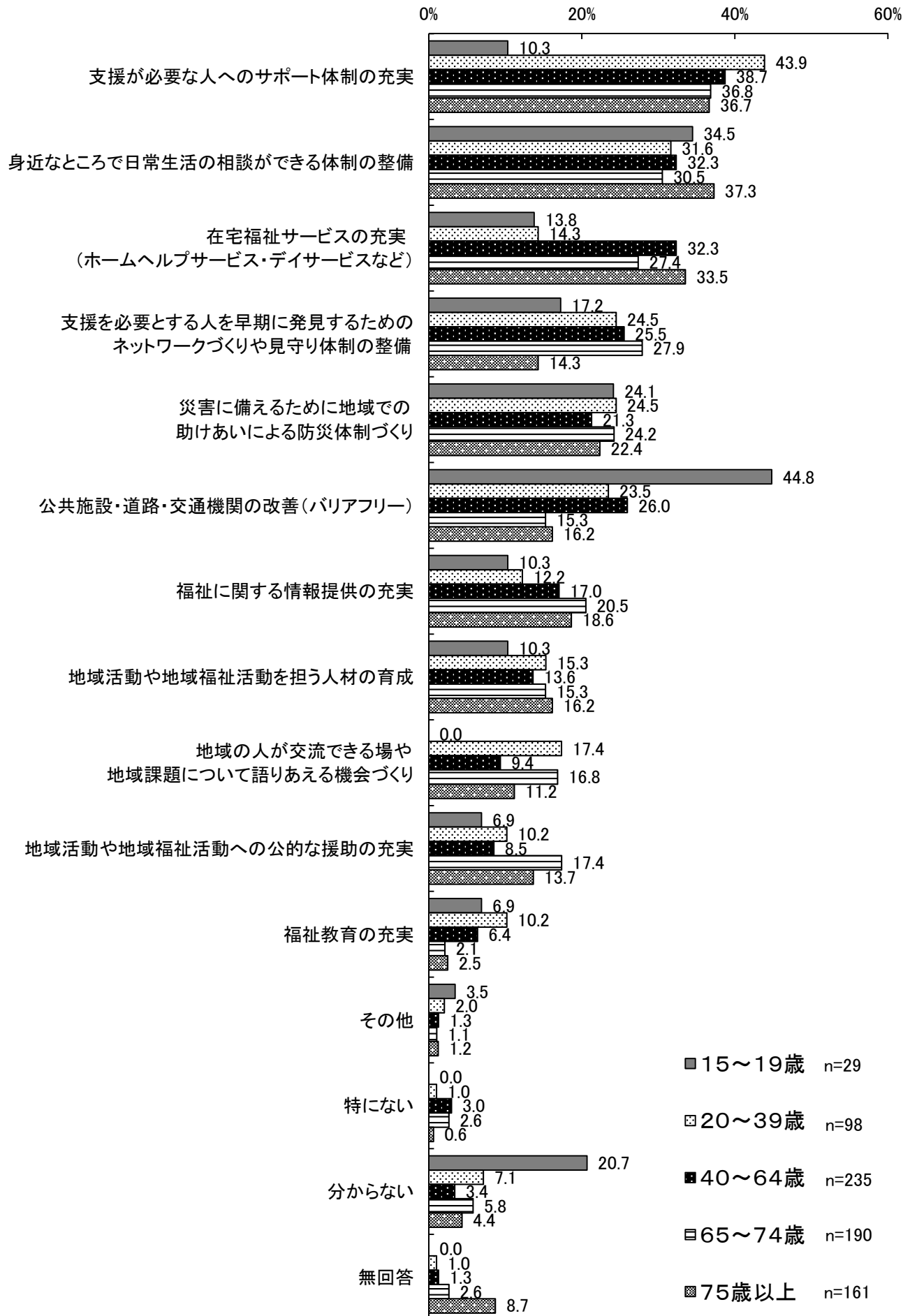
(その他の回答)

- ・ 通学路の安全確保。 ・ 渡船の継続。 ・ 災害時の避難場所の確保と明確化。 ・ 河川の整備。
- ・ ショッピングモールをつかってほしい。 ・ 支援が必要な人を見つける機関。
- ・ 国家公務員、地方公務員、地方議員の給料、ボーナスを減らして財政に回す。
- ・ 福祉サービスを受けていない高齢者の支援。
- ・ 育児手当の充足、育児・乳幼児と気兼ねなく行ける施設・飲食店の充実。

(性別)



(年齢別)



(地区別)

	支援が必要な人へのサポート体制の充実	身近なところで日常生活の相談ができる体制の整備	在宅福祉サービスの充実	支援を必要とする人を早期に発見するためのネットワークづくりや見守り体制の整備	災害に備えるために地域での助けあいによる防災体制づくり	公共施設・道路・交通機関の改善	福祉に関する情報提供の充実	
撫養町木津 n=42	23.8	21.4	21.4	19.1	35.7	14.3	23.8	
撫養町南浜 n=40	35.0	35.0	20.0	27.5	20.0	22.5	12.5	
撫養町斎田 n=29	34.5	37.9	17.2	27.6	17.2	17.2	3.5	
撫養町黒崎 n=35	34.3	37.1	37.1	20.0	25.7	20.0	14.3	
撫養町大桑島・小桑島 n=43	44.2	32.6	18.6	14.0	20.9	11.6	18.6	
撫養町岡崎・北浜・弁財天・立岩・林崎 n=91	44.0	29.7	31.9	19.8	23.1	27.5	17.6	
里浦町 n=34	35.3	35.3	41.2	26.5	17.7	23.5	17.7	
鳴門町土佐泊浦 n=17	11.8	29.4	35.3	5.9	23.5	17.7	17.7	
鳴門町高島・三ツ石 n=63	33.3	39.7	22.2	22.2	20.6	28.6	11.1	
瀬戸町 n=50	46.0	44.0	24.0	30.0	16.0	16.0	20.0	
大津町 n=104	37.5	27.9	30.8	22.1	24.0	23.1	18.3	
北灘町 n=24	33.3	29.2	16.7	16.7	37.5	20.8	16.7	
大麻町 n=141	39.7	33.3	32.6	29.1	22.0	20.6	21.3	
	地域活動や地域福祉活動を担う人材の育成	地域の人が交流できる場や地域課題について語りあえる機会づくり	地域活動や地域福祉活動への公的な援助の充実	福祉教育の充実	その他	特になし	分からない	無回答
撫養町木津 n=42	23.8	16.7	7.1	2.4	2.4	0.0	11.9	4.8
撫養町南浜 n=40	15.0	7.5	5.0	7.5	2.5	2.5	5.0	10.0
撫養町斎田 n=29	3.5	6.9	20.7	6.9	0.0	3.5	13.8	3.5
撫養町黒崎 n=35	20.0	11.4	20.0	2.9	0.0	0.0	2.9	2.9
撫養町大桑島・小桑島 n=43	16.3	14.0	20.9	7.0	0.0	2.3	9.3	2.3
撫養町岡崎・北浜・弁財天・立岩・林崎 n=91	11.0	12.1	7.7	4.4	0.0	1.1	2.2	1.1
里浦町 n=34	20.6	8.8	17.7	5.9	0.0	0.0	5.9	8.8
鳴門町土佐泊浦 n=17	29.4	11.8	11.8	11.8	5.9	11.8	0.0	5.9
鳴門町高島・三ツ石 n=63	11.1	17.5	6.4	3.2	1.6	1.6	6.4	1.6
瀬戸町 n=50	22.0	20.0	12.0	8.0	0.0	4.0	8.0	2.0
大津町 n=104	14.4	8.7	10.6	7.7	1.9	1.9	3.9	2.9
北灘町 n=24	20.8	16.7	20.8	0.0	4.2	4.2	4.2	0.0
大麻町 n=141	9.9	12.1	13.5	2.1	2.1	1.4	4.3	2.8

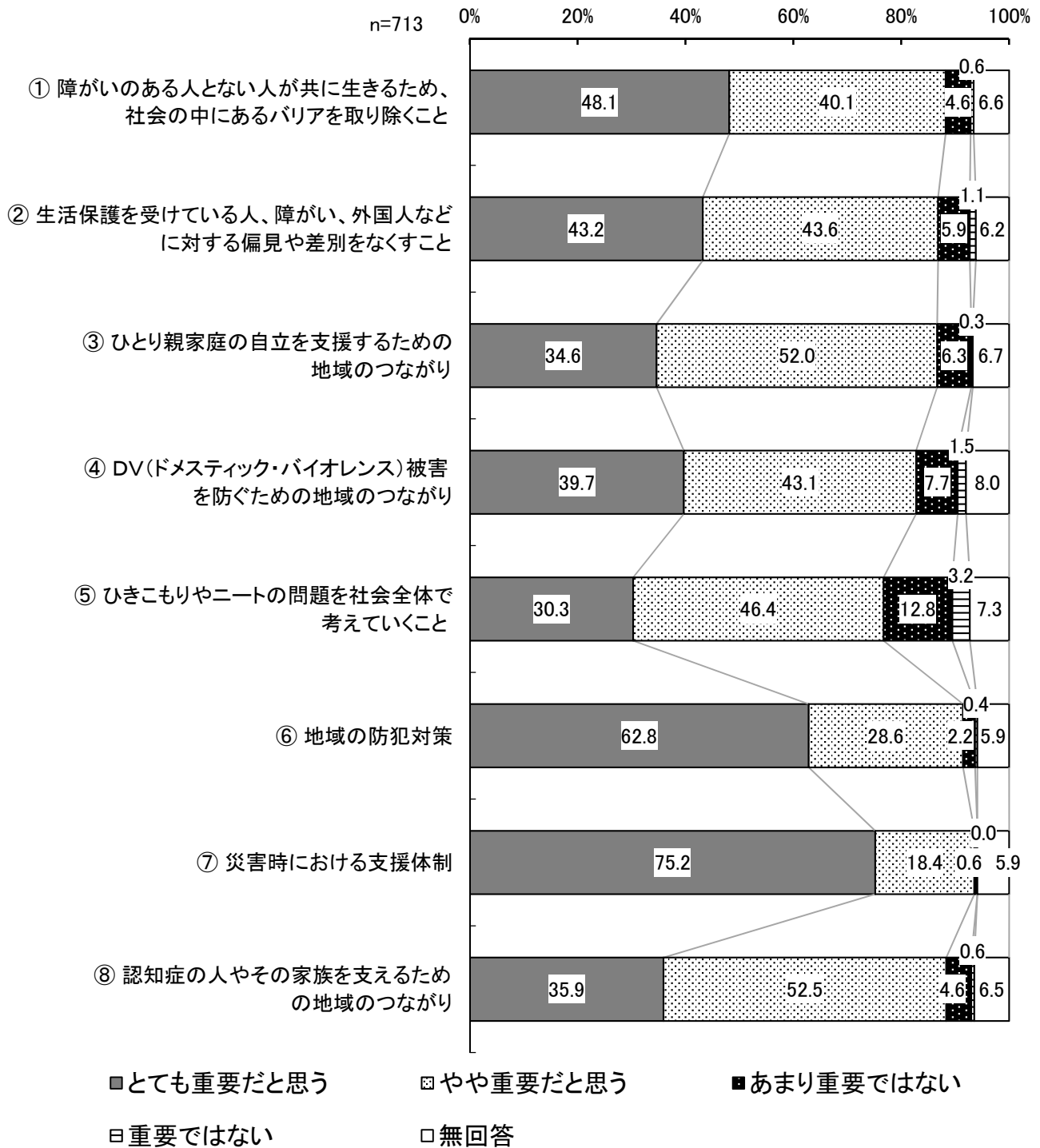
問38 あなたは、次のような福祉的な課題について、どの程度重要だと思いますか。
(単数回答)

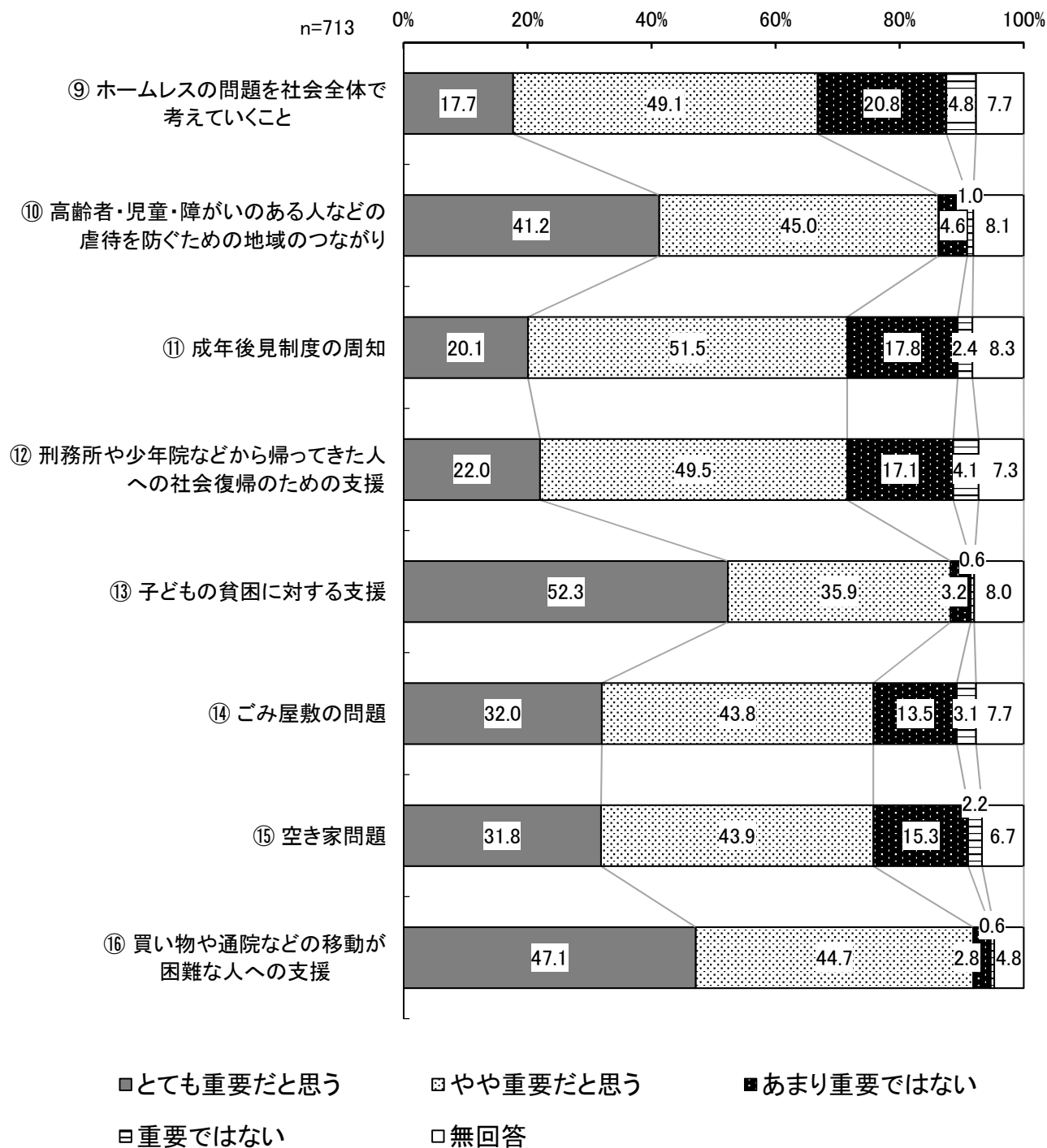
福祉的な課題がどの程度重要だと思うかについて、「とても重要だと思う」をみると、「⑦ 災害時における支援体制」75.2%と最も多く、以下、「⑥ 地域の防犯対策」62.8%、「⑬ 子どもの貧困に対する支援」52.3%などの順となっている。

性別にみると、「⑧ 認知症の人やその家族を支えるための地域のつながり」は男性29.2%、女性40.7%で女性の方が11.5ポイント多くなっている。

年齢別にみると、全ての年代で「⑦ 災害時における支援体制」が最も多く、特に、15～19歳で93.1%と他の年代と比較し、最も多くなっている。15～19歳は「⑤ ひきこもりやニートの問題を社会全体で考えていくこと」及び「⑬ 子どもの貧困に対する支援」を除く全ての課題で、他の年代と比較し、最も多くなっている。

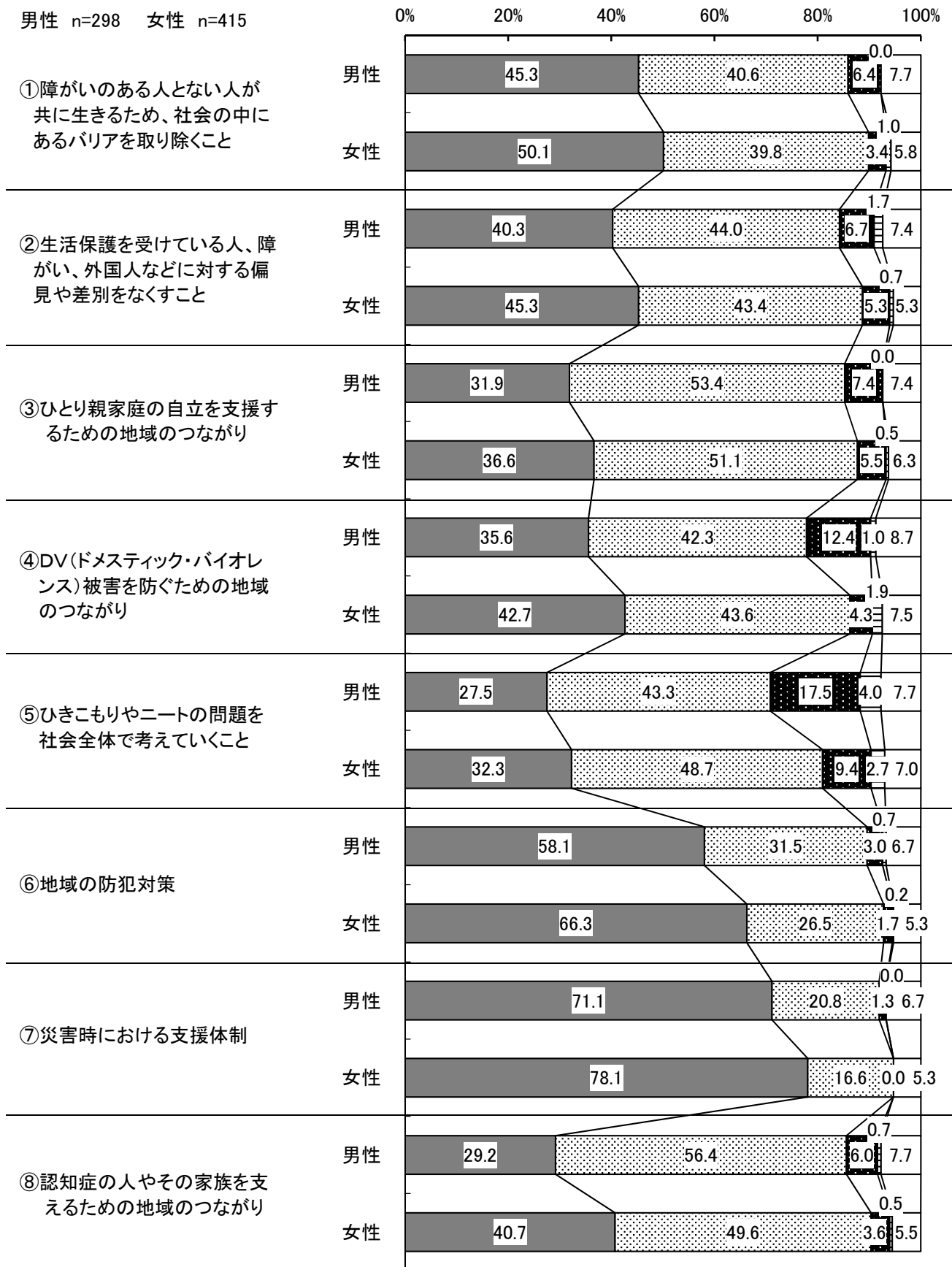
(全体)





(性別)

男性 n=298 女性 n=415



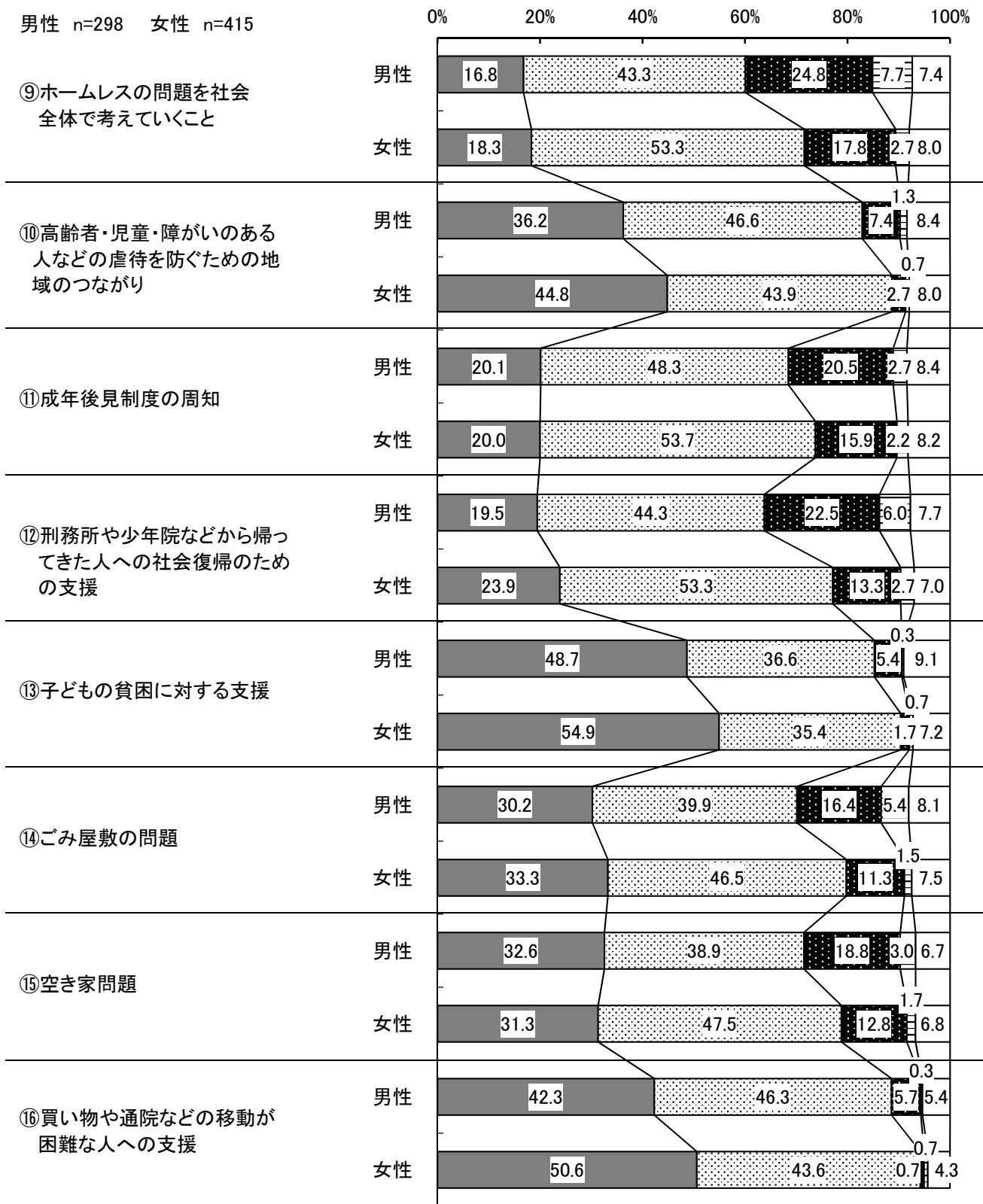
■とても重要だと思う
 □重要ではない

▨やや重要だと思う
 □無回答

■あまり重要ではない

第2章 市民調査

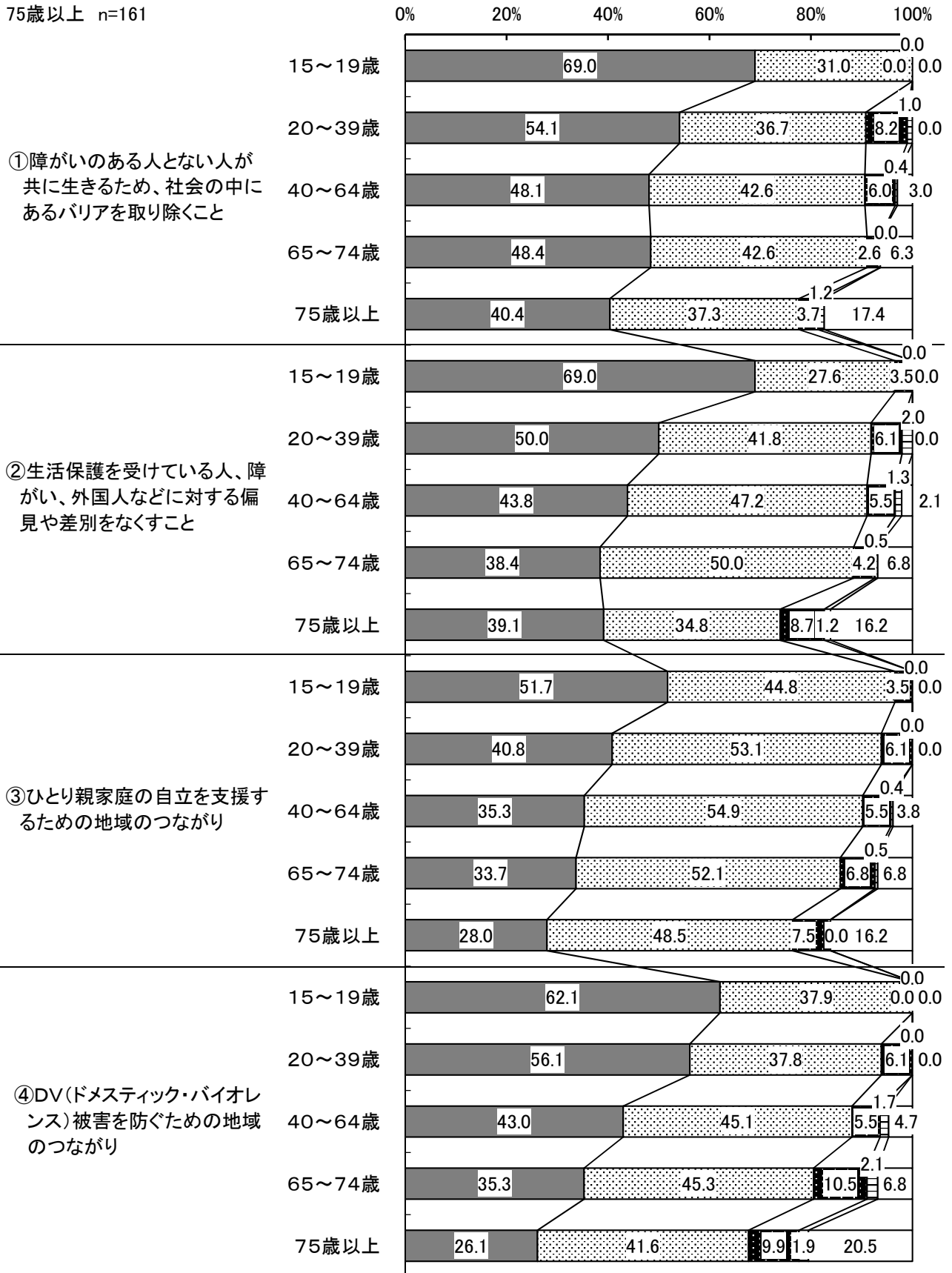
男性 n=298 女性 n=415



とても重要だと思う
 やや重要だと思う
 あまり重要ではない
 重要ではない
 無回答

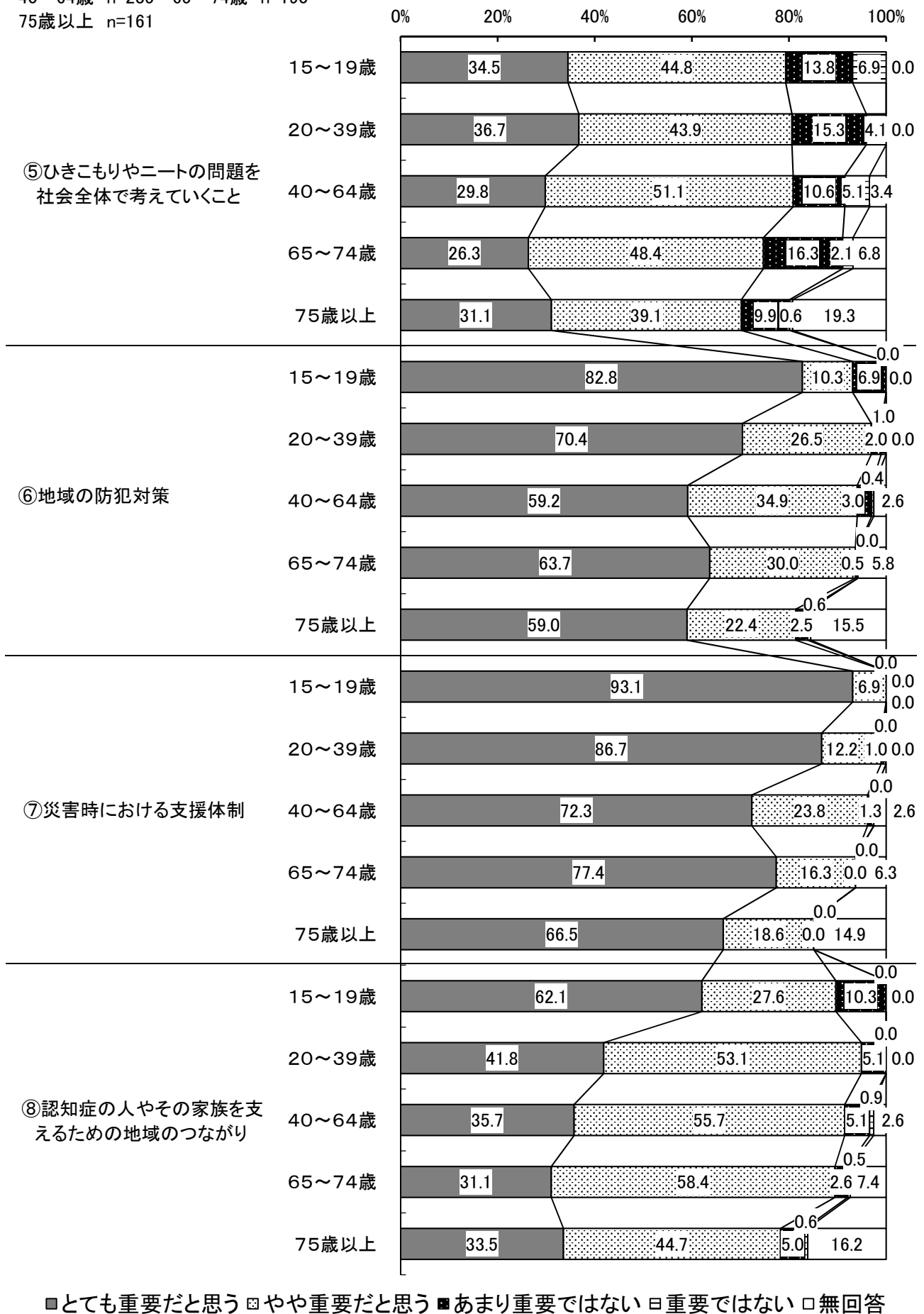
(年齢別)

15～19歳 n=29 20～39歳 n=98
 40～64歳 n=235 65～74歳 n=190
 75歳以上 n=161

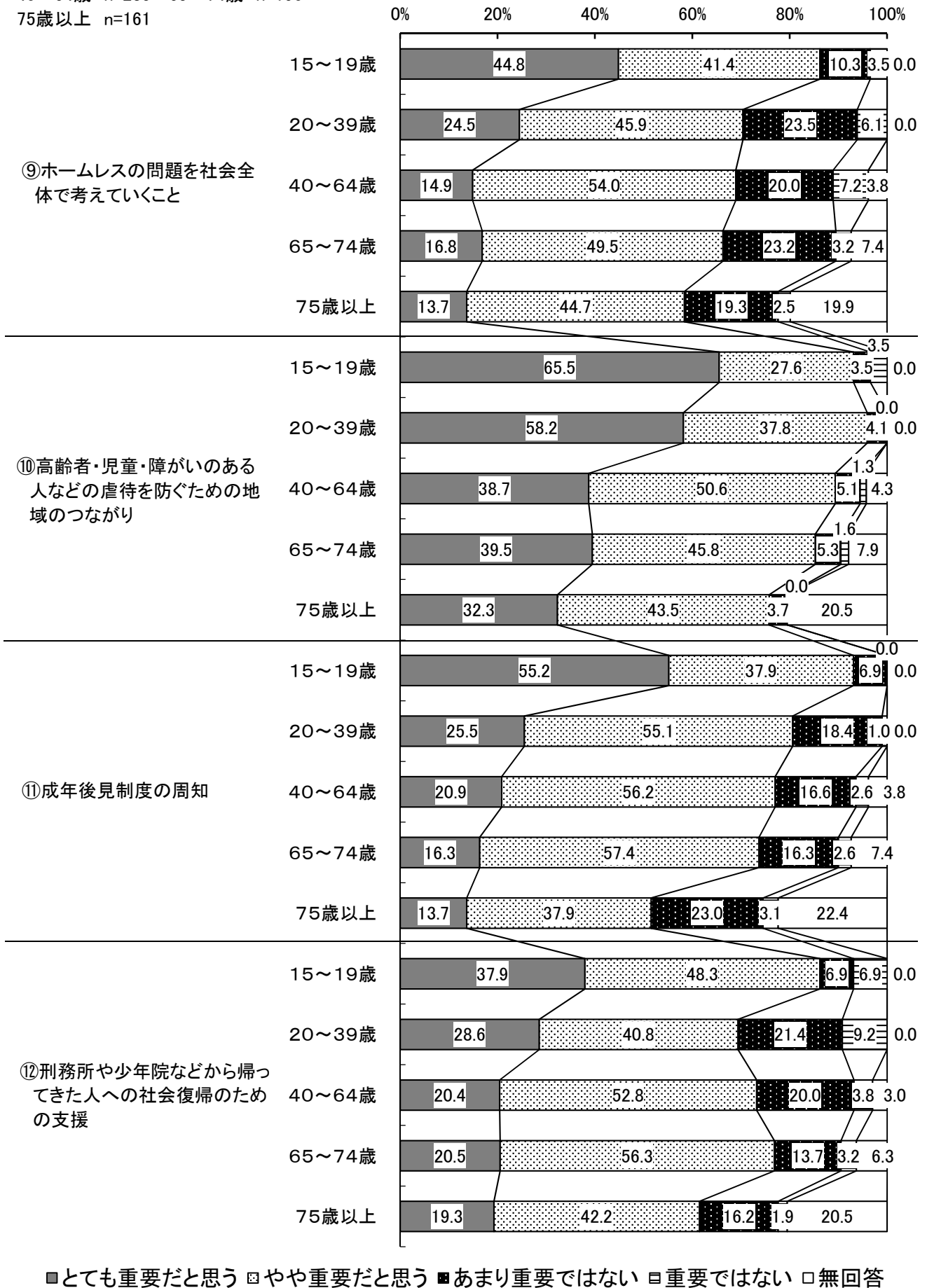


■とても重要だと思ふ □やや重要だと思ふ ■あまり重要ではない □重要ではない □無回答

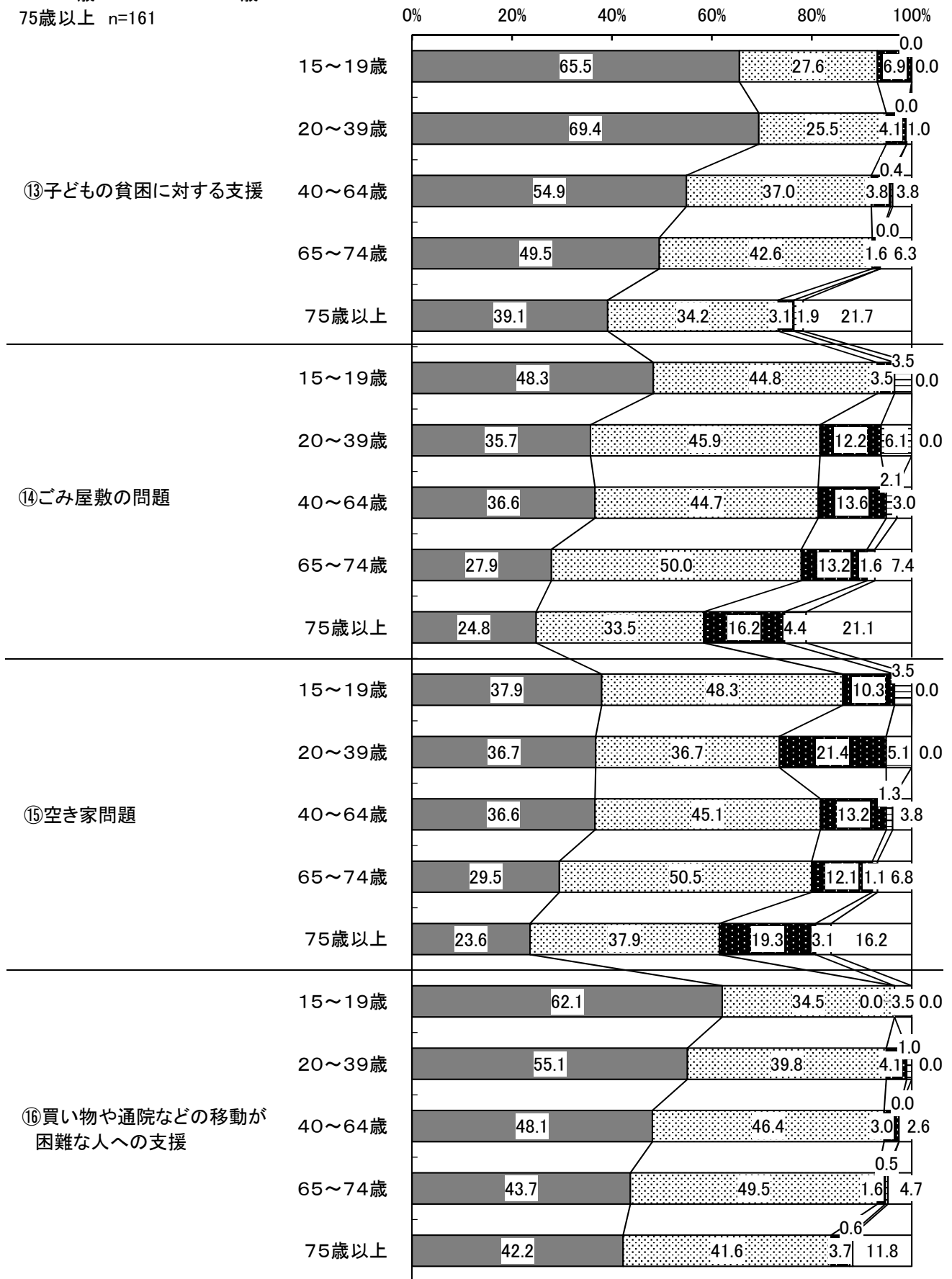
15～19歳 n=29 20～39歳 n=98
 40～64歳 n=235 65～74歳 n=190
 75歳以上 n=161



15～19歳 n=29 20～39歳 n=98
 40～64歳 n=235 65～74歳 n=190
 75歳以上 n=161



15～19歳 n=29 20～39歳 n=98
 40～64歳 n=235 65～74歳 n=190
 75歳以上 n=161

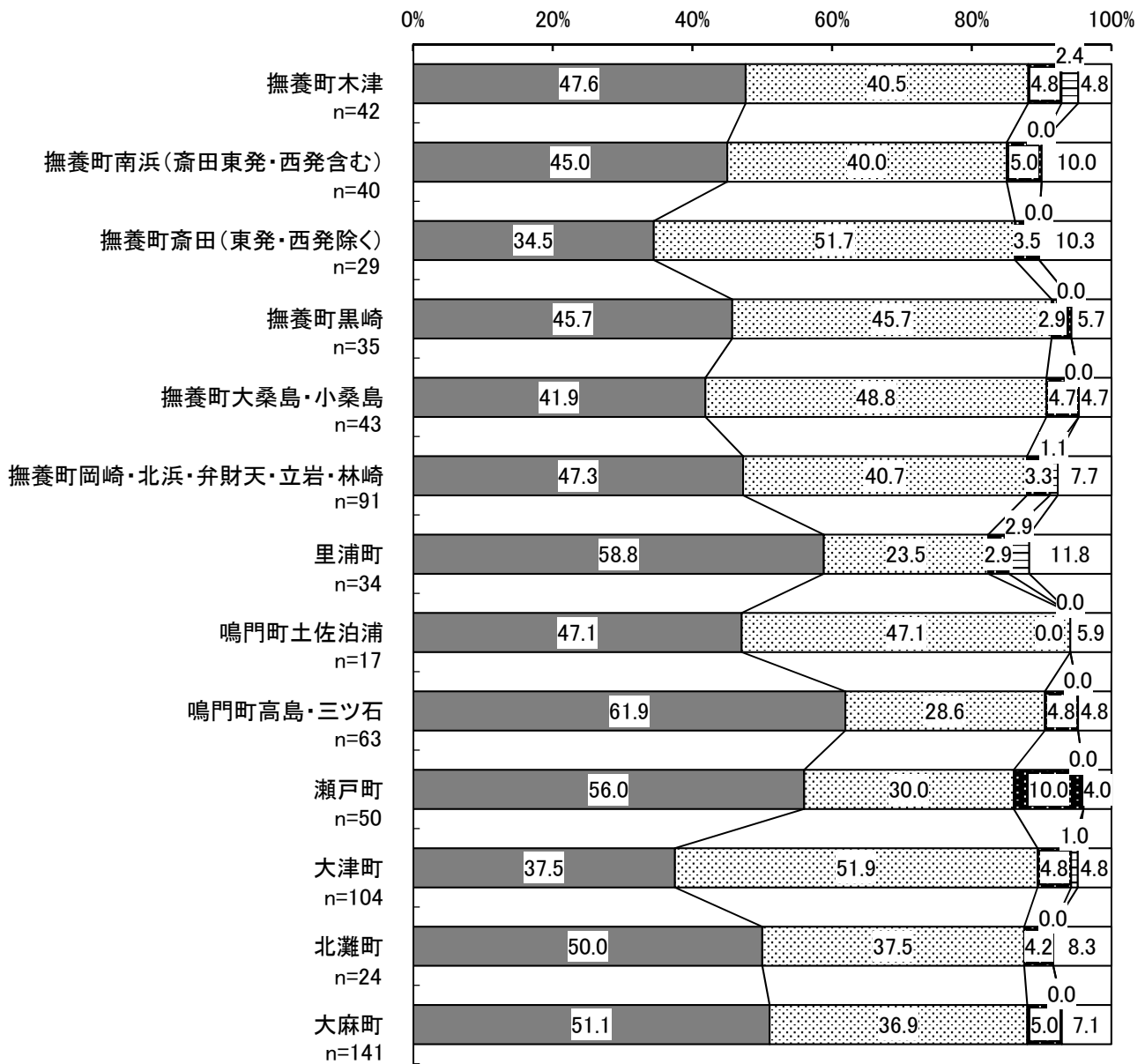


■最も重要だと思う □やや重要だと思う ■あまり重要ではない □重要ではない □無回答

(地区別)

①障がいのある人とない人が共に生きるため、社会の中にあるバリアを取り除くこと

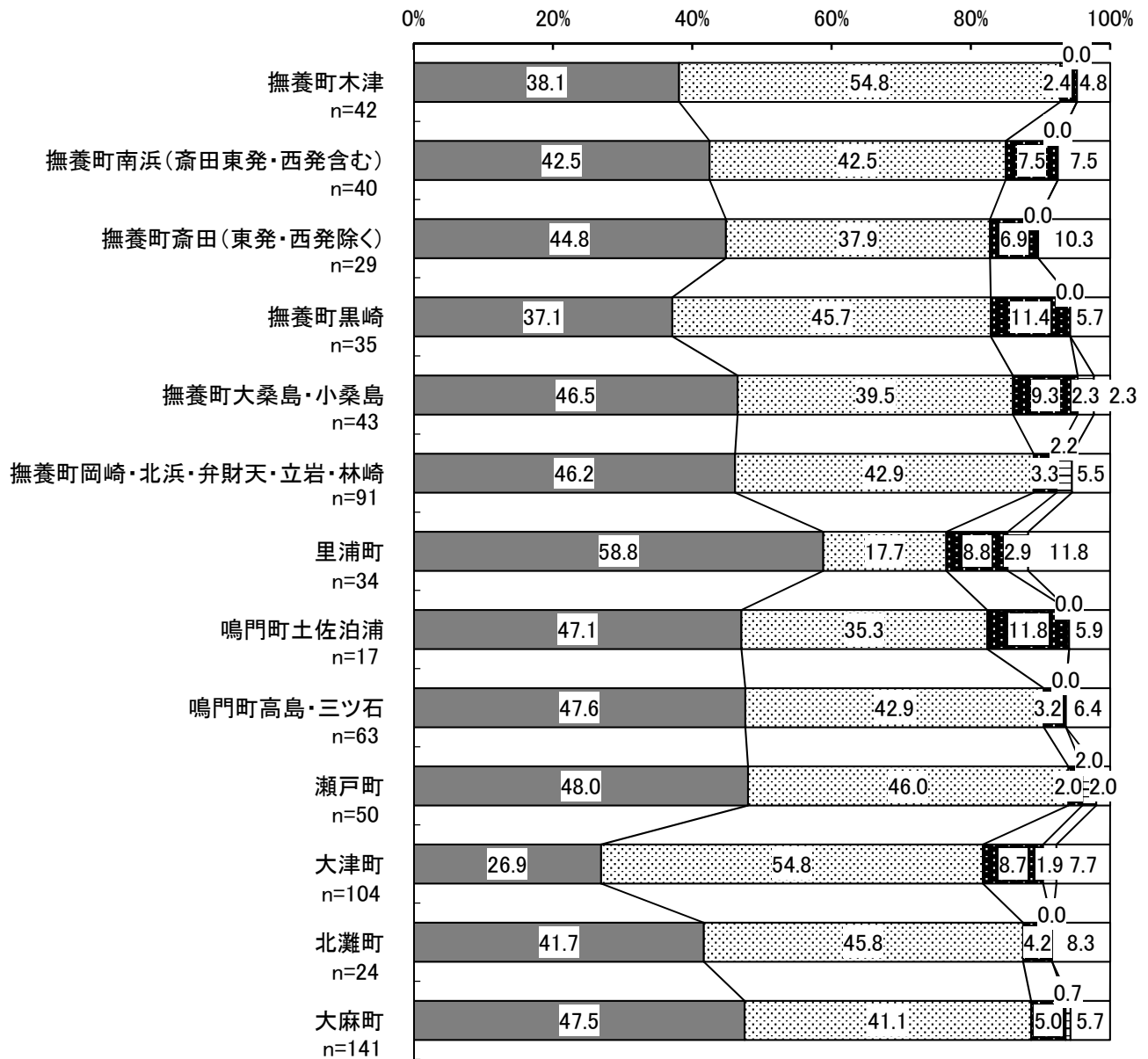
地区別にみると、「とても重要だと思う」は、鳴門町高島・三ツ石が61.9%と最も多くなっている。



■とても重要だと思う □やや重要だと思う ■あまり重要ではない □重要ではない □無回答

②生活保護を受けている人、障がい、外国人などに対する偏見や差別をなくすこと

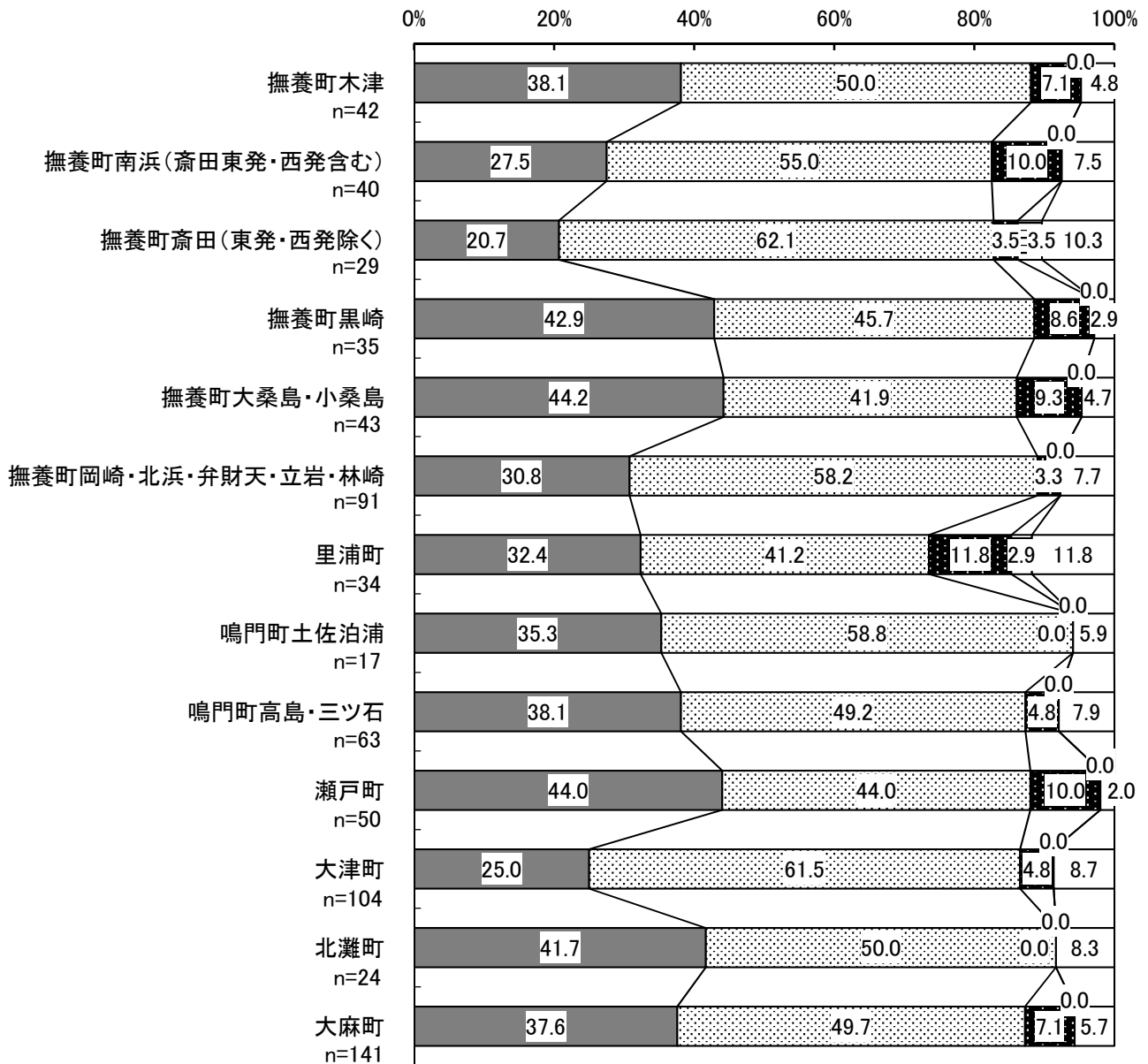
地区別にみると、「とても重要だと思う」は、里浦町が58.8%と最も多くなっている。



■とても重要だと思う □やや重要だと思う ■あまり重要ではない □重要ではない □無回答

③ひとり親家庭の自立を支援するための地域のつながり

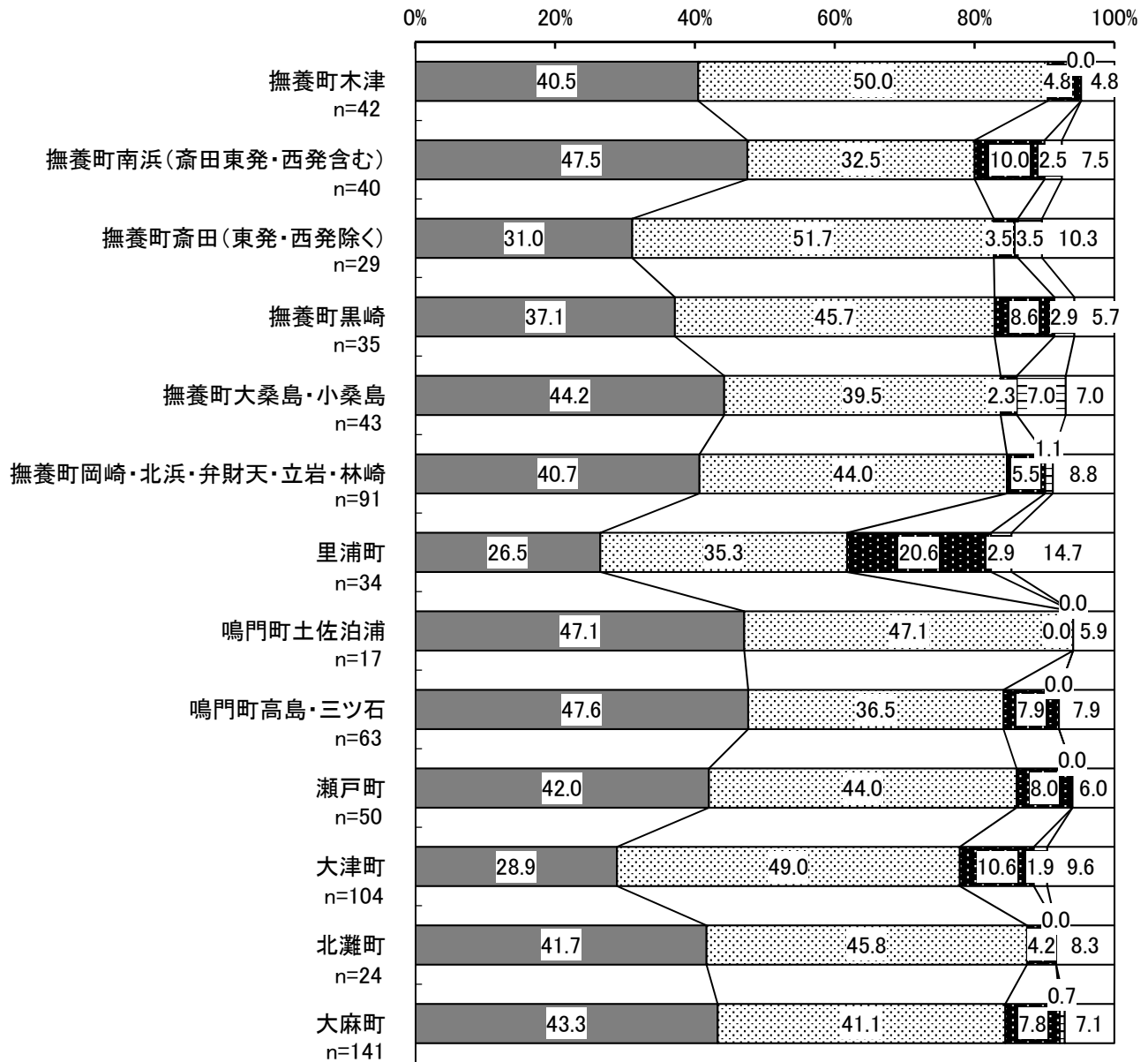
地区別にみると、「とても重要だと思う」は、撫養町黒崎、撫養町大桑島・小桑島、瀬戸町及び北灘町で4割を超えている。



■とても重要だと思う □やや重要だと思う ■あまり重要ではない □重要ではない □無回答

④DV（ドメスティック・バイオレンス）被害を防ぐための地域のつながり

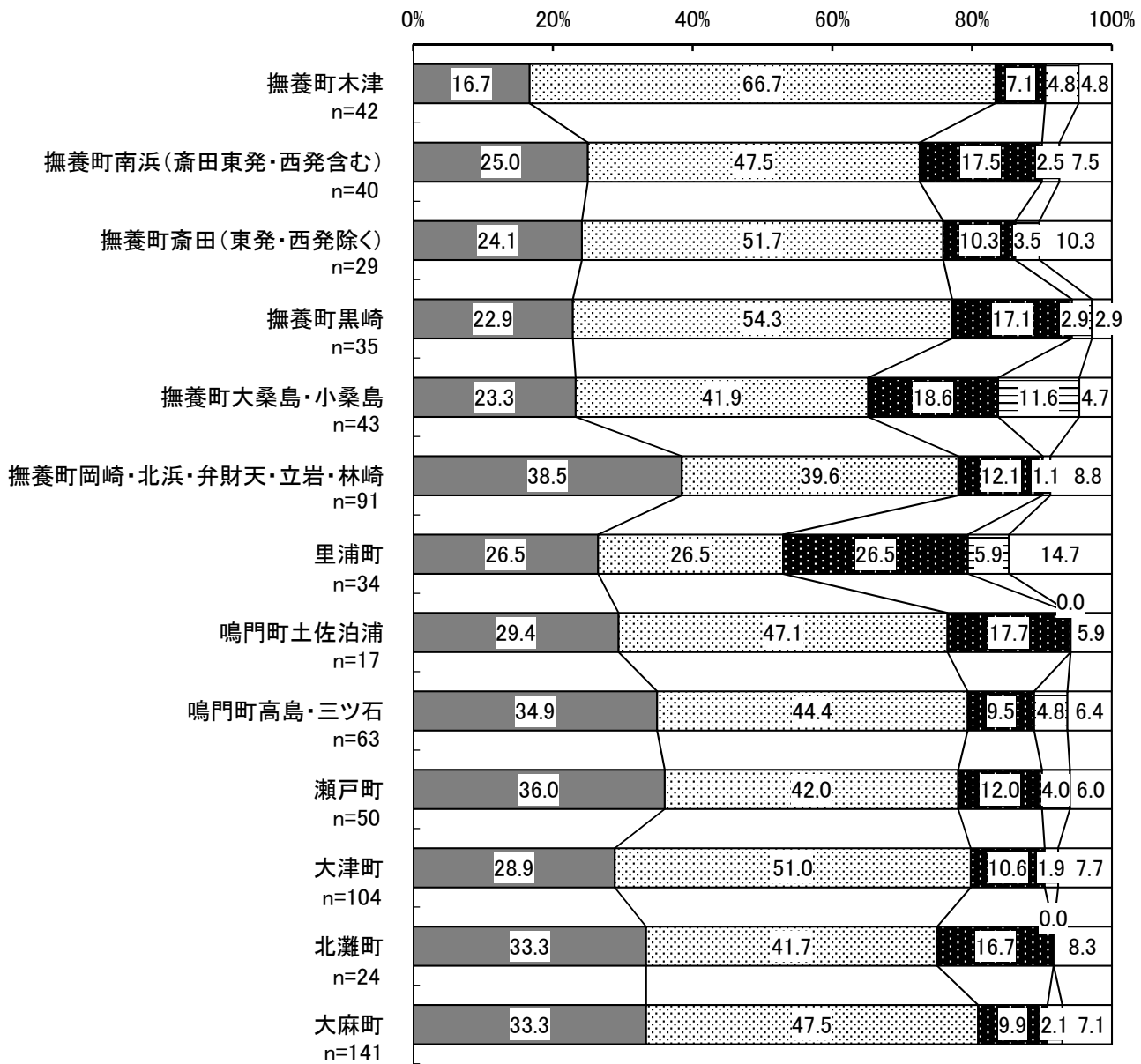
地区別にみると、「とても重要だと思う」は、撫養町木津、撫養町南浜（斎田東発・西発含む）、撫養町大桑島・小桑島、撫養町岡崎・北浜・弁財天・立岩・林崎、鳴門町土佐泊浦、鳴門町高島・三ツ石、瀬戸町、北灘町及び大麻町で4割を超えている。里浦町で「あまり重要ではない」が2割を超えている。里浦町で「あまり重要ではない」が2割を超えている。



■とても重要だと思う □やや重要だと思う ■あまり重要ではない □重要ではない □無回答

⑤ひきこもりやニートの問題を社会全体で考えていくこと

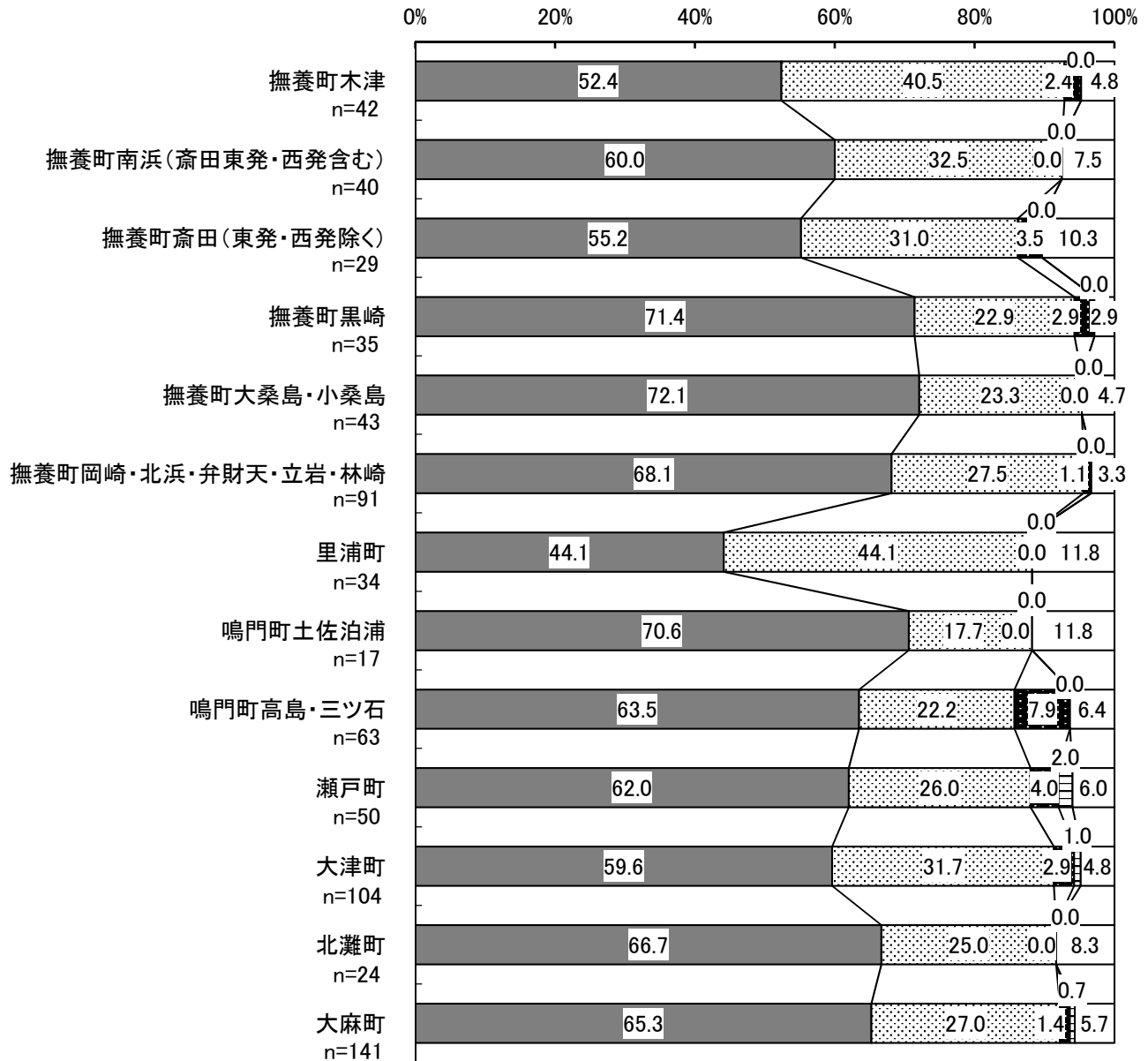
地区別にみると、「とても重要だと思う」は、撫養町岡崎・北浜・弁財天・立岩・林崎、鳴門町高島・三ツ石、瀬戸町、北灘町及び大麻町で3割を超えている。里浦町で「あまり重要ではない」が2割を超えている。



■とても重要だと思う □やや重要だと思う ■あまり重要ではない □重要ではない □無回答

⑥地域の防犯対策

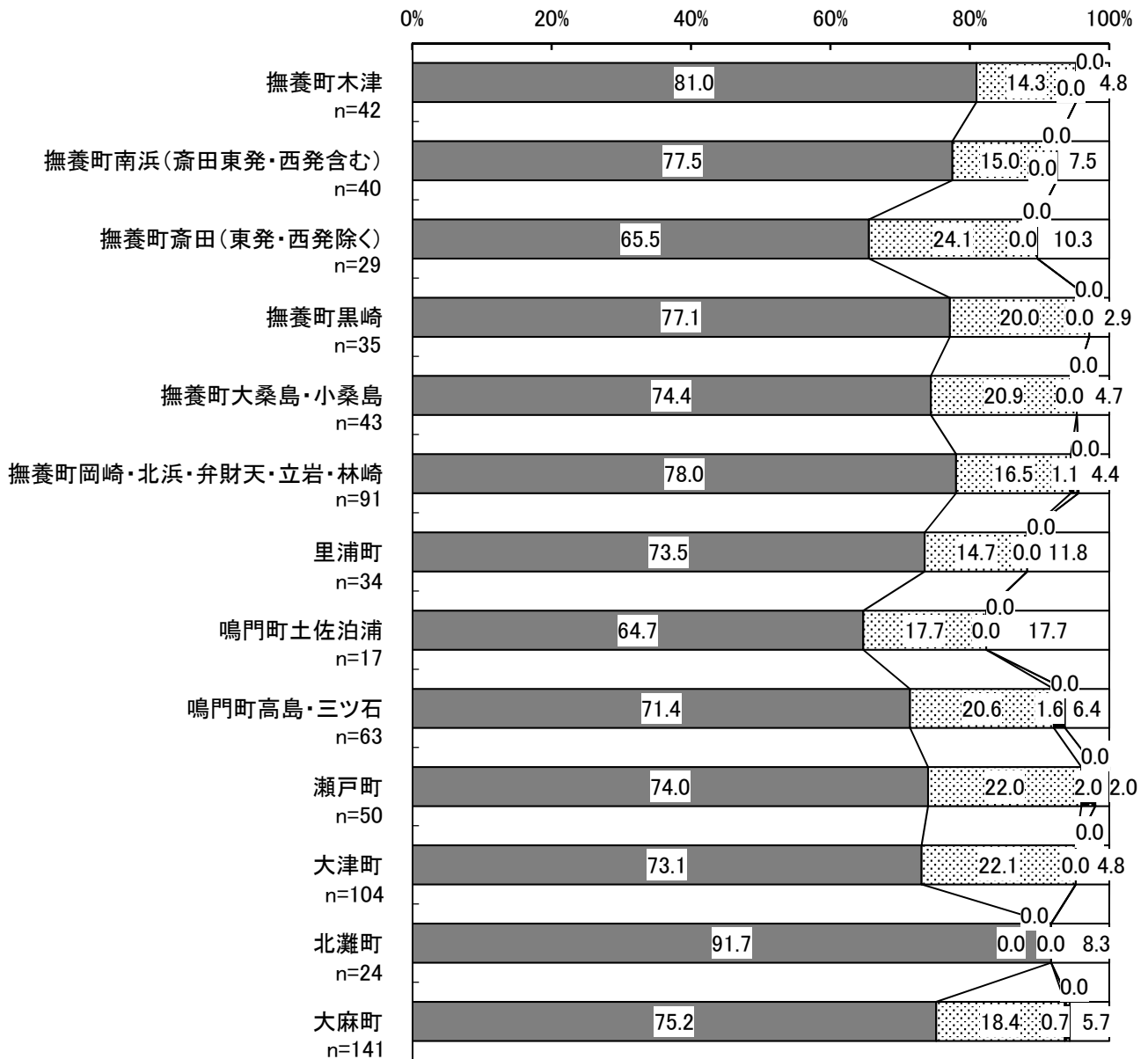
地区別にみると、「とても重要だと思う」は、里浦町を除く全ての地区で5割を超えている。撫養町大桑島・小桑島72.1%と他の地区と比較し、最も多くなっている。



■とても重要だと思う □やや重要だと思う ■あまり重要ではない □重要ではない □無回答

⑦災害時における支援体制

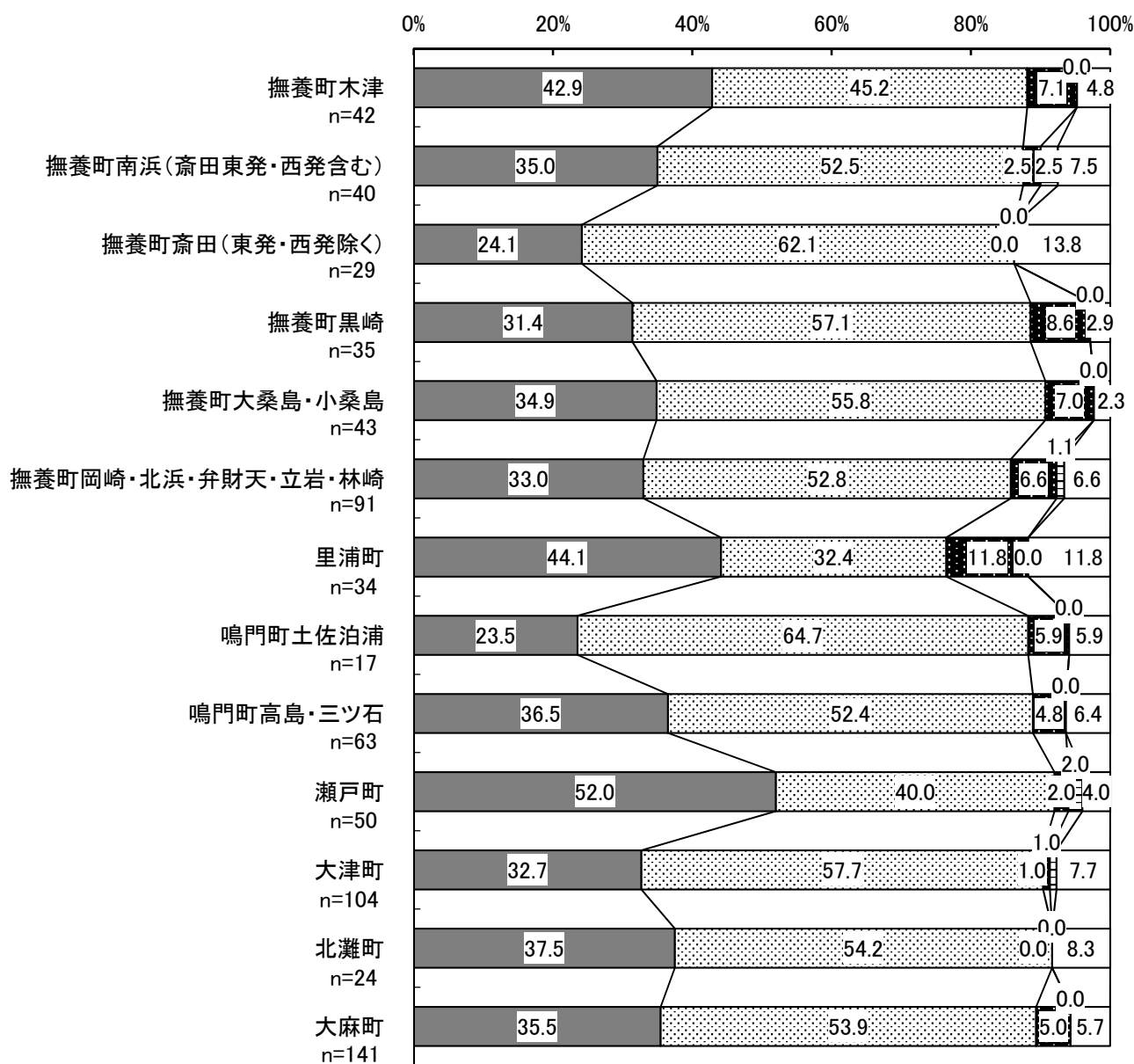
地区別にみると、「とても重要だと思う」は、全ての地区で6割を超えている。北灘町91.7%と他の地区と比較し、最も多くなっている。



■とても重要だと思う □やや重要だと思う ■あまり重要ではない □重要ではない □無回答

⑧認知症の人やその家族を支えるための地域のつながり

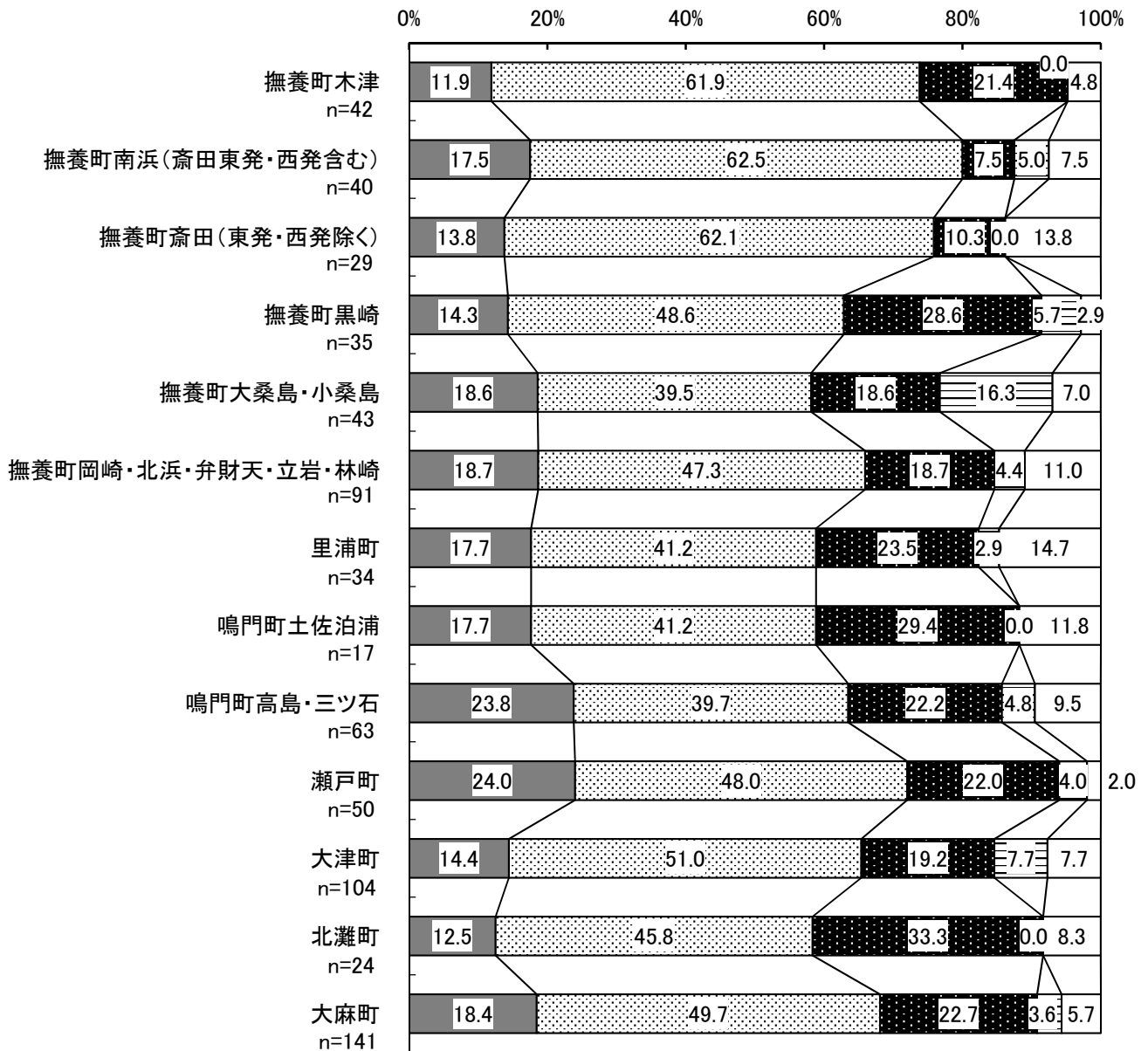
地区別にみると、「とても重要だと思う」は、撫養町木津、里浦町及び瀬戸町で4割を超えている。瀬戸町52.0%と他の地区と比較し、最も多くなっている。



■とても重要だと思う □やや重要だと思う ■あまり重要ではない □重要ではない □無回答

⑨ホームレスの問題を社会全体で考えていくこと

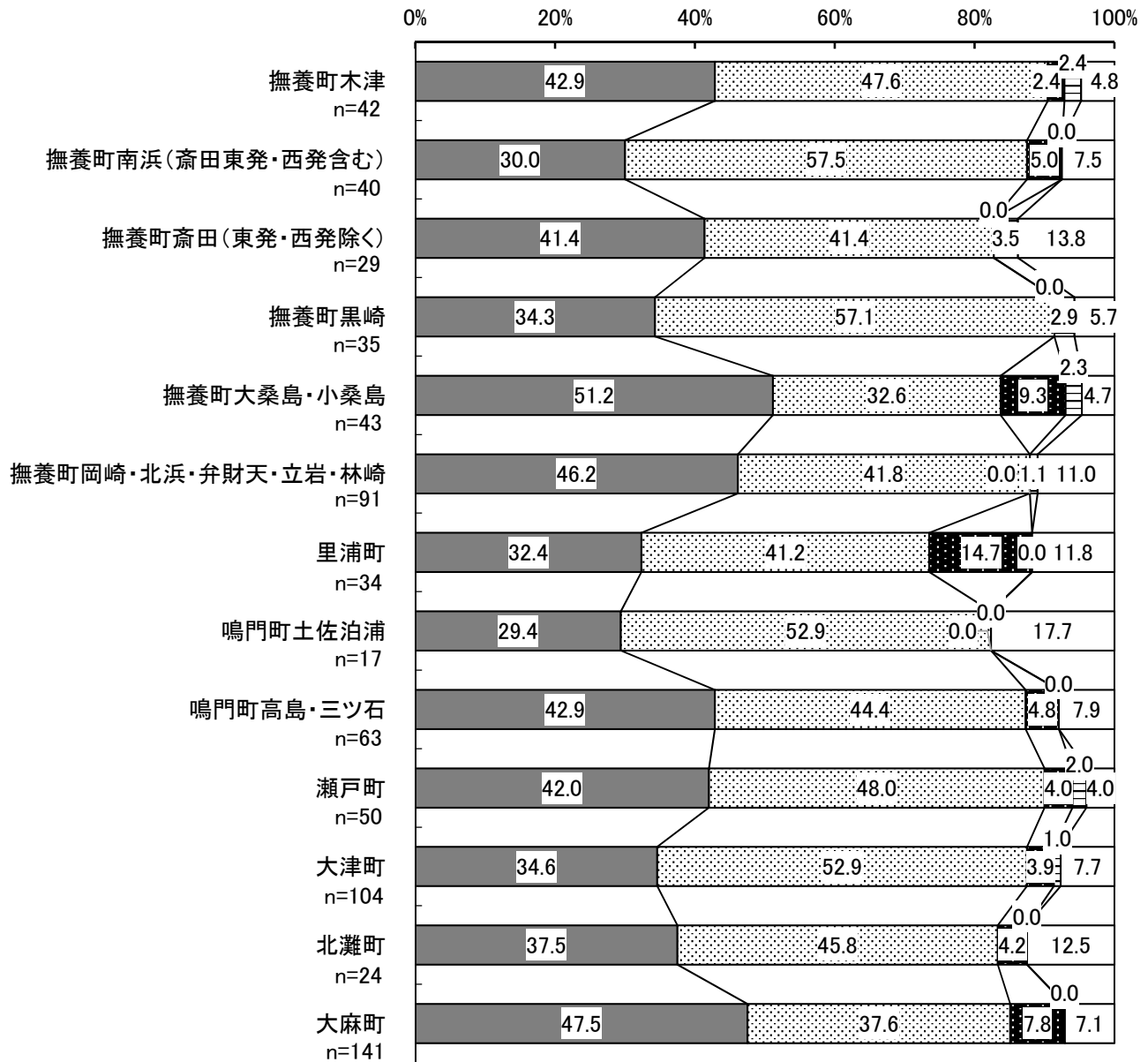
地区別にみると、「とても重要だと思う」は、鳴門町高島・三ツ石及び瀬戸町で2割を超えている。北灘町で「あまり重要ではない」が3割を超えている。



■とても重要だと思う □やや重要だと思う ■あまり重要ではない □重要ではない □無回答

⑩高齢者・児童・障がいのある人などの虐待を防ぐための地域のつながり

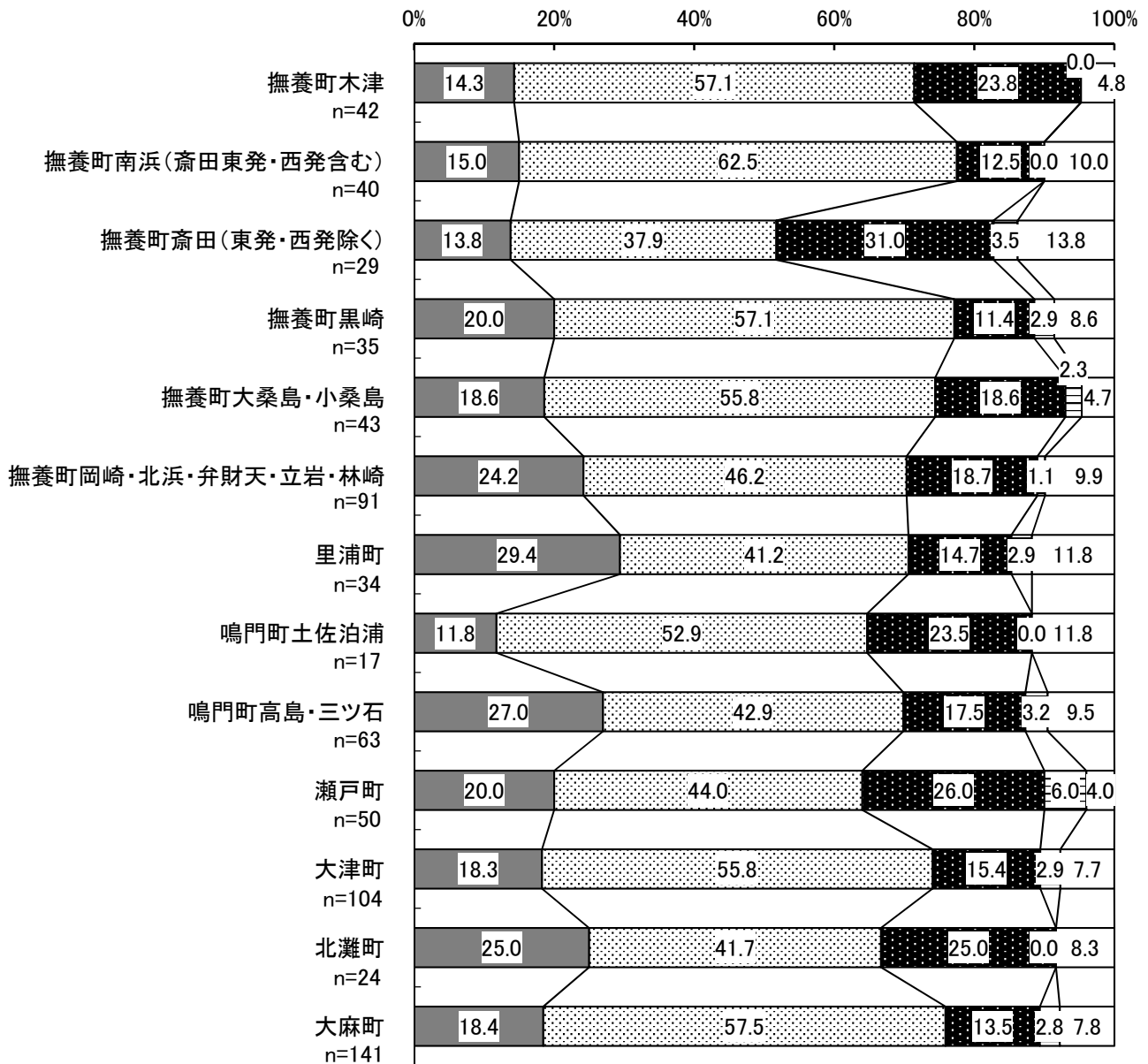
地区別にみると、「とても重要だと思う」は、撫養町木津、撫養町斎田（東発・西発除く）、撫養町大桑島・小桑島、撫養町岡崎・北浜・弁財天・立岩・林崎、鳴門町高島・三ツ石、瀬戸町及び大麻町で4割を超えている。撫養町大桑島・小桑島51.2%と他の地区と比較し、最も多くなっている。



■とても重要だと思う □やや重要だと思う ■あまり重要ではない □重要ではない □無回答

①成年後見制度の周知

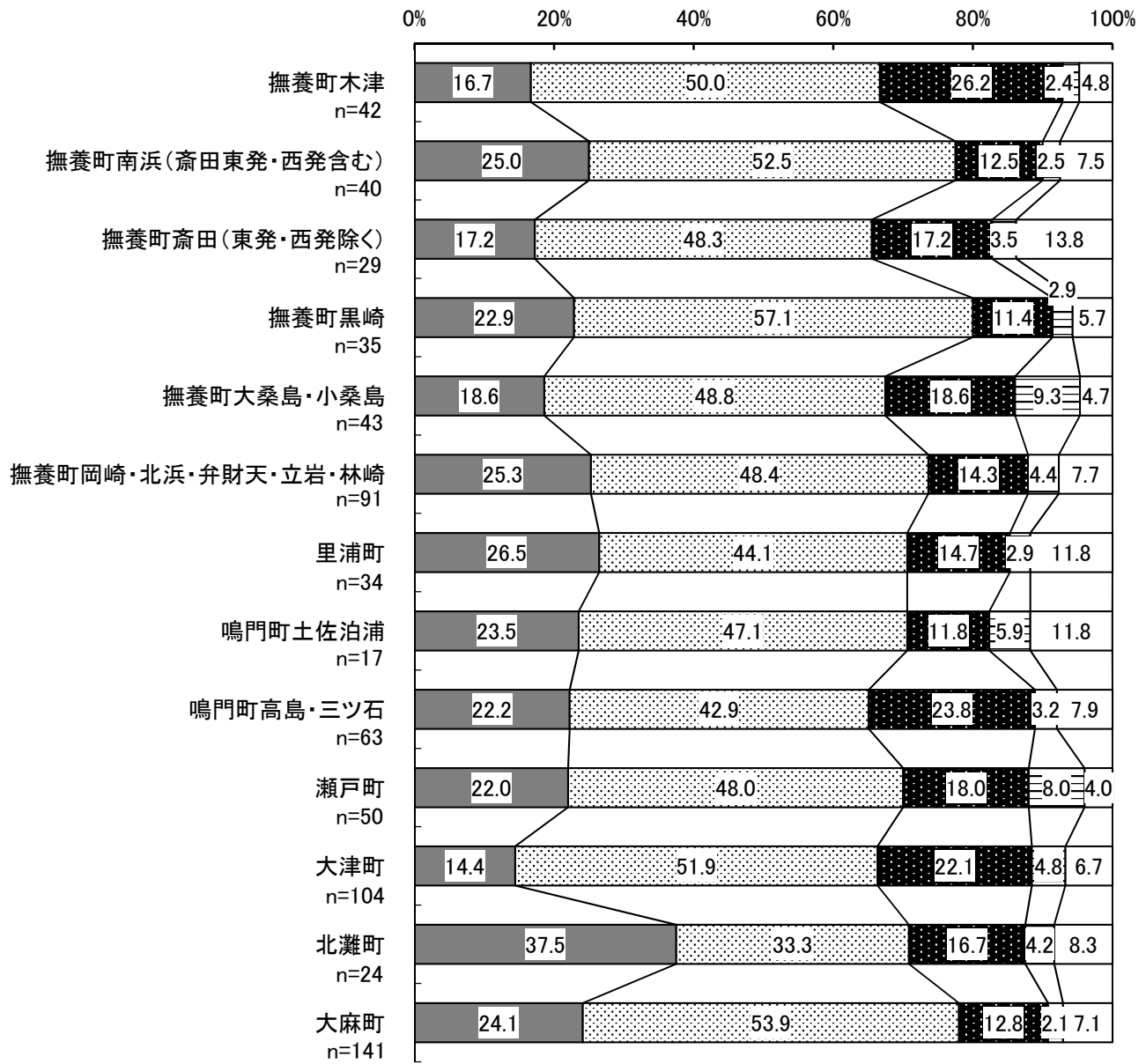
地区別にみると、撫養町斎田（東発・西発除く）で「あまり重要ではない」が3割を超えている。



■とても重要だと思う □やや重要だと思う ■あまり重要ではない □重要ではない □無回答

⑫刑務所や少年院などから帰ってきた人への社会復帰のための支援

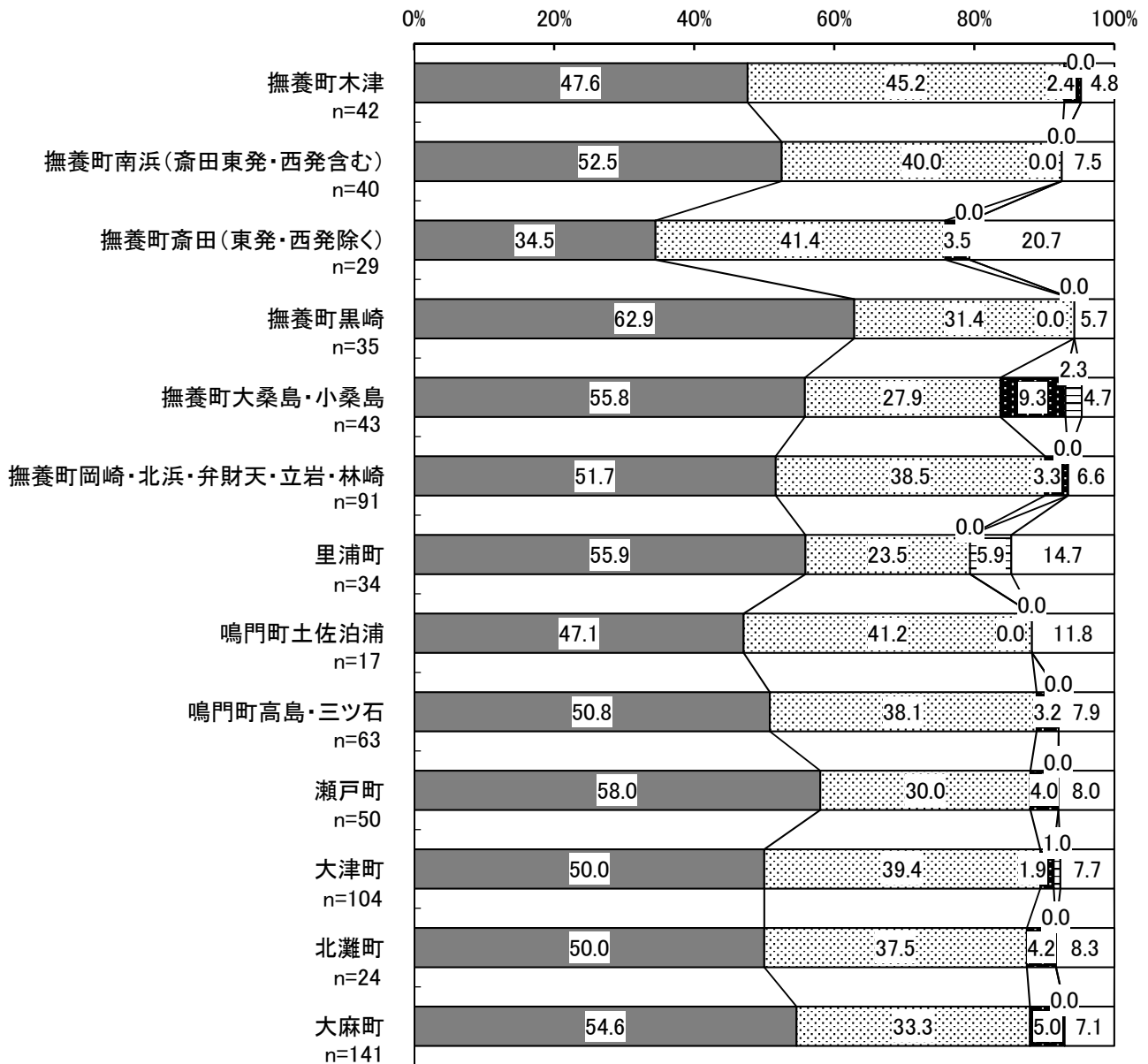
地区別にみると、「とても重要だと思う」は、北灘町で3割を超えている。



■とても重要だと思う □やや重要だと思う ■あまり重要ではない □重要ではない □無回答

⑬子どもの貧困に対する支援

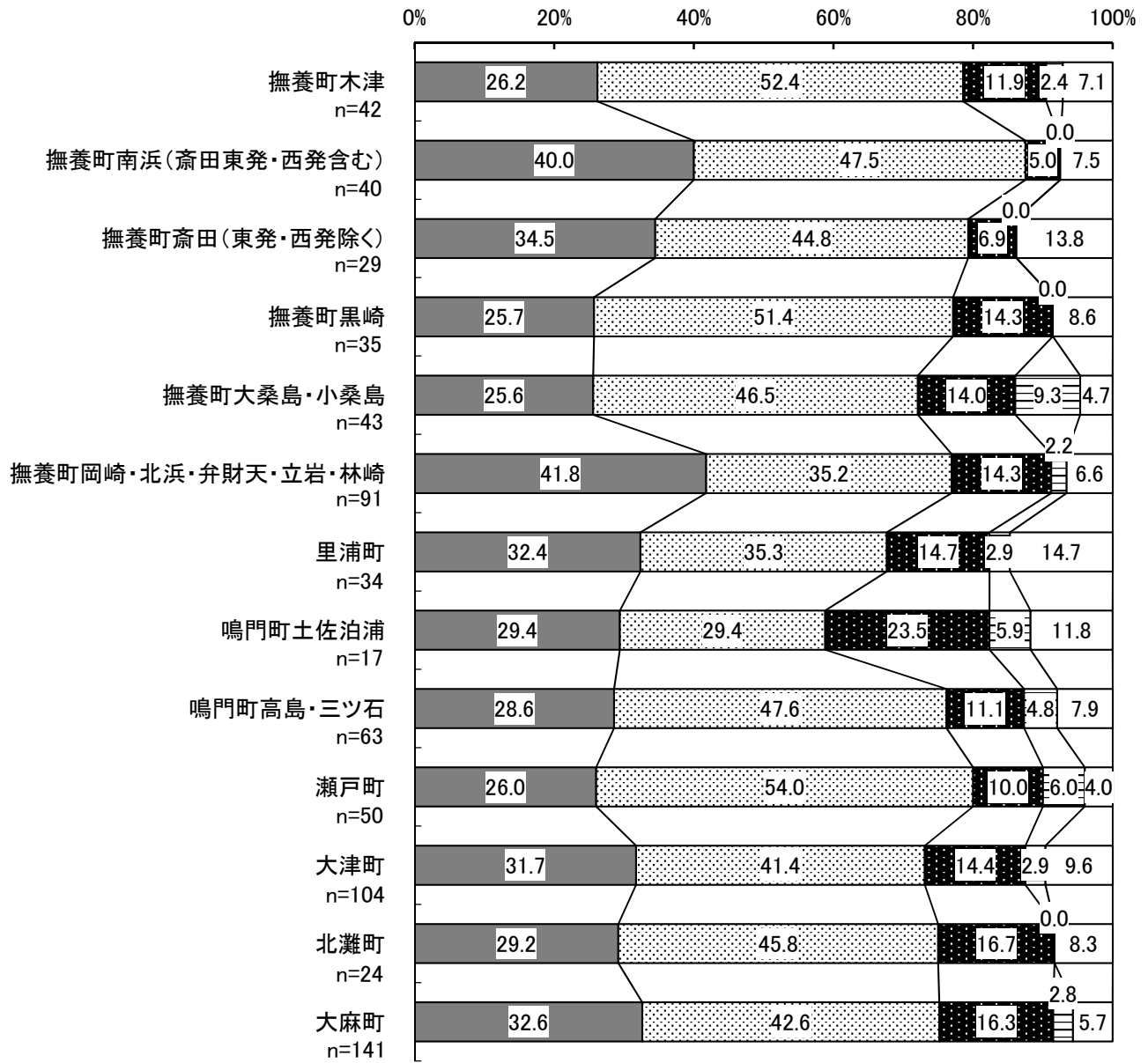
地区別にみると、「とても重要だと思う」は、撫養町木津、撫養町斎田（東発・西発除く）、鳴門町土佐泊浦を除く全ての地区で5割以上となっている。



■とても重要だと思う □やや重要だと思う ■あまり重要ではない □重要ではない □無回答

⑭ごみ屋敷の問題

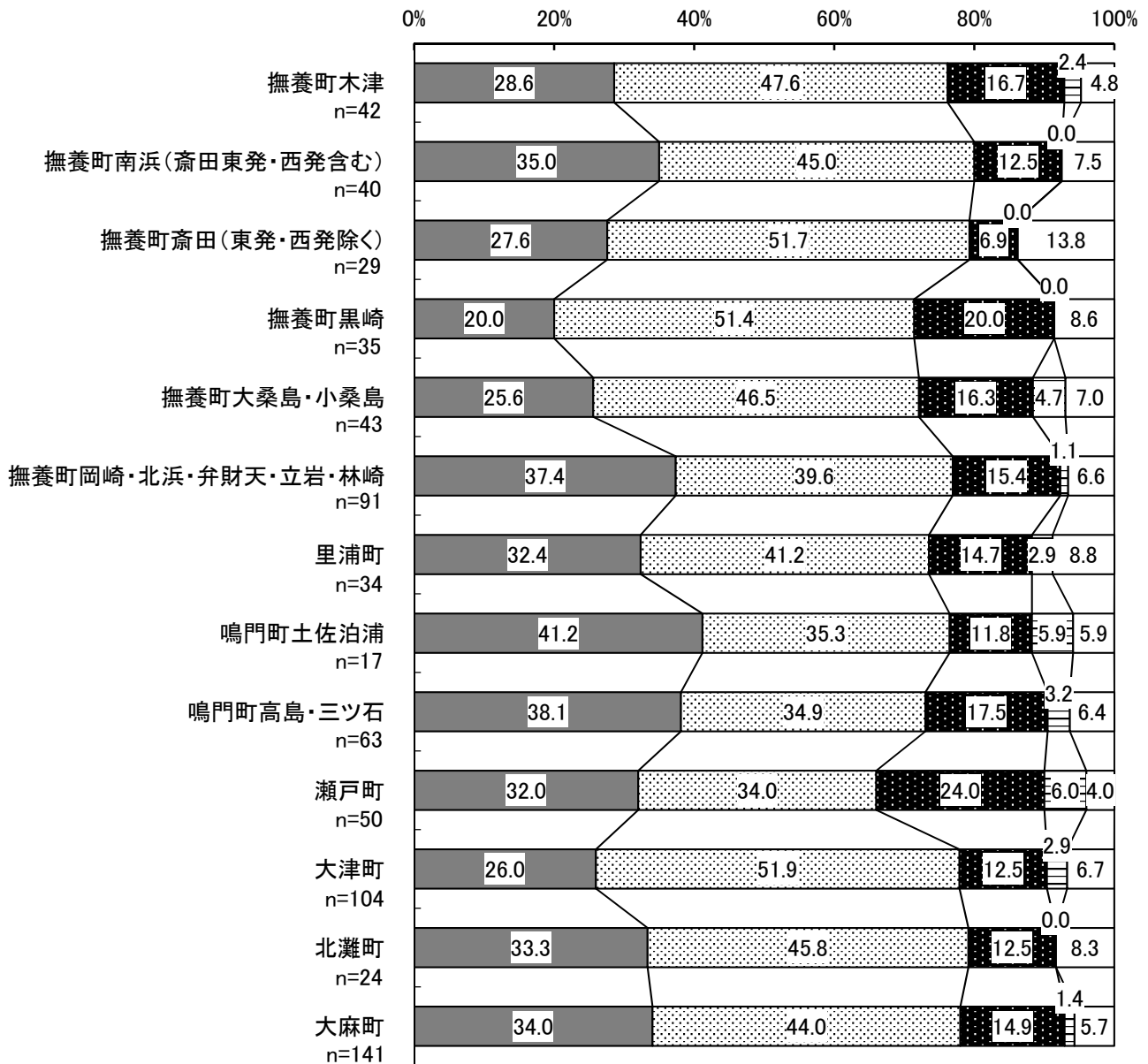
地区別にみると、「とても重要だと思う」は、撫養町南浜（斎田東発・西発含む）及び撫養町岡崎・北浜・弁財天・立岩・林崎で4割以上となっている。鳴門町土佐泊浦で「あまり重要ではない」が2割を超えている。



■とても重要だと思う □やや重要だと思う ■あまり重要ではない □重要ではない □無回答

⑮空き家問題

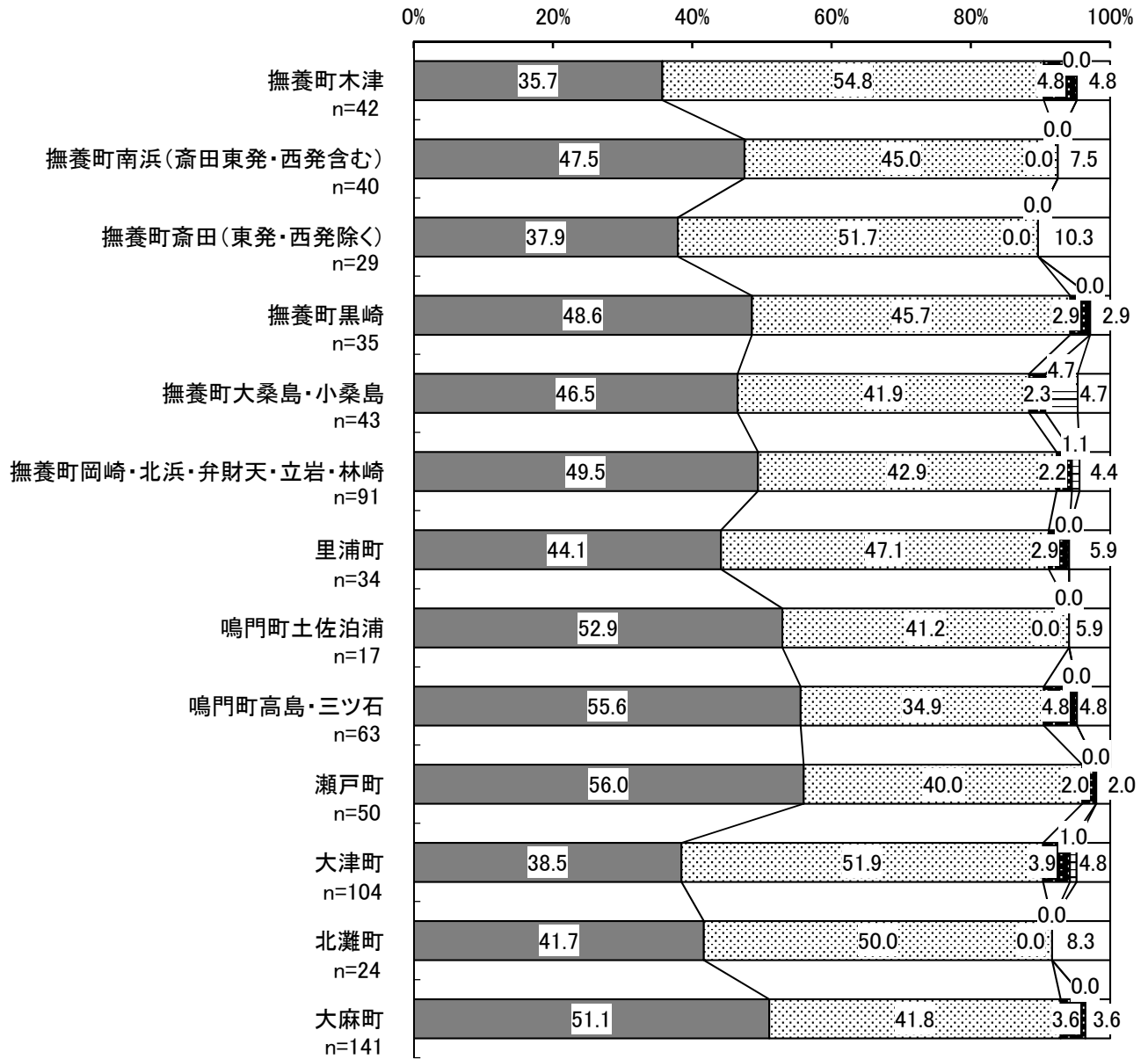
地区別にみると、「とても重要だと思う」は、鳴門町土佐泊浦で4割を超えている。撫養町黒崎及び瀬戸町で「あまり重要ではない」が2割以上となっている。



■とても重要だと思う □やや重要だと思う ■あまり重要ではない □重要ではない □無回答

⑩買い物や通院などの移動が困難な人への支援

地区別にみると、「とても重要だと思う」は、鳴門町土佐泊浦、鳴門町高島・三ツ石、瀬戸町及び大麻町で5割を超えている。



■とても重要だと思う □やや重要だと思う ■あまり重要ではない □重要ではない □無回答

問39 私たち一人ひとりが安心して地域の中で暮らしていくために、市民のひとりとして、あなたはどのようなことができますか。（複数回答）

安心して地域の中で暮らしていくために、市民のひとりとして、どのようなことができますかについてみると、「家族に関係する問題は、家族や親族などの身内でまず解決する」66.8%と最も多く、以下、「できるだけ地域での出来事に関心を持つ」55.8%、「近所との交流を盛んにするなど、地域の人とつながりを持つ」38.9%などの順となっている。

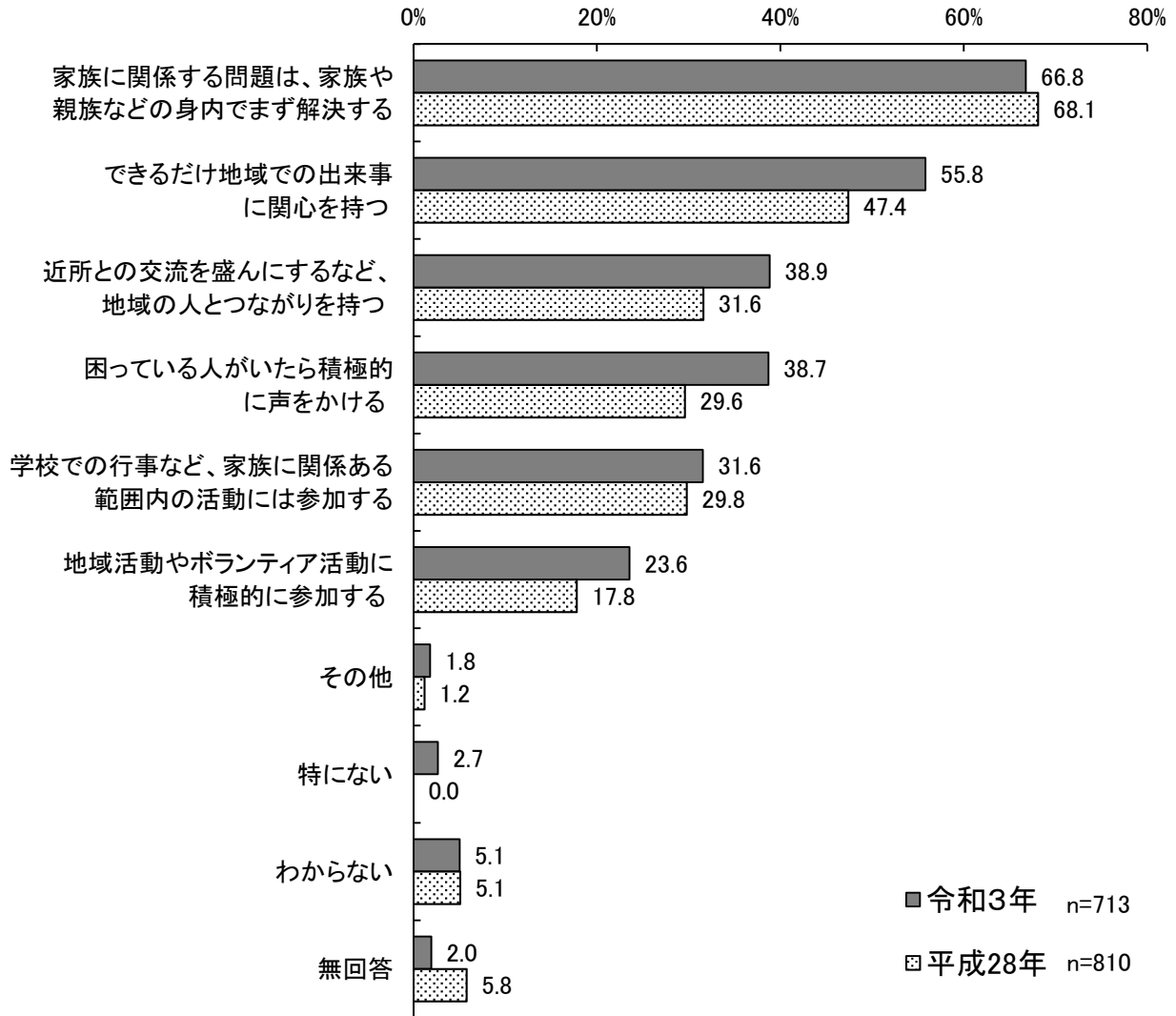
前回調査と比較し、「困っている人がいたら積極的に声をかける」が9.1ポイント増加している。

性別にみると、男女共に「家族に関係する問題は、家族や親族などの身内でまず解決する」が最も多く、女性の方が2.3ポイント多くなっている。

年齢別にみると、全ての年代で「家族に関係する問題は、家族や親族などの身内でまず解決する」が最も多く、6割を超えている。

地区別にみると、撫養町南浜（斎田東発・西発含む）及び瀬戸町を除く全ての地区で「家族に関係する問題は、家族や親族などの身内でまず解決する」が最も多く、北灘町では「できるだけ地域での出来事に関心を持つ」も同率で最も多くなっている。撫養町南浜（斎田東発・西発含む）及び瀬戸町で「できるだけ地域での出来事に関心を持つ」が最も多くなっている。

(全体)

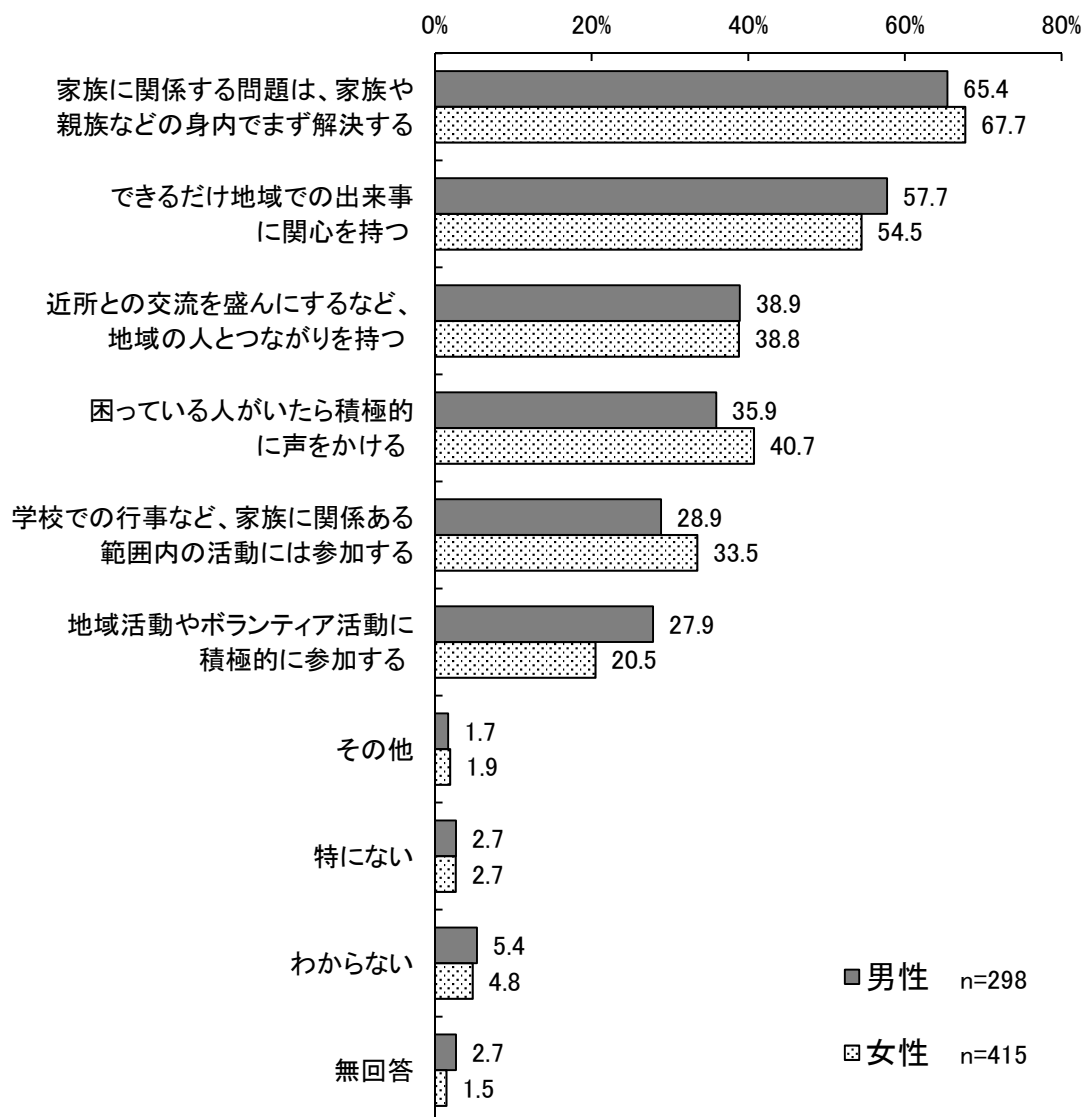


※前回調査では、「特にない」の選択肢はありません。

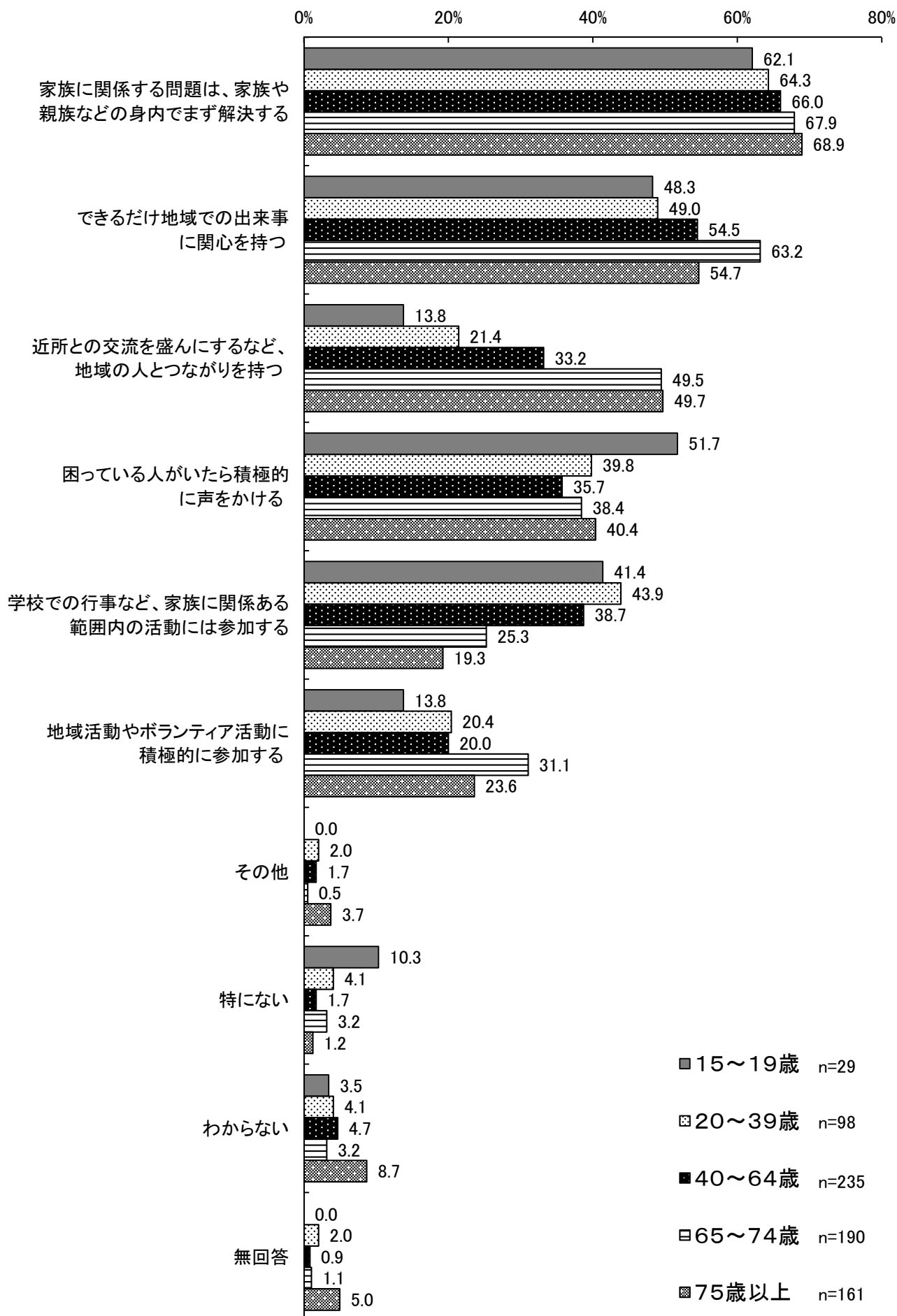
(その他の回答)

- ・お世話になりますとか、一言交わすだけでも、心が通じ合うことがあるように思います。
- ・ご近所さんへの挨拶・声かけ・安否気遣い（必要以上立ち入らないように）。
- ・不審者の情報交換、防災情報など。
- ・経済の不安を助けてあげることが大事。そのためには、市の補助が必要です。
- ・学校が休校となり、子どもの声も聞こえない。コミュニティにも変化が生まれ、新しい人とのつながりのスタイルを確立するべき。コーディネーターがまとめ、情報発信などの協力。
- ・自分にできる範囲内で継続できる地域活動及びボランティアに参加する。

(性別)



(年齢別)



(地区別)

	家族に関する問題は、家族や親族などの身内でまず解決する	できるだけ地域での出来事に関心を持つ	近所との交流を盛んにするなど、地域の人とつながりを持つ	困っている人がいたら積極的に声をかける	学校での行事など、家族に関係ある範囲内の活動には参加する	地域活動やボランティア活動に積極的に参加する	その他
撫養町木津 n=42	61.9	52.4	33.3	33.3	45.2	31.0	0.0
撫養町南浜 n=40	47.5	55.0	25.0	35.0	25.0	12.5	5.0
撫養町斎田 n=29	69.0	51.7	31.0	34.5	20.7	13.8	3.5
撫養町黒崎 n=35	74.3	45.7	28.6	28.6	31.4	25.7	0.0
撫養町大桑島・ 小桑島 n=43	65.1	62.8	30.2	41.9	30.2	30.2	0.0
撫養町岡崎・北浜・ 弁財天・立岩・林崎 n=91	72.5	49.5	37.4	29.7	29.7	28.6	2.2
里浦町 n=34	73.5	50.0	29.4	38.2	26.5	26.5	0.0
鳴門町土佐泊浦 n=17	70.6	47.1	64.7	52.9	47.1	11.8	0.0
鳴門町高島・三ツ石 n=63	71.4	57.1	38.1	44.4	36.5	25.4	3.2
瀬戸町 n=50	62.0	68.0	34.0	56.0	22.0	24.0	2.0
大津町 n=104	66.4	51.9	37.5	39.4	30.8	15.4	1.0
北灘町 n=24	70.8	70.8	54.2	41.7	37.5	33.3	4.2
大麻町 n=141	65.3	60.3	51.8	38.3	33.3	24.8	2.1
	特になし	わからない	無回答				
撫養町木津 n=42	0.0	7.1	4.8				
撫養町南浜 n=40	2.5	15.0	5.0				
撫養町斎田 n=29	3.5	3.5	3.5				
撫養町黒崎 n=35	2.9	5.7	0.0				
撫養町大桑島・ 小桑島 n=43	4.7	7.0	0.0				
撫養町岡崎・北浜・ 弁財天・立岩・林崎 n=91	1.1	6.6	2.2				
里浦町 n=34	2.9	2.9	2.9				
鳴門町土佐泊浦 n=17	0.0	5.9	0.0				
鳴門町高島・三ツ石 n=63	0.0	3.2	3.2				
瀬戸町 n=50	6.0	2.0	0.0				
大津町 n=104	2.9	3.9	1.9				
北灘町 n=24	4.2	0.0	4.2				
大麻町 n=141	3.6	4.3	0.7				

問40 誰もが住みやすく、いきいきと安心して暮らせる「鳴門のまちづくり」を進めていくために、鳴門市のこれからの地域福祉に対して、ご意見などがございましたら、ご自由にお書きください。（記述回答）

【地域の課題に関すること】

- 町内会の役員や福祉の担い手が少なくなっている、不足している。
- 町によって格差がありすぎる。中心地ほど病院、交通の便、学校の生徒数、店等様々な面で数多く便利が良い。中心地から離れた所ほど、バス、病院、金融機関、生徒数、全てにおいて少なく不便。
- 交通機関の充実・整備。
- 道に段差が多く、バリアフリー化実現。
- 夜道が暗すぎるため、街灯を増やしてほしい。
- 自分の抱える問題は一体どの窓口がよいのか悩む。
- 空き家問題。
- 近くにスーパーがない。
- ごみ収集場が遠く、車でないと運んでいけない。
- デイサービスを選択する時、ケアマネさんの手元にデイサービスの情報がない。
- 野焼をしている。
- 犬・猫などの放し飼いによる糞害や空き家に野良猫や犬が増えている。
- 世代間交流では、意識的に隔絶している。特に文化の継承など。
- ひきこもり、ニートに対する対策がとれていない。
- コロナ禍、人と接触することが少なくなり、一人暮らしの方も多くなり、遠くの親戚より近くの他人ということわざもありますが、お隣との付き合いを大事にできるようにしていきたい。以前は隣組の付き合いもいろいろとありましたが最近は少なくなり、疎遠になりがちになっている。
- 防災無線が聞こえづらい。

【地域福祉活動に関すること】

- 地域で支え合っていくためには、家庭の情報（特に老人、子ども）等の特殊なプライベートのデータベース化が必要。
- 福祉に関心を持っていない人達に気づいてもらえる様な広報が必要。
- 出張して駐在してくれる医師、バスも高齢者が多い所に走らせる。
- 高齢者が健康に暮らせるためには健康教室などを充実させる。
- 町内会で1か月に1度程度、井戸端会議の情報交換みたいなことを行っていくこと。その場所の確保。
- ボランティアの充実。
- 高齢者の健康寿命が長くなるような取り組みと就労できる環境づくり。
- 自動車免許返納（高齢者）後のサポート向上。

- 世代ごと、職業ごと、家庭内人数ごと、高齢者、乳幼児、児童、18歳以下ごとに知りたい支援や公的手続き、補助金、助成金他申請名称、内容、該当者、必要書類等一覧にしたビラもしくは冊子を市内各家庭に配布する。
- 鳴門市、社協、ケアマネさん、各施設でもっと情報の共有を行う。
- 高齢者・障がい者の働ける環境をつくっていくことが必要。
- 医療施設の充実。
- 子ども、高齢者だけでなく、全ての世代に対応した地域福祉の充実。

【その他】

- 鳴門市内に、支援学校がない。
- 各種手続き書類関係の簡素化。

第3章 調査票

「第2期鳴門市地域福祉計画」を策定するための ～アンケート調査にご協力ください～

市民の皆様には、日ごろより鳴門市の福祉行政にご協力いただき、誠にありがとうございます。

本市では、平成30年3月に「鳴門市地域福祉計画」を策定し、「みんなが考え、安心してしあわせに暮らすことができる地域共生社会の実現」に向けて、各取り組みを進めていますが、本計画期間が令和4年度に満了となることから「第2期鳴門市地域福祉計画」の策定を予定しています。

そこで、今回15歳以上の市民2,000人（無作為抽出）を対象として、「地域福祉」に対する皆様の考え方やご意見をお聞きし、地域や年齢層別の福祉課題などを集約することにより、より地域に即した計画を策定するための基礎資料として活用したいと考えています。

お忙しい中、大変恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力をお願いします。

令和4年1月 鳴門市長 泉 理彦

ご記入にあたってのお願い

1. ご回答は、選択肢に○をつけてお選びいただく場合と、意見などを自由にご記入いただく場合がございます。
2. 選択肢の場合、お選びいただく数が設問によって異なりますので注意書きに従ってください。
3. 「その他」をお選びいただいた場合は、その後にある（ ）内に具体的な内容をご記入ください。

調査票に記入後は、同封の返信用封筒に入れて、
2月7日（月）までに投函してください。

ご回答いただく上でご不明な点、調査に関する問い合わせは、下記までお願いいたします。

鳴門市役所 健康福祉部 社会福祉課

〒772-8501 鳴門市撫養町南浜字東浜170番地

電話：088-684-1219 ファクシミリ：088-684-1337

このアンケート用紙に直接ご記入ください。
また、※印がついている言葉は、別紙で用語解説しています。



I. あなたご自身についておたずねします。

問1 あなたの性別は。(1つに〇) 自認する性別をお答えください。

1. 男性 2. 女性 3. ()

問2 あなたはおいくつですか。(1つに〇) 令和4年1月1日時点でお答えください。

1. 15～19歳 2. 20～39歳
3. 40～64歳 4. 65～74歳
5. 75歳以上

問3 あなたの主な職業は何ですか。(1つに〇)

1. 会社員・団体職員 2. 自営業（農林漁業除く）
3. 公務員・教員 4. 農林業
5. 漁業 6. 家事専業
7. 学生 8. パート・アルバイト・フリーター
9. 無職 10. その他（ ）

問4 あなたの世帯はどのような構成になっていますか。(1つに〇)

1. ひとり世帯
2. 夫婦のみの世帯
3. 2世代の世帯（親と子、祖父母と孫など）
4. 3世代の世帯（親と子と孫など）
5. その他（ ）

問5 あなたと同居している家族に、次のようなかた（あなた自身も含みます）はいますか。
（あてはまるものすべてに○）

1. 乳幼児（0～5歳）
2. 小学生
3. 中学生
4. 高校生
5. 65歳以上のかた
6. 在宅介護（※1）を必要とするかた
7. 障がいのあるかた

問6 あなたが住んでいる地区はどちらですか。（1つに○）

1. 撫養町木津
2. 撫養町南浜（斎田東発・西発含む）
3. 撫養町斎田（東発・西発除く）
4. 撫養町黒崎
5. 撫養町大桑島・小桑島
6. 撫養町岡崎・北浜・弁財天・立岩・林崎
7. 里浦町
8. 鳴門町土佐泊浦
9. 鳴門町高島・三ツ石
10. 瀬戸町
11. 大津町
12. 北灘町
13. 大麻町

問7 あなたが現在の地区にお住まいになってから、どのくらいの年数がたちますか。
（1つに○）

- | | |
|---------------|---------------|
| 1. 1年未満 | 2. 1年以上5年未満 |
| 3. 5年以上10年未満 | 4. 10年以上20年未満 |
| 5. 20年以上30年未満 | 6. 30年以上 |

Ⅱ. あなたのくらしについておたずねします。

問8 あなたは、以下のようなことに不安や悩みを感じていますか。「コロナ禍以前」と「現在」でお答えください。(①～⑬について、(1)と(2)それぞれ1つに○)

項 目	(1) コロナ禍以前		(2) 現在	
	感じて いた	感じて いなかった	感じる	感じない
①自分や家族の健康のこと	1	2	1	2
②自分や家族の老後のこと	1	2	1	2
③子どもの教育や将来のこと	1	2	1	2
④収入や家計に関すること	1	2	1	2
⑤仕事・就職に関すること	1	2	1	2
⑥住まいに関すること	1	2	1	2
⑦子育てに関すること	1	2	1	2
⑧介護に関すること	1	2	1	2
⑨困った時の相談に関すること	1	2	1	2
⑩交通の便や移動手段に関すること	1	2	1	2
⑪災害時の備えや避難に関すること	1	2	1	2
⑫地域の防犯・治安に関すること	1	2	1	2
⑬近所づきあいや地域とのつながりに関すること	1	2	1	2

問9 コロナ禍のなか、困ったことがあればご記入ください。(自由記述)

問10 コロナ禍のなか、暮らし方で工夫したり変化したことがあればご記入ください。

(自由記述)

--

問11 あなたは、以下のことについて、どなたに（どこに）相談していますか（しますか）。

(①～⑥のそれぞれについて、あてはまるものすべてに○)

項目	身内（家族・親族）	友人	近所の人	職場の人	医療機関・福祉サービス事業所や職員	民生委員・児童委員（※2）	市などの相談窓口や職員	その他	特に相談していない（しない）
①自分や家族の健康のこと	1	2	3	4	5	6	7	8	9
②自分や家族の生活や将来のこと	1	2	3	4	5	6	7	8	9
③介護に関すること	1	2	3	4	5	6	7	8	9
④子育てに関すること	1	2	3	4	5	6	7	8	9
⑤生活費など経済的問題	1	2	3	4	5	6	7	8	9
⑥近所とのトラブル	1	2	3	4	5	6	7	8	9

Ⅲ. あなたの地区での暮らしについておたずねします。

問12 あなたは、ふだん近所の人とどの程度の付き合いをされていますか。(1つに○)

- | | | |
|------------------------------------|---|---------|
| 1. 親しく付きあっている近隣者がいる | } | →問13へ |
| 2. たまにお互いの家を行き来する程度 | | |
| 3. たまに立ち話する程度 | | |
| 4. 会えばあいさつはするが、話したり
することはほとんどない | } | →問12-1へ |
| 5. 付き合いがない | | |
| 6. その他 () | | →問13へ |

問12-1 問12で「4」または「5」を選ばれたかたにおたずねします。
近所の人とあまり付き合いがないのはどうしてですか。

(あてはまるものすべてに○)

1. かかわる機会や時間がないから
2. 親しくする必要を感じないから
3. 近所付き合いがわずらわしいと感じるから
4. 近所の人をほとんど知らないから
5. 人との付き合いが苦手だから
6. 付きあうきっかけがわからないから
7. 家族にまかせているから
8. 健康上の理由から (外出できないなど)
9. 同世代がいないから
10. その他 ()

→問13へ

問13 (1) あなたは、近所の人困っていて、以下のことを頼まれた場合、どのような手助けができると思いますか。(①～⑩のそれぞれについて、あてはまるもの1つに○)

(2) あなたは、近所の人に手助けしてほしいと思うことはありますか。

(①～⑩の中から3つまでに○)

項目	(1) 手助けできること こと (1つに○)			(2) 手助けしてほしいこと ほしいこと (3つまでに○)
	できる	ときどきできる	できない	
①安否確認の声かけ	1	2	3	1
②日常的な話し相手	1	2	3	1
③心配ごとなどの相談相手	1	2	3	1
④短時間の子どもの預かり	1	2	3	1
⑤外出の手伝い(買い物や通院など)	1	2	3	1
⑥庭の手入れや掃除の手伝い	1	2	3	1
⑦ごみだしの手伝い	1	2	3	1
⑧郵便物・宅配物の一時預かり	1	2	3	1
⑨災害時の手助け	1	2	3	1
⑩認知症(※3)高齢者の見守り	1	2	3	1

その他、「手助けできること」や「手助けしてほしいこと」があればご記入ください。

(自由記述)

手助けできること	
手助けしてほしいこと	

問14 あなたが住んでいる地区（問6でご回答いただいた地区）で、最近「気になる」と感じることはありますか。（あてはまるものすべてに○）

1. ひとり暮らしの高齢者や障がいのある人がいる
2. 高齢者だけの世帯が増えている
3. 認知症（※3）の人が増えている
4. 家族の介護や世話に追われている人がいる
5. 外出が困難な人や世帯がある
6. 災害時に自力での避難が困難と思われる人や世帯がある
7. 家にひきこもっている人がいる
8. 不登校の子どもがいる
9. 発達障がいではないかと思われる人が増えている
10. ホームレスや車内で生活する人がいる
11. DV（ドメスティック・バイオレンス）（※4）被害の疑いがある人がいる
12. 虐待の疑いがある世帯がある（子ども、障がいのある人、高齢者など）
13. 精神的な課題を抱える人がいる（アルコールなどへの依存、病院受診が必要と思われる人など）
14. 経済的に困っている人や世帯がある
15. 就労に困っていたり、就労できない人がいる
16. 地区から孤立している人や世帯がある
17. ごみ屋敷（※5）や庭・家のまわりが荒れている家がある
18. 空き家が増えている
19. まわりとのコミュニケーションに困っている外国人がいる
20. 制度やサービスを拒否する人がいる
21. その他（ ）
22. 特になし
23. わからない

問15 あなたが住んでいる地区（問6でご回答いただいた地区）で、以下の項目についての暮らしやすさはいかがですか。（①～⑪のそれぞれについて、あてはまるもの1つに○）

項目	満足	やや満足	普通	やや不満	不満	わからない
①近隣者の生活マナー	1	2	3	4	5	6
②福祉・保健サービスや相談体制	1	2	3	4	5	6
③子育てのしやすさ	1	2	3	4	5	6
④病院など医療関係施設	1	2	3	4	5	6
⑤買い物などの便利さ	1	2	3	4	5	6
⑥金融機関や公的機関での手続きの便利さ	1	2	3	4	5	6
⑦公民館活動などの文化教養活動	1	2	3	4	5	6
⑧地区の防災体制	1	2	3	4	5	6
⑨地区の防犯体制	1	2	3	4	5	6
⑩道路や交通機関などの使いやすさ	1	2	3	4	5	6
⑪公園や緑地などの自然環境	1	2	3	4	5	6

問16 あなたが住んでいる地区（問6でご回答いただいた地区）は、世代間交流が行われていますか。（1つに〇）

1. 活発に行われている
 2. ある程度行われている
 3. あまり行われていない
 4. まったく行われていない
 5. その他（ ）
 6. わからない

問17 世代間交流の場があれば参加したいですか。（1つに〇）

1. 参加したい →問18へ
 2. 参加したいとは思わない →問17-1へ

問17-1 問17で「2」を選ばれたかたにおたずねします。
その理由についてご記入ください。（自由記述）

→問18へ

問18 あなたは、これからも現在住んでいる地区に住み続けたいと思いますか。(1つに○)
 なお、「2」を選ばれたかたは、その理由を()内にご記入ください。

- | | | |
|-----------------------------|---|---------|
| 1. 住み続けたい | } | →問19へ |
| 2. 住み続けたいが住み続けられない
理由() | | |
| 3. 住み続けたくない | | →問18-1へ |
| 4. わからない | | →問19へ |

問18-1 問18で「3」を選ばれたかたにおたずねします。
 どのような点で住み続けたくないと思いますか。(あてはまるもの3つまでに○)

1. 地域の慣習や文化になじめないから
2. 近所付き合いが良くないから
3. 買い物や交通の便が悪いから
4. 通勤・通学に不便だから
5. 働く場所がないから
6. 子育てや子どもの教育環境が整っていないから
7. 高齢者や障がいのある人などへの福祉サービスが充実していないから
8. 医療サービスが整っていないから
9. 防犯・防災対策が遅れているから
10. 気候・風土・自然環境があわないから
11. 文化・スポーツなどの環境が整っていないから
12. 楽しめる場所がないから
13. まわりに知っている人がいないから
14. その他()

→問19へ

問19 あなたは、町内会や自治会・子ども会・老人クラブなどの地域活動をしていますか。
(1つに○)

- 1. 現在活動している
 - 2. 過去に活動したことはあるが、現在は活動していない
 - 3. 活動したことがない
- 問19-1へ
- 問19-2へ

問19-1 問19で「1」または「2」を選ばれたかたにおたずねします。
どのような活動をしていますか(しましたか)。(あてはまるものすべてに○)

- 1. 町内会や自治会などの活動
- 2. 地区社会福祉協議会(※6)の活動
- 3. PTA・子ども会の活動
- 4. 老人クラブの活動
- 5. 女性団体の活動
- 6. 消防団の活動
- 7. 自主防災組織(※7)の活動
- 8. その他()

→問20へ

問19-2 問19で「3」を選ばれたかたにおたずねします。
あなたがこれまで地域活動に参加されなかったのはなぜですか。
(あてはまるものすべてに○)

- 1. 仕事や家事などで忙しい
- 2. 健康上の理由
- 3. 趣味や自主活動などで時間がとれない
- 4. 地域活動に参加すると自分や家族に負担がかかる
- 5. 地域活動のことを知らない
- 6. 地域活動に興味がない
- 7. その他()

→問20へ

IV. ボランティア活動についておたずねします。

問20 あなたは、過去5年の間で、問19-1のような地域での活動以外のボランティア活動に参加したことがありますか。(1つに○)

- | | |
|-------|---------|
| 1. ある | →問20-1へ |
| 2. ない | →問21へ |

問20-1 問20で「1」を選ばれたかたにおたずねします。
主にどのような活動をしていますか(しましたか)。(あてはまるもの3つまでに○)

- | |
|--|
| 1. 高齢者への支援活動
(高齢者の見守り、クラブ活動の協力、老人ホーム訪問など) |
| 2. 障がいのある人への支援活動
(手話や音読・点字訳の支援や外出支援、施設訪問など) |
| 3. 子育てに関する活動(託児、子育て相談や子育てサークルの支援など) |
| 4. 保健に関する活動(健康教室等の支援など) |
| 5. 青少年に関する活動(悩みごと相談や交流、子ども会活動の支援など) |
| 6. 環境美化に関する活動(自然愛護や美化運動、リサイクル運動など) |
| 7. スポーツや文化・芸術に関する活動 |
| 8. 防災や防犯、交通安全などに関する活動 |
| 9. 国際交流や異文化交流などに関する活動 |
| 10. まちづくり・地域おこしに関する活動 |
| 11. その他() |

→問21へ

問21 あなたは、地域活動やボランティア活動に関する情報を主にどこから得ていますか。
(あてはまるもの3つまでに○)

1. 知り合いを通じて
2. 市の広報紙（広報なると）やチラシ
3. 市役所の窓口・掲示板
4. 市の公式ウェブサイト
5. まちの情報誌（リビング鳴門など）
6. 地域の回覧板や地区だよりなど
7. 社会福祉協議会（※8）の窓口や広報紙
8. 福祉サービス事業所やその職員
9. その他（)
10. 情報を得ていない

問22 あなたは、地域の中で、今後特にどのようなボランティア活動が必要になると考えますか。(あてはまるもの3つまでに○)

1. 高齢者への支援活動
(高齢者の見守り、クラブ活動の協力、老人ホーム訪問など)
2. 障がいのある人への支援活動
(手話や音読・点字訳の支援や外出支援、施設訪問など)
3. 子育てに関する活動（託児、子育て相談や子育てサークルの支援など）
4. 保健に関する活動（健康教室等の支援など）
5. 青少年に関する活動（悩みごと相談や交流、子ども会活動の支援など）
6. 環境美化に関する活動（自然愛護や美化運動、リサイクル運動など）
7. スポーツや文化・芸術に関する活動
8. 防災や防犯、交通安全などに関する活動
9. 国際交流や異文化交流などに関する活動
10. まちづくり・地域おこしに関する活動
11. その他（)
12. 特にない
13. わからない

問23 あなたは、地域活動やボランティア活動の輪を広げていくために、今後特にどのようなことが必要だと思いますか。(あてはまるもの3つまでに○)

1. 気軽に相談できる窓口の充実を図る
2. 活動できる拠点や場所を整備する
3. ボランティア活動への対価が得られるようにする
4. 活動に関する研修や講習会を開催する
5. 活動に関する情報を積極的に発信する
6. 若い世代への参加を呼びかける
7. ボランティア人材・リーダーの育成をする
8. 団体間のネットワークづくり
9. 学校での福祉教育の推進
10. 地域の課題などについて語りあう機会づくり
11. 市や社会福祉協議会(※8)などの支援
12. その他()
13. 特にない
14. わからない

V. 福祉サービスの利用状況についておたずねします。

問24 行政が行っている福祉サービス（高齢者、障がいのある人、子育て世帯、低所得者に対する相談や支援など）について、あなたやあなたの家族は利用していますか（または利用していましたか）。（1つに○）

1. 利用している（したことがある）
2. 利用していない（したことがない）

問25 あなたは、福祉サービスに関する情報を主にどこから入手していますか。
（あてはまるもの3つまでに○）

1. 知り合いを通じて
2. 市の広報紙（広報なると）やチラシ
3. 市役所の窓口・掲示板
4. 市の公式ウェブサイト
5. まちの情報誌（リビング鳴門など）
6. 地域の回覧板や地区だよりなど
7. 社会福祉協議会（※8）の窓口や広報紙
8. 福祉サービス事業所やその職員
9. その他（）
10. 情報を得ていない

問26 あなたは、あなたが住んでいる地区を担当している民生委員・児童委員（※2）を知っていますか。（1つに○）

1. 名前も活動内容も知っている
2. 名前は聞いたことがあるが、活動内容は知らない
3. 名前は知らないが、活動内容は知っている
4. 名前も活動内容も知らない

問27 あなたは、鳴門市社会福祉協議会(※8)を知っていますか。(1つに○)

- | | |
|---------------------------|---------|
| 1. 名前も活動内容も知っている | →問27-1へ |
| 2. 名前は聞いたことがあるが、活動内容は知らない | } →問28へ |
| 3. 名前も活動内容も知らない | |

問27-1 問27で「1」を選ばれたかたにおたずねします。

あなたの知っている鳴門市社会福祉協議会(※8)の活動は次のどれですか。

(あてはまるものすべてに○)

- | |
|---|
| 1. 地域福祉推進事業(地区社会福祉協議会(※6)、社会福祉団体への補助金交付や事務局運営、100歳のお祝いなど) |
| 2. 鳴門市社会福祉大会の開催 |
| 3. ボランティアセンターを通じたボランティア活動の普及啓発・支援 |
| 4. 居宅介護事業(ホームヘルパーによる訪問介護など介護保険サービス・障がい福祉サービス) |
| 5. ひとり暮らし高齢者の家庭にお弁当などを届ける給食サービス事業 |
| 6. リフト付きワゴン車による障がいのある人の移動支援事業 |
| 7. 心配ごと相談・法律相談事業 |
| 8. 生活福祉資金貸付事業(※9)・福祉金庫貸付事業(※10) |
| 9. 日常生活自立支援事業(※11)、成年後見(※12)等事業(認知症(※3)の人などの金銭管理や福祉サービスの利用援助、日常生活の見守りなど、権利を守るための事業) |
| 10. 基幹型地域包括支援センター(※13)での各種相談・支援業務 |
| 11. 赤い羽根共同募金運動(※14) |
| 12. 市シルバー大学校(※15)の運営 |
| 13. 県シルバー大学校(※15)鳴門校の運営 |
| 14. 災害時における災害ボランティアセンター(※16)の設置・運営 |
| 15. その他() |

→問28へ

問28 あなたは、鳴門市社会福祉協議会（※8）に対してどのような活動や支援を期待しますか。（あてはまるものを3つまでに○）

- 1. 住民による見守りや支えあい活動への支援
- 2. 住民参加型在宅福祉サービス（※17）の推進に向けた取組
- 3. 赤い羽根共同募金（※14）などの募金活動や寄付文化の醸成
- 4. ボランティア活動と福祉教育の推進
- 5. 災害ボランティア活動の担い手・推進の仕組みづくり
- 6. 気軽に相談できる福祉相談窓口の充実
- 7. 高齢者や障がいのある人に対する福祉サービスの利用支援や権利擁護（※18）
- 8. 高齢者が安心して地域で暮らしていくための支援体制の推進
- 9. 福祉サービスに関する情報発信の充実
- 10. 地域ごとにコーディネーターを配置し、住民と福祉サービスをつなぐ
- 11. 地区社会福祉協議会（※6）の活動の充実
- 12. その他（)
- 13. 特にない
- 14. わからない

VI. 地域社会のありかたについておたずねします。

問29 あなたは、子どもたちやその家族が安心して暮らすために、今後特にどのようなことが必要だと思いますか。（あてはまるものを3つまでに○）

- 1. 男女ともに家事・育児に参加する意識づくり
- 2. 安心して出産や育児ができる母子保健や医療サービスの充実
- 3. 保育サービスのメニューの充実（延長保育、病児保育など）
- 4. 放課後児童クラブ（※19）の充実
- 5. 保育所費用や教育にかかる費用の軽減
- 6. 地域での声かけ・見守り活動など、地域ぐるみでの子育て支援体制の確立
- 7. 虐待を受けた子どもなど保護を必要とする子どもへの支援
- 8. 安心して遊べる場所の確保
- 9. 身近な相談窓口の整備
- 10. ボランティアや地域での人材の育成
- 11. 子育て世帯が親子で気軽に集える場の充実（子育てサロンやサークルなど）
- 12. その他（)
- 13. 特にない
- 14. わからない

問30 あなたは、高齢者が安心して暮らすために、今後特にどのようなことが必要だと思いますか。(あてはまるもの3つまでに○)

1. 健康づくりなど、介護予防に関する取組の充実
2. 病院など医療関係施設の整備
3. 医療と介護の連携
4. 高齢者が住みやすい住宅の整備
5. 在宅福祉サービスの充実（ホームヘルプサービス・デイサービスなど）
6. ホームヘルパーなどの福祉の人材の育成
7. 高齢者の働く機会の充実
8. 公共施設・道路・交通機関の改善（バリアフリー（※20））
9. 地域での声かけ・見守り活動など、身近な地域で高齢者を支える取組の充実
10. ボランティアや地域での人材の育成
11. 身近な相談窓口の整備
12. 認知症（※3）に関する正しい理解と支援の充実
13. 高齢者が気軽に集える場の充実（老人クラブ、サロン、サークル活動）
14. 世代間交流ができる機会づくり
15. その他（）
16. 特にない
17. わからない

問31 あなたは、障がいのある人が安心して暮らすために、今後特にどのようなことが必要だと思えますか。(あてはまるもの3つまでに○)

- 1. 障がいのある人に対する理解の促進
- 2. 心身の状況などに応じた保健・医療・医学的リハビリテーションの提供
- 3. 学校などが連携しながら、障がいの状況や特性等に応じて、一人ひとりの個性や可能性を伸ばす教育の充実
- 4. 就労に向けた支援の充実と働く場の確保
- 5. 障がいのある人が住みやすい住宅の整備
- 6. 在宅福祉サービスの充実（ホームヘルプサービス・デイサービスなど）
- 7. ホームヘルパーなどの福祉の人材の育成
- 8. 公共施設・道路・交通機関の改善（バリアフリー（※20））
- 9. 地域での声かけ・見守り活動など、身近な地域で障がいのある人を支援する体制づくり
- 10. ボランティアや地域での人材の育成
- 11. 身近な相談窓口の整備
- 12. 外出への働きかけや移動の支援
- 13. 障がいのある人が気軽に集える場の充実（サロン、サークル活動）
- 14. その他（)
- 15. 特にない
- 16. わからない

問32 あなたは、生活困窮者（※21）や困窮状態にある世帯への支援として、今後特にどのようなことが必要だと思えますか。(あてはまるもの3つまでに○)

- 1. 世帯が孤立しないように、困窮状態の早期発見に向けた支援
- 2. 生活再建のために必要な貸付制度の充実
- 3. 家計管理など生活力を高めるための支援
- 4. 生活困窮世帯（※21）の子どもたちの学習支援や進学支援
- 5. 本人や家族の悩み・つらい気持ちに寄り添うための相談支援の充実
- 6. 各支援機関と地域との連携による支援のネットワークづくり
- 7. 生活困窮（※21）の問題解決に向けた支援に関する情報発信の強化
- 8. 地域での声かけ・見守り活動など、身近な地域で生活困窮世帯（※21）を支える取組の充実
- 9. ひきこもり（※22）やニート（※23）のかたが気軽に集える居場所づくり
- 10. 生活困窮者（※21）支援に対する地域や住民の理解促進に向けた啓発活動
- 11. その他（)
- 12. 特にない
- 13. わからない

問36 あなたは、避難時、どのようなことに困ると思いますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 何が起きているのか把握できない
2. どのように対応すべきか判断できない
3. 家族の不在やひとり暮らしのため、自分ひとりでは対応できない
4. 安全なところまで素早く避難できない
5. 避難場所・避難所で、まわりの人とコミュニケーションがとれない
6. 避難場所・避難所で、被害状況や物資の受取などの情報がとれない
7. 避難場所・避難所で、投薬や治療を受けることが難しい
8. 避難場所・避難所で、プライバシーの確保が困難である
9. 避難場所・避難所で、高齢者や障がいのある人、乳幼児などが生活できる環境が整っていない
10. その他 ()
11. 特にない
12. わからない

問37 あなたは、市民が住み慣れた地域で安心して暮らしていくために、今後特にどのようなことが必要だと思いますか。(あてはまるもの3つまでに○)

1. 身近なところで日常生活の相談ができる体制の整備
2. 地域の人が交流できる場や地域課題について語りあえる機会づくり
3. 支援を必要とする人を早期に発見するためのネットワークづくりや見守り体制の整備
4. 在宅福祉サービスの充実(ホームヘルプサービス・デイサービスなど)
5. 支援が必要な人へのサポート体制の充実
6. 福祉に関する情報提供の充実
7. 公共施設・道路・交通機関の改善(バリアフリー(※20))
8. 地域活動や地域福祉活動への公的な援助の充実
9. 地域活動や地域福祉活動を担う人材の育成
10. 福祉教育の充実
11. 災害に備えるために地域での助けあいによる防災体制づくり
12. その他 ()
13. 特にない
14. わからない

Ⅶ. 地域福祉への関心などについておたずねします。

問38 あなたは、次のような福祉的な課題について、どの程度重要だと思いますか。

(①～⑯のそれぞれについて、あてはまるもの1つに○)

項 目	とても重要だと思う	やや重要だと思う	あまり重要ではない	重要ではない
① 障がいのある人とない人が共に生きるため、社会の中にあるバリアを取り除くこと	1	2	3	4
② 生活保護を受けている人、障がい、外国人などに対する偏見や差別をなくすこと	1	2	3	4
③ ひとり親家庭の自立を支援するための地域のつながり	1	2	3	4
④ DV（ドメスティック・バイオレンス）※4 被害を防ぐための地域のつながり	1	2	3	4
⑤ ひきこもり ※22 やニート ※23 の問題を社会全体で考えていくこと	1	2	3	4
⑥ 地域の防犯対策	1	2	3	4
⑦ 災害時における支援体制	1	2	3	4
⑧ 認知症 ※3 の人やその家族を支えるための地域のつながり	1	2	3	4
⑨ ホームレスの問題を社会全体で考えていくこと	1	2	3	4
⑩ 高齢者・児童・障がいのある人などの虐待を防ぐための地域のつながり	1	2	3	4
⑪ 成年後見制度 ※12 の周知	1	2	3	4
⑫ 刑務所や少年院などから帰ってきた人への社会復帰のための支援	1	2	3	4
⑬ 子どもの貧困に対する支援	1	2	3	4
⑭ ごみ屋敷 ※5 の問題	1	2	3	4
⑮ 空き家問題	1	2	3	4
⑯ 買い物や通院などの移動が困難な人への支援	1	2	3	4

問39 私たち一人ひとりが安心して地域の中で暮らしていくために、市民のひとりとして、あなたはどのようなことができますか。(あてはまるものすべてに○)

- 1. 家族に関係する問題は、家族や親族などの身内でまず解決する
- 2. 学校での行事など、家族に関係ある範囲内の活動には参加する
- 3. できるだけ地域での出来事に関心を持つ
- 4. 近所との交流を盛んにするなど地域の人とつながりを持つ
- 5. 地域活動やボランティア活動に積極的に参加する
- 6. 困っている人がいたら積極的に声をかける
- 7. その他 ()
- 8. 特にない
- 9. わからない

問40 誰もが住みやすく、いきいきと安心して暮らせる「鳴門のまちづくり」を進めていくために、鳴門市のこれからの地域福祉に対して、ご意見などがございましたら、ご自由にお書きください。

以上でアンケートは終わりです。ご協力ありがとうございました。
記入いただきましたアンケート用紙は、同封の返信用封筒に入れて、
2月7日(月)までにポストに投函してください。

切手は不要です

